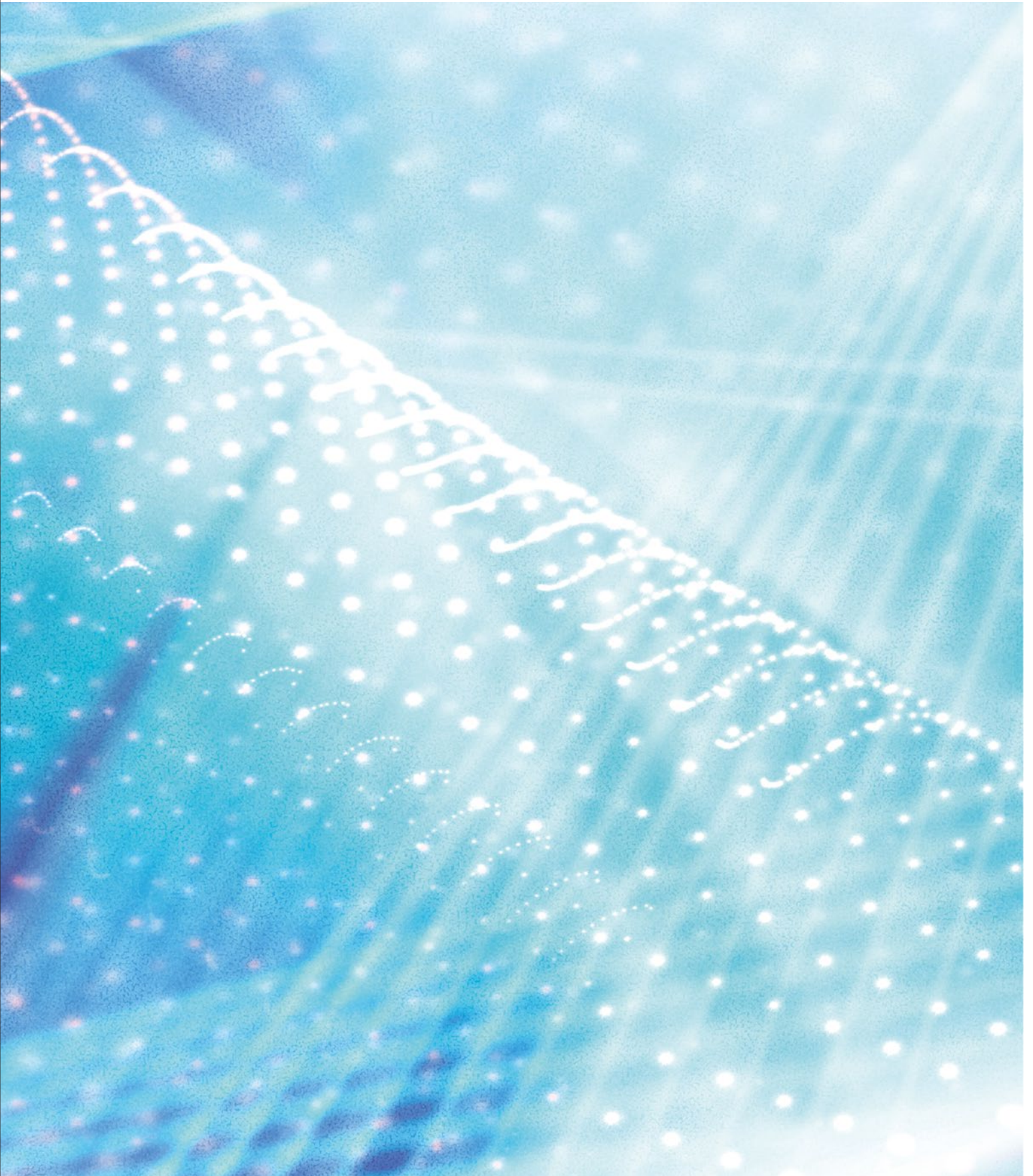


Film Exhibition Yearbook | 2025

映画上映活動年鑑 | 2025

一般社団法人コミュニティシネマセンター



Film Exhibition Yearbook | 2025

映画上映活動年鑑 | 2025

独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業

「令和7年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」

一般社団法人コミュニティシネマセンター





映画上映活動年鑑2025

目次 | Contents

004 凡例

007 I 映画館での上映

008 1 | 概況

016 2 | 公開本数・公開作品

024 3 | 諸外国との比較

030 4 | 都道府県別概況

048 5 | 全国映画館リスト2025

055 II 公共上映

056 1 | 全国映画祭リスト2025

060 2 | 公共の映画専門施設(シネマテーク)及び映画資料館など

063 3 | 映画館以外で行われる上映活動

071 III 特集 | 映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査 兵庫県の2つの上映活動の詳細調査

073 1 | 元町映画館

086 2 | 兵庫県映画センター

097 IV 資料 | 都道府県別上映施設一覧

098 地方別上映施設地図

104 都道府県別上映施設一覧

104 北海道・東北

118 関東

136 中部

150 近畿

160 中国・四国

172 九州・沖縄

185 V 上映に関わる用語

凡例

人口

各都道府県が発表している「人口推計」を参照。(各年10月1日現在)

*北海道のみ「人口推計」が毎月末現在のデータであるため、各年9月30日現在のデータを使用している。

スクリーン数及び映画館数

『映画上映活動年鑑』(コミュニティシネマセンター刊)

「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) <http://www.eiren.org/toukei/data.html>

『映画年鑑』別冊「映画館名簿」(時事映画通信社刊/キネマ旬報社刊)

*各年の1月1日から12月31日まで営業があった映画館をスクリーン数及び映画館数の対象としている。

「映画館名簿」に掲載されていない映画館でも、恒常的な上映を行っている館は加え、掲載されている上映施設でも上映実績が確認できなかった館は載せていないものがある。

公開本数、公開規模

コミュニティシネマセンターが独自に調査した公開作品リストから公開本数、公開規模を算出している。

観客数、興行収入、都道府県別観客数

「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) <http://www.eiren.org/toukei/data.html>

*各都道府県の観客数は、「特定サービス産業実態調査報告書 映画館編」(2018年で終了)及び「経済センサス 活動調査」(2016年以降5年ごとに実施)における、各年の観客数計に対して各都道府県の観客数が占める割合の平均値を、「日本映画産業統計」に乗じることで概算値を算出している。

諸外国の映画館(上映)に関するデータ

“Focus 2025 – World Film Market Trends” | <https://www.obs.coe.int/en/web/observatoire/industry/focus>

『映画年鑑2025』「統計編 世界主要各国映画諸統計」(キネマ旬報社刊)

フランス

フランス国立映画センター Centre national du cinéma et de l'image animée (CNC)

“Bilan du CNC” | <https://www.cnc.fr/creation-numerique/etudes-et-rapports/bilans>

イギリス

英国映画協会 British Film Institute (BFI)

“Statistical Yearbook” | <http://www.bfi.org.uk/education-research/film-industry-statistics-research/statistical-yearbook>

ドイツ

ドイツ映画振興協会 Filmförderungsanstalt (FFA)

“FFA Info” | <https://www.ffa.de/marktdaten.html>

オーストラリア

スクリーン・オーストラリア Screen Australia

“Fact Finders” | <https://www.screenaustralia.gov.au/fact-finders/>

韓国

韓国映画振興委員会 (KOFIC)

「韓国映画総決算」 | <http://www.kofic.or.kr/kofic/business/rsch/findPolicyList.do>

映画館の種類

本年鑑では、映画館を、その形態・上映プログラムにより、原則として下記のように分類している。

シネマコンプレックス(シネコン)

同一の運営組織が、同一の所在地に名称の統一された複数のスクリーンを設置し、かつ、出入口、入場券売場、ロビー・売店、映写室等を集約化して共有する映画館。本年鑑では原則として「5スクリーン以上」をシネマコンプレックスとしている。

ミニシアター（/名画座）

大手映画製作・配給会社の直接の影響下でない独立した経営を行い、単館ないしは数館による公開を前提とした作品を中心に番組編成を行う小規模映画館、及び名画座と称される旧作及び封切館での上映が終了した新作で番組編成をしている映画館を合わせて「ミニシアター」としている。

さらに、「ミニシアター」を下記の3つに分類している。

- ミニシアター
- 名画座
- 元・既存興行館：ミニシアター的な番組編成に変更した既存興行館

既存興行館

興行会社が経営する従来型の映画館。かつてはその多くが大手映画製作・配給会社の直営・系列館として経営されてきた。本年鑑では、新たに開館した映画館であっても、大手映画製作・配給会社の作品を中心に番組編成を行うものは「既存興行館」としている。

さらに、「既存興行館」を下記の2つに分類している。

- 既存興行館
- 2005年以降に開館した既存興行館

成人映画館

公共上映に関する用語

映画祭

特定の場所で期間を限定してコンペティション形式ないしは特集形式で複数の映画・映像作品を集め、上映するイベントで、定期的に開催されるもの。

シネマテーク

映画を定期的に上映する映画アーカイブや美術館等の文化施設や公立映画館など、公共的な映画上映のための専門施設。

全国映画祭リスト

コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストを毎年更新している。

公共の映画専門施設(シネマテーク)及び映画資料館など

コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストに、「全国映画資料館録2020」(国立映画アーカイブ、映像産業振興機構編)をあわせて作成している。

映画館以外で行われる上映活動

コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストに新たに確認できた定期的に活動を行う上映団体・上映活動を追加している。

I 映画館での上映

1**概況****2****公開本数・公開作品****3****諸外国との比較****4****都道府県別概況****5****全国映画館リスト2025**

I | 映画館での上映

1

概況

日本映画製作者連盟(映連)の2025年「映画産業統計」(2026年1月発表)によると、2025年の観客数は1億8875万6000人で、前年(2024年)の130.7%、興収は2744億5200万円で前年比132.6%、興収の公開を開始した2000年以降、歴代最高を記録した。これらの数字からは、他の国が、未だコロナから十分に回復できていない中、日本の映画業界が目覚ましい回復ぶりを見せていることが感じられる。

日本映画の興行収入は2075億6900万円(前年比133.2%)で、前年2024年の1558億円を大きく上回り、歴代最高を更新した。一方、外国映画は668億8300万円で、依然としてコロナ前(2019年)の56%程度にとどまっている。とはいえ、前年を30%以上上回り、復調の兆しが見えてきた。日本映画と外国映画の興収のシェアは75.6:24.4で、コロナ以後、圧倒的に日本映画が強い状況が続いている。

2025年に注目されたのは、何とんでも『国宝』である。興行収入では391.4億円をあげたアニメーション映画『劇場版「鬼滅の刃」無限城編第一章 猗窩座再来』が圧倒的な強さを見せたが、『国宝』は徐々に公開館数を広げ、実写映画で歴代1位となる195.5億円を上げ、2026年に入っても上映が続いている。興収が10億円を超える作品は50本で、全興収の73.7%を占めている。(2024年62.9%)

映画館数・スクリーン数

2025年のスクリーン数は3739スクリーンで、前年から30スクリーン増加し、映画館数は597館で3館増加している。2016年から2025年の10年間では、館数は9館、スクリーン数は234スクリーン増加している。シネマコンプレックス(シネコン)が24館265スクリーン増加し、「シネコン以外」の映画館は15館31スクリーン減少している。

シネコンは3328スクリーンで、全スクリーンの89%を占めている。館数でも、2011年以降はシネコンが「シネコン以外」の館数を上回り、2025年はシネコン367館、シネコン以外230館、シネコンが61%となっている。

20年前、2005年の映画館数は806館であったが、その後10年間で200館以上減少、2016年には588館となっている。映画館のデジタル化が進められた2011~2013年の2年間で約80館減少したが、2025年の映画館数は597館で、この10年間は映画館数に大きな変化はみられなかった。

コロナ禍後、2020~2025年の5年間で閉館した映画館数はシネコンが18館(149スクリーン)、シネコン以外では約30館で、コロナの影響で特に閉館数が増えているという状況にはない。逆に、2020~2025年で29館のシネコンが開館、シネコン以外でも25館が開館(移転・再開は含まない)しており、これまでのところはコロナの影響は映画館の減少という形では現れていない。

→ fig.01

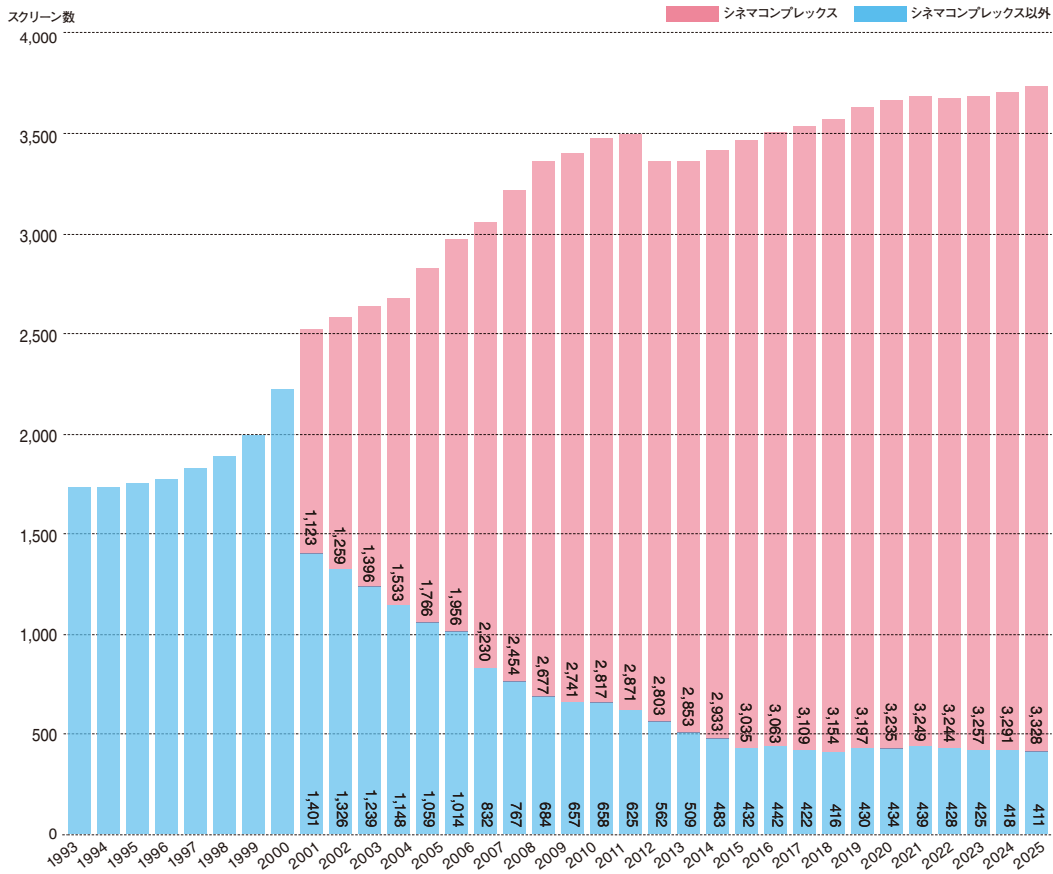
観客数・入場料金

2025年の観客数は、1億8875万6000人、興行収入は2744億5200万円、いずれも前年を30%以上上回っている。実写映画歴代最高記録を更新した『国宝』に、アニメーションでは、400億円には届かなかったものの興収391.4億円の大ヒットとなった『劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来』、100億円を越えた『名探偵コナン 雫の残像(フラッシュバック)』や『劇場版「チェンソーマン レゼ篇」』が続き、「ドラえもん」「クレヨンしんちゃん」といったシリーズなども好調で、10億円を越える作品は日本映画で38本、外国映画で12本、計50本に上った。(22P参照)

入場料金の平均は2020年以降、上昇を続け、2025年は1454円となった。2023年6月に大手のシネコンチェーンであるTOHOシネマズとTジョイが映画鑑賞料金を一般料金は2000円としたのに続き、他のシネコンでも一般料金2000円となり、シネコン以外の映画館でも、他の物価や光熱費の上昇に合わせる形で入場料金の値上げに踏み切る映画館が増えている。

→ fig.02

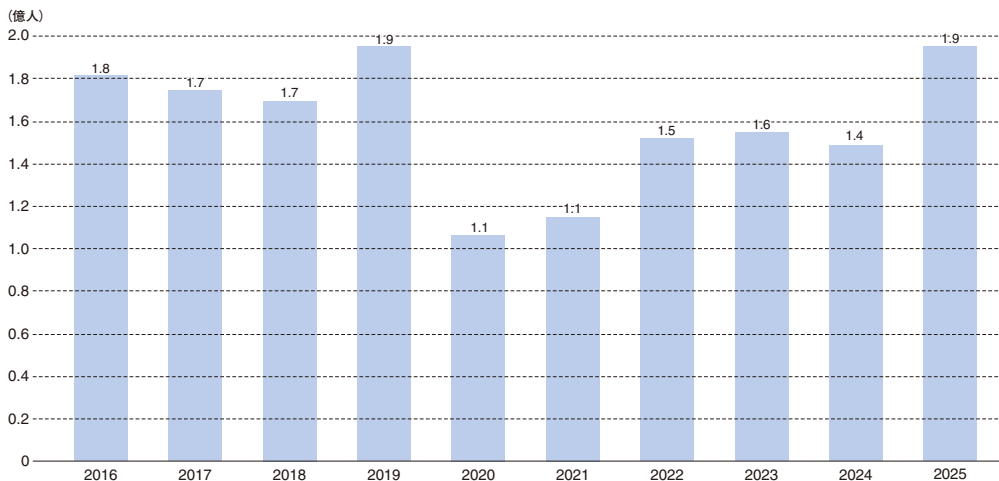
fig.01 スクリーン数の推移(1993-2025)



—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)、「映画上映活動年鑑」(コミュニティシネマセンター)参照

	スクリーン数	シネコン	シネコン以外
1993	1,734		
1994	1,758		
1995	1,776		
1996	1,828		
1997	1,884		
1998	1,993		
1999	2,221		
2000	2,524	1,123	1,401
2001	2,585	1,259	1,326
2002	2,635	1,396	1,239
2003	2,681	1,533	1,148
2004	2,825	1,766	1,059
2005	2,970	1,956	1,014
2006	3,062	2,230	832
2007	3,221	2,454	767
2008	3,361	2,677	684
2009	3,398	2,741	657
2010	3,475	2,817	658
2011	3,496	2,871	625
2012	3,365	2,803	562
2013	3,362	2,853	509
2014	3,416	2,933	483
2015	3,467	3,035	432
2016	3,505	3,063	442
2017	3,531	3,109	422
2018	3,570	3,154	416
2019	3,627	3,197	430
2020	3,669	3,235	434
2021	3,688	3,249	439
2022	3,672	3,244	428
2023	3,682	3,257	425
2024	3,709	3,291	418
2025	3,739	3,328	411
前年比	30	37	-7

fig.02 観客数の推移(2016-2025)



—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)参照

	入場者数(千人)	前年比	平均入場料金(円)
2016	180,189	13,559	1,307
2017	174,483	-5,706	1,310
2018	169,210	-5,273	1,315
2019	194,910	25,700	1,340
2020	106,137	-88,773	1,350
2021	114,818	8,681	1,410
2022	152,005	37,187	1,402
2023	155,535	3,530	1,424
2024	144,441	-11,094	1,433
2025	188,756	44,315	1,454

種類別にみる映画館数・スクリーン数の変化

シネマコンプレックス(シネコン)

シネコンは363館3328スクリーンで最も多く、全スクリーン数(3739)の89%を占めている。10年間で24館265スクリーン増加している。2000年代に入ってから2008年までは、毎年20~30館のペースでシネコンがつくられてきたが、2009年以降はそのスピードは緩やかになり、2014年以降、2021年までは年間5~10館が開館、コロナ後の2022年に開館した映画館は2館のみであったが、2024年は5館、2025年は「シネマサンシャイン三郷」(埼玉)、「イオンシネマ須坂」(長野)、「イオンシネマ土岐」(岐阜)、「シネマワールドらぼーと安城」(愛知)、「イオンシネマ松江」(島根)、「MOVIX広島駅」の6館が開館、2026年にも東京、名古屋、岩手県北上市などで開館が続く。

一方、2022年以降は、毎年1~3館が閉館している。2022年には「デイノスシネマズ旭川」(北海道)、「大津アレックスシネマ」(滋賀)、「イオンシネマ西大和」(奈良)、2023年には「フォーラム八戸」と「佐久アムシネマ」、2024年には「MOVIX三郷」(埼玉)が閉館している。2025年には「ユナイテッド・シネマ枚方」(大阪)、「ユナイテッド・シネマ熊本」、「イオンシネマ津」(三重)、「109シネマズ高崎」(群馬)の4館が閉館した。

既存興行館

既存興行館は58館128スクリーンとなり、10年間で、映画館数28館減、スクリーン数76スクリーン減となっている。2010~2014年、映画上映のデジタル化が進み、デジタルシネマ機の導入という大規模な設備投資に耐えられない既存興行館の閉館が続き、2010年に176館あった館数は5年間でほぼ半減、2020年には67館まで減少したが、現在は落ち着いた状況となっている。

既存興行館の中には、ミニシアター的なプログラム編成に変えてシネコンのプログラムとの差異化を図る映画館が増え、閉館した既存興行館が別の運営団体によって再開される例も増えている。また、「新しい」既存興行館の開館もあり(「シネマサンライズ日立」(茨城)、「大川シネマホール」(福岡)等)、従来の「シネマコンプレックス」「既存興行館」「ミニシアター/名画座」という分類で映画館の現状を把握することが難しくなっている。

ミニシアター/名画座

ミニシアター/名画座は、147館252スクリーンで、この10年間で32館64スクリーン増加している。2022年以降、「ストレンジャー」(東京・墨田区)、「シモキタ-エキマエ-シネマ K2」(世田谷区)、鳥根県益田市の閉館した映画館を再開した「小野沢シネマ」、「キノシネマ神戸国際」(「神戸国際松竹」跡)、「キノシネマ新宿」(「E」アニメシアター)跡)、また、

「扇町キネマ」(大阪)、「シネマ203」(和歌山)、「シネマポスト」(下関)、「キノシネマ心斎橋」(大阪)、「小田原シネマ館」(神奈川)、「金星シネマ」(静岡)といったミニシアターが開館し、2025年には、埼玉県さいたま市に2階以上にシェアハウスが入る新しい形の映画館「OttO」が開館、12月には東京・神保町に2スクリーンの「シネマリス」が開館した。大阪市には「シアターエミュ」、沖縄県那覇市では那覇空港内に短編を中心に上映プログラムを組む「ファミンチュシアター」が開館した。また、2012年に閉館した「テアトル徳山」が2025年「シネマ・ヌーヴェル」として生まれ変わった。

映画館とは異なる上映の場、あるいは新しい形の映画館ともよぶべき場も次々に生まれている。鳥取県湯梨浜町では元小学校の教室をリノベーションした「ジグシアター」が2021年7月から上映を始め(月10日間程度)、秋田市には古民家を改装した「アウトクロップシネマ」(2021)、岡山県真庭市には「ビクトリアシアター」(2022)、長野県伊那市には“宿泊可能な複合施設”「赤石商店」(月1週間程度)がつくられ、岩手県宮古市では蔵をリノベーションした「シネマ・デ・アエル」が2016年に上映を開始している。2026年にも「ル・シネマ・キャトル」(北海道・東川町、約20席)、「Yet Cinema Club」(福岡、約15席)、「シネマドア」(鳥取、20席)が開館する。このような、従来の「興行」とは異なる上映の場をつくる動きは、今後も増えていくものと思われる。

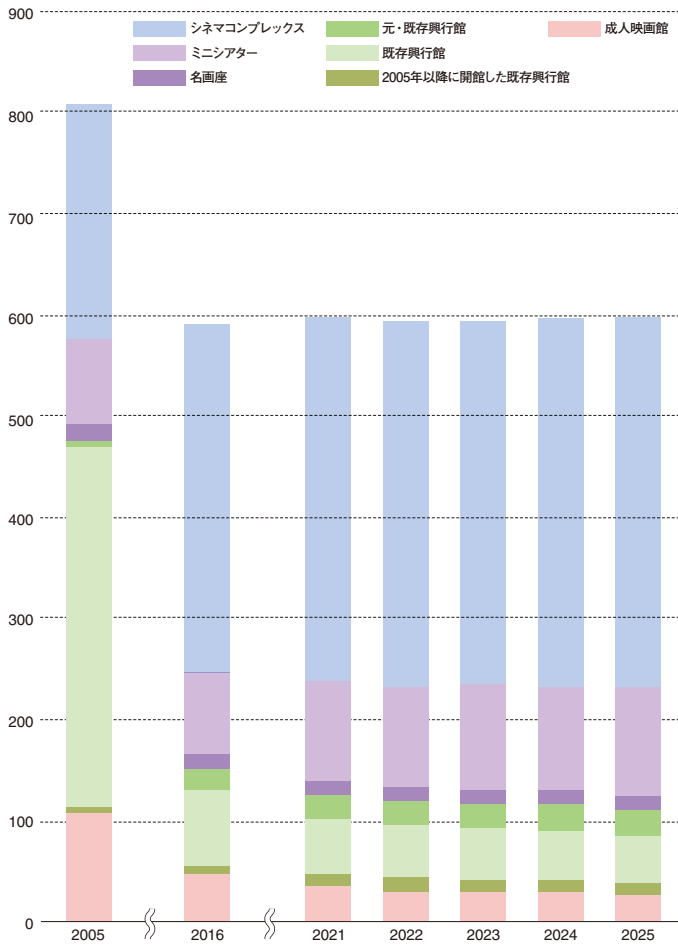
他方、2025年には「湯本駅前ミニシアター Kuramoto」(福島県いわき市)、「大須シネマ」(名古屋)、「刈谷日劇」(愛知県刈谷市)、2026年に入って「シネマカリテ」(新宿)、「シネ・リーブル池袋」が閉館、「サツゲキ」(札幌市)、「新世界国際劇場」(大阪)、「福山駅前シネマモード」(広島県福山市)が閉館を発表している。

成人映画館は、25館31スクリーンとなり、10年間で半減している。

デジタルシネマ機の導入から10年を経て、映画館は新しい機材への更新、買換えの時期を迎えている。1台1000万円近い大規模な設備投資が必要であり、既存興行館やミニシアターのように小規模な映画館にとって、これをどう乗り切るかが喫緊の課題となっている。さらに、ミニシアターや既存館が入る建物や設備の老朽化も進んでおり、建て替えによって閉館を余儀なくされる映画館も出ている。2025年、映画業界全体としては歴代最高の興行収入を記録したが、一定の作品に観客が集中する傾向が進み、業界全体の好況に乗り切れず、コロナの影響を脱しきれていない映画館も少なくない。コロナ後の2023年以降に経営状況が深刻化している映画館もあり、予断を許さない状況が続いている。

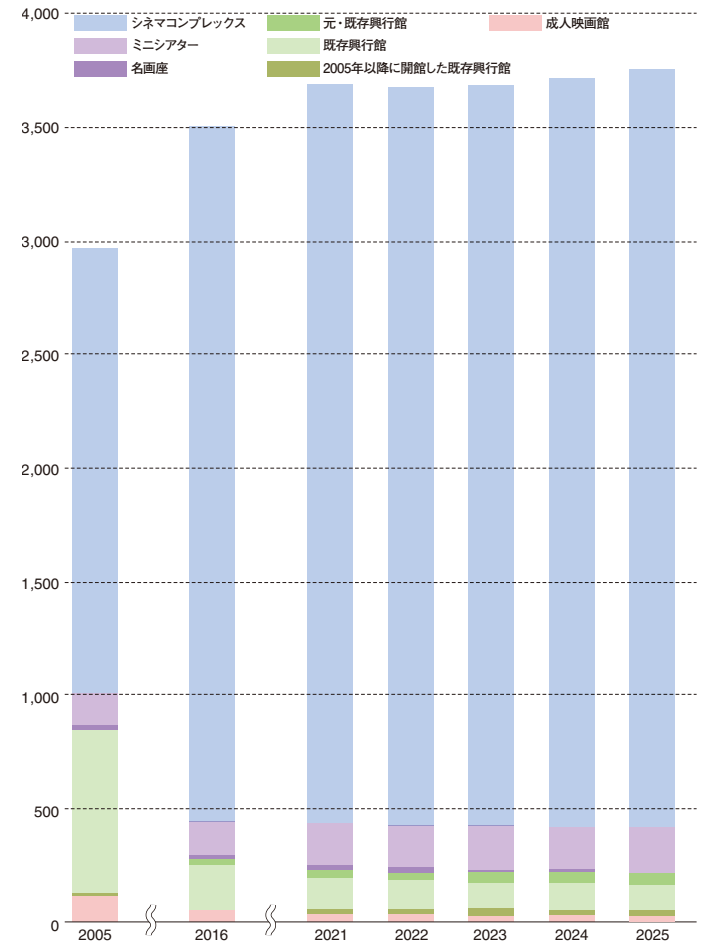
→ fig.03, 04

fig.03 種類別映画館数(サイト数)の変化(2005-2025)



	2005	2016	2021	2022	2023	2024	2025		2016 ↓ 2025
シネマコンプレックス	233	343	360	359	360	363	367	61%	24
ミニシアター	107	115	136	136	140	142	147	25%	32
ミニシアター	83	82	99	99	104	103	107		25
名画座	18	15	15	15	14	13	13		-2
元・既存興行館	6	18	22	22	22	26	27		9
既存興行館	359	86	67	66	64	62	58	10%	-28
既存興行館	355	76	55	53	52	50	46		-30
2005年以降に開館した既存興行館	4	10	12	13	12	12	12		2
成人映画館	107	44	33	29	28	27	25	4%	-19
シネマコンプレックス以外	573	245	236	231	232	231	230	39%	-15
合計	806	588	596	590	592	594	597		9

fig.04 種類別スクリーン数の変化(2005-2025)



	2005	2016	2021	2022	2023	2024	2025		2016 ↓ 2025
シネマコンプレックス	1,956	3,063	3,249	3,244	3,257	3,291	3,328	89%	265
ミニシアター	167	188	240	241	244	246	252	7%	64
ミニシアター	135	145	183	184	189	181	186		41
名画座	21	16	17	17	15	14	14		-2
元・既存興行館	11	27	40	40	40	51	52		25
既存興行館	723	204	159	152	147	139	128	3%	-76
既存興行館	714	182	136	128	124	117	106		-76
2005年以降に開館した既存興行館	9	22	23	24	23	22	22		0
成人映画館	123	50	40	35	34	33	31	1%	-19
シネマコンプレックス以外	1,013	442	439	428	425	418	411	11%	-31
合計	2,969	3,505	3,688	3,672	3,682	3,709	3,739		234

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)、「映画上映活動年鑑」(コミュニティシネマセンター)参照

地方別にみる種類別映画館数・スクリーン数

2025年の全国の映画館数は597館で、10年間で9館増加している。スクリーン数は3739スクリーンで234スクリーン増となっている。関東地方を除くすべての地方で人口は減少しているが、北海道・東北地方は8.3%減少、中国・四国地方は7.2%減少となっており、他の地方に比べて人口の減少率が高く、減少率上昇の速度も速い。映画館数・スクリーン数の増減は人口の増減に対応しており、スクリーン数の偏在、地域的不均衡が年ごとに進んでいる。

この10年間で映画館数が増えているのは関東地方と近畿地方、中国・四国地方、九州・沖縄地方で、九州・沖縄地方ではこの10年間で6館64スクリーン増加している。全人口、全映画館数に占める各地方のシェアを比較すると、中部地方と九州・沖縄地方が人口シェアに比べてスクリーンシェアが1%以上高い。

この10年間でスクリーン数が減少したのは、北海道・東北地方で7館10スクリーンの減少となっている。

ほとんどの地域において「シネコン」は、映画館数、スクリーン数ともに増加しているが、北海道・東北地方では2館4スクリーン減となっている。この10年間では、関東地方が12館133スクリーン増、中部地方が5館41スクリーン増、九州・沖縄地方でも7館61スクリーン増と大幅に増加している。

「シネコン以外」の数値は、ほとんどの地方で館数、スクリーン数ともに減少しているが、「ミニシアター / 名画座」はいずれの地方も10年前より増加している。この10年間で40館以上のミニシアター / 名画座及び既存興行館が開館しており、東京・大阪・名古屋・京都・広島といった大都市以外でも、那珂市(あまや座)、青梅市(シネマネコ)、上越市(高田世界館)、上田市(上田映劇 / トraum・ライゼ)、伊東市(金星シネマ)、丹波市(エビスシネマ)、益田市(小野沢シネマ)、下関市(シネマポスト)、唐津市(シアターエンヤ)、沖縄市(シアタードーナツ、シネプラザハウス1954)等々、20万人以下の中小市町村でのミニシアターの開館も続いている。

「既存興行館」はこの10年で、すべての地方で減少し、関東で10館27スクリーン減、中部地方は8館17スクリーン減、近畿地方4館16スクリーン減となっている。2025年には、東京「丸の内TOEI」、盛岡市「盛岡ピカデリー」、刈谷市「刈谷日劇」といった永年地域に親しまれてきた既存館が閉館している。

fig.05 映画館がある市町村の数(2025)

人口規模	市町村数	シェア	映画館がある市町村の数	割合*	映画館数	シェア
100万人以上	12	1%	12	100%	170	28%
50万～100万人	16	1%	16	100%	52	9%
30万～50万人	45	3%	42	93%	90	15%
20万～30万人	37	2%	30	81%	53	9%
10万～20万人	152	9%	95	63%	118	20%
5万～10万人	241	14%	56	23%	59	10%
5万人未満	1216	71%	55	5%	55	9%
	1719		306	18%	597	

— *該当する人口規模の市町村のうち映画館がある市町村の割合

人口規模と映画館

全市町村1719のうち、映画館があるのは306市町村18%にとどまっている。80%以上の1413市町村には映画館が存在せず、人口5万人未満の市町村の95%、1161の市町村には映画館が1館もない。14～15ページの地図をみてもわかる通り、映画館の空白地域が拡大している。これは、当たり前のことと思われるかもしれないが、文化を享受する権利において地域格差が生じていること、取りわけ、子どもたちの映画体験に大きな格差が生じるという点では大きな問題である。一方で、前述のように、中小都市において、新たに小規模映画館や定期的な上映の場をつくらうとする動きが増えている。これは、興行収入や観客動員数といった経済原理だけでははかることのできない、地域における上映活動の重要性を示す証左であると考えられる。このような上映活動を支えるためにも実態に対応した支援プログラムの実現が求められる。

→ fig.05, 06

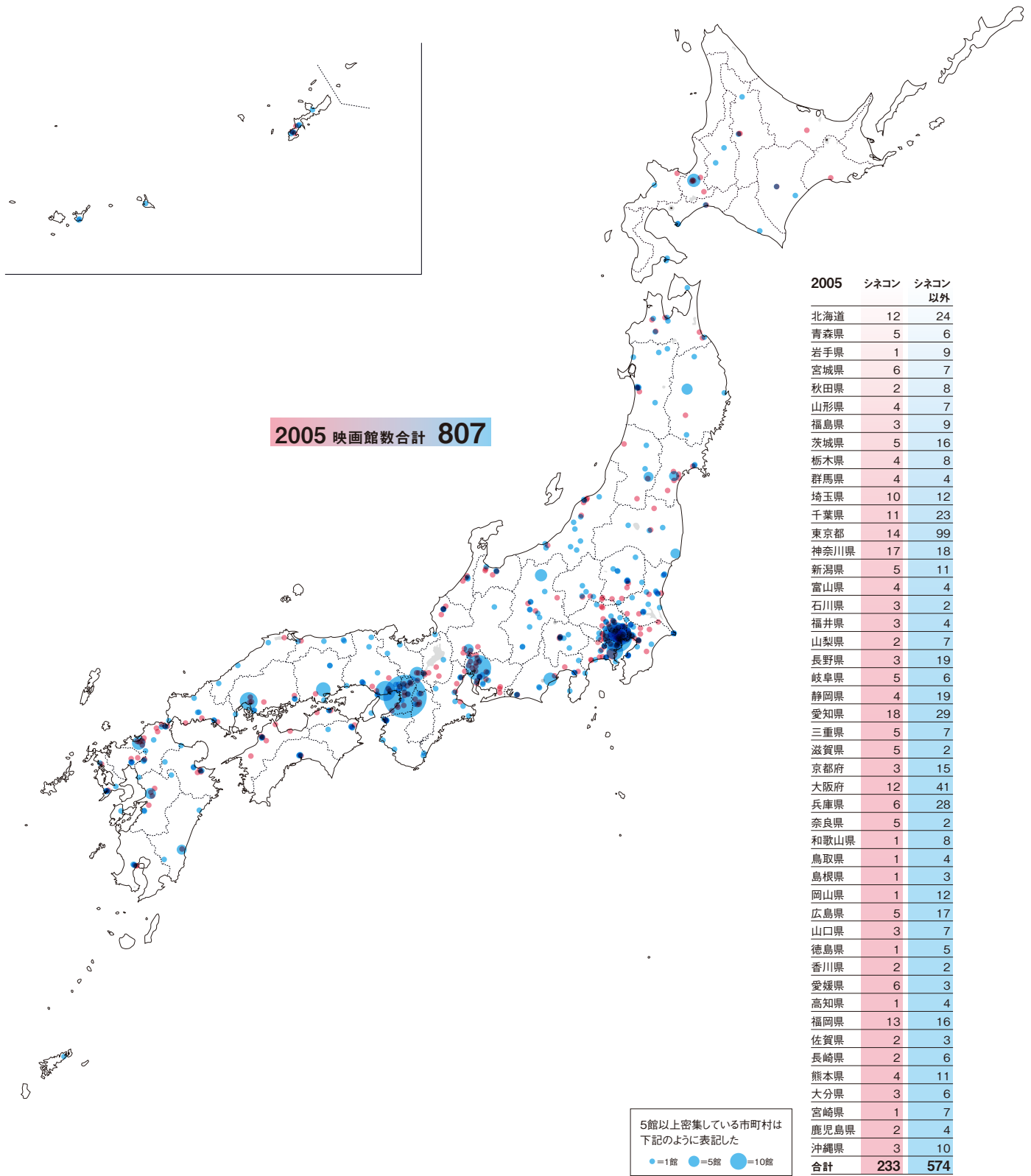
fig.06 地方別にみる種類別映画館数・スクリーン数の変化(2016-2025)

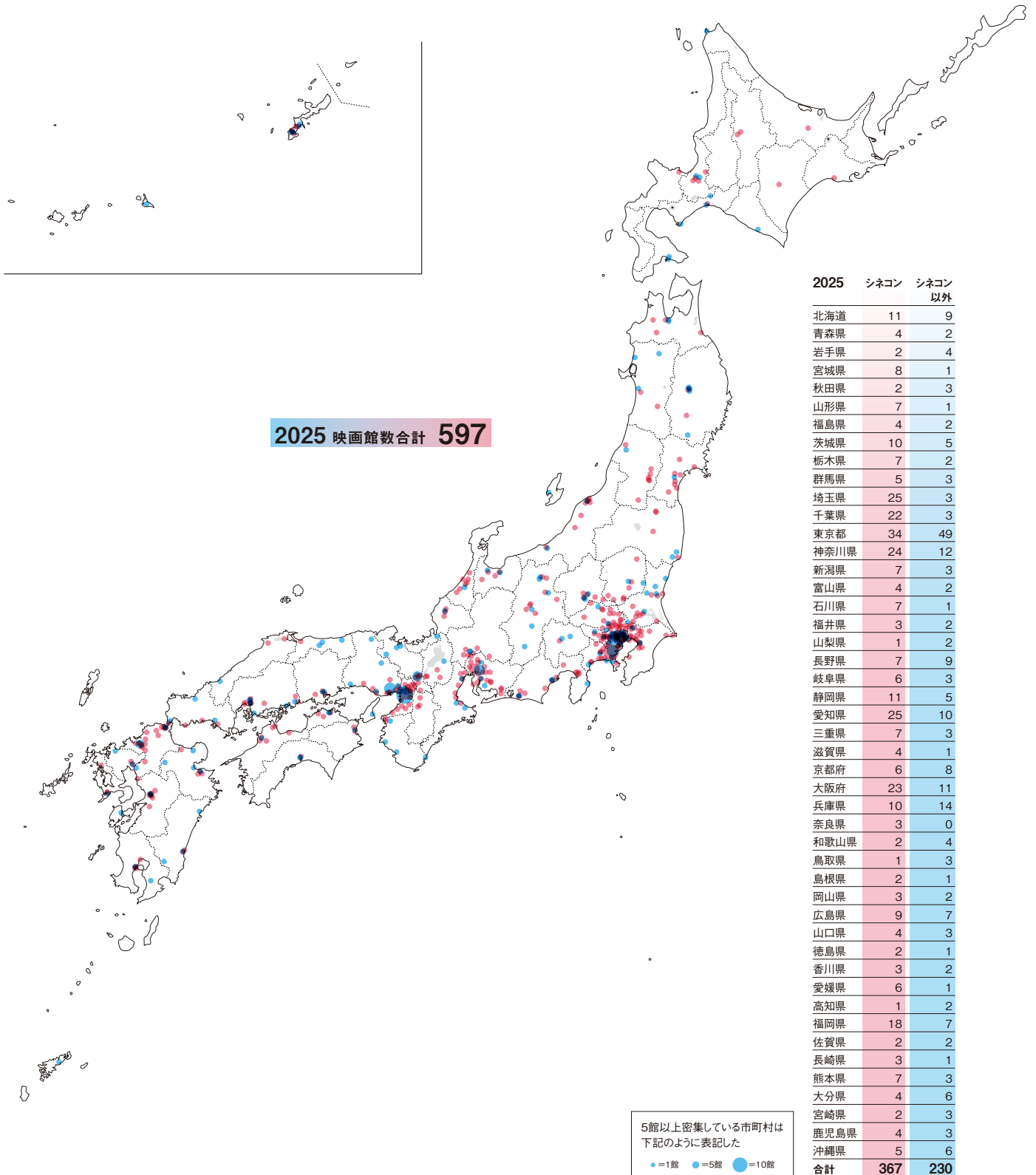
	2025		2024		2016		2016→2025		2024→2025		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
北海道・東北地方											
シネマコンプレックス	38	300	38	297	40	304	-2	-4	0	3	北海道・東北地方の人口
ミニシアター	9	21	9	21	9	20	0	1	0	0	2025
既存興行館	13	29	14	32	14	32	-1	-3	-1	-3	2016
成人映画館	0	0	2	2	4	4	-4	-4	-2	-2	増減(人)
シネコン以外	22	50	25	55	27	56	-5	-6	-3	-5	増減率(%)
北海道・東北地方合計	60	350	63	352	67	360	-7	-10	-3	-2	
関東地方											
シネマコンプレックス	127	1,194	127	1,194	115	1,061	12	133	0	0	関東地方の人口
ミニシアター	59	98	57	95	51	78	8	20	2	3	2025
既存興行館	14	26	16	30	24	53	-10	-27	-2	-4	2016
成人映画館	4	7	4	7	5	8	-1	-1	0	0	増減(人)
シネコン以外	77	131	77	132	80	139	-3	-8	0	-1	増減率(%)
関東地方合計	204	1,325	204	1,326	195	1,200	9	125	0	-1	
中部地方											
シネマコンプレックス	71	651	68	626	66	610	5	41	3	25	中部地方の人口
ミニシアター	23	33	23	33	17	24	6	9	0	0	2025
既存興行館	8	24	8	24	16	41	-8	-17	0	0	2016
成人映画館	6	6	6	6	10	10	-4	-4	0	0	増減(人)
シネコン以外	37	63	37	63	43	75	-6	-12	0	0	増減率(%)
中部地方合計	108	714	105	689	109	685	-1	29	3	25	
近畿地方											
シネマコンプレックス	55	516	55	516	54	498	1	18	0	0	近畿地方の人口
ミニシアター	21	44	20	43	15	29	6	15	1	1	2025
既存興行館	11	28	11	28	15	44	-4	-16	0	0	2016
成人映画館	9	10	9	10	11	12	-2	-2	0	0	増減(人)
シネコン以外	41	82	40	81	41	85	0	-3	1	1	増減率(%)
近畿地方合計	96	598	95	597	95	583	1	15	1	1	
中国・四国地方											
シネマコンプレックス	31	252	30	243	30	236	1	16	1	9	中国・四国地方の人口
ミニシアター	15	23	14	22	10	16	5	7	1	1	2025
既存興行館	5	8	5	8	8	17	-3	-9	0	0	2016
成人映画館	2	2	2	2	4	5	-2	-3	0	0	増減(人)
シネコン以外	22	33	21	32	22	38	0	-5	1	1	増減率(%)
中国・四国地方合計	53	285	51	275	52	274	1	11	2	10	
九州・沖縄地方											
シネマコンプレックス	45	415	45	415	38	354	7	61	0	0	九州・沖縄地方の人口
ミニシアター	20	33	19	32	13	21	7	12	1	1	2025
既存興行館	7	13	8	17	9	17	-2	-4	-1	-4	2016
成人映画館	4	6	4	6	10	11	-6	-5	0	0	増減(人)
シネコン以外	31	52	31	55	32	49	-1	3	0	-3	増減率(%)
九州・沖縄地方合計	76	467	76	470	70	403	6	64	0	-3	
全国											
シネマコンプレックス	367	3,328	363	3,291	343	3,063	24	265	4	37	全国の人口
ミニシアター	147	252	142	246	115	188	32	64	5	6	2025
既存興行館	58	128	62	139	86	204	-28	-76	-4	-11	2016
成人映画館	25	31	27	33	44	50	-19	-19	-2	-2	増減(人)
シネコン以外	230	411	231	418	245	442	-15	-31	-1	-7	増減率(%)
全国合計	597	3,739	594	3,709	588	3,505	9	234	3	30	

—人口：各都道府県発表(各年10月1日現在)参照

—映画館数・スクリーン数：『日本映画産業統計』(日本映画製作者連盟)、『映画上映活動年鑑』(コミュニティシネマセンター)参照

fig.07
 全国映画館地図(2005 / 2025)





I | 映画館での上映

2

公開本数・公開作品

公開本数

映画の公開本数は、1955年以降2004年までは大体550~650本を推移してきた。その後、デジタル化の進行とともに増加し続け、2013年には日本映画、外国映画とも500本以上が公開され、公開本数は1000本を越えた。2025年の映画公開本数は、日本映画694本、外国映画611本、合計1305本であった(映画発表数値)。前年の2024年(1190本)から大幅に増加している。

→ fig.08

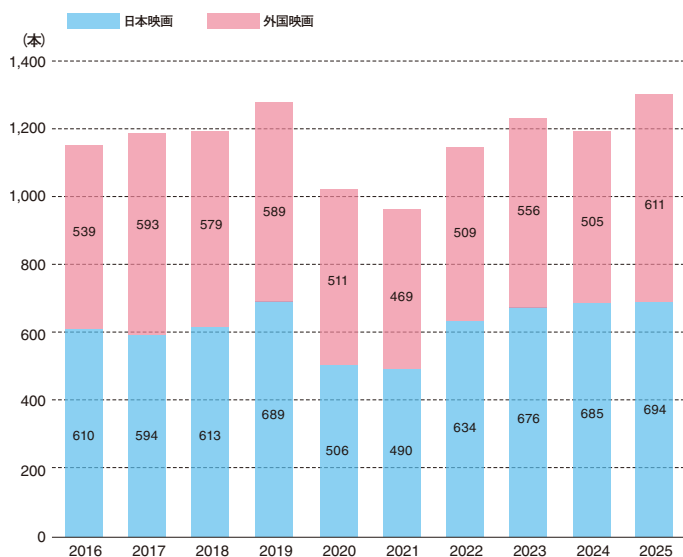
興行収入

2025年の興行収入は、日本映画が2075億6900万円(前年比133.2%)、外国映画が668億8300万円(前年比130.7%)、合計2744億5200万円前で前年比132.6%と大幅な伸びを示しており、2000年代以降最高だったコロナ禍直前の2019年をも上回り、歴代最高を記録した。

興行収入における日本映画のシェアは75.6%、外国映画は24.4%となっている。日本映画が7割以上を占めており、コロナ禍以降の外国映画のシェアの低迷が続いている(2017-2019年は外国映画が45%以上であった)。一方で、2025年は外国映画の興行収入も前年比130.7%と日本映画と同レベルの増加となり回復の兆しがみえる。

→ fig.09, fig.10

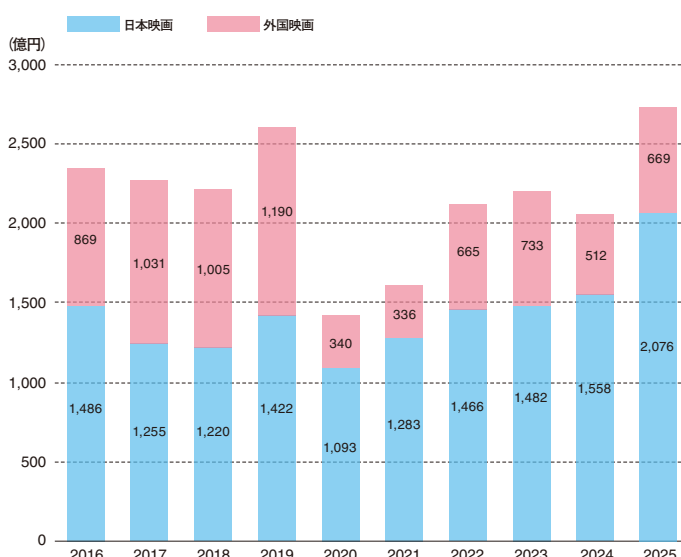
fig.08 公開本数の推移(2016-2025)



	公開本数			シェア	
	日本映画	外国映画	合計	日本映画	外国映画
2016	610	539	1,149	53.1%	46.9%
2017	594	593	1,187	50.0%	50.0%
2018	613	579	1,192	51.4%	48.6%
2019	689	589	1,278	53.9%	46.1%
2020	506	511	1,017	49.8%	50.2%
2021	490	469	959	51.1%	48.9%
2022	634	509	1,143	55.5%	44.5%
2023	676	556	1,232	54.9%	45.1%
2024	685	505	1,190	57.6%	42.4%
2025	694	611	1,305	53.2%	46.8%

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

fig.09 興行収入の推移(2016-2025)



	興行収入(億円)			シェア	
	日本映画	外国映画	合計	日本映画	外国映画
2016	1,486.08	869.00	2,355.08	63.1%	36.9%
2017	1,254.83	1,030.89	2,285.72	54.9%	45.1%
2018	1,220.29	1,004.82	2,225.11	54.8%	45.2%
2019	1,421.92	1,189.88	2,611.80	54.4%	45.6%
2020	1,092.76	340.09	1,432.85	76.3%	23.7%
2021	1,283.39	335.54	1,618.93	79.3%	20.7%
2022	1,465.79	665.32	2,131.11	68.8%	31.2%
2023	1,481.81	733.01	2,214.82	66.9%	33.1%
2024	1,558.00	511.83	2,069.83	75.3%	24.7%
2025	2,075.69	668.83	2,744.52	75.6%	24.4%

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

公開規模

コミュニティシネマセンターではネット上に掲載された情報等を元に独自に「公開作品リスト」を作成している。2025年の公開本数は日本映画673本、外国映画736本、合計1409本(ODS含)という数値を得ている。映連発表の数値は日本映画694本、外国映画611本、計1305本(ODSを加えると1521本)となっている。かなり大きな開きが出ているが、この要因としては以下のことが考えられる。

近年、旧作のデジタルリマスター版の再上映、特集上映の全国巡回が急増しており、どこまでを「公開作品」としてカウントするかによって、公開本数に差が生じる。コミュニティシネマセンターでは、デジタルリマスター版を中心に上映(配給)権を取得して巡回(複数の映画

館へ配給)されているものは原則として「公開作品」としてカウントしており、2025年の外国映画の公開本数736本のうち、旧作のデジタルリマスター版のリバイバル上映と特集上映は249本、約34%を占めるに至っている。特集上映の中には、数年前に上映した作品に新たにデジタルリマスターされた作品を追加して、「●●映画祭2025」といった形にして巡回(配給)されるものもあり、何を「公開作品」とするかを判断するのは容易ではない。また、映連発表ではODSの上映本数が邦画(日本映画)だけで132本に上っているが、コミュニティシネマセンターでは30本程度しか把握できていない。

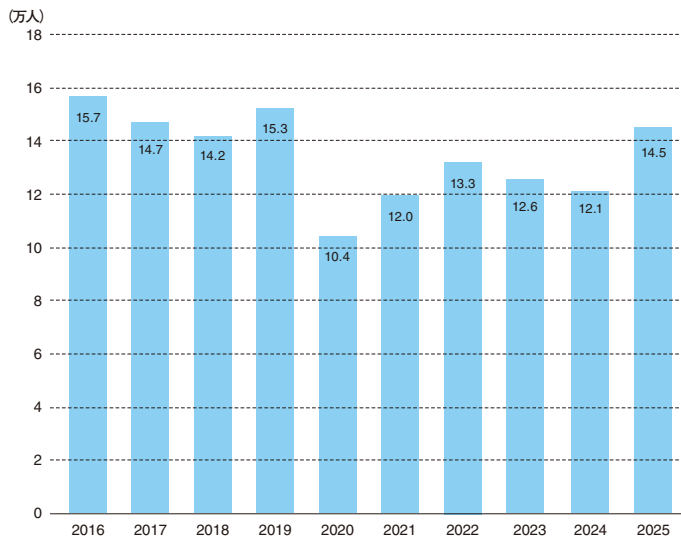
両者の数値の差は気になるところではあるが、前年からの継続性を鑑みて、以下ではコミュニティシネマセンターで得た数値を元に公

開作品の中味を見てみる。

公開規模

2025年に「300館以上」で公開されたのは、日本映画87本、外国映画29本であった。日本映画では370館以上で公開された作品は、400を越える映画館で公開され、実写映画歴代最高記録を更新し続けている『国宝』(6月)を筆頭に、興行収入391.4億円をあげた『劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来』(7月)、100億円を越えた『名探偵コナン 隻眼の残像(フラッシュバック)』(4月)や『劇場版「チェンソーマン レゼ篇」』(9月)、また、『映画ドラえもん のび太の絵世界物語』(3月)『映画クレヨンしんちゃん 超華麗!灼熱のカスカベダンス』(8月)といった定番作品などがあり、2025年もアニメーション映画は絶好調で

fig.10 1 作品当たりの観客数の推移(2016-2025)



	公開本数(本)	観客数(千人)	1作品当たりの観客数(人)	前年比
2016	1,149	180,189	156,822	10,141
2017	1,187	174,483	146,995	-9,828
2018	1,192	169,210	141,955	-5,040
2019	1,278	194,910	152,512	10,557
2020	1,017	106,137	104,363	-48,149
2021	959	114,818	119,727	15,364
2022	1,143	152,005	132,988	13,261
2023	1,232	155,535	126,246	-6,742
2024	1,190	144,441	121,379	-4,867
2025	1,305	188,756	144,641	23,262

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)参照

あった。また、人気ドラマの映画版『劇場版ドクター X』(24/12月)、『劇場版TOKYO MER 走る緊急救命室 南海ミッション』(8月)などが370館以上の映画館で公開されている。

外国映画では、『ミッション:インポッシブル/ファイナル・レコニング』(5月)、『アバター ファイヤー・アンド・アッシュ』(12月)、『ジュラシック・ワールド 復活の大地』(8月)といった話題作、『モアナと伝説の海2』(24/12月)、『ズートピア2』(12月)等のアニメーションなど13本が370館以上で公開された。300館以上で公開された作品は29本で昨年を上回っているが、興収を見ると、最もヒットした『ミッション:インポッシブル/ファイナル・レコニング』も52.8億円にとどまり、10億円以上の興収を上げた作品は12本となっている(日本映画は38本)。コロナ禍前の2019年には133億円の興収を得た『アナと雪の女王2』を筆頭に、25本の作品が10億円以上の興収を上げていたことを考えると、現状はかなり厳しいものがある。

2020年のコロナ禍以降、シネコンはそれまで上映しなかった多様な作品を上映するようになった。また、コロナ以前(2019年まで)は150館以上で大規模公開される作品のほとんどは「シネコンのみ」で上映されていたが、2021年以降はシネコン以外の映画館、ミニシアターでも上映されることが増え、その状況は2025年も継続している。シネコンとミニシアターの両方で公開される作品は、2019年は日本映画で104本(18%)、外国映画では125本(24%)であったが、2025年は日本映画で201本(30%)、外国映画では352本(48%)と倍増している。

かつては、シネコンで音楽やスポーツ関係「以外」のドキュメンタリー映画が上映されることはほとんどなかったが、2025年は『黒川の女たち』『小学校 それは小さな社会』、『104歳、哲代さんのひとり暮らし』『大きな家』といった話題を集めたドキュメンタリー映画がシネコンでも上映され、シネコンとミニシアターの上映作品における明確な線引きは薄れつつあるようだ。

そのような状況でも、ミニシアターでしか上映

されない作品の割合はあまり変化していない。ミニシアターのみで上映される作品は日本映画では238本(35%)、外国映画では262本(36%)となっている。「49館以下」の小規模公開作品の489本(全公開作品の34%)がミニシアターのみでの公開となっている。

ミニシアターでしか上映されない小規模作品の中には、国際映画祭等で高い評価を得た作品や、世界的巨匠の作品、重要なドキュメンタリー映画、多くの若い作り手たちの野心的な作品が含まれている。旧作のデジタルリマスター版のリバイバル上映や監督の特集上映なども、その多くはミニシアターのみで行われている。

公開作品の種類

日本映画

2025年の日本映画の公開本数は673本と前年を大きく上回った。

その内訳は劇映画369本(25増)、アニメーション80本(17増)、ドキュメンタリー99本(10増)、公演やライブ等のODSが30本(23減)、特集上映(旧作のデジタルリマスター版含む)が95本と前年(55本)の倍増に近い数となっている。

2025年は『国宝』が公開された年として記憶されることになるだろう。2025年6月に公開され、2026年になっても上映が続き、実写映画の歴代観客数の記録を更新、内外の多くの映画賞を受賞した。アニメーションは相変わらず好調で、「鬼滅の刃」の新作『劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来』(7月)は、400億円には至らなかったものの、歴代2位の391.4億円の大ヒットとなった。この2作品にけん引されるように、日本映画では10億円を越える作品が38作品に上った。

2025年のカンヌ国際映画祭では『国宝』の上映が話題になったが、ほかにも『8番出口』『遠い山なみの光』『見はらし世代』『ルノワール』といった作品が一举に上映され、8月のロカルノ映画祭では三宅唱監督『旅と日々』がグランプリを受賞、前年の山中瑤子

監督、空音央監督らに続き、日本映画の新しい世代の作り手が国際的に注目を集めた。『ルノワール』(早川千絵)、『今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は』(大九明子)、『ふつうの子ども』(呉美保)、『海辺へ行く道』(横浜聡子)など、子どもを描く女性監督の佳作も多くつくられた。コロナ禍の夏の高校生たちを描いた『この夏の星を見る』なども注目を集めた。

2025年は「戦後80年」という節目の年であり、これに関わる映画も公開された。沖縄の戦後を描いた『宝島』(9月)、原爆が投下された後の長崎を舞台とする『遠い山なみの光』(9月)、『木の上の軍隊』(7月)、『雪風 YUKIKAZE』(8月)、またアニメーション映画『ベリリユー 楽園のゲルニカ』(12月)などが大規模公開されている。

2025年も多くのドキュメンタリー映画が公開された。公開された99本のうち、52本がミニシアターのみで上映されている。

ドキュメンタリー映画では、第二次世界大戦末期の満州・黒川開拓団で行われた性接待の事実と帰国後の女性たちの人生を当事者たちの証言によって記録したドキュメンタリー『黒川の女たち』が注目を集め、徐々に公開館が増え、最終的に100館を越える映画館で上映された。

2023年の釜山、2024年のベルリン、2025年の山形と国際映画祭で上映され高い評価を得た、在日朝鮮人2世の映画作家・朴壽南(パク・スナム)と娘の朴麻衣(パク・マイ)が共同で監督した『よみがえる声』は、戦後から現在に至るまで差別を受け続けた在日朝鮮人、長崎、広島で被爆した朝鮮人被爆者を記録した重要なドキュメンタリーで30を越える映画館で上映されている。

東日本大震災から15年(2026年)を経て、自身の故郷である被災地を撮る若いつくり手が注目を集めた。石巻出身の佐藤そのみ監督のドキュメンタリー『春をかさねて』『あなたの瞳に話せたら』は大学の卒業制作としてつくられたもので、自主上映からスタートして、小規模ながら劇場公開もされ、話題を集めた。

fig.11 2025年に映画館で公開された作品の公開規模

日本映画																				
公開館数	2025				2024				2023				2019							
	シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ					
300館以上	87	13%	79	8	0	67	11%	59	8	0	59	9%	54	5	0	43	7%	43	0	0
150~299館	54	8%	36	18	0	50	8%	23	27	0	42	6%	27	15	0	39	7%	38	1	0
100~149館	45	7%	26	19	0	41	7%	14	27	0	34	5%	14	20	0	47	8%	28	19	0
70~99館	40	6%	19	21	0	46	8%	18	28	0	39	6%	20	19	0	32	6%	16	14	2
50~69館	62	9%	17	41	4	48	8%	11	37	0	51	8%	20	29	2	42	7%	22	16	4
30~49館	73	11%	25	37	11	65	11%	23	29	13	64	10%	10	47	7	55	10%	28	15	12
10~29館	159	24%	18	42	99	117	19%	11	43	63	169	26%	19	45	105	125	22%	42	21	62
2~9館	153	23%	14	15	124	170	28%	13	28	129	198	30%	14	28	156	194	34%	13	18	163
公開本数合計①	673				604				656				577							
		234	201	238		172	227	205		178	208	270		230	104	243				
		35%	30%	35%		28%	38%	34%		27%	32%	41%		40%	18%	42%				
49館以下で公開された作品本数	385				352				431				374							
うちミニシアターのみでの上映作品	234 61%				205 58%				268 62%				237 63%							
その他(東京1館のみでの公開など)	113				84				86				73							
日本映画公開本数合計②	786				688				742				650							
外国映画																				
公開館数	2025				2024				2023				2019							
	シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ					
300館以上	29	4%	26	3	0	34	5%	31	3	0	30	5%	29	1	0	32	6%	32	0	0
150~299館	28	4%	17	11	0	39	5%	26	13	0	26	4%	21	5	0	18	4%	16	2	0
70~149館	87	12%	29	56	2	78	11%	15	63	0	66	10%	13	53	0	42	8%	17	23	2
50~69館	90	12%	21	64	5	84	12%	7	75	2	81	13%	6	73	2	33	6%	3	20	10
30~49館	147	20%	8	105	34	112	16%	1	83	28	123	19%	5	84	34	97	19%	4	44	49
10~29館	225	31%	13	92	120	206	29%	10	90	106	243	38%	30	72	141	174	34%	25	27	122
2~9館	130	18%	8	21	101	158	22%	2	16	176	65	10%	4	14	47	118	23%	17	9	92
公開本数合計①	736				711				634				514							
		122	352	262		92	343	312		108	302	224		114	125	275				
		17%	48%	36%		13%	48%	44%		17%	48%	35%		22%	24%	54%				
49館以下で公開された作品本数	502				476				431				389							
うちミニシアターのみでの上映作品	255 51%				310 65%				222 52%				263 68%							
その他(都内1~2館での上映など)	88				53				89				128							
外国映画公開本数合計②	824				764				723				642							
日本映画①+外国映画①	1409				1315				1290				1091							
		356	553	500		264	570	517		286	510	494								
		25%	39%	35%		20%	43%	39%		22%	40%	38%								

2024年に大きな注目を集めたドキュメンタリー映画『どうすればよかったか?』は、2025年も上映が続き、シネコンにまで拡大、公開館は130館を越えている。日本の公立小学校の子どもたちの生活を描き、海外で注目を集めたドキュメンタリー『小学校 それは小さな社会』(24/12月)、児童養護施設で暮らす子どもたちの日常に密着した『大きな家』(24/12月)といった作品は、映画ファンに止まらない幅広い層の観客を得ている。

2025年の日本映画公開作品の新しい傾向として、デジタルリマスター版の公開(リバイバル)が非常に増えた(2024年19本→2025年40本)ことがある。コロナ禍後、この傾向は、外国映画ではすでに顕著になっていたが、2025年は日本映画でも、『リング/リングダ』(2005)、『Love Letter』(1995)、『呪怨』、『呪怨2』(2000)、『狂い咲きサンダーロード』(1980)、『お引越し』(1993)、『夏の庭』(1994)といった作品の4Kリマスター版が公開されて話題を集めた。アニメーション映画でも「新世紀エヴァンゲリオン劇場版」2作品(1997)、「エヴァンゲリオン新劇場版」2作品(2007/2009)、「デビルマン」2編(1987/1990)、押井守監督の『GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊』(1996)、『イノセンス』(2004)、宮崎駿監督『もののけ姫』(1997)などがデジタルリマスター版で次々に公開され、多くのアニメーションファンを集めている。特集上映の巡回(配給)も増えている。

外国映画

外国映画は、2025年は736本が公開されている。外国映画が不調と言われる中でも、多くの配給会社によって様々な国の多様な作品が配給された。ジャンル別では、劇映画の新作が324本(9減)、アニメーション30本(2減)、ドキュメンタリー62本(9増)、ODS71本(28増)、特集上映(旧作のデジタルリマスター版含む)が249本(1減)で、公開作品全体の34%を占めている。前述のように、2025年、外国映画で最もヒットしたのは『ミッション:インポッシブル ファイナル・レコニング』(52.8億円)で、8月に公開された『ジュラシック・ワールド 復活の

fig.12 2025年に公開された映画の分類

日本映画	2025	2024	2023	2019
一般映画新作(劇映画)	369	344	384	380
一般映画新作(アニメーション)	80	63	93	94
ドキュメンタリー	99	89	84	71
ODS	30	53	23	32
旧作デジタルリマスター版	40	19		
特集上映(旧作デジタルリマスター版含む)	55	36	72	
日本映画合計①	673	604	656	577
上記の他、公開館数1館(短篇・若手・その他)	113	84	86	73
日本映画合計②	786	688	742	650
外国映画	2025	2024	2023	2019
一般映画新作(劇映画)	324	333	304	330
一般映画新作(アニメーション)	30	32	25	16
ドキュメンタリー	62	53	55	55
ODS	71	43	53	47
旧作デジタルリマスター版	107	66	43	35
特集上映(旧作デジタルリバイバル)41企画(2024)	142	184	154	31
外国映画合計①	736	711	634	514
上記の他、1館(あるいは2、3館)のみでの上映	88	53	89	128
外国映画合計②	824	764	723	642
日本映画①+外国映画①	1409	1315	1290	1091

大地』が49.0億円となっている。ほかには特に目立ったヒット作品はなく、興収10億円以上の作品は12作品に留まっている。

とはいえ、アカデミー賞を受賞したポール・トーマス・アンダーソン監督『ワン・バトル・アフター・アナザー』、ショーン・ベイカー監督『ANORA』、ボン・ジュノ監督『ミッキー 17』、アリ・アスター監督『エディントンへようこそ』、ウェス・アンダーソン監督『ザ・ザ・コルダのフェニキア計画』といった作家の作品や、ティモシー・シャルメの熱演が話題となった『名もなき者 A COMPLETE UNKNOWN』(24/12月)、ブラッド・ピットの魅力全開の『F1/エフワン』、ミニシアター中心の公開ながら大ヒットとなった『教皇選挙』など、映画ファンの心を掴む作品も数多く公開されている。コロナ禍後の、外国映画新作の低迷傾向は続いているといわれるが、ミニシアターとシネコン両方で公開されることでより多くの観客を集める可能性をもつ作品は増えているように思われる。

ミニシアターを中心に公開されるヨーロッパ映画やアジア映画が集客に腐心する中、香港で歴代第一位を記録した『トワイライト・ウォリア

ーズ 決戦!九龍城砦』は、公開後、徐々に熱烈なファンを獲得、5億円を越える大ヒットとなった。

ハリウッド以外のアニメーションでは、中国の『羅小黑戦記2 ほくらが望む未来』が200館を越える公開となったほか、大作以外のアニメーションでは、ミニシアターを中心に公開された『Flow』、新潟国際アニメーション映画祭で受賞した『かたつむりのメモワール』や『パフィンのお小さな島』などが話題を集めた。

ドキュメンタリーは62本が公開された。女性に関わる2つのドキュメンタリー映画が注目を集めた。『女性の休日』(10月)は、1975年、アイスランドで行われた女性たちが職場や家庭の仕事を放棄したストライキ「女性の休日」を題材とするドキュメンタリーで、公開されるや共感の輪が広がり、映画館以外にも多くの会場で上映されている。もう1本は、映像ジャーナリストの伊藤詩織が、自身の受けた性暴力について調査に乗りだす姿を記録したドキュメンタリー『Black Box Diaries』。12月に1館のみで公開、瞬く間に50館を越える映画館に広がっている。

2025年もジャズ、ロック、クラシックなど幅広いジャンルの音楽系のドキュメンタリーが多く公開された。ミシェル・ルグランやハンス・ジマーといった映画音楽の巨匠のドキュメンタリーが映画ファンを喜ばせている。

イランの名匠モフセン・マフマルバフ監督とハナ・マフマルバフ監督がアフガニスタンとイスラエルで撮った2作品(『子どもたちはもう遊ばない』『苦悩のリスト』24/12月)、ワン・ビン監督の「青春三部作」(4月)といった重要な作品もミニシアターを中心に上映されている。

2026年2月、ドキュメンタリー映画の巨匠フレデリック・ワイズマン監督の訃報が届き、世界中の映画作家、映画ファンがその死を悼んだ。コロナ禍の2020年以降に顕著な傾向として旧作のリバイバル公開、特集上映が非常に増えているということがある。2025年も100本を越える旧作のデジタルリマスター版が公開され、30を越える特集上映が行われている。

デジタルリマスター版のリバイバル公開では、『アバター』(2009)と『アバター ウェイ・オブ・ウォーター』(2022)が新作の公開に合わせて公

開され、『バック・トゥ・ザ・フューチャー』(1985)がIMAXで上映され、『ロード・オブ・ザ・リング 王の帰還 スペシャル・エクステンデッド・エディション』(2005)、『ターミネーター』(1984)といった大作が公開され、80~2000年代のミニシアター系のヒット作『バグダッド・カフェ』(1987)、『グラン・ブルー 完全版』(1988)、『新ドイツ零年』(1991)、『デリカテッセン』(1991)、『冬冬の夏休み』(1984)、エドワード・ヤンの『カップルズ』(1996)『ヤンヤン 夏の想い出』(2000)、『ONCE ダブリンの街角で』(2006)といった作品が次々に公開され、12月には、満を持してレオス・カラックスの『ポンスフの恋人』が上映され、多くの観客を集めた。また、長らく「幻の映画」とされてきた『落下の王国』(2006)のデジタルリマスター版が11月に公開され、“目も眩むほどに美しい圧巻の〈映像詩〉的アート体験”が話題となり、公開24日間で2億円を超える興行収入を記録する異例のヒットとなった。

さらに、『天国の日々』(1978)、『バッドランズ』(1973)、『パピヨン』(1973)といった長らくスク

リーンで見ることができなかった作品のデジタルリマスター版が公開されている。

また、2025年は30企画を越える特集上映が生まれ、140本を越える映画が上映された。旧作の特集上映が盛んに行われるという現象は、日本特有のものではなく、ヨーロッパや韓国、台湾等でも同様であるが、東京で行われる特集上映の多彩さは世界的にも群を抜いており、これが、コロナ後の映画館で若い観客を拡大する一助ともなっているようである。

2025年の主な特集上映

〈外国映画〉

スティーヴン・スピルバーグ IMAX映画祭

ルネ・ラルー ファンタスティック・コレクション

ショーン・ベイカー初期傑作選

《北欧の至宝》マッツ・ミケルセン生誕60周年祭

映像詩人アルペール・ラモリスの知られざる世界

オスロ、3つの愛の風景

オリヴェイラ2025 没後10年 マノエル・ド・オリヴェイラ特集

サタジット・レイ レトロスペクティブ2025

ラウラ・シタレラ監督特集

メーサーロシュ・マルタ監督特集 第2章

ペドロ・コスタ はじまりの刻 1989-1997

ネリー・カブラン レトロスペクティブ

ジャック・ロジエ監督特集

特集「男と女-クロニクルズ」

台湾巨匠傑作選2025

アメリカ黒人映画傑作選

特集「ミゲル・ゴメス アーリーワークス」

映画監督チャン・ゴンジェ 時の記憶と物語の狭間で

ベルトラン・マンディコ特集 ピンク・ネオン・アポカリプス

ペルー映画祭 vol.3

興行収入10億円を超える映画/
10億円以下の映画

2025年、興行収入10億円を越えた映画は日本映画38本、外国映画12本の50本(2024年41本、2019年65本)であった。本数では全公開本数1305本の3.8%、興行収入では、日本映画約1672.2億円、外国映画350.5億円で合計2022.7億円となり、全興行収入の73.7% (2024年62.9%、2019年76.9%)を占め、前年を10%以上、上回っている。

→fig.13, 14, 15, 16, 17

fig.14 2025年興行収入10億円以上作品[外国映画]

順位	公開月	作品名	興行収入(億円)	ジャンル	配給会社
1	5月	ミッション:インポッシブル ファイナル・レコニング	52.8	劇映画	東和ビクチャーズ
2	24/12月	モアナと伝説の海2	51.7	アニメーション	WDS
3	8月	ジュラシック・ワールド 復活の大地	49	劇映画	東宝東和
4	4月	マインクラフト ザ・ムービー	39.4	劇映画	WB
5	3月	ウィキッド ふたりの魔女	35.4	劇映画	東宝東和
6	6月	リロ&スティッチ	33.9	劇映画	WDS
7	24/12月	ライオン・キング:ムファサ	22.5	劇映画	WDS
8	6月	F1/エフワン	21.3	劇映画	WB
9	3月	教皇選挙	11.5	劇映画	キノフィルムズ
10	2月	キャプテン・アメリカ:ブレイブ・ニュー・ワールド	11.4	劇映画	WDS
11	5月	サンダー・ボルツ*	11.3	劇映画	WDS
12	7月	スーパーマン	10.3	劇映画	WB
合計			350.5		

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)参照

fig.13 2025年興行収入10億円以上作品[日本映画]

順位	公開月	作品名	興行収入(億円)	ジャンル	配給会社
1	7月	劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来	391.4	アニメーション	東宝/アニプレックス
2	6月	国宝	195.5	劇映画	東宝
3	4月	名探偵コナン 隻眼の残像(フラッシュバック)	147.4	アニメーション	東宝
4	9月	劇場版「チェンソーマン レゼ篇」	104.3	アニメーション	東宝
5	24/12月	はたらく細胞	63.6	劇映画	WB
6	8月	劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッション」	52.9	劇映画	東宝
7	8月	8番出口	51.7	劇映画	東宝
8	3月	映画ドラえもん のび太の絵世界物語	46.1	アニメーション	東宝
9	24/12月	映画「グランメゾン・パリ」	42	劇映画	東宝/SPE
10	1月	機動戦士Gundam GQuuuuuuX -Beginning-	36.2	アニメーション	東宝/バンダイナムコフィルムワークス
11	24/12月	劇場版 忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師	33.5	アニメーション	松竹
12	24/12月	劇場版ドクター X	32.8	劇映画	東宝
13	10月	爆弾	31.6	劇映画	WB
14	2月	ファーストキス 1ST KISS	28.8	劇映画	東宝
15	2月	映画 ヒブノシスマイク -Division Rap Battle-	26.4	アニメーション	TOHO NEXT
16	1月	366日	25.8	劇映画	SPE/松竹
17	9月	ブラック・ショーマン	24	劇映画	東宝
18	8月	映画クレヨンしんちゃん 超華麗! 灼熱のカスカベダンス	23.6	アニメーション	東宝
19	10月	秒速5センチメートル	23	劇映画	東宝
20	4月	#真相をお話しします	21.2	劇映画	東宝
21	11月	劇場版 呪術廻戦「渋谷事変 特別編集版」×「死滅回遊 先行上映」	20.9	アニメーション	東宝
22	2月	劇場版「トリオンゲーム」	20.5	劇映画	東宝
23	5月	劇場版うたの☆プリンスさまっ♪TABOO NIGHT ××××	19.8	アニメーション	松竹
24	6月	ドールハウス	19.1	劇映画	東宝
25	6月	フロントライン	17.1	劇映画	WB
26	11月	TOKYOタクシー	16.5	劇映画	松竹
26	11月	栄光のバックホーム	16.5	劇映画	GAGA
28	1月	アンダーニンジャ	15.9	劇映画	東宝
29	8月	近畿地方のある場所について	15.6	劇映画	WB
30	1月	劇場版プロジェクトセカイ 壊れたセカイと歌えないミク	15	アニメーション	松竹
31	11月	MGA MAGICAL 10 YEARS ANNIVERSARY LIVE ~FJORD~ ON SCREEN	14.2	ODS	TOHO NEXT
32	10月	『もののけ姫』4Kデジタルリマスター	12.8	アニメーション	東宝
33	9月	映画キミとアイドルプリキュア♪ お待たせ! キミに届けるキラッキライブ!	12	アニメーション	東映
34	6月	KING OF PRISM -Your Endless Call- みーんなきらめけ! プリズム☆ツアーズ	11.8	アニメーション	エイベックス・フィルム レーベルズ
35	9月	沈黙の艦隊 北極海大海戦	11.5	劇映画	東宝
36	3月	35年目のラブレター	10.8	劇映画	東映
37	1月	劇映画 孤独のグルメ	10.3	劇映画	東宝
38	7月	事故物件ゾク 怖い間取り	10.1	劇映画	松竹
合計			1672.2		

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)参照

fig.15 2025年興行収入上位20作品

順位	公開月	作品名	興行収入 (億円)	ジャンル	日本映画/外国映画	配給会社
1	7月	劇場版「鬼滅の刃」無限城編 第一章 猗窩座再来	391.4	アニメーション	日本映画	東宝/アニプレックス
2	6月	国宝	195.5	劇映画	日本映画	東宝
3	4月	名探偵コナン 雙眼の残像(フラッシュバック)	147.4	アニメーション	日本映画	東宝
4	9月	劇場版「チェンソーマン レゼ篇」	104.3	アニメーション	日本映画	東宝
5	24/12月	はたらく細胞	63.6	劇映画	日本映画	WB
6	8月	劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッション」	52.9	劇映画	日本映画	東宝
7	5月	ミッション：インポッシブル/ファイナル・レコニング	52.8	劇映画	外国映画	東和ピクチャーズ
8	8月	8番出口	51.7	劇映画	日本映画	東宝
9	24/12月	モアナと伝説の海2	51.7	アニメーション	外国映画	WDS
10	8月	ジュラシック・ワールド/復活の大地	49	劇映画	外国映画	東宝東和
11	3月	映画ドラえもん のび太の絵世界物語	46.1	アニメーション	日本映画	東宝
12	24/12月	映画「グランメゾン・パリ」	42	劇映画	日本映画	東宝/SPE
13	4月	マイクラフト/ザ・ムービー	39.4	劇映画	外国映画	WB
14	1月	機動戦士Gundam GQuuuuuuX -Beginning-	36.2	アニメーション	日本映画	東宝/バンダイナムコフィルムワークス
15	3月	ウィキッド ふたりの魔女	35.4	劇映画	外国映画	東宝東和
16	6月	リロ&スティッチ	33.9	劇映画	外国映画	WDS
17	24/12月	劇場版 忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師	33.5	アニメーション	日本映画	松竹
18	24/12月	劇場版ドクター X	32.8	劇映画	日本映画	東宝
19	10月	爆弾	31.6	劇映画	日本映画	WB
20	2月	ファーストキス 1ST KISS	28.8	劇映画	日本映画	東宝
合計			1520			
2025年興行収入			2744.5			
2025年興行収入10億円以上作品			2022.7			
興行収入10億円以上作品の割合			73.7%			

fig.16 興行収入10億円以上の作品/興行収入10億円未満(2025)

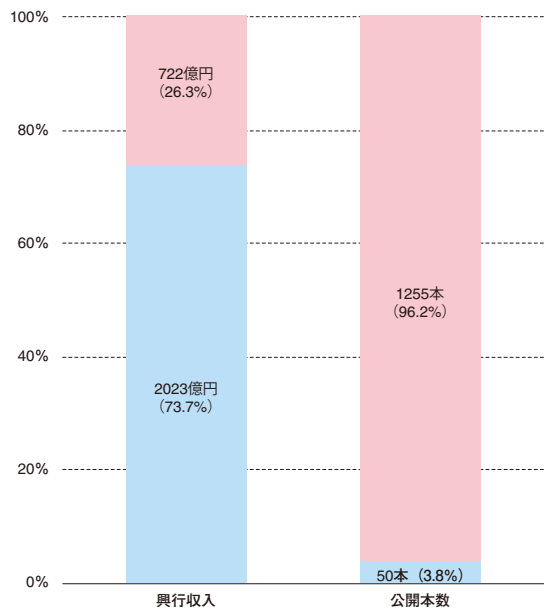


fig.17 興行収入10億円以上の映画/興行収入10億円未満の映画(2016-2025)

年	全体	10億円以上		10億円未満	
		興収	割合	興収	割合
2016	2,355	1,763	74.9%	592	25.1%
2017	2,286	1,618	70.8%	667	29.2%
2018	2,225	1,563	70.2%	662	29.8%
2019	2,611	2,009	76.9%	602	23.1%
2020	1,433	912	63.7%	521	36.3%
2021	1,619	1,006	62.2%	613	37.8%
2022	2,131	1,532	71.9%	599	28.1%
2023	2,215	1,463	66.1%	752	33.9%
2024	2,070	1,303	62.9%	767	37.1%
2025	2,745	2,023	73.7%	722	26.3%

年	全体	10億円以上		10億円未満	
		本数	割合	本数	割合
2016	1149	61	5.3%	1088	94.7%
2017	1187	62	5.2%	1125	94.8%
2018	1192	54	4.5%	1138	95.5%
2019	1278	65	5.1%	1213	94.9%
2020	1017	25	2.5%	992	97.5%
2021	959	37	3.9%	922	96.1%
2022	1143	41	3.6%	1102	96.4%
2023	1232	49	4.0%	1183	96.0%
2024	1190	41	3.4%	1149	96.6%
2025	1305	50	3.8%	1255	96.2%

—fig. 16, 17ともに「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)参照

I | 映画館での上映

3

諸外国との比較 [2024]

※各国のデータについては、以下を参照した。

“Focus 2025 – World film market trends”

『映画年鑑2025』「統計編 世界主要各国映画諸統計」
(キネマ旬報社刊)フランス
フランス国立映画センター
Centre National du Cinema et de l'Image Animee (CNC)
“Bilan du CNC”
<https://www.cnc.fr/creation-numerique/etudes-et-rapports/bilans>イギリス
英国映画協会
British Film Institute (BFI) “Statistical Yearbook”
<http://www.bfi.org.uk/education-research/film-industry-statistics-research/statistical-yearbook>ドイツ
ドイツ映画振興協会
Filmförderungsanstalt (FFA) “FFA Info”
<http://www.ffa.de/marktdaten.html>オーストラリア
スクリーン・オーストラリア
Screen Australia “Fact Finders”
<https://www.screenaustralia.gov.au/fact-finders/>韓国
韓国映画振興委員会 영화진흥위원회 (KOFIC)
「韓国映画産業決算」
<http://www.kofic.or.kr/kofic/business/rsch/findPolicyList.do>

2026年2月現在、まだ、諸外国の2025年のデータはインターネット上に公開されていないため、以下では、2024年の日本と諸外国のデータを比較している。

観客数

2020~2022年、世界中の映画産業がコロナ禍で大きな打撃を受けた。終息の時期は国によって異なるが、日本では2022年にはすでに映画館の観客数が回復する兆しが見られ、2023年の観客数は1億5553万5000人と、コロナ前(2014年)の97%まで回復した。2024年の観客数はやや減少したが、1億4444万1000人で2015年の87%、他国と比較すると順調に回復しているように見える(2025年は歴代最高の興行収入となった)。諸外国の2024年の観客数をみると、フランスが2015年比88%、中国80%、イギリス74%と、まずまず順調に回復しているが、アメリカ・カナダは58%、韓国57%、オーストラリア55%に

留まり、回復に時間を要しているようである。観客数を人口で割った国民1人当たりの年間鑑賞本数は、韓国が2.4本(←4.3)、アメリカ・カナダ2.0本(←3.7)、フランス2.6本(←3.2)、オーストラリア1.8本(←3.8)、イギリスは1.8本(←2.6)と、()内の10年前の数値からかなり下がったままである。一方、日本の年間鑑賞本数は、2021年0.9本、2022年1.2本、2023年1.3本、2024年は1.2本と順調に回復、さらに2025年にはコロナ前を上回る1.5本となっている。とはいえ、他国に比べると元々年間鑑賞本数が少なく、ドイツ、中国と最下位を争っている。

→ [fig.18, 19](#)

映画館数・スクリーン数

いずれの国も、シネマコンプレックスの増加を背景に2019年までは、スクリーン数は増加を続けていた。コロナ禍の2020年に減少に転じ(フランスと日本は微増、中国は増加)、さらに影

響が広がることが懸念されたが、2021年以降は多くの国が微増に転じ、2024年も極端な変化はみられない。10年前と比較するとアメリカ・カナダを除くすべての国でスクリーン数は増加しており、特に、韓国では約1000スクリーン増加、中国では10年前の約3倍、9万スクリーンを越える激増となっている。コロナによる映画館への影響を抑えるべく、すべての国において、様々な形で映画館を守るための支援策がこじられたことなどにより、コロナ禍による閉館は小規模なものにとどまったと考えられる。

2024年のスクリーン数は、中国が9万968スクリーンと群を抜いている。また、アメリカ・カナダが3万8592スクリーンと他の国に比べて圧倒的に多く、次いでフランスが6354、ドイツ4842、イギリス4682スクリーンと続く。

人口をスクリーン数で割った「1スクリーン当たりの人口」は、その数値が低いほどスクリーンが多く、身近にスクリーンが存在しているとみることができる。この数値をみると、日本は33,425人に1スクリーンと、他の国に比べてスクリーンが極端に少ない。アメリカ・カナダは9,883人に1スクリーン、フランスは10,789人に1スクリーンで、日本以外の7ヶ国はいずれも1スクリーン当たりの人口が1万人台、あるいはそれ以下におさまっており、日本のスクリーン数は、アメリカ・カナダやフランス、オーストラリアの3分の1、韓国、ドイツ、イギリス、中国の2分の1程度しかない状態が続いている。(スクリーン数のカウントの方法が、諸外国と日本で異なっている可能性もある)

→ [fig.20, 21, 22](#)

興行収入・入場料金

各国の興行収入や入場料金については、『世界主要各国映画諸統計』および「Focus 2025」を基礎資料としており、この中で各国の興行収入等は米ドルで記載されている。fig24の注にあるように、本年鑑では米ドルをさらに当該年の為替レートで円に換算した数値を示している。現在のような形で「諸外国との比較」を行うようになって10年となるが、その間の為替

fig.18 諸外国との比較[観客数](2015-2024)

	アメリカ・カナダ*	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
人口(2024)	381,400	68,552	83,517	69,226	51,751	1,422,585	27,197	123,975
2015	1,320,000	205,400	139,200	171,900	217,290	1,260,000	90,300	166,630
2016	1,320,000	213,200	121,100	168,300	217,020	1,370,000	91,300	180,189
2017	1,240,000	209,400	122,300	170,600	219,870	1,620,000	85,000	174,483
2018	1,300,000	201,200	105,400	177,000	216,390	1,720,000	89,800	169,210
2019	1,240,000	213,200	118,600	176,100	226,680	1,730,000	84,700	194,910
2020	240,000	65,300	38,100	44,000	59,520	548,000	28,200	106,137
2021	470,000	95,500	42,100	74,000	60,528	1,170,000	39,700	114,818
2022	715,100	152,000	78,000	117,300	112,805	712,000	57,900	152,005
2023	831,300	180,400	95,700	123,600	125,140	1,299,000	58,100	155,535
2024	762,000	181,500	90,100	126,500	123,130	1,010,000	49,600	144,441
2015→2024の変化	58%	88%	65%	74%	57%	80%	55%	87%

単位:千人

fig.19 諸外国との比較[年間鑑賞本数](2015-2024)

	アメリカ・カナダ*	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
2015	3.7	3.2	1.7	2.6	4.3	0.9	3.8	1.3
2016	3.7	3.3	1.5	2.6	4.2	1.0	3.7	1.4
2017	3.4	3.2	1.5	2.6	4.3	1.1	3.4	1.4
2018	3.6	3.1	1.3	2.7	4.2	1.2	3.6	1.3
2019	3.4	3.3	1.4	2.6	4.4	1.2	3.3	1.5
2020	0.6	1.0	0.5	0.7	1.1	0.4	1.1	0.8
2021	1.3	1.5	0.5	1.1	1.2	0.8	1.6	0.9
2022	1.9	2.3	0.9	1.9	2.2	0.5	2.2	1.2
2023	2.2	2.7	1.1	1.8	2.4	0.9	2.2	1.3
2024	2.0	2.6	1.1	1.8	2.4	0.7	1.8	1.2

*アメリカ映画協会(Motion Picture Association of America, MPAA)は、観客数について、アメリカとカナダをあわせた数値を公表している。

fig.20 諸外国との比較[スクリーン数](2015-2024)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス*	イギリス(旧)	韓国	中国	オーストラリア	日本
2015	40,006	5,741	4,692	-	4,046	2,424	31,627	2,080	3,437
2016	40,174	5,842	4,739	4,327	4,150	2,575	41,179	2,121	3,476
2017	40,393	5,913	4,803	4,512	4,264	2,766	50,776	2,210	3,530
2018	40,837	5,983	4,849	4,640	4,340	2,937	60,079	2,278	3,591
2019	41,172	6,114	4,961	4,782	4,480	3,079	69,787	2,310	3,627
2020	40,998	6,127	4,926	4,682	-	3,015	75,581	2,229	3,669
2021	40,578	6,193	4,931	4,610	-	3,254	82,248	2,290	3,687
2022	42,063	6,298	4,911	4,720	-	3,322	83,998	2,189	3,634
2023	41,077	6,320	4,901	4,749	-	3,371	86,310	2,272	3,682
2024	38,592	6,354	4,842	4,682	-	3,296	90,968	2,244	3,709
2015→2024の変化	96.5%	110.7%	103.2%	-	-	136.0%	287.6%	107.9%	107.9%

*イギリスは、2020年よりスクリーン数及び映画館数の算出方法を変更、新しい算出方法では2016年以降の数値のみ公表している。ここでは、スクリーン数の10年間の比較ができるよう、2019年までの旧式の算出方法によるデータも併記している。

fig.21 諸外国との比較[映画館数](2019-2024)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス*	韓国	中国	オーストラリア	日本
2019	-	2,045	1,734	1,080	513	-	524	593
2020	-	2,041	1,728	985	474	-	472	595
2021	-	2,028	1,723	928	542	-	501	596
2022	-	2,061	1,730	-	561	-	406	590
2023	-	2,054	1,744	-	573	-	460	592
2024	-	2,052	1,722	-	570	-	456	594
2019→2024の変化	-	100.3%	99.3%	-	111.1%	-	87.0%	100.2%

レートは、2015年の時点では1米ドル=112円、2018年は1米ドル=110.7円、2019年は109円を採っており、2021年まで大きな変化はなく、年毎の変化をみる際に為替レートを意識することはあまりなかった。しかし、コロナ禍後、2022年には1米ドル=131円となり、2023年は1米ドル=140円、2024年は152円まで、急速に円安が進み、各国との比較を行うことは複雑な注意を要する状況となっている。

例えば、平均入場料金をみると、2019年、日本が1340円であったとき、アメリカ・カナダは992円、フランスは829円、ドイツやイギリスで

も1000円程度で日本の入場料金の高さが目立っていたが、円安が進んだ2024年では日本が1433円であるのに対し、アメリカ・カナダは1721円、フランスは1220円、イギリスやドイツは1500円を越えている。ドルに換算すると、日本の入場料金は年々安くなっている。他国に比較して「高い」と言われ続けてきた日本の入場料金は、いまや欧米各国より安いものとなりつつある。

→ fig.24

1スクリーン当たりの観客数・興行収入

1年間の観客数をスクリーン数で割った「1スクリーン当たりの観客数」をみると、いずれの国も10年前を下回っている。コロナの影響もあるが、いずれの国でもスクリーン数の増加に観客の増加が追いついていないことを示している。2024年の1スクリーン当たりの1年間の興行収入をみると、日本は約5,581万円とトップの数値を示している。他の国に比較してスクリーン数が少ないため、自動的に1スクリーン当たりの観客数や興行収入は高くなるが、円安が進む中で、欧米各国との差は縮まりつつある。

→ fig.23, 24

fig.22 諸外国との比較[1スクリーン当たりの人口](2024)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
人口(千人)	381,400	68,552	83,517	69,226	51,751	1,422,585	27,197	123,975
スクリーン数	38,592	6,354	4,842	4,682	3,296	90,968	2,244	3,709
人口/スクリーン	9,883	10,789	17,248	14,786	15,701	15,638	12,120	33,425

fig.23 諸外国との比較 [1スクリーン当たりの観客数](2015-2024)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス*	イギリス(旧)	韓国	中国	オーストラリア	日本
2015	32,995	35,778	29,668	-	42,486	89,641	39,839	43,413	48,481
2016	32,857	36,494	25,554	38,895	40,554	84,280	33,269	43,046	51,838
2017	30,698	35,413	25,463	37,810	40,009	79,490	31,905	38,462	49,429
2018	31,834	33,629	21,736	38,147	40,783	73,677	28,629	39,421	47,121
2019	30,118	34,871	23,906	36,826	39,308	73,621	24,790	36,667	53,739
2020	5,854	10,658	7,734	9,398	-	19,741	7,250	12,651	28,928
2021	11,583	15,421	8,538	16,052	-	18,601	14,225	17,336	31,141
2022	17,001	24,135	15,883	24,852	-	33,957	8,476	26,450	41,829
2023	20,238	28,544	19,527	26,027	-	37,123	15,050	25,572	42,242
2024	19,745	28,565	18,608	27,018	-	37,357	11,103	22,103	38,943

fig.24 諸外国との比較[入場料金・興行収入](2024)

	平均入場料金(円 米ドル)						興行収入(百万円 百万米ドル)						1スクリーン当たり興行収入(万円 万米ドル)						
	2024		2023		2019		2024		2023		2019		2024		2023		2019		
アメリカ・カナダ	1,721	11.3	1,455	10.4	992	9.1	1,311,136	8,620.0	1,209,740	8,630.0	1,245,852	11,427.3	3,397	22.3	2,945	21.0	2,813	25.8	
中国	888	5.8	836	6.0	587	5.4	896,926	5,896.8	1,086,383	7,750.0	1,014,015	9,301.5	986	6.5	1,259	9.0	1,688	15.5	
イギリス	1,501	9.9	1,384	9.9	989	9.1	189,899	1,248.5	171,018	1,220.0	174,211	1,597.7	4,056	26.7	3,601	25.7	3,817	35.0	
フランス	1,220	8.0	1,119	8.0	829	7.6	221,406	1,455.6	201,857	1,440.0	173,502	1,591.2	3,485	22.9	3,194	22.8	2,838	26.0	
インド	244	1.6	231	1.6	121	1.1	215,197	1,414.8	207,464	1,480.0	176,806	1,621.5	2,168	14.3	2,130	15.2	1,856	17.0	
韓国	1,079	7.1	1,082	7.7	790	7.2	132,896	873.7	135,426	966.1	179,129	1,642.8	4,032	26.5	4,017	28.7	5,818	53.4	
ドイツ	1,583	10.4	1,479	10.6	1,054	9.7	142,654	937.9	141,580	1,010.0	124,991	1,146.3	2,946	19.4	2,889	20.6	2,781	25.5	
オーストラリア	1,844	12.1	1,579	11.3	1,099	10.1	91,445	601.2	91,747	654.5	93,097	853.8	4,075	26.8	4,038	28.8	4,030	37.0	
日本	1,433	9.4	1,424	10.2	1,340	12.3	206,983	1,360.8	221,482	1,580.0	261,180	2,395.3	5,581	36.7	6,015	42.9	7,289	66.9	
為替レート	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018												
レート(円=1米ドル)	152	140	131	110	107	109	111												

観客数及びスクリーン数：『世界主要各国映画諸統計』（「映画年鑑2025」）、「Focus 2025」参照

興行収入：興行収入：『世界主要各国映画諸統計』および「Focus 2025」において、興行収入は米ドルで記載されている。

各年の日本の興行収入から米ドルとの為替レートを計算、そのレートで各国の興行収入(円)を計算している。

平均入場料金：興行収入を観客数で割った数値

1スクリーン当たり興行収入：興行収入をスクリーン数で割った数値

シネマコンプレックスの割合

フランス、韓国とも、映画館数やスクリーン数に大きな変化はみられなかった。

シネコンの割合が高いのは韓国で、全3296スクリーン中3075スクリーン、93.3%をシネコンが占めている。日本のシネコンのシェアも3709スクリーン中3291スクリーン、88.7%と高い数値を示している。フランスは、シネコンの比率は44.8%にとどまっており、映画館数では、シネコン251館に対し、シネコン以外の映画館が1801館と、シネコンを大きく上回っている。(フランスはシネコンの定義を「8スクリーン以上」としており、他国が「5~7スクリーン以上」とし

ていることと異なる)また、約1300館が多様な映画を上映する「アー・エ・エセイ映画館」(アートハウス、日本のミニシアターに近い)に認定されており、国や自治体から助成金を得ている。フランスの映画館数は2052館と日本の594館の3倍以上であり、人口1~2万人の中小の市町村の73%に映画館があり、身近な場所で多様な映画を見ることができる環境が保持されている。

→ fig.25, 26

公開本数

コロナ禍で欧米各国の公開本数は激減したが、2023年以降は、各国ともコロナ前の2019年とほぼ変わらない数の作品を公開しており、1本当たりの観客数は10年前と比較するとかなり低い数値に留まっている。特に、公開本数が1344本と非常に多い韓国では1本当たりの観客数が91,615人と厳しい数値を示している。

日本では、「スクリーンクォーター制」のような特別な制度がなくても、自国映画/外国映画の割合は、コロナ禍前の2019年までは、公開本数、興行収入ともに大体5.5:4.5程度を保ち、他国に比べて非常にバランスの取れた状態となっていた。しかし、コロナ禍後の2020年、興行収入におけるシェアは、日本映画76%、外国映画24%となり、外国映画のシェアは大きく低下した。2024年も外国映画の低迷が続いている。

→ fig.27

fig.25

諸外国との比較[シネマコンプレックスの割合 スクリーン数](2020-2024)

		2020	2021	2022	2023	2024
フランス	スクリーン数	6,127	6,193	6,298	6,320	6,354
	うちシネコン	2,677	2,752	2,812	2,830	2,849
	割合	43.7%	44.4%	44.6%	44.8%	44.8%
韓国	スクリーン数	3,015	3,254	3,322	3,322	3,296
	うちシネコン	2,908	3,060	3,120	3,120	3,075
	割合	96.5%	94.0%	93.9%	93.9%	93.3%
日本	スクリーン数	3,672	3,688	3,634	3,634	3,709
	うちシネコン	3,238	3,249	3,228	3,228	3,291
	割合	88.2%	88.1%	88.8%	88.8%	88.7%

fig.26

諸外国との比較[シネマコンプレックスの割合 映画館数](2023, 2024)

	2023			2024		
	シネコン	シネコン以外	合計	シネコン	シネコン以外	合計
フランス	249	1,805	2,054	251	1,801	2,052
韓国	459	114	573	449	121	570
日本	360	232	592	363	231	594

シネマコンプレックスの定義…

フランス 8スクリーン以上の劇場

日本 5スクリーン以上の映画上映専門施設

韓国 CJ CGV、ロッテシネマ、メガボックス、シネQのチェーンによる映画館に加え、7スクリーン以上を持つ映画館

映画館に対する恒常的な支援制度

日本以外のいずれの国にも、映画産業と映画文化を統括し振興する組織(フランスのCNC、イギリスのBFI、ドイツのFFA、韓国のKOFICなど)があり、製作・配給・興行(上映)・教育・保存、放映や配信にいたるまで、映画に関わるあらゆることに関与している。上映活動についても、シネコンのような商業的な大規模映画館での上映から、多様な映画を上映するミニシアターやシネマテーク、自主上映まで、様々なレベル、種類の上映活動の状況を把握し、振興し支援する制度が確立している。

公的な支援、振興策には、単に金銭的な支援という以上の意味がある。公的な支援を受ける映画館には、公共的な文化施設として、

地域コミュニティや文化団体との連携を重視したプログラム作りや若年層の観客開拓、映画教育プログラムなど多様な活動を行うこと、そのような活動を行うスタッフを育成することも求められる。そのことにより、地域における文化的な存在感、持続可能性も高くなる。また、多様な映画を上映する映画館の存在は、若手クリエイターの育成という意味でも非常に重要である。

ほとんど公的な支援を受けずに、140館をこえるミニシアターが、大都市のみならず中小都市にも存在する日本の状況は非常に貴重であり、諸外国から見ると「miracle (奇跡)」であり、敬意をもって見られている。コロナ後の観客数の順調な回復ぶりは驚異的だと認識されているようでもある。関係者の献身と犠牲によって

成立してきた小規模な映画館の運営は健全とは言えず、未来に向けて持続可能でさらに豊かな上映環境を構築するために、映画振興策の見直し、映画館支援、上映者の実態に対応した助成プログラムの実現が待望されている。

fig.27 諸外国との比較[公開本数](2015-2024)

		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		
												自国映画	外国映画
フランス	公開本数	652	716	693	683	746	365	455	681	716	744	401	343
												54%	46%
	観客数(千人)	205,400	213,200	209,400	201,200	213,200	65,300	95,500	152,000	180,400	181,500	45%	55%
	1本あたり入場者数	315,031	297,765	302,165	294,583	285,791	178,904	209,890	223,201	251,955	243,952		
ドイツ	公開本数	596	610	587	576	606	339	429	554	598	622	213	409
												34%	66%
	観客数(千人)	139,200	121,100	122,300	105,400	118,600	38,100	42,100	78,000	95,700	90,100	19%	81%
	1本あたり入場者数	233,557	198,525	208,348	182,986	195,710	112,389	98,135	140,794	160,033	144,855		
イギリス	公開本数	759	821	760	787	754	381	498	703	824	847	203	644
												24%	76%
	観客数(千人)	171,900	168,300	170,600	177,000	176,100	44,000	74,000	117,300	123,600	126,500	7%*	93%*
	1本あたり入場者数	226,482	204,994	224,474	224,905	233,554	115,486	148,594	166,856	150,000	149,351		
韓国	公開本数	1,176	1,520	1,621	1,646	1,740	1,693	1,637	1,643	1,410	1,344	604	740
												45%	55%
	観客数(千人)	217,290	217,020	219,870	216,390	226,680	59,520	60,530	112,805	125,140	123,130	58%	42%
	1本あたり入場者数	184,770	142,776	135,638	131,464	130,276	35,157	36,976	68,658	88,752	91,615		
オーストラリア	公開本数	540	611	697	758	754	401	457	715	743	804	86	720
												11%	89%
	観客数(千人)	90,300	91,300	85,000	89,800	84,700	28,200	39,700	57,900	58,100	49,600	4%*	96%*
	1本あたり入場者数	167,222	149,427	121,951	118,470	112,334	70,324	86,871	80,979	78,197	61,692		
日本	公開本数	1,136	1,149	1,187	1,192	1,278	1,017	959	1,143	1,232	1,190	685	505
												58%	42%
	観客数(千人)	166,630	180,189	174,483	169,210	194,910	106,137	114,818	152,005	155,535	144,441	75%*	25%*
	1本あたり入場者数	146,681	156,822	146,995	141,955	152,512	104,363	119,727	132,988	126,246	121,379		

*観客数のシェアではなく興行収入のシェア



I | 映画館での上映

4

都道府県別概況

都道府県別概況

都道府県別観客数

「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)には観客数の都道府県別の内訳は示されていないが、「特定サービス産業実態調査報告書 映画館編」(2019年終了)及び「経済センサス 活動調査」(2023年3月発表)の「サービス関連産業に関する集計」には、都道府県別観客数が記載されている。

本年鑑では、2015年以降に調査された「特定サービス産業実態調査報告書」及び「経済センサス 活動調査」における各都道府県の観客数が全都道府県の観客総数に占める割合の平均値を計算し、これを2025年の「日本映画産業統計」における入場人員(1億8875万6000人)に乗じることで各都道府県の観客数の概算値を算出した。

1人当たり年間鑑賞回数は、都道府県民1人が1年間に映画館で映画を見る回数を示したものである。2025年の観客数は1億8875万6000人で、前年と比較すると30.7%増加しており、コロナ前2019年の1億9491万人の96.8%まで回復し、10年前(2016)の1億8018万9000人を大きく上回った。1人当たりの年間鑑賞本数の全国平均は1.5回で、2024年より0.3回増加した。

全国平均(1.5)を上回っているのは、東京(2.3)、山形(2.2)、京都(2.0)、大阪(1.8)、神奈川(1.8)、福岡(1.7)、千葉(1.7)、愛知(1.6)、広島(1.6)、埼玉(1.6)の10都府県である。

スクリーン数は、当然ながら、人口の多い大都市を擁する都道府県が上位を占めている。全体としては2024年から2025年にかけてスクリーン数は30スクリーン増加、2023年から2024年にかけての27スクリーンの増加をわずかに上回っている。

1スクリーン当たり人口は、全国平均32,979人となり、前年の33,395人より400人程度低い数値となった。この数値が少ないほど、スクリーンが多いとみることができ、少ない地域ほど住民にとって映画館が身近に存在していると考えられる。この数値が1万人台の「映画館が多い」県は石川(17,578)、山形(18,417)で、この2県は不動の位置を保っている。山形県は年間鑑賞回数が2.2回で全国平均を大きく上回っている。この2県に続いて大分(24,415)、熊本(24,752)、福岡(26,783)のスクリーン数が増加傾向にある九州3県が上位を占めている。人口が200万人以上で、かつ県庁所在地が100万人以上の都道府県で、1スクリーン当たり人口が4万人を超えているのは、北海道と兵庫県である。スクリーン当たり人口が5万人を超える「映画館が少ない」県は、山梨(65,323)、高知(58,626)、岡山(53,387)、福島(52,044)の4県である。これらの県では年間鑑賞回数も平均以下の低い数値に止まっている。しかし、64~70ページの「映画館以外で行われる上映活動一覧」を見ると、映画館がない地域では、公共ホールでの移動興行や自主上映、新たに生まれた「上映スペース」で盛んに行われていることもあり、興行の数値には現れない上映活動も多く存在している。映画館の館数のみで上映環境の豊かさを測ることはできないことも念頭におく必要がある。

→ fig.28

fig.28
都道府県別概況(2025)

	人口		映画館数	スクリーン数		年間観客数(概算)		1スクリーン 当たり人口	1スクリーン 当たり観客数	一人当たり 年間映画 鑑賞回数
全国合計	123,307,512		597	3739		188,756,000	※1	32,979	50,483	1.5
1 北海道	5,006,019	4.1%	20	113	3.0%	5,280,000	2.8%	44,301	46,726	1.1
2 青森	1,145,475	0.9%	6	34	0.9%	1,130,000	0.6%	33,690	33,235	1.0
3 岩手	1,126,813	0.9%	6	24	0.6%	690,000	0.4%	46,951	28,750	0.6
4 宮城	2,230,717	1.8%	9	74	2.0%	3,240,000	1.7%	30,145	43,784	1.5
5 秋田	878,798	0.7%	5	18	0.5%	780,000	0.4%	48,822	43,333	0.9
6 山形	994,537	0.8%	8	54	1.4%	2,200,000	1.2%	18,417	40,741	2.2
7 福島	1,717,454	1.4%	6	33	0.9%	1,380,000	0.7%	52,044	41,818	0.8
8 茨城	2,791,231	2.3%	15	91	2.4%	3,580,000	1.9%	30,673	39,341	1.3
9 栃木	1,868,706	1.5%	9	64	1.7%	2,800,000	1.5%	29,199	43,750	1.5
10 群馬	1,876,416	1.5%	8	52	1.4%	2,640,000	1.4%	36,085	50,769	1.4
11 埼玉	7,322,991	5.9%	28	236	6.3%	11,660,000	6.2%	31,030	49,407	1.6
12 千葉	6,277,188	5.1%	25	220	5.9%	10,700,000	5.7%	28,533	48,636	1.7
13 東京	14,273,066	11.6%	83	416	11.1%	32,480,000	17.2%	34,310	78,077	2.3
14 神奈川	9,217,647	7.5%	36	246	6.6%	16,260,000	8.6%	37,470	66,098	1.8
15 新潟	2,071,066	1.7%	10	64	1.7%	2,940,000	1.6%	32,360	45,938	1.4
16 富山	986,224	0.8%	6	33	0.9%	1,390,000	0.7%	29,886	42,121	1.4
17 石川	1,089,858	0.9%	8	62	1.7%	1,620,000	0.9%	17,578	26,129	1.5
18 福井	731,805	0.6%	5	27	0.7%	870,000	0.5%	27,104	32,222	1.2
19 山梨	783,870	0.6%	3	12	0.3%	860,000	0.5%	65,323	71,667	1.1
20 長野	1,972,243	1.6%	16	73	2.0%	1,790,000	0.9%	27,017	24,521	0.9
21 岐阜	1,897,676	1.5%	9	61	1.6%	2,240,000	1.2%	31,109	36,721	1.2
22 静岡	3,491,925	2.8%	16	106	2.8%	4,980,000	2.6%	32,943	46,981	1.4
23 愛知	7,453,803	6.0%	35	276	7.4%	12,130,000	6.4%	27,007	43,949	1.6
24 三重	1,695,415	1.4%	10	63	1.7%	2,380,000	1.3%	26,911	37,778	1.4
25 滋賀	1,396,532	1.1%	5	33	0.9%	1,690,000	0.9%	42,319	51,212	1.2
26 京都	2,506,615	2.0%	14	82	2.2%	4,990,000	2.6%	30,568	60,854	2.0
27 大阪	8,777,998	7.1%	34	242	6.5%	15,650,000	8.3%	36,273	64,669	1.8
28 兵庫	5,306,818	4.3%	24	120	3.2%	6,020,000	3.2%	44,223	50,167	1.1
29 奈良	1,274,196	1.0%	3	27	0.7%	1,560,000	0.8%	47,192	57,778	1.2
30 和歌山	867,927	0.7%	6	31	0.8%	1,070,000	0.6%	27,998	34,516	1.2
31 鳥取	524,535	0.4%	4	12	0.3%	690,000	0.4%	43,711	57,500	1.3
32 島根	633,105	0.5%	3	16	0.4%	690,000	0.4%	39,569	43,125	1.1
33 岡山	1,815,161	1.5%	5	34	0.9%	2,170,000	1.1%	53,387	63,824	1.2
34 広島	2,694,648	2.2%	16	88	2.4%	4,300,000	2.3%	30,621	48,864	1.6
35 山口	1,261,226	1.0%	7	33	0.9%	1,420,000	0.8%	38,219	43,030	1.1
36 徳島	676,246	0.5%	3	19	0.5%	450,000	0.2%	35,592	23,684	0.7
37 香川	908,642	0.7%	5	26	0.7%	1,210,000	0.6%	34,948	46,538	1.3
38 愛媛	1,258,374	1.0%	7	46	1.2%	1,540,000	0.8%	27,356	33,478	1.2
39 高知	644,881	0.5%	3	11	0.3%	560,000	0.3%	58,626	50,909	0.9
40 福岡	5,088,814	4.1%	25	190	5.1%	8,720,000	4.6%	26,783	45,895	1.7
41 佐賀	781,351	0.6%	4	21	0.6%	860,000	0.5%	37,207	40,952	1.1
42 長崎	1,234,361	1.0%	4	25	0.7%	1,260,000	0.7%	49,374	50,400	1.0
43 熊本	1,683,115	1.4%	10	68	1.8%	1,780,000	0.9%	24,752	26,176	1.1
44 大分	1,074,257	0.9%	10	44	1.2%	1,500,000	0.8%	24,415	34,091	1.4
45 宮崎	1,017,134	0.8%	5	26	0.7%	890,000	0.5%	39,121	34,231	0.9
46 鹿児島	1,514,179	1.2%	7	39	1.0%	1,670,000	0.9%	38,825	42,821	1.1
47 沖縄	1,466,454	1.2%	11	54	1.4%	2,060,000	1.1%	27,157	38,148	1.4

人口：各都道府県発表「人口推計」(2025年10月1日現在)参照

映画館数・スクリーン数：『映画年鑑2025』別冊「映画館名簿」(キネマ旬報社刊)及びコミュニティシネマセンター調査より作成

年間観客数：「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)では都道府県別の観客数を公開していないため、全国の観客数に都道府県ごとの観客数平均シェア率^{※1}を乗じて算出

※1 2015年以降に調査された「特定サービス産業実態調査報告書」及び「経済センサス 活動調査」における、各年の観客数計に対して各都道府県の観客数が占める割合の平均値を使用。これを「日本映画産業統計」に乗じること各都道府県の観客数の概算値を算出した。

都道府県別 [スクリーン数]

2016年から2025年の10年間で、全国のスクリーン数は3501から3739となり、238スクリーン増加している。2016年以前には、2011年3月に東日本大震災があり、同時期に映画館のデジタル化(フィルムからDCPへの移行)が進められたため、2011年から2012年にかけてスクリーン数が約130スクリーン以上減少、2011~2014年の3年間で約100館が閉館している。コロナ禍にあった2020年から2023年においては、3669スクリーンから3682スクリーンと減少はしていないものの、増加のペースはかなり抑制的であった。しかし、2024年には前年比27スクリーン増、2025年は30スクリーン増となり、2015~2019年頃の1年に30~50スクリーンの増加というペースに回復しつつある。

現在、多くの映画館が導入から10年以上を経過したデジタルシネマ機の更新時期を迎えている。すでに自己資本で新しいデジタルシネマ機の導入を完了した映画館も少なくないが、クラウドファンディングや募金、助成金の活用などを検討している映画館も多く存在している。コロナ禍で疲弊した映画館がどのようにして1000万円を越えるような大規模な設備投資を乗り切るか、大きな課題である。

この10年間で大幅にスクリーン数が増えている都道府県は、東京(54増)、神奈川(37増)、埼玉(27増)、熊本(19増)、大阪(18増)、広島(16増)である。シネコンはこの10年間で56館519スクリーン新設されている。このうち、20館が東京、千葉、埼玉、神奈川の4都県に、5館が愛知、3館が大阪と、半数が大都市圏に作られている。

この10年間で閉館したシネコンは29館、スクリーン数が8以上減少したのは、愛媛(13減)、青森(10減)、群馬(9減)で、愛媛では「シネマサンシャイン大街道」「シネマサンシャイン大州」が閉館、2026年1月に「ユナイテッド・シネマフジグラン今治」が閉館した。青森では「青森コロナワールド」「フォーラム八戸」、群馬では「109シネマズ高崎」「プレビ劇場ISESAKI」が閉館し、大きくスクリーン数を減らしている。シネコン以外では、10年間で74館が閉館している。

→ [fig.29](#)

fig.29
都道府県別
スクリーン数の推移
(2016-2025)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		2016→2025	2024→2025
全国	3,501	3,531	3,570	3,627	3,669	3,687	3,672	3,682	3,709	3,739		238	30
1 北海道	114	114	114	114	112	112	112	115	114	113	3.0%	-1	-1
2 青森	44	44	44	44	44	44	36	36	35	34	0.9%	-10	-1
3 岩手	25	23	23	23	23	23	23	23	21	24	0.6%	-1	3
4 宮城	73	72	78	78	78	77	77	77	77	74	2.0%	1	-3
5 秋田	22	20	20	20	20	18	18	18	18	18	0.5%	-4	0
6 山形	56	56	56	56	56	54	54	54	54	54	1.4%	-2	0
7 福島	26	26	35	32	32	32	32	33	33	33	0.9%	7	0
8 茨城	89	90	90	90	91	91	91	91	91	91	2.4%	2	0
9 栃木	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	1.7%	0	0
10 群馬	61	61	63	52	52	52	52	52	52	52	1.4%	-9	0
11 埼玉	209	209	209	209	209	219	226	226	238	236	6.3%	27	-2
12 千葉	208	209	209	220	220	220	220	220	220	220	5.9%	12	0
13 東京	362	365	378	398	413	414	412	415	415	416	11.1%	54	1
14 神奈川	209	210	199	202	223	223	223	223	246	246	6.6%	37	0
15 新潟	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	1.7%	0	0
16 富山	32	26	27	27	27	28	28	33	33	33	0.9%	1	0
17 石川	54	61	61	61	61	70	62	62	62	62	1.7%	8	0
18 福井	31	31	27	27	27	27	27	27	27	27	0.7%	-4	0
19 山梨	14	14	13	13	13	13	12	12	12	12	0.3%	-2	0
20 長野	63	72	72	72	72	72	72	72	64	73	2.0%	10	9
21 岐阜	56	56	56	56	56	56	56	56	55	61	1.6%	5	6
22 静岡	96	96	96	106	106	106	105	105	106	106	2.8%	10	0
23 愛知	275	293	292	295	281	269	268	268	266	276	7.4%	1	10
24 三重	58	58	63	63	63	63	63	63	63	63	1.7%	5	0
25 滋賀	38	38	38	38	38	38	38	33	33	33	0.9%	-5	0
26 京都	75	78	78	80	85	85	85	85	82	82	2.2%	7	0
27 大阪	224	224	224	224	224	234	233	241	241	242	6.5%	18	1
28 兵庫	124	121	119	120	120	120	120	120	120	120	3.2%	-4	0
29 奈良	34	34	34	34	34	34	34	27	27	27	0.7%	-7	0
30 和歌山	30	30	30	30	30	30	30	31	31	31	0.8%	1	0
31 鳥取	11	11	11	11	11	11	11	12	12	12	0.3%	1	0
32 島根	15	15	15	15	15	16	16	16	16	16	0.4%	1	0
33 岡山	39	39	39	39	38	38	34	34	34	34	0.9%	-5	0
34 広島	72	71	80	79	79	79	79	79	79	88	2.4%	16	9
35 山口	30	30	30	30	30	31	31	32	32	33	0.9%	3	1
36 徳島	10	19	19	19	19	19	19	19	19	19	0.5%	9	0
37 香川	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	0.7%	0	0
38 愛媛	59	59	59	59	59	51	46	46	46	46	1.2%	-13	0
39 高知	10	11	11	11	10	10	10	11	11	11	0.3%	1	0
40 福岡	179	164	175	175	177	177	186	185	194	190	5.1%	11	-4
41 佐賀	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21	0.6%	1	0
42 長崎	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	0.7%	0	0
43 熊本	49	49	49	58	58	68	68	68	68	68	1.8%	19	0
44 大分	35	35	36	35	44	44	44	44	44	44	1.2%	9	0
45 宮崎	18	18	18	18	25	26	26	26	26	26	0.7%	8	0
46 鹿児島	31	39	39	39	39	39	39	39	39	39	1.0%	8	0
47 沖縄	42	41	42	55	55	54	54	53	53	54	1.4%	12	1

『映画年鑑』別冊「映画館名簿」(時事映画通信社刊/キネマ旬報社刊)、『映画上映活動年鑑』(コミュニティシネマセンター刊)参照

都道府県別にみる 種類別映画館数・スクリーン数の変化 (2016-2025)

北海道・東北地方

[北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島]

2016-2025年に開館した映画館(9館)

シネマコンプレックス

北海道(札幌市)

TOHOシネマズすすきの 2023年11月

青森県(青森市)

イオンシネマ新青森 2024年3月

(←青森コロナワールド)

岩手県(盛岡市)

フォーラム盛岡 8.9.10 2025年10月

宮城県(仙台市)

TOHOシネマズ仙台 2016年7月

宮城県(大河原町)

ユナイテッド・シネマ フォルテ宮城大河原

2011年休館/2018年7月再開

宮城県(利府町)

イオンシネマ新利府 2021年3月

福島県(いわき市)

ポレポレシネマズいわき小名浜 2018年6月

シネマコンプレックス以外

北海道(札幌市)

サツゲキ 2020年7月

秋田県(秋田市)

アルヴェシアター 2020年12月

山形県(鶴岡市)

鶴岡まちなかキネマ

2020年5月閉館/2022年再開

福島県(いわき市)

湯本駅前ミニシアター Kuramoto

2019年4月開館/2025年10月閉館

福島県(いわき市)

まちポレいわき 2018年6月(←ポレポレいわき)

fig.30
北海道・東北地方

北海道・東北地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
2025	13,099,813	10.6%	2025	60	10.1%
2016	14,291,572	10.7%	2016	67	12.2%
増減(人)	-1,191,759				
増減率(%)	-8.3%				

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
北海道・東北地方								
シネマコンプレックス	38	300	40	304	-2	-4	0	3
ミニシアター	9	21	9	20	0	1	0	0
既存興行館	13	29	14	32	-1	-3	-1	-3
成人映画館	0	0	4	4	-4	-4	-2	-2
シネコン以外	22	50	27	56	-5	-6	-3	-5
北海道・東北地方合計	60	350	67	360	-7	-10	-3	-2
全国シェア	10.1%	9.4%	12.2%	10.3%				

北海道								
シネマコンプレックス	11	90	12	93	-1	-3	0	0
ミニシアター	5	9	3	4	2	5	0	0
既存興行館	4	14	5	15	-1	-1	0	0
成人映画館	0	0	2	2	-2	-2	-1	-1
シネコン以外	9	23	10	21	-1	2	-1	-1
北海道合計	20	113	22	114	-2	-1	-1	-1

青森県								
シネマコンプレックス	4	29	5	38	-1	-9	0	0
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	1	3	1	3	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	-1	-1
シネコン以外	2	5	3	6	-1	-1	-1	-1
青森県合計	6	34	8	44	-2	-10	-1	-1

岩手県								
シネマコンプレックス	2	17	2	14	0	3	0	3
ミニシアター	0	2	1	3	-1	-1	0	0
既存興行館	4	5	5	8	-1	-3	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	4	7	6	11	-2	-4	0	0
岩手県合計	6	24	8	25	-2	-1	0	3

宮城県								
シネマコンプレックス	8	71	7	65	1	6	0	0
ミニシアター	1	3	2	4	-1	-1	0	0
既存興行館	0	0	1	3	-1	-3	-1	-3
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	1	3	4	8	-3	-5	-1	-3
宮城県合計	9	74	11	73	-2	1	-1	-3

秋田県								
シネマコンプレックス	2	13	3	18	-1	-5	0	0
ミニシアター	1	1	2	3	-1	-2	0	0
既存興行館	2	4	1	1	1	3	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	3	4	0	1	0	0
秋田県合計	5	18	6	22	-1	-4	0	0

2016-202年に閉館した映画館(18館)

シネマコンプレックス

北海道(札幌市)
 デイノスシネマズ札幌劇場 2019年6月

北海道(旭川市)
 デイノスシネマズ旭川 2022年9月

青森県(青森市)
 青森コロナワールド 2021年8月
 (→イオンシネマ新青森)

青森県(八戸市)
 フォーラム八戸 2023年1月

宮城県(利府町)
 MOVIX 利府 2020年10月

秋田県(秋田市)
 ルミエール秋田 2020年5月

福島県(いわき市)
 ポレポレいわき 2018年6月(→まちポレいわき)

シネマコンプレックス以外

北海道(札幌市)
 札東劇場 2023年3月

北海道(札幌市)
 マッシブシアター 2024年3月

青森県(弘前市)
 テアトル弘前 2024年3月

岩手県(盛岡市)
 アート・フォーラム 2023年4月

岩手県(盛岡市)
 盛岡ピカデリー 2025年10月

岩手県(宮古市)
 みやこシネマリーン 2016年9月

宮城県(仙台市)
 桜井薬局セントラルホール 2018年6月

宮城県(仙台市)
 チネ・ラヴィータ 2024年3月

宮城県(石巻市)
 石巻日活パールシネマ 2017年6月

秋田県(秋田市)
 秋田フォーラス・シネマパレ 2017年2月

山形県(鶴岡市)
 鶴岡まちなかキネマ
 2020年5月/2022年再開

福島県(いわき市)
 湯本駅前ミニシアター Kuramoto
 2019年4月開館/2025年10月閉館

→ fig.30

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
山形県								
シネマコンプレックス	7	51	7	51	0	0	0	0
ミニシアター	0	2	0	3	0	-1	0	0
既存興行館	1	1	1	2	0	-1	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	3	1	5	0	-2	0	0
山形県合計	8	54	8	56	0	-2	0	0
福島県								
シネマコンプレックス	4	29	4	25	0	4	0	0
ミニシアター	1	2	0	1	0	1	0	0
既存興行館	1	2	0	0	1	2	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	4	0	1	1	3	0	0
福島県合計	6	33	4	26	1	7	0	0

関東地方

[茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川]

2016-2025年に開館した映画館(41館)

シネマコンプレックス

栃木県(足利市)

ユナイテッド・シネマ アシコタウンあしかが

2016年3月

埼玉県(川口市)

イオンシネマ川口 2021年6月

埼玉県(秩父市)

ユナイテッド・シネマ ウニクス秩父

2022年7月

埼玉県(所沢市)

T・ジョイ エミテラス所沢 2024年9月

埼玉県(三郷市)

シネマサンシャイン三郷

2025年7月(←MOVIX三郷)

千葉県(松戸市)

ユナイテッド・シネマ テラスモール松戸

2019年10月

千葉県(佐倉市)

シネマサンシャインユーカリが丘 2018年6月

(←イオンシネマユーカリが丘)

千葉県(柏市)

TOHOシネマズ柏 2016年4月

東京都(千代田区)

TOHOシネマズ日比谷 2018年3月

東京都(港区)

ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場

2017年4月(←お台場シネマメディアージュ)

東京都(新宿区)

109シネマズプレミアム新宿 2023年4月

東京都(台東区)

TOHOシネマズ上野 2017年11月

東京都(豊島区)

グランドシネマサンシャイン池袋 2019年7月

(←シネマサンシャイン池袋)

東京都(豊島区)

TOHOシネマズ池袋 2020年7月

東京都(立川市)

TOHOシネマズ立川立飛 2020年9月

東京都(調布市)

イオンシネマ シアタス調布 2017年9月

fig.31
関東地方

関東地方の人口	全国シェア	映画館数	全国シェア		
2025	43,627,245	35.4%	2025	204	34.2%
2016	43,149,873	35.2%	2016	195	35.5%
増減(人)	477,372				
増減率(%)	1.1%				

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
関東地方								
シネマコンプレックス	127	1,194	115	1,061	12	133	0	0
ミニシアター	59	98	51	78	8	20	2	3
既存興行館	14	26	24	53	-10	-27	-2	-4
成人映画館	4	7	5	8	-1	-1	0	0
シネコン以外	77	131	80	139	-3	-8	0	-1
関東地方合計	204	1,325	195	1,200	9	125	0	-1
全国シェア	34.2%	35.4%	35.5%	34.3%				
茨城県								
シネマコンプレックス	10	84	10	84	0	0	0	0
ミニシアター	1	2	0	0	1	2	0	0
既存興行館	3	4	2	4	1	0	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	5	7	3	5	2	2	0	0
茨城県合計	15	91	13	89	2	2	0	0
栃木県								
シネマコンプレックス	7	60	7	60	0	0	0	0
ミニシアター	1	3	1	3	0	0	0	0
既存興行館	1	1	1	1	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	4	2	4	0	0	0	0
栃木県合計	9	64	9	64	0	0	0	0
群馬県								
シネマコンプレックス	5	47	6	58	-1	-11	0	0
ミニシアター	3	5	2	3	1	2	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	2	3	1	2	0	0
群馬県合計	8	52	8	61	0	-9	0	0
埼玉県								
シネマコンプレックス	25	233	22	204	3	29	0	0
ミニシアター	3	3	2	2	1	1	1	1
既存興行館	0	0	1	3	-1	-3	-1	-3
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	3	3	5	0	-2	0	-2
埼玉県合計	28	236	25	209	3	27	0	-2
千葉県								
シネマコンプレックス	22	214	21	202	1	12	0	0
ミニシアター	2	4	2	4	0	0	0	0
既存興行館	1	2	1	2	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	6	3	6	0	0	0	0
千葉県合計	25	220	24	208	1	12	0	0

神奈川県(横浜市)
T・ジョイ横浜 2020年9月

神奈川県(横浜市)
ローソン・ユナイテッドシネマSTYLE-S
みなとみらい 2024年4月

神奈川県(横浜市)
109シネマズゆめが丘 2024年7月

神奈川県(座間市)
イオンシネマ座間 2020年3月
シネマコンプレックス以外

茨城県(那珂市)
あまや座 2017年10月

茨城県(日立市)
シネマサンライズ 2020年3月

群馬県(前橋市)
前橋シネマハウス 2018年3月

埼玉県(さいたま市)
OttO 2025年4月

東京都(千代田区)
シネマリス 2025年12月

東京都(新宿区)
EJアニメシアター新宿
2018年12月開館/2023年8月閉館

東京都(新宿区)
キノシネマ新宿
2023年11月(←EJアニメシアター新宿)

東京都(墨田区)
ストレンジジャー 2022年9月

東京都(世田谷区)
シモキターエキマエーシネマ K2 2022年1月

東京都(渋谷区)
恵比寿ガーデンシネマ
2021年2月休館/2022年11月再開

東京都(渋谷区)
ル・シネマ 渋谷宮下(移転)
2023年6月(←渋谷TOEI)

東京都(渋谷区)
ホワイトシネクイント 2019年11月

東京都(杉並区)
モーク阿佐ヶ谷 2021年7月(←ユジク阿佐ヶ谷)

東京都(北区)
シネマ・チュプキ・タバタ 2016年9月

東京都(立川市)
キノシネマ立川高島屋S.C.館 2019年6月

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
東京都								
シネマコンプレックス	34	329	28	260	6	69	0	0
ミニシアター	40	67	37	57	3	10	1	2
既存興行館	7	16	16	39	-9	-23	-1	-1
成人映画館	2	4	3	5	-1	-1	0	0
シネコン以外	49	87	56	101	-7	-14	0	1
東京都合計	83	416	84	361	-1	55	0	1
神奈川県								
シネマコンプレックス	24	227	21	193	3	34	0	0
ミニシアター	9	14	7	9	2	5	0	0
既存興行館	2	3	3	4	-1	-1	0	0
成人映画館	1	2	1	2	0	0	0	0
シネコン以外	12	19	11	15	1	4	0	0
神奈川県合計	36	246	32	208	4	38	0	0

東京都(武蔵野市)
ココロラ・動かす・映画館○
2017年10月開館/2019年9月閉館

東京都(武蔵野市)
アップリンク吉祥寺 2018年12月

東京都(青梅市)
シネマネコ 2021年6月

神奈川県(横浜市)
キノシネマ横浜みなとみらい 2019年4月

神奈川県(藤沢市)
シネコヤ 2017年4月

神奈川県(小田原市)
小田原シネマ館 2024年3月

神奈川県(厚木市)
アミューあつぎ映画.comシネマ(2014~2018)
→あつぎのえいがかんkiki 2018年12月

2016-2025年に閉館した映画館(27館)
シネマコンプレックス

群馬県(高崎市)
109シネマズ高崎 2025年8月

群馬県(伊勢崎市)
プレビ劇場ISESAKI 2019年1月
(→MOVIX伊勢崎)

埼玉県(三郷市)
MOVIX三郷 2024年9月
(→シネマサンシャイン三郷)

千葉県(佐倉市)
イオンシネマユーカリが丘 2018年5月
(→シネマサンシャインユーカリが丘)

東京都(港区)
お台場シネマメディアージュ 2017年2月
(→ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場)

東京都(豊島区)
シネマサンシャイン池袋 2019年7月
(→グランドシネマサンシャイン池袋)

神奈川県(大和市)
イオンシネマつきみ野 2018年2月
シネマコンプレックス以外

東京都(千代田区)
岩波ホール 2022年7月

東京都(中央区)
丸の内TOEI 2025年7月

東京都(新宿区)
角川シネマ新宿 2018年12月
→EJアニメシアター新宿 2023年8月
(→キノシネマ新宿)

東京都(新宿区)
ギンレイホール 2022年11月

東京都(渋谷区)
アップリンク渋谷 2021年5月

東京都(渋谷区)
渋谷シネパレス 2018年5月(→シネクイント)

東京都(渋谷区)
シネマライズ 2016年7月

東京都(杉並区)
ユジク阿佐ヶ谷 2020年12月(→モーク阿佐ヶ谷)

東京都(武蔵野市)
ココロラ・動かす・映画館○
2017年10月開館/2019年9月閉館

東京都(千代田区)

TOHOシネマズ スカラ座 / みゆき座

2018年2月(→TOHOシネマズ日比谷)

東京都(千代田区)

TOHOシネマズ日劇 2018年2月

東京都(千代田区)

有楽町スバル座 2019年10月

東京都(墨田区)

楽天地シネマズ錦糸町 2018年11月

(→TOHOシネマズ錦糸町オリナス)

東京都(大田区)

テアトル蒲田 / 蒲田宝塚 2019年9月

東京都(渋谷区)

渋谷TOEI 2022年12月

東京都(八王子市)

ニュー八王子シネマ 2017年1月

東京都(武蔵野市)

吉祥寺プラザ **2024年1月**

東京都(新宿区)

飯田橋くらら劇場 2016年5月

神奈川県(横浜市)

プリリアショートショートシアター 2017年2月

神奈川県(横浜市)

横浜ニューテアトル 2018年6月

→ [fig.31](#)



中部地方

[新潟・富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜・静岡・愛知]

2016-2025年に開館した映画館(21館)

シネマコンプレックス

富山県(富山市)

J-MAXシアターとやま 2016年6月

富山県(砺波市)

イオンシネマとなみ 2023年7月

石川県(小松市)

イオンシネマ新小松 2017年3月

石川県(白山市)

イオンシネマ白山 2021年7月

長野県(松本市)

イオンシネマ松本 2017年9月

長野県(須坂市)

イオンシネマ須坂 2025年10月

岐阜県(土岐市)

イオンシネマ土岐 2025年4月

静岡県(沼津市)

シネマサンシャインららぽーと沼津 2019年6月

愛知県(豊田市)

イオンシネマ豊田KiTARA 2017年11月

愛知県(安城市)

シネマワールドららぽーと安城 2025年4月

愛知県(常滑市)

イオンシネマ常滑 2017年7月

愛知県(日進市)

TOHOシネマズ赤池 2017年11月

愛知県(長久手市)

イオンシネマ長久手 2016年12月

シネマコンプレックス以外

新潟県(佐渡市)

ガシマシネマ 2017年4月

富山県(富山市)

ほとり座 2020年6月

富山県(高岡市)

御旅屋座(ダフレンズ) 2020年7月

山梨県(甲府市)

シアターセントラルBe館

2023年12月休館/2025年5月再開

長野県(上田市)

上田映劇 2017年4月(ミニシアターとして再開)

fig.32
中部地方

中部地方の人口	全国シェア	映画館数	全国シェア		
2025	20,478,470	16.6%	2025	108	18.1%
2016	21,416,202	16.6%	2016	109	19.8%
増減(人)	-937,732				
増減率(%)	-4.4%				

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
中部地方								
シネマコンプレックス	71	651	66	610	5	41	3	25
ミニシアター	23	33	17	24	6	9	0	0
既存興行館	8	24	16	41	-8	-17	0	0
成人映画館	6	6	10	10	-4	-4	0	0
シネコン以外	37	63	43	75	-6	-12	0	0
中部地方合計	108	714	109	685	-1	29	3	25
全国シェア	18.1%	19.1%	19.8%	19.6%				

新潟県								
シネマコンプレックス	7	61	7	61	0	0	0	0
ミニシアター	3	3	3	3	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	3	3	3	0	0	0	0
新潟県合計	10	64	10	64	0	0	0	0

富山県								
シネマコンプレックス	4	31	4	31	0	0	0	0
ミニシアター	2	2	1	1	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	2	1	1	1	1	0	0
富山県合計	6	33	5	32	1	1	0	0

石川県								
シネマコンプレックス	7	61	6	52	1	9	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	1	1	2	2	-1	-1	0	0
石川県合計	8	62	8	54	0	8	0	0

福井県								
シネマコンプレックス	3	22	3	22	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	1	4	2	8	-1	-4	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	5	3	9	-1	-4	0	0
福井県合計	5	27	6	31	-1	-4	0	0

山梨県								
シネマコンプレックス	1	9	1	9	0	0	0	0
ミニシアター	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館	2	3	3	4	-1	-1	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	2	3	4	5	-2	-2	0	0
山梨県合計	3	12	5	14	-2	-2	0	0

長野県(上田市)
トラウム・ライゼ 2020年7月

静岡県(伊東市)
金星シネマ 2024年9月

愛知県(名古屋市)
ナゴヤキネマ・ノイ

2024年3月(←名古屋シネマテーク)

愛知県(名古屋市)
大須シネマ 2019年4月開館/2025年4月
閉館

愛知県(名古屋市)
三越映画劇場

2020年10月休館/2023年3月再開

2016-2025年に閉館した映画館(24館)

シネマコンプレックス

富山県(富山市)
富山シアター大都会 2018年9月

石川県(野々市市)
イオンシネマ御経塚 2021年5月

長野県(佐久市)
佐久アムシネマ 2023年9月

愛知県(名古屋市)
TOHOシネマズ名古屋ベイシティ

2020年11月
愛知県(半田市)
半田コロナシネマワールド 2019年5月
愛知県(春日井市)
春日井コロナシネマワールド 2017年2月

シネマコンプレックス以外

新潟県(十日町市)
十日町シネマパラダイス 2018年3月
新潟県(新潟市)
映劇大要 2019年8月
富山県(富山市)
フォルツァ総曲輪 2016年9月(→ほとり座)

石川県(金沢市)
金沢駅前シネマ 2020年3月

福井県(福井市)
福井シネマ 2018年9月

山梨県(甲府市)
シアターセントラルBe館 2023年12月休館
/2025年5月再開

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
長野県								
シネマコンプレックス	7	54	6	45	1	9	1	9
ミニシアター	4	6	2	4	2	2	0	0
既存興行館	4	12	5	13	-1	-1	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	9	19	8	18	1	1	0	0
長野県合計	16	73	14	63	2	10	1	9
岐阜県								
シネマコンプレックス	6	56	5	50	1	6	1	6
ミニシアター	2	4	0	0	2	4	0	0
既存興行館	0	0	2	5	-2	-5	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	3	6	0	-1	0	0
岐阜県合計	9	61	8	56	1	5	1	6
静岡県								
シネマコンプレックス	11	96	10	86	1	10	0	0
ミニシアター	3	4	2	3	1	1	0	0
既存興行館	1	5	1	5	0	0	0	0
成人映画館	1	1	2	2	-1	-1	0	0
シネコン以外	5	10	5	10	0	0	0	0
静岡県合計	16	106	15	96	1	10	0	0
愛知県								
シネマコンプレックス	25	261	24	254	1	7	1	10
ミニシアター	7	12	7	11	0	1	0	0
既存興行館	0	0	3	6	-3	-6	0	0
成人映画館	3	3	4	4	-1	-1	0	0
シネコン以外	10	15	14	21	-4	-6	0	0
愛知県合計	35	276	38	275	-3	1	1	10

山梨県(笛吹市)
テアトル石和 2018年2月

山梨県(甲府市)
甲南劇場 2021年11月

長野県(長野市)
シネマポイント 2020年6月

静岡県(沼津市)
沼津シネマ10 2020年12月

愛知県(名古屋市)
名古屋シネマテーク 2023年7月
(→ナゴヤキネマ・ノイ)

愛知県(名古屋市)
名演小劇場 2023年11月

愛知県(名古屋市)
大須シネマ 2019年4月開館/2025年4月

閉館

愛知県(名古屋市)
三越映画劇場
2020年10月休館/2023年3月再開

愛知県(名古屋市)
キノシタホール 2019年4月

愛知県(名古屋市)
ピカデリー 2016年6月

愛知県(刈谷市)
刈谷日劇 2025年12月

愛知県(豊田市)
トヨタランド 2019年4月

愛知県(一宮市)
尾西シネラマパワー 2020年12月

→ fig.32

近畿地方

[三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山]

2016-2025年に開館した映画館(14館)

シネマコンプレックス

三重県(津市)

イオンシネマ津南 2018年11月

大阪府(大阪市)

イオンシネマシアタス心斎橋 2021年3月

大阪府(松原市)

TOHOシネマズ セブンパーク天美

2021年11月

大阪府(門真市)

TOHOシネマズららぽーと門真 2023年4月

シネマコンプレックス以外

京都府(京都市)

出町座 2017年12月

京都府(京都市)

京都みなみ会館 2019年8月リニューアル

オープン(2023年閉館)

京都府(京都市)

アップリンク京都 2020年6月

京都府(舞鶴市)

シネ・ブルージャ [カフェシネマ] 2019年7月

大阪府(大阪市)

扇町キネマ 2023年10月

大阪府(大阪市)

キノシネマ心斎橋 2024年12月

大阪府(大阪市)

シアターエミュ 2025年11月

兵庫県(神戸市)

キノシネマ神戸国際 2022年4月

(←神戸国際松竹)

兵庫県(豊岡市)

豊岡劇場 2022年閉館/2023年3月再開

兵庫県(丹波市)

エビスシネマ 2021年7月

和歌山県(和歌山市)

シネマ203 2023年10月

fig.33
近畿地方

近畿地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
2025	21,825,501	17.7%	2025	96	16.1%
2016	22,505,356	17.7%	2016	95	17.3%
増減(人)	-679,855				
増減率(%)	-3.0%				

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
近畿地方								
シネマコンプレックス	55	516	54	498	1	18	0	0
ミニシアター	21	44	15	29	6	15	1	1
既存興行館	11	28	15	44	-4	-16	0	0
成人映画館	9	10	11	12	-2	-2	0	0
シネコン以外	41	82	41	85	0	-3	1	1
近畿地方合計	96	598	95	583	1	15	1	1
全国シェア	16.1%	16.0%	17.3%	16.7%				

三重県

シネマコンプレックス	7	59	6	50	1	9	0	0
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	0	0	1	4	-1	-4	0	0
成人映画館	2	2	2	2	0	0	0	0
シネコン以外	3	4	4	8	-1	-4	0	0
三重県合計	10	63	10	58	0	5	0	0

滋賀県

シネマコンプレックス	4	29	5	34	-1	-5	0	0
ミニシアター	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館	1	4	1	4	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	4	1	4	0	0	0	0
滋賀県合計	5	33	6	38	-1	-5	0	0

京都府

シネマコンプレックス	6	64	6	64	0	0	0	0
ミニシアター	4	10	2	4	2	6	0	0
既存興行館	2	6	2	5	0	1	0	0
成人映画館	2	2	2	2	0	0	0	0
シネコン以外	8	18	6	11	2	7	0	0
京都府合計	14	82	12	75	2	7	0	0

大阪府

シネマコンプレックス	23	224	21	204	2	20	0	0
ミニシアター	8	14	7	14	1	0	1	1
既存興行館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
成人映画館	3	4	4	5	-1	-1	0	0
シネコン以外	11	18	12	20	-1	-2	1	1
大阪府合計	34	242	33	224	1	18	1	1

兵庫県

シネマコンプレックス	10	93	10	92	0	1	0	0
ミニシアター	7	17	5	9	2	8	0	0
既存興行館	5	8	7	20	-2	-12	0	0
成人映画館	2	2	3	3	-1	-1	0	0
シネコン以外	14	27	15	32	-1	-5	0	0
兵庫県合計	24	120	25	124	-1	-4	0	0

2016-2025年に閉館した映画館(16館)

シネマコンプレックス

三重県(津市)
イオンシネマ津 2025年6月

滋賀県(大津市)
大津アレックスシネマ 2022年3月

大阪府(枚方市)
ユナイテッド・シネマ枚方 2025年2月

大阪府(東大阪市)
布施ラインシネマ 2020年2月

奈良県(河合町)
イオンシネマ西大和 2022年8月

シネマコンプレックス以外

三重県(伊賀市)
ジストシネマ伊賀上野 2018年2月

京都府(京都市)
京都みなみ会館 2023年9月

京都府(京都市)
本町館 2025年10月

大阪府(大阪市)
テアトル梅田 2022年9月

大阪府(大阪市)
シネマート心斎橋 2024年10月

大阪府(大阪市)
淡路東宝 2017年5月

大阪府(大阪市)
国名小劇 2021年12月

兵庫県(神戸市)
神戸国際松竹 2022年3月

兵庫県(姫路市)
シネパレス山陽座 2016年1月

兵庫県(姫路市)
姫路OS 2016年1月

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
奈良県								
シネマコンプレックス	3	27	4	34	-1	-7	0	0
ミニシアター	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県合計	3	27	4	34	-1	-7	0	0
和歌山県								
シネマコンプレックス	2	20	2	20	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	3	10	3	10	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	4	11	3	10	1	1	0	0
和歌山県合計	6	31	5	30	1	1	0	0

→ fig.33

中国・四国地方

[鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知]

2016-2025年に開館した映画館(11館)

シネマコンプレックス

鳥根県(松江市)
イオンシネマ松江 2025年7月(←松江東宝5)

広島県(広島市)
イオンシネマ広島西風新都 2018年4月

広島県(広島市)
MOVIX広島駅 2025年3月

徳島県(徳島市)
イオンシネマ徳島 2017年4月

愛媛県(今治市)
イオンシネマ今治新都市 2016年6月

シネマコンプレックス以外

鳥取県(湯梨浜町)
ジグシアター 2021年7月

島根県(益田市)
小野沢シネマ 2022年1月

広島県(広島市)
横川有楽座 2018年11月

山口県(下関市)
シネマポスト 2023年10月

山口県(周南市)
シネマ・ヌーヴェル 2025年3月再開

高知県(高知市)
キネマミュージアム 2023年10月

fig.34

中国・四国地方

中国・四国地方の人口	全国シェア	映画館数	全国シェア
2025	10,416,818	8.4%	2025 53 8.9%
2016	11,225,673	8.5%	2016 52 9.5%
増減(人)	-808,855		
増減率(%)	-7.2%		

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
中国・四国地方								
シネマコンプレックス	31	252	30	236	1	16	1	9
ミニシアター	15	23	10	16	5	7	1	1
既存興行館	5	8	8	17	-3	-9	0	0
成人映画館	2	2	4	5	-2	-3	0	0
シネコン以外	22	33	22	38	0	-5	1	1
中国・四国地方合計	53	285	52	274	1	11	2	10
全国シェア	8.9%	7.6%	9.5%	7.8%				
鳥取県								
シネマコンプレックス	1	6	1	6	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	2	5	2	5	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	6	2	5	1	1	0	0
鳥取県合計	4	12	3	11	1	1	0	0
島根県								
シネマコンプレックス	2	15	2	15	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	1	0	0	1	1	0	0
島根県合計	3	16	2	15	1	1	0	0
岡山県								
シネマコンプレックス	3	31	3	31	0	0	0	0
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	1	1	2	5	-1	-4	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	2	3	4	8	-2	-5	0	0
岡山県合計	5	34	7	39	-2	-5	0	0
広島県								
シネマコンプレックス	9	77	7	59	2	18	1	9
ミニシアター	5	9	6	9	-1	0	0	0
既存興行館	1	1	1	2	0	-1	0	0
成人映画館	1	1	2	3	-1	-2	0	0
シネコン以外	7	11	9	14	-2	-3	0	0
広島県合計	16	88	16	73	0	15	1	9
山口県								
シネマコンプレックス	4	29	4	29	0	0	0	0
ミニシアター	3	4	1	2	2	2	1	1
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	4	1	2	2	2	1	1
山口県合計	7	33	5	31	2	2	1	1

2016-2025年に閉館した映画館(10館)

シネマコンプレックス

- 島根県(松江市)
松江東宝5 2025年1月(→イオンシネマ松江)
- 愛媛県(松山市)
シネマサンシャイン大街道 2021年1月
- 愛媛県(大洲市)
シネマサンシャイン大州 2019年1月

シネマコンプレックス以外

- 岡山県(岡山市)
ジョリー東宝 2022年1月(→メルバ)
- 岡山県(岡山市)
岡山日活 2019年12月
- 広島県(広島市)
広島シネ・ツイン本通り 2016年10月
- 広島県(広島市)
広島の場シネマ/有楽座 2018年9月閉館
(→横川有楽座)
- 広島県(広島市)
広島横川銀映 2018年9月
- 愛媛県(今治市)
アイシネマ今治 2016年10月休館
- 高知県(高知市)
高知あたと劇場 2024年12月休館

→ fig.34

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
徳島県								
シネマコンプレックス	2	17	1	8	1	9	0	0
ミニシアター	1	2	0	0	1	2	0	0
既存興行館	0	0	1	2	-1	-2	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	2	1	2	0	0	0	0
徳島県合計	3	19	2	10	1	9	0	0
香川県								
シネマコンプレックス	3	23	3	23	0	0	0	0
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	2	3	2	3	0	0	0	0
香川県合計	5	26	5	26	0	0	0	0
愛媛県								
シネマコンプレックス	6	45	8	56	-2	-11	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	0	0	1	2	-1	-2	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	1	2	3	-1	-2	0	0
愛媛県合計	7	46	10	59	-3	-13	0	0
高知県								
シネマコンプレックス	1	9	1	9	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	1	1	1	1	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	2	1	1	1	1	0	0
高知県合計	3	11	2	10	1	1	0	0

九州・沖縄地方

[福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・
沖縄]

2016-2025年に開館した映画館(15館)

シネマコンプレックス

福岡県(福岡市)

ユナイテッド・シネマ福岡ももち

2018年11月リニューアルオープン

福岡県(福岡市)

TOHOシネマズららぽーと福岡 2022年4月

福岡県(飯塚市)

シネマサンシャイン飯塚 2023年7月

熊本県(熊本市)

TOHOシネマズ 熊本サクラマチ 2019年9月

熊本県(熊本市)

熊本ピカデリー 2021年4月

大分県(中津市)

セントラルシネマ三光 2020年3月

宮崎県(宮崎市)

ワンダーアティックシネマ 2020年11月

鹿児島県(始良市)

シネマサンシャイン始良 2017年4月

沖縄県(浦添市)

ユナイテッド・シネマ PARCO CITY 浦添

2019年6月

シネマコンプレックス以外

福岡県(福岡市)

キノシネマ天神 2020年4月

佐賀県(唐津市)

シアターエンヤ 2019年10月

大分県(豊後高田市)

玉津東天紅 2017年4月

沖縄県(那覇市)

ファミンチュシアター 2025年10月

沖縄県(沖縄市)

シネマプラザハウス1954 2019年11月

沖縄県(石垣市)

ゆいロードシアター

2018年8月開館/2020年4月休館

fig.35

九州・沖縄地方

九州・沖縄地方の人口	全国シェア	映画館数	全国シェア		
2025	13,859,665	11.2%	2025	76	12.7%
2016	14,416,581	11.3%	2016	70	12.7%
増減(人)	-556,916				
増減率(%)	-3.9%				

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
九州・沖縄地方								
シネマコンプレックス	45	415	38	354	7	61	0	0
ミニシアター	20	33	13	21	7	12	1	1
既存興行館	7	13	9	17	-2	-4	-1	-4
成人映画館	4	6	10	11	-6	-5	0	0
シネコン以外	31	52	32	49	-1	3	0	-3
九州・沖縄地方合計	76	467	70	403	6	64	0	-3
全国シェア	12.7%	12.5%	12.7%	11.5%				
福岡県								
シネマコンプレックス	18	176	17	169	1	7	0	0
ミニシアター	3	6	2	4	1	2	0	0
既存興行館	2	4	2	5	0	-1	-1	-4
成人映画館	2	4	4	5	-2	-1	0	0
シネコン以外	7	14	8	14	-1	0	-1	-4
福岡県合計	25	190	25	183	0	7	-1	-4
佐賀県								
シネマコンプレックス	2	18	2	18	0	0	0	0
ミニシアター	2	3	1	2	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	3	1	2	1	1	0	0
佐賀県合計	4	21	3	20	1	1	0	0
長崎県								
シネマコンプレックス	3	24	3	24	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	1	1	1	0	0	0	0
長崎県合計	4	25	4	25	0	0	0	0
熊本県								
シネマコンプレックス	7	63	5	44	2	19	0	0
ミニシアター	2	4	1	3	1	1	0	0
既存興行館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	3	5	0	0	0	0
熊本県合計	10	68	8	49	2	19	0	0
大分県								
シネマコンプレックス	4	38	3	30	1	8	0	0
ミニシアター	5	5	4	4	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	6	6	5	5	1	1	0	0
大分県合計	10	44	8	35	2	9	0	0

2016-2025年に閉館した映画館(10館)

シネマコンプレックス

福岡県(福岡市)

TOHOシネマズ天神本館(天神東宝)

2017年3月

熊本県(熊本市)

ユナイテッド・シネマ熊本 2025年3月

シネマコンプレックス以外

福岡県(福岡市)

福岡中洲大洋 2024年3月休館

福岡県(北九州市)

八幡有楽劇場 2019年6月

熊本県(熊本市)

桃劇場 2025年10月

宮崎県(宮崎市)

宮崎ロマン 2020年7月

鹿児島県(鹿児島市)

鹿児島旭シネマ 2017年9月

沖縄県(石垣市)

ゆいロードシアター

2018年8月開館/2020年4月以降休館

沖縄県(沖縄市)

コザ琉映 2016年7月

沖縄県(那覇市)

首里劇場 2022年4月

	2025		2016		2016→2025		2024→2025	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
宮崎県								
シネマコンプレックス	2	16	1	9	1	7	0	0
ミニシアター	1	4	1	2	0	2	0	0
既存興行館	2	6	2	6	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	3	10	4	9	-1	1	0	0
宮崎県合計	5	26	5	18	0	8	0	0
鹿児島県								
シネマコンプレックス	4	36	3	27	1	9	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	2	2	2	2	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	3	3	4	4	-1	-1	0	0
鹿児島県合計	7	39	7	31	0	8	0	0
沖縄県								
シネマコンプレックス	5	44	4	33	1	11	0	0
ミニシアター	5	9	2	4	3	5	1	1
既存興行館	1	1	2	3	-1	-2	0	0
成人映画館	0	0	2	2	-2	-2	0	0
シネコン以外	6	10	6	9	0	1	1	1
沖縄県合計	11	54	10	42	1	12	1	1

→ fig.35

I | 映画館での上映

5

全国映画館リスト2025

2025年1月1日から12月31日まで営業があった映画館を掲載している。「映画館名簿」(キネマ旬報社)に掲載されていない映画館でも、恒常的な上映を行っている場合は追加し、また、掲載されている映画館でも、上映実績が確認できなかった場合は載せていない。

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
1	北海道	札幌市	ローゾン・ユナイテッドシネマ札幌	11	シネマコンプレックス
2	北海道	札幌市	札幌シネマフロンティア	12	シネマコンプレックス
3	北海道	札幌市	TOHOシネマスすずきの	10	シネマコンプレックス
4	北海道	札幌市	シアターキノ	2	ミニシアター / 名画座
5	北海道	札幌市	サツゲキ *2026年3月閉館	4	ミニシアター / 名画座
6	北海道	函館市	シネマアイリス	1	ミニシアター / 名画座
7	北海道	函館市	シネマ太陽函館	4	既存興行館
8	北海道	小樽市	イオンシネマ小樽	7	シネマコンプレックス
9	北海道	旭川市	シネプレックス旭川	7	シネマコンプレックス
10	北海道	旭川市	イオンシネマ旭川駅前	8	シネマコンプレックス
11	北海道	室蘭市	ディノスシネマス室蘭	4	既存興行館
12	北海道	帯広市	シネマ太陽帯広	5	シネマコンプレックス
13	北海道	北見市	イオンシネマ北見	7	シネマコンプレックス
14	北海道	苫小牧市	ディノスシネマス苫小牧	7	シネマコンプレックス
15	北海道	苫小牧市	シネマ・トラス	1	ミニシアター / 名画座
16	北海道	稚内市	T・ジョイ稚内	3	既存興行館
17	北海道	江別市	イオンシネマ江別	8	シネマコンプレックス
18	北海道	千歳市	新千歳空港シアター	3	既存興行館
19	北海道	浦河町	浦河大黒座	1	ミニシアター / 名画座
20	北海道	釧路町	イオンシネマ釧路	8	シネマコンプレックス
21	青森県	青森市	イオンシネマ新青森	8	シネマコンプレックス
22	青森県	青森市	シネマディクト	2	ミニシアター / 名画座
23	青森県	青森市	青森松竹アムゼ	3	既存興行館
24	青森県	弘前市	イオンシネマ弘前	6	シネマコンプレックス
25	青森県	つがる市	シネマヴィレッジ8・イオン柏	8	シネマコンプレックス
26	青森県	おいらせ町	TOHOシネマスおいらせ下田	7	シネマコンプレックス
27	岩手県	盛岡市	フォーラム盛岡 / フォーラム盛岡 8・9・10 *2025年10月閉館	10	シネマコンプレックス
28	岩手県	盛岡市	盛岡中央映画劇場	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
29	岩手県	盛岡市	盛岡ルミエール	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
30	岩手県	盛岡市	盛岡ビカデリー *2025年10月閉館	1	既存興行館
31	岩手県	北上市	イオンシネマ北上 *2026年3月閉館	7	シネマコンプレックス
32	岩手県	一関市	一関シネプラザ	2	既存興行館
33	宮城県	仙台市	TOHOシネマス仙台	9	シネマコンプレックス
34	宮城県	仙台市	フォーラム仙台	3	ミニシアター / 名画座
35	宮城県	仙台市	MOVIX 仙台	10	シネマコンプレックス
36	宮城県	石巻市	イオンシネマ石巻	8	シネマコンプレックス
37	宮城県	名取市	イオンシネマ名取	10	シネマコンプレックス
38	宮城県	大崎市	シネマ・リオネ古川	6	シネマコンプレックス
39	宮城県	富谷市	109シネマス富谷	10	シネマコンプレックス
40	宮城県	大河原町	ユナイテッド・シネマ フォルテ宮城大河原	7	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
41	宮城県	利府町	イオンシネマ新利府	11	シネマコンプレックス
42	秋田県	秋田市	TOHOシネマス秋田	8	シネマコンプレックス
43	秋田県	秋田市	アルヴェシアター	3	既存興行館
44	秋田県	能代市	イオンファミリーシアター能代	1	既存興行館
45	秋田県	大館市	御成座	1	ミニシアター / 名画座
46	秋田県	大仙市	イオンシネマ大曲	5	シネマコンプレックス
47	山形県	山形市	フォーラム山形	5	シネマコンプレックス ミニシアター / 名画座
48	山形県	山形市	ソラリス	6	シネマコンプレックス
49	山形県	山形市	MOVIE ON やまがた	10	シネマコンプレックス
50	山形県	米沢市	イオンシネマ米沢	7	シネマコンプレックス
51	山形県	鶴岡市	鶴岡まちなかキネマ	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
52	山形県	天童市	イオンシネマ天童	9	シネマコンプレックス
53	山形県	東根市	フォーラム東根	8	シネマコンプレックス
54	山形県	三川町	イオンシネマ三川	7	シネマコンプレックス
55	福島県	福島市	フォーラム福島	6	シネマコンプレックス ミニシアター / 名画座
56	福島県	福島市	イオンシネマ福島	9	シネマコンプレックス
57	福島県	郡山市	郡山テアトル	6	シネマコンプレックス
58	福島県	いわき市	まちボレいわき	2	既存興行館
59	福島県	いわき市	ボレボレシネマスいわき小名浜	9	シネマコンプレックス
60	福島県	いわき市	湯本駅前ミニシアター Kuramoto *2025年10月閉館	1	ミニシアター / 名画座
61	茨城県	水戸市	TOHOシネマス水戸内原	8	シネマコンプレックス
62	茨城県	水戸市	ユナイテッド・シネマ水戸	8	シネマコンプレックス
63	茨城県	水戸市	水戸銀星映画劇場	1	成人映画館
64	茨城県	日立市	シネマサンライズ	1	既存興行館
65	茨城県	土浦市	シネマサンシャイン土浦	9	シネマコンプレックス
66	茨城県	土浦市	土浦セントラルシネマス	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
67	茨城県	下妻市	イオンシネマ下妻	5	シネマコンプレックス
68	茨城県	笠間市	笠間ボレボレホール	2	既存興行館
69	茨城県	つくば市	シネプレックスつくば	8	シネマコンプレックス
70	茨城県	つくば市	MOVIXつくば	9	シネマコンプレックス
71	茨城県	つくば市	USシネマつくば	10	シネマコンプレックス
72	茨城県	ひたちなか市	TOHOシネマスひたちなか	10	シネマコンプレックス
73	茨城県	守谷市	イオンシネマ守谷	10	シネマコンプレックス
74	茨城県	那珂市	あまや座	1	ミニシアター / 名画座
75	茨城県	稲敷市	USシネマバルナ稲敷	7	シネマコンプレックス
76	栃木県	宇都宮市	MOVIX宇都宮	10	シネマコンプレックス
77	栃木県	宇都宮市	TOHOシネマス宇都宮	10	シネマコンプレックス
78	栃木県	宇都宮市	宇都宮ヒカリ座	3	ミニシアター / 名画座

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別	no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
79	栃木県	足利市	ユナイテッド・シネマ アシコタウンあしかが	8	シネマコンプレックス	131	千葉県	松戸市	ユナイテッド・シネマ テラスモール松戸	11	シネマコンプレックス
80	栃木県	佐野市	109シネマズ佐野	10	シネマコンプレックス	132	千葉県	野田市	イオンスペースシネマ野田	2	既存興行館
81	栃木県	小山市	小山シネマロブレ	5	シネマコンプレックス	133	千葉県	成田市	成田HUMAXシネマズ	10	シネマコンプレックス
82	栃木県	小山市	シネマハーヴェスト	8	シネマコンプレックス	134	千葉県	佐倉市	シネマサンシャインユーカリが丘	8	シネマコンプレックス
83	栃木県	那須塩原市	フォーラム那須塩原	9	シネマコンプレックス	135	千葉県	旭市	旭サンモールシネマ	6	シネマコンプレックス
84	栃木県	茂木町	もびあホール	1	既存興行館	136	千葉県	柏市	MOVIX 柏の葉	10	シネマコンプレックス
85	群馬県	前橋市	ローソン・ユナイテッドシネマ前橋	9	シネマコンプレックス	137	千葉県	柏市	TOHOシネマズ柏	9	シネマコンプレックス
86	群馬県	前橋市	前橋シネマハウス	2	ミニシアター / 名画座	138	千葉県	柏市	キネマ旬報シアター	3	ミニシアター / 名画座
87	群馬県	高崎市	109シネマズ高崎 *2025年8月閉館	8	シネマコンプレックス	139	千葉県	市原市	USシネマちはら台	10	シネマコンプレックス
88	群馬県	高崎市	イオンシネマ高崎	10	シネマコンプレックス	140	千葉県	市原市	TOHOシネマズ市原	10	シネマコンプレックス
89	群馬県	高崎市	シネマテークたかさき	2	ミニシアター / 名画座	141	千葉県	流山市	TOHOシネマズ流山おおたかの森	11	シネマコンプレックス
90	群馬県	高崎市	高崎電気館	1	ミニシアター / 名画座	142	千葉県	八千代市	TOHOシネマズ八千代緑が丘	10	シネマコンプレックス
91	群馬県	伊勢崎市	MOVIX伊勢崎	10	シネマコンプレックス	143	千葉県	浦安市	シネマイクスピアリ	16	シネマコンプレックス
92	群馬県	太田市	イオンシネマ太田	10	シネマコンプレックス	144	千葉県	印西市	イオンシネマ千葉ニュータウン	8	シネマコンプレックス
93	埼玉県	さいたま市	イオンシネマ大宮	8	シネマコンプレックス	145	千葉県	印西市	USシネマ千葉ニュータウン	10	シネマコンプレックス
94	埼玉県	さいたま市	MOVIXさいたま	12	シネマコンプレックス	146	東京都	千代田区	TOHOシネマズ日比谷	13	シネマコンプレックス
95	埼玉県	さいたま市	ユナイテッド・シネマ浦和	9	シネマコンプレックス	147	東京都	千代田区	TOHOシネマズシャンテ	3	ミニシアター / 名画座
96	埼玉県	さいたま市	イオンシネマ浦和美園	11	シネマコンプレックス	148	東京都	千代田区	丸の内ピカデリー	3	既存興行館
97	埼玉県	川越市	ユナイテッド・シネマ ウニクス南古谷	9	シネマコンプレックス	149	東京都	千代田区	ヒューマントラストシネマ有楽町	2	ミニシアター / 名画座
98	埼玉県	さいたま市	OttO *2025年4月閉館	1	ミニシアター / 名画座	150	東京都	千代田区	角川シネマ有楽町	1	ミニシアター / 名画座
99	埼玉県	川越市	川越スカラ座	1	ミニシアター / 名画座	151	東京都	千代田区	神保町シアター	1	ミニシアター / 名画座
100	埼玉県	熊谷市	イオンシネマ熊谷	8	シネマコンプレックス	152	東京都	千代田区	シネマリズ *2025年12月閉館	2	ミニシアター / 名画座
101	埼玉県	熊谷市	シネティアラ21	8	シネマコンプレックス	153	東京都	中央区	TOHOシネマズ日本橋	9	シネマコンプレックス
102	埼玉県	川口市	MOVIX川口	9	シネマコンプレックス	154	東京都	中央区	シネスイッチ銀座	2	ミニシアター / 名画座
103	埼玉県	川口市	イオンシネマ川口	10	シネマコンプレックス	155	東京都	中央区	丸の内TOEI *2025年7月閉館	2	既存興行館
104	埼玉県	秩父市	ユナイテッド・シネマウニクス秩父	7	シネマコンプレックス	156	東京都	中央区	東劇	1	既存興行館
105	埼玉県	所沢市	T・ジョイ エミテラス所沢	12	シネマコンプレックス	157	東京都	港区	ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場	13	シネマコンプレックス
106	埼玉県	春日部市	ユナイテッド・シネマ春日部	9	シネマコンプレックス	158	東京都	港区	T・ジョイPRINCE品川	11	シネマコンプレックス
107	埼玉県	春日部市	イオンシネマ春日部	10	シネマコンプレックス	159	東京都	港区	TOHOシネマズ六本木ヒルズ	9	シネマコンプレックス
108	埼玉県	羽生市	イオンシネマ羽生	9	シネマコンプレックス	160	東京都	新宿区	新宿バルト9	9	シネマコンプレックス
109	埼玉県	鴻巣市	ころのすシネマ	8	シネマコンプレックス	161	東京都	新宿区	新宿ピカデリー	10	シネマコンプレックス
110	埼玉県	深谷市	深谷シネマ	1	ミニシアター / 名画座	162	東京都	新宿区	TOHOシネマズ新宿	12	シネマコンプレックス
111	埼玉県	越谷市	イオンシネマ越谷レイクタウン	10	シネマコンプレックス	163	東京都	新宿区	109シネマズプレミアム新宿	8	シネマコンプレックス
112	埼玉県	入間市	ローソン・ユナイテッドシネマ入間	9	シネマコンプレックス	164	東京都	新宿区	テアトル新宿	1	ミニシアター / 名画座
113	埼玉県	新座市	ユナイテッド・シネマ新座	9	シネマコンプレックス	165	東京都	新宿区	新宿武蔵野館	3	ミニシアター / 名画座
114	埼玉県	久喜市	109シネマズ葛蒲	11	シネマコンプレックス	166	東京都	新宿区	シネマカリテ *2026年1月閉館	2	ミニシアター / 名画座
115	埼玉県	富士見市	TOHOシネマズ ららぽーと富士見	9	シネマコンプレックス	167	東京都	新宿区	ケイズシネマ	1	ミニシアター / 名画座
116	埼玉県	三郷市	シネマサンシャイン三郷 *2025年7月閉館	12	シネマコンプレックス	168	東京都	新宿区	シネマート新宿	2	ミニシアター / 名画座
117	埼玉県	幸手市	シネプレックス幸手	9	シネマコンプレックス	169	東京都	新宿区	キノシネマ新宿	2	ミニシアター / 名画座
118	埼玉県	鶴ヶ島市	ユナイテッド・シネマわかば	9	シネマコンプレックス	170	東京都	新宿区	早稲田松竹	1	ミニシアター / 名画座
119	埼玉県	ふじみ野市	イオンシネマ大井	7	シネマコンプレックス	171	東京都	台東区	TOHOシネマズ上野	8	シネマコンプレックス
120	埼玉県	上里町	ユナイテッド・シネマウニクス上里	9	シネマコンプレックス	172	東京都	台東区	上野オークラ劇場 / 上野特選劇場	3	成人映画館
121	千葉県	千葉市	京成ローザ	10	シネマコンプレックス	173	東京都	墨田区	TOHOシネマズ錦糸町オリナス	12	シネマコンプレックス
122	千葉県	千葉市	T・ジョイ蘇我	12	シネマコンプレックス	174	東京都	墨田区	ストレンジャー	1	ミニシアター / 名画座
123	千葉県	千葉市	ユナイテッド・シネマ幕張	10	シネマコンプレックス	175	東京都	江東区	109シネマズ木場	8	シネマコンプレックス
124	千葉県	千葉市	イオンシネマ幕張新都心	10	シネマコンプレックス	176	東京都	江東区	ユナイテッド・シネマ豊洲	12	シネマコンプレックス
125	千葉県	千葉市	千葉劇場	1	ミニシアター / 名画座	177	東京都	品川区	キネカ大森	3	ミニシアター / 名画座
126	千葉県	銚子市	イオンシネマ銚子	5	シネマコンプレックス	178	東京都	品川区	目黒シネマ	1	ミニシアター / 名画座
127	千葉県	市川市	TOHOシネマズ市川コルトンプラザ	9	シネマコンプレックス	179	東京都	目黒区	東京都写真美術館ホール	1	ミニシアター / 名画座
128	千葉県	市川市	イオンシネマ市川妙典	9	シネマコンプレックス	180	東京都	大田区	シネマサンシャイン平和島	7	シネマコンプレックス
129	千葉県	船橋市	TOHOシネマズららぽーと船橋	10	シネマコンプレックス	181	東京都	世田谷区	109シネマズ二子玉川	10	シネマコンプレックス
130	千葉県	木更津市	USシネマ木更津	10	シネマコンプレックス	182	東京都	世田谷区	下高井戸シネマ	1	ミニシアター / 名画座
						183	東京都	世田谷区	下北沢トリウッド	1	ミニシアター / 名画座

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別	no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
184	東京都	世田谷区	シモキターエキマエシネマ K2	1	ミニシアター / 名画座	238	神奈川県	横浜市	109シネマズゆめが丘	10	シネマコンプレックス
185	東京都	渋谷区	TOHOシネマズ渋谷	6	シネマコンプレックス	239	神奈川県	横浜市	シネマ・ジャック&ベティ	2	ミニシアター / 名画座
186	東京都	渋谷区	ユーロススペース	2	ミニシアター / 名画座	240	神奈川県	横浜市	横浜シネマリン	1	ミニシアター / 名画座
187	東京都	渋谷区	ユーロライブ	1	ミニシアター / 名画座	241	神奈川県	横浜市	シネマノヴェチエント	1	ミニシアター / 名画座
188	東京都	渋谷区	シネマヴェーラ渋谷	1	ミニシアター / 名画座	242	神奈川県	横浜市	キノシネマ横浜みなとみらい	3	ミニシアター / 名画座
189	東京都	渋谷区	ル・シネマ渋谷宮下	2	ミニシアター / 名画座	243	神奈川県	横浜市	県民共済シネマホール	1	既存興行館
190	東京都	渋谷区	恵比寿ガーデンシネマ	2	ミニシアター / 名画座	244	神奈川県	横浜市	港南台シネサロン	2	既存興行館
191	東京都	渋谷区	シネクイント	2	ミニシアター / 名画座	245	神奈川県	横浜市	横浜光音座	2	成人映画館
192	東京都	渋谷区	ホワイト シネクイント	1	ミニシアター / 名画座	246	神奈川県	川崎市	チネチッタ	12	シネマコンプレックス
193	東京都	渋谷区	シアター・イメージフォーラム	2	ミニシアター / 名画座	247	神奈川県	川崎市	TOHOシネマズ川崎	9	シネマコンプレックス
194	東京都	渋谷区	ヒューマンラストシネマ渋谷	3	ミニシアター / 名画座	248	神奈川県	川崎市	109シネマズ川崎	10	シネマコンプレックス
195	東京都	渋谷区	渋谷HUMAXシネマ	1	既存興行館	249	神奈川県	川崎市	イオンシネマ新百合ヶ丘	9	シネマコンプレックス
196	東京都	中野区	ホレホレ東中野	1	ミニシアター / 名画座	250	神奈川県	川崎市	川崎市アートセンター アルテリオ映像館	1	ミニシアター / 名画座
197	東京都	杉並区	ラビユタ阿佐ヶ谷	1	ミニシアター / 名画座	251	神奈川県	相模原市	MOVIX橋本	9	シネマコンプレックス
198	東京都	杉並区	モーク阿佐ヶ谷	1	ミニシアター / 名画座	252	神奈川県	横須賀市	横須賀HUMAXシネマズ	10	シネマコンプレックス
199	東京都	豊島区	グランドシネマサンシャイン池袋	12	シネマコンプレックス	253	神奈川県	平塚市	シネプレックス平塚	8	シネマコンプレックス
200	東京都	豊島区	TOHOシネマズ池袋	10	シネマコンプレックス	254	神奈川県	藤沢市	109シネマズ湘南	10	シネマコンプレックス
201	東京都	豊島区	シネ・リール池袋 *2026年1月閉館	2	ミニシアター / 名画座	255	神奈川県	藤沢市	シネコヤ	1	ミニシアター / 名画座
202	東京都	豊島区	新文芸坐	1	ミニシアター / 名画座	256	神奈川県	小田原市	TOHOシネマズ小田原	9	シネマコンプレックス
203	東京都	豊島区	シネマ・ロサ	2	ミニシアター / 名画座	257	神奈川県	小田原市	小田原コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
204	東京都	豊島区	池袋HUMAXシネマズ	4	既存興行館	258	神奈川県	小田原市	小田原シネマ館	1	ミニシアター / 名画座
205	東京都	豊島区	シネロマン池袋	1	成人映画館	259	神奈川県	茅ヶ崎市	イオンシネマ茅ヶ崎	6	シネマコンプレックス
206	東京都	北区	シネマ・チュキキ・タバタ	1	ミニシアター / 名画座	260	神奈川県	逗子市	シネマ・アミーゴ	1	ミニシアター / 名画座
207	東京都	板橋区	イオンシネマ板橋	12	シネマコンプレックス	261	神奈川県	厚木市	あつぎのえいがかんkiki	3	ミニシアター / 名画座
208	東京都	練馬区	T・ジョイSEIBU大泉	9	シネマコンプレックス	262	神奈川県	海老名市	イオンシネマ海老名	7	シネマコンプレックス
209	東京都	練馬区	ユナイテッド・シネマとしまえん	9	シネマコンプレックス	263	神奈川県	海老名市	TOHOシネマズ海老名	10	シネマコンプレックス
210	東京都	足立区	TOHOシネマズ西新井	10	シネマコンプレックス	264	神奈川県	座間市	イオンシネマ座間	10	シネマコンプレックス
211	東京都	足立区	シネマブルーススタジオ	1	ミニシアター / 名画座	265	新潟県	新潟市	ユナイテッド・シネマ新潟	10	シネマコンプレックス
212	東京都	葛飾区	MOVIX亀有	10	シネマコンプレックス	266	新潟県	新潟市	T・ジョイ新潟万代	8	シネマコンプレックス
213	東京都	江戸川区	船堀シネバル	2	既存興行館	267	新潟県	新潟市	イオンシネマ新潟南	9	シネマコンプレックス
214	東京都	八王子市	TOHOシネマズ南大沢	9	シネマコンプレックス	268	新潟県	新潟市	イオンシネマ新潟西	9	シネマコンプレックス
215	東京都	立川市	シネマシティ	6	シネマコンプレックス	269	新潟県	新潟市	新潟シネ・ウインド	1	ミニシアター / 名画座
216	東京都	立川市	シネマ・ツー	5	シネマコンプレックス	270	新潟県	長岡市	T・ジョイ長岡	10	シネマコンプレックス
217	東京都	立川市	TOHOシネマズ立川立飛	9	シネマコンプレックス	271	新潟県	燕市	イオンシネマ県央	7	シネマコンプレックス
218	東京都	立川市	キノシネマ立川高島屋S.C.館	3	ミニシアター / 名画座	272	新潟県	上越市	J-MAXシアター	8	シネマコンプレックス
219	東京都	武蔵野市	アップリンク吉祥寺	5	ミニシアター / 名画座	273	新潟県	上越市	高田世界館	1	ミニシアター / 名画座
220	東京都	武蔵野市	吉祥寺オデオン	3	既存興行館	274	新潟県	佐渡市	ガンシネマ	1	ミニシアター / 名画座
221	東京都	青梅市	シネマネコ	1	ミニシアター / 名画座	275	富山県	富山市	TOHOシネマズファボーレ富山	10	シネマコンプレックス
222	東京都	府中市	TOHOシネマズ府中	9	シネマコンプレックス	276	富山県	富山市	J-MAXシアターとやま	8	シネマコンプレックス
223	東京都	昭島市	MOVIX昭島	12	シネマコンプレックス	277	富山県	富山市	ほとり座	1	ミニシアター / 名画座
224	東京都	調布市	イオンシネマシアタス調布	11	シネマコンプレックス	278	富山県	高岡市	TOHOシネマズ高岡	8	シネマコンプレックス
225	東京都	町田市	109シネマズグランベリーパーク	10	シネマコンプレックス	279	富山県	高岡市	御旅屋座(ダフレンズ)	1	ミニシアター / 名画座
226	東京都	武蔵村山市	イオンシネマむさし村山	12	シネマコンプレックス	280	富山県	砺波市	イオンシネマとなみ	5	シネマコンプレックス
227	東京都	多摩市	イオンシネマ多摩センター	8	シネマコンプレックス	281	石川県	金沢市	ユナイテッド・シネマ金沢	9	シネマコンプレックス
228	東京都	日の出町	イオンシネマ日の出	9	シネマコンプレックス	282	石川県	金沢市	イオンシネマ金沢	8	シネマコンプレックス
229	神奈川県	横浜市	ムービル	5	シネマコンプレックス	283	石川県	金沢市	イオンシネマ金沢フォーラス	9	シネマコンプレックス
230	神奈川県	横浜市	109シネマズ港北	7	シネマコンプレックス	284	石川県	金沢市	金沢コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
231	神奈川県	横浜市	イオンシネマみなとみらい	8	シネマコンプレックス	285	石川県	金沢市	シネモンド	1	ミニシアター / 名画座
232	神奈川県	横浜市	TOHOシネマズららぽーと横浜	13	シネマコンプレックス	286	石川県	小松市	イオンシネマ新小松	7	シネマコンプレックス
233	神奈川県	横浜市	イオンシネマ港北ニュータウン	12	シネマコンプレックス	287	石川県	かほく市	シネマサンシャインかほく	8	シネマコンプレックス
234	神奈川県	横浜市	横浜ブルク13	13	シネマコンプレックス	288	石川県	白山市	イオンシネマ白山	10	シネマコンプレックス
235	神奈川県	横浜市	TOHOシネマズ上大岡	9	シネマコンプレックス	289	福井県	福井市	テアトルサンク	5	シネマコンプレックス
236	神奈川県	横浜市	T・ジョイ横浜	9	シネマコンプレックス	290	福井県	福井市	福井コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
237	神奈川県	横浜市	ローゾン・ユナイテッドシネマ STYLE-Sみなとみらい	12	シネマコンプレックス	291	福井県	福井市	福井メロ劇場	1	ミニシアター / 名画座

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別	no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
292	福井県	敦賀市	敦賀アレックスシネマ	4	既存興行館	346	愛知県	名古屋市中区	センチュリーシネマ	2	ミニシアター / 名画座
293	福井県	鯖江市	鯖江アレックスシネマ	7	シネマコンプレックス	347	愛知県	名古屋市中区	伏見ミリオン座	4	ミニシアター / 名画座
294	山梨県	昭和田	TOHOシネマズ甲府	9	シネマコンプレックス	348	愛知県	名古屋市中区	大須シネマ *2025年4月閉館	1	ミニシアター / 名画座
295	山梨県	甲府市	シアターセントラルBe館 *2025年5月再開	2	既存興行館	349	愛知県	名古屋市中区	三越映画劇場	1	ミニシアター / 名画座
296	山梨県	甲州市	塩山シネマ	1	既存興行館	350	愛知県	名古屋市中区	中村映劇	1	成人映画館
297	長野県	長野市	長野グランドシネマズ	8	シネマコンプレックス	351	愛知県	豊橋市	ユナイテッド・シネマ豊橋18	18	シネマコンプレックス
298	長野県	長野市	長野ロキシー / 松竹相生座	3	ミニシアター / 名画座	352	愛知県	岡崎市	ローソン・ユナイテッドシネマ岡崎	9	シネマコンプレックス
299	長野県	長野市	長野千石劇場	3	既存興行館	353	愛知県	岡崎市	イオンシネマ岡崎	10	シネマコンプレックス
300	長野県	松本市	松本シネマライツ	8	シネマコンプレックス	354	愛知県	一宮市	TOHOシネマズ木曾川	10	シネマコンプレックス
301	長野県	松本市	イオンシネマ松本	8	シネマコンプレックス	355	愛知県	春日井市	春日井ユニオン劇場	1	成人映画館
302	長野県	上田市	TOHOシネマズ上田	8	シネマコンプレックス	356	愛知県	豊川市	豊川コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
303	長野県	上田市	上田映劇	1	ミニシアター / 名画座	357	愛知県	豊川市	イオンシネマ豊川	7	シネマコンプレックス
304	長野県	上田市	トラウム・ライゼ	1	ミニシアター / 名画座	358	愛知県	津島市	TOHOシネマズ津島	10	シネマコンプレックス
305	長野県	岡谷市	岡谷スカラ座	7	シネマコンプレックス	359	愛知県	刈谷市	刈谷日劇 *2025年12月閉館	2	ミニシアター / 名画座
306	長野県	須坂市	イオンシネマ須坂 *2025年10月閉館	9	シネマコンプレックス	360	愛知県	豊田市	イオンシネマ豊田KITARA	9	シネマコンプレックス
307	長野県	飯田市	飯田常盤劇場	3	既存興行館	361	愛知県	安城市	安城コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
308	長野県	飯田市	飯田センゲキシネマズ	4	既存興行館	362	愛知県	安城市	シネマワールドらぼーと安城 *2025年4月閉館	10	シネマコンプレックス
309	長野県	伊那市	伊那旭座	2	既存興行館	363	愛知県	西尾市	鶴城映劇	1	成人映画館
310	長野県	塩尻市	塩尻東座1号館	1	ミニシアター / 名画座	364	愛知県	常滑市	イオンシネマ常滑	9	シネマコンプレックス
311	長野県	塩尻市	塩尻東座2号館	1	成人映画館	365	愛知県	小牧市	小牧コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
312	長野県	山形村	アイシティシネマ	6	シネマコンプレックス	366	愛知県	稲沢市	ユナイテッド・シネマ稲沢	9	シネマコンプレックス
313	岐阜県	岐阜市	TOHOシネマズ岐阜	10	シネマコンプレックス	367	愛知県	日進市	TOHOシネマズ赤池	10	シネマコンプレックス
314	岐阜県	岐阜市	CINEX	3	ミニシアター / 名画座	368	愛知県	みよし市	MOVIX三好	12	シネマコンプレックス
315	岐阜県	岐阜市	ロイヤル劇場	1	ミニシアター / 名画座	369	愛知県	長久手市	イオンシネマ長久手	10	シネマコンプレックス
316	岐阜県	岐阜市	岐阜朝日劇場	1	成人映画館	370	愛知県	豊山町	ミッドランドシネマ名古屋空港	12	シネマコンプレックス
317	岐阜県	大垣市	大垣コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス	371	愛知県	阿久比町	ユナイテッド・シネマ阿久比	9	シネマコンプレックス
318	岐阜県	関市	関シネマズマーゴ	8	シネマコンプレックス	372	愛知県	東浦町	TOHOシネマズ東浦	9	シネマコンプレックス
319	岐阜県	土岐市	イオンシネマ土岐 *2025年4月閉館	6	シネマコンプレックス	373	三重県	津市	イオンシネマ津 *2025年6月閉館	7	シネマコンプレックス
320	岐阜県	各務原市	イオンシネマ各務原	10	シネマコンプレックス	374	三重県	津市	イオンシネマ津南	9	シネマコンプレックス
321	岐阜県	本巣市	TOHOシネマズモレラ岐阜	12	シネマコンプレックス	375	三重県	四日市市	109シネマズ四日市	9	シネマコンプレックス
322	静岡県	静岡市	シネシティザート	10	シネマコンプレックス	376	三重県	桑名市	イオンシネマ桑名	8	シネマコンプレックス
323	静岡県	静岡市	MOVIX清水	9	シネマコンプレックス	377	三重県	鈴鹿市	イオンシネマ鈴鹿	8	シネマコンプレックス
324	静岡県	静岡市	静岡シネ・ギャラリー	2	ミニシアター / 名画座	378	三重県	東員町	イオンシネマ東員	10	シネマコンプレックス
325	静岡県	静岡市	静岡東宝会館	5	既存興行館	379	三重県	明和町	109シネマズ明和	8	シネマコンプレックス
326	静岡県	浜松市	TOHOシネマズ浜松	9	シネマコンプレックス	380	三重県	伊勢市	進富座	2	ミニシアター / 名画座
327	静岡県	浜松市	TOHOシネマズサントリート浜北	9	シネマコンプレックス	381	三重県	四日市市	ロッポニカ四日市	1	成人映画館
328	静岡県	浜松市	シネマイーラ	1	ミニシアター / 名画座	382	三重県	松阪市	松阪大映劇場	1	成人映画館
329	静岡県	浜松市	シネマハウス新映	1	成人映画館	383	滋賀県	大津市	ユナイテッド・シネマ大津	7	シネマコンプレックス
330	静岡県	沼津市	シネマサンシャイン沼津	8	シネマコンプレックス	384	滋賀県	近江八幡市	イオンシネマ近江八幡	8	シネマコンプレックス
331	静岡県	沼津市	シネマサンシャインらぼーと沼津	10	シネマコンプレックス	385	滋賀県	草津市	イオンシネマ草津	9	シネマコンプレックス
332	静岡県	三島市	ジョイランドみしま	6	シネマコンプレックス	386	滋賀県	甲賀市	水口アレックスシネマ	5	シネマコンプレックス
333	静岡県	富士宮市	イオンシネマ富士宮	6	シネマコンプレックス	387	滋賀県	彦根市	彦根ピバシティシネマ	4	既存興行館
334	静岡県	伊東市	金星シネマ	1	ミニシアター / 名画座	388	京都府	京都市	MOVIX京都	12	シネマコンプレックス
335	静岡県	磐田市	TOHOシネマズらぼーと磐田	10	シネマコンプレックス	389	京都府	京都市	TOHOシネマズ二条	11	シネマコンプレックス
336	静岡県	藤枝市	藤枝シネ・プレーゴ	7	シネマコンプレックス	390	京都府	京都市	T・ジョイ京都	12	シネマコンプレックス
337	静岡県	清水町	シネプラザサントムーン	12	シネマコンプレックス	391	京都府	京都市	イオンシネマ京都桂川	12	シネマコンプレックス
338	愛知県	名古屋市中区	イオンシネマ ワンダー	10	シネマコンプレックス	392	京都府	京都市	京都シネマ	3	ミニシアター / 名画座
339	愛知県	名古屋市中区	109シネマズ名古屋	10	シネマコンプレックス	393	京都府	京都市	出町座	2	ミニシアター / 名画座
340	愛知県	名古屋市中区	ミッドランドスクエア シネマ	14	シネマコンプレックス	394	京都府	京都市	アップリンク京都	4	ミニシアター / 名画座
341	愛知県	名古屋市中区	中川コロナシネマワールド	12	シネマコンプレックス	395	京都府	京都市	本町館 *2025年10月閉館	1	成人映画館
342	愛知県	名古屋市中区	イオンシネマ名古屋茶屋	12	シネマコンプレックス	396	京都府	京都市	千本日活	1	成人映画館
343	愛知県	名古屋市中区	イオンシネマ大高	10	シネマコンプレックス	397	京都府	福知山市	福知山シネマ	3	既存興行館
344	愛知県	名古屋市中区	ナゴヤキネマ・ノイ	1	ミニシアター / 名画座	398	京都府	舞鶴市	シネ・グルージャ [カフェシネマ]	1	ミニシアター / 名画座
345	愛知県	名古屋市中区	シネマスコレ	1	ミニシアター / 名画座	399	京都府	舞鶴市	舞鶴八千代	3	既存興行館

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
400	京都府	木津川市	イオンシネマ高の原	9	シネマコンプレックス
401	京都府	久御山町	イオンシネマ久御山	8	シネマコンプレックス
402	大阪府	大阪市	なんばパークスシネマ	11	シネマコンプレックス
403	大阪府	大阪市	あべのアポロシネマ	9	シネマコンプレックス
404	大阪府	大阪市	TOHOシネマス梅田	10	シネマコンプレックス
405	大阪府	大阪市	T・ジョイ梅田	7	シネマコンプレックス
406	大阪府	大阪市	大阪ステーションシティシネマ	12	シネマコンプレックス
407	大阪府	大阪市	TOHOシネマなんば	12	シネマコンプレックス
408	大阪府	大阪市	イオンシネマシアタース心齋橋	7	シネマコンプレックス
409	大阪府	大阪市	シネ・ヌーヴォ / シネ・ヌーヴォX	2	ミニシアター / 名画座
410	大阪府	大阪市	第七藝術劇場 / シアターセブン	2	ミニシアター / 名画座
411	大阪府	大阪市	テアトル梅田 (旧シネ・リール梅田)	4	ミニシアター / 名画座
412	大阪府	大阪市	扇町キネマ	1	ミニシアター / 名画座
413	大阪府	大阪市	キノシネマ心齋橋	2	ミニシアター / 名画座
414	大阪府	大阪市	シアターエミュ *2025年11月開館	1	ミニシアター / 名画座
415	大阪府	大阪市	新世界東映	1	ミニシアター / 名画座
416	大阪府	大阪市	新世界国際劇場 *2026年3月開館	1	ミニシアター / 名画座
417	大阪府	大阪市	新世界国際地下劇場 *2026年3月開館	1	成人映画館
418	大阪府	大阪市	日劇シネマ / ローズ	2	成人映画館
419	大阪府	大阪市	上六シネマ	1	成人映画館
420	大阪府	堺市	MOVIX堺 *2026年2月開館	12	シネマコンプレックス
421	大阪府	堺市	TOHOシネマス鳳	10	シネマコンプレックス
422	大阪府	堺市	TOHOシネマス泉北	9	シネマコンプレックス
423	大阪府	岸和田市	ユナイテッド・シネマ岸和田	9	シネマコンプレックス
424	大阪府	吹田市	109シネマス大阪エキスポシティ	11	シネマコンプレックス
425	大阪府	高槻市	高槻アレックスシネマ	9	シネマコンプレックス
426	大阪府	守口市	イオンシネマ大日	8	シネマコンプレックス
427	大阪府	枚方市	ユナイテッド・シネマ枚方 *2025年2月開館	9	シネマコンプレックス
428	大阪府	枚方市	TOHOシネマスくずはモール	10	シネマコンプレックス
429	大阪府	茨木市	イオンシネマ茨木	10	シネマコンプレックス
430	大阪府	八尾市	MOVIX八尾	12	シネマコンプレックス
431	大阪府	松原市	TOHOシネマス セブンパーク天美	10	シネマコンプレックス
432	大阪府	箕面市	109シネマス箕面	9	シネマコンプレックス
433	大阪府	門真市	TOHOシネマスららぽーと門真	9	シネマコンプレックス
434	大阪府	泉南市	イオンシネマリんくう泉南	8	シネマコンプレックス
435	大阪府	四條畷市	イオンシネマ四條畷	11	シネマコンプレックス
436	兵庫県	神戸市	109シネマスHAT神戸	10	シネマコンプレックス
437	兵庫県	神戸市	OSシネマスミント神戸	8	シネマコンプレックス
438	兵庫県	神戸市	OSシネマス神戸ハーバーランド	10	シネマコンプレックス
439	兵庫県	神戸市	シネ・リール神戸	3	ミニシアター / 名画座
440	兵庫県	神戸市	元町映画館	1	ミニシアター / 名画座
441	兵庫県	神戸市	キノシネマ神戸国際	4	ミニシアター / 名画座
442	兵庫県	神戸市	シネマ神戸	2	ミニシアター / 名画座
443	兵庫県	神戸市	バルシネマしんこうえん	1	ミニシアター / 名画座
444	兵庫県	神戸市	カナートホール	1	既存興行館
445	兵庫県	神戸市	福原国際東映	1	成人映画館
446	兵庫県	姫路市	アースシネマス姫路	12	シネマコンプレックス
447	兵庫県	尼崎市	MOVIXあまがさき	11	シネマコンプレックス
448	兵庫県	尼崎市	塚口サンサン劇場	4	既存興行館 ミニシアター / 名画座
449	兵庫県	尼崎市	尼崎パレス	1	成人映画館
450	兵庫県	明石市	イオンシネマ明石	7	シネマコンプレックス
451	兵庫県	西宮市	TOHOシネマス西宮OS	12	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
452	兵庫県	洲本市	洲本オリオン	1	既存興行館
453	兵庫県	伊丹市	TOHOシネマス伊丹	8	シネマコンプレックス
454	兵庫県	豊岡市	豊岡劇場	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
455	兵庫県	加古川市	イオンシネマ加古川	8	シネマコンプレックス
456	兵庫県	赤穂市	プラット赤穂シネマ	3	既存興行館
457	兵庫県	宝塚市	シネ・ヒビア	2	ミニシアター / 名画座
458	兵庫県	三田市	イオンシネマ三田ウッドイタウン	7	シネマコンプレックス
459	兵庫県	丹波市	エビスシネマ	1	ミニシアター / 名画座
460	奈良県	大和郡山市	シネマサンシャイン大和郡山	9	シネマコンプレックス
461	奈良県	橿原市	ユナイテッド・シネマ橿原	9	シネマコンプレックス
462	奈良県	橿原市	TOHOシネマス橿原	9	シネマコンプレックス
463	和歌山県	和歌山市	ジストシネマ和歌山	10	シネマコンプレックス
464	和歌山県	和歌山市	イオンシネマ和歌山	10	シネマコンプレックス
465	和歌山県	和歌山市	シネマ203	1	ミニシアター / 名画座
466	和歌山県	御坊市	ジストシネマ御坊	3	既存興行館
467	和歌山県	田辺市	ジストシネマ田辺	3	既存興行館
468	和歌山県	新宮市	ジストシネマ南紀	4	既存興行館
469	鳥取県	鳥取市	鳥取シネマ	2	既存興行館
470	鳥取県	倉吉市	倉吉パーフルタウン シネマエポック	3	既存興行館
471	鳥取県	日吉津村	MOVIX日吉津	6	シネマコンプレックス
472	鳥取県	湯梨浜町	ジグシアター	1	ミニシアター / 名画座
473	島根県	松江市	イオンシネマ松江 *2025年7月開館 (←松江東宝5)	5	シネマコンプレックス
474	島根県	出雲市	T・ジョイ出雲	10	シネマコンプレックス
475	島根県	益田市	小野沢シネマ	1	ミニシアター / 名画座
476	岡山県	岡山市	イオンシネマ岡山	11	シネマコンプレックス
477	岡山県	岡山市	TOHOシネマス岡南	10	シネマコンプレックス
478	岡山県	岡山市	シネマ・クレール丸の内	2	ミニシアター / 名画座
479	岡山県	岡山市	メルバ	1	既存興行館
480	岡山県	倉敷市	MOVIX倉敷	10	シネマコンプレックス
481	広島県	広島市	MOVIX広島駅 *2025年3月開館	9	シネマコンプレックス
482	広島県	広島市	イオンシネマ広島	7	シネマコンプレックス
483	広島県	広島市	109シネマス広島	9	シネマコンプレックス
484	広島県	広島市	TOHOシネマス緑井	8	シネマコンプレックス
485	広島県	広島市	イオンシネマ広島西風新都	9	シネマコンプレックス
486	広島県	広島市	八丁座	2	ミニシアター / 名画座
487	広島県	広島市	サロンシネマ	2	ミニシアター / 名画座
488	広島県	広島市	広島横川シネマ	1	ミニシアター / 名画座
489	広島県	広島市	横川有楽座	1	成人映画館
490	広島県	呉市	呉ボボロ	2	既存興行館 ミニシアター / 名画座
491	広島県	尾道市	シネマ尾道	1	ミニシアター / 名画座
492	広島県	福山市	福山エーガル8シネマス	8	シネマコンプレックス
493	広島県	福山市	福山コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
494	広島県	福山市	シネマモード	2	ミニシアター / 名画座
495	広島県	東広島市	T・ジョイ東広島	6	シネマコンプレックス
496	広島県	府中町	広島バルト11	11	シネマコンプレックス
497	山口県	下関市	シネマサンシャイン下関	8	シネマコンプレックス
498	山口県	下関市	シネマポスト	1	ミニシアター / 名画座
499	山口県	宇部市	シネマスクエア7	7	シネマコンプレックス
500	山口県	萩市	萩ツインシネマ	2	ミニシアター / 名画座
501	山口県	防府市	イオンシネマ防府	7	シネマコンプレックス
502	山口県	下松市	MOVIX周南	7	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別	no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
503	山口県	周南市	シネマ・ヌーヴェル *2025年3月閉館(再開)	1	ミニシアター/名画座	554	長崎県	佐世保市	佐世保シネマボックス太陽	7	シネマコンプレックス
504	徳島県	徳島市	イオンシネマ徳島	9	シネマコンプレックス	555	熊本県	熊本市	ユナイテッド・シネマ熊本 *2025年3月閉館	10	シネマコンプレックス
505	徳島県	徳島市	ufotable CINEMA	2	ミニシアター/名画座	556	熊本県	熊本市	TOHOシネマズ 熊本サクラマチ	9	シネマコンプレックス
506	徳島県	北島町	シネマサンシャイン北島	8	シネマコンプレックス	557	熊本県	熊本市	熊本ピカデリー	10	シネマコンプレックス
507	香川県	高松市	イオンシネマ高松東	7	シネマコンプレックス	558	熊本県	熊本市	TOHOシネマズはません	9	シネマコンプレックス
508	香川県	高松市	ホールソレイユ	2	ミニシアター/名画座	559	熊本県	熊本市	Denkikan	3	ミニシアター/名画座
509	香川県	高松市	ロッポニカ高松	1	成人映画館	560	熊本県	熊本市	桃劇場 *2025年10月閉館	1	成人映画館
510	香川県	宇多津町	イオンシネマ宇多津	7	シネマコンプレックス	561	熊本県	宇城市	TOHOシネマズ宇城	8	シネマコンプレックス
511	香川県	綾川町	イオンシネマ綾川	9	シネマコンプレックス	562	熊本県	天草市	本渡第一映劇	1	ミニシアター/名画座
512	愛媛県	松山市	シネマサンシャイン衣山	9	シネマコンプレックス	563	熊本県	菊陽町	TOHOシネマズ光の森	9	シネマコンプレックス
513	愛媛県	松山市	シネマルナティック	1	ミニシアター/名画座	564	熊本県	嘉島町	イオンシネマ熊本	8	シネマコンプレックス
514	愛媛県	今治市	ユナイテッド・シネマ フジグラン今治	6	シネマコンプレックス	565	大分県	大分市	TOHOシネマズ大分わざだ	11	シネマコンプレックス
515	愛媛県	今治市	イオンシネマ今治新都市	7	シネマコンプレックス	566	大分県	大分市	T・ジョイパークプレイス大分	9	シネマコンプレックス
516	愛媛県	新居浜市	TOHOシネマズ新居浜	7	シネマコンプレックス	567	大分県	大分市	TOHOシネマズアミューラザ おおいた	10	シネマコンプレックス
517	愛媛県	東温市	シネマサンシャイン重信	7	シネマコンプレックス	568	大分県	大分市	大分シネマ5	1	ミニシアター/名画座
518	愛媛県	松前町	シネマサンシャインエミフル MASAKI	9	シネマコンプレックス	569	大分県	大分市	大分シネマ5 bis	1	ミニシアター/名画座
519	高知県	高知市	TOHOシネマズ高知	9	シネマコンプレックス	570	大分県	別府市	別府ブルーバード劇場	1	ミニシアター/名画座
520	高知県	高知市	キネマミュージアム	1	ミニシアター/名画座	571	大分県	別府市	別府南映劇場	1	成人映画館
521	高知県	高知市	高知あたご劇場	1	既存興行館	572	大分県	中津市	セントラルシネマ三光	8	シネマコンプレックス
522	福岡県	福岡市	ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13	13	シネマコンプレックス	573	大分県	日田市	日田シネマテーク・リベルテ	1	ミニシアター/名画座
523	福岡県	福岡市	T・ジョイ博多	11	シネマコンプレックス	574	大分県	豊後高田市	玉津東天紅	1	ミニシアター/名画座
524	福岡県	福岡市	TOHOシネマズららぽーと福岡	9	シネマコンプレックス	575	宮崎県	宮崎市	セントラルシネマ宮崎	9	シネマコンプレックス
525	福岡県	福岡市	ユナイテッド・シネマ福岡ももち	11	シネマコンプレックス	576	宮崎県	宮崎市	ワンダーアティックシネマ	7	シネマコンプレックス
526	福岡県	福岡市	KBCシネマ	2	ミニシアター/名画座	577	宮崎県	宮崎市	宮崎キネマ館	4	ミニシアター/名画座
527	福岡県	福岡市	キノシネマ天神	3	ミニシアター/名画座	578	宮崎県	都城市	シネポート	3	既存興行館
528	福岡県	福岡市	TOHOシネマズ天神 ソラリア館	3	既存興行館	579	宮崎県	延岡市	延岡シネマ	3	既存興行館
529	福岡県	福岡市	駅前パレス/ 駅前ロマン	2	成人映画館	580	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島ミット10	10	シネマコンプレックス
530	福岡県	北九州市	イオンシネマ戸畑	8	シネマコンプレックス	581	鹿児島県	鹿児島市	TOHOシネマズと次郎	10	シネマコンプレックス
531	福岡県	北九州市	ローソン・ユナイテッドシネマ小倉	10	シネマコンプレックス	582	鹿児島県	鹿児島市	天文館シネマパラダイス	7	シネマコンプレックス
532	福岡県	北九州市	T・ジョイリバーウォーク北九州	8	シネマコンプレックス	583	鹿児島県	鹿児島市	ガーデンズシネマ	1	ミニシアター/名画座
533	福岡県	北九州市	小倉コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス	584	鹿児島県	鹿屋市	リナシアター	1	既存興行館
534	福岡県	北九州市	小倉昭和館	1	ミニシアター/名画座	585	鹿児島県	奄美市	シネマパニック	1	既存興行館
535	福岡県	北九州市	小倉名画座	2	成人映画館	586	鹿児島県	始良市	シネマサンシャイン始良	9	シネマコンプレックス
536	福岡県	大牟田市	セントラルシネマ大牟田	7	シネマコンプレックス	587	沖縄県	那覇市	シネマQ	9	シネマコンプレックス
537	福岡県	久留米市	T・ジョイ久留米	10	シネマコンプレックス	588	沖縄県	那覇市	桜坂劇場	3	ミニシアター/名画座
538	福岡県	直方市	TOHOシネマズ直方	9	シネマコンプレックス	589	沖縄県	那覇市	シネマバレット	2	ミニシアター/名画座
539	福岡県	飯塚市	シネマサンシャイン飯塚	9	シネマコンプレックス	590	沖縄県	那覇市	ファミンチュシアター *2025年10月閉館	1	ミニシアター/名画座
540	福岡県	大川市	大川シネマホール	1	既存興行館	591	沖縄県	浦添市	ローソン・ユナイテッドシネマ PARCO CITY 浦添	11	シネマコンプレックス
541	福岡県	中間市	ユナイテッド・シネマ なかま16	13	シネマコンプレックス	592	沖縄県	沖縄市	シアタードーナツ	1	ミニシアター/名画座
542	福岡県	筑紫野市	イオンシネマ筑紫野	9	シネマコンプレックス	593	沖縄県	沖縄市	シネマプラザハウス1954	2	ミニシアター/名画座
543	福岡県	大野城市	イオンシネマ大野城	8	シネマコンプレックス	594	沖縄県	宮古島市	よしもと南の島パニバニシネマ	1	既存興行館
544	福岡県	福津市	TOHOシネマズ福津	10	シネマコンプレックス	595	沖縄県	北谷町	ミハマ7ブックス	8	シネマコンプレックス
545	福岡県	久山町	ユナイテッド・シネマトリアス久山	12	シネマコンプレックス	596	沖縄県	北中城村	シネマライカム	9	シネマコンプレックス
546	福岡県	粕屋町	イオンシネマ福岡	9	シネマコンプレックス	597	沖縄県	南風原町	サザンブックス	7	シネマコンプレックス
547	佐賀県	佐賀市	イオンシネマ佐賀大和	8	シネマコンプレックス				スクリーン数合計	3739	
548	佐賀県	佐賀市	109シネマズ佐賀	10	シネマコンプレックス						
549	佐賀県	佐賀市	シアター・シエマ	2	ミニシアター/名画座						
550	佐賀県	唐津市	シアターエンヤ	1	ミニシアター/名画座						
551	長崎県	長崎市	ローソン・ユナイテッドシネマ長崎	8	シネマコンプレックス						
552	長崎県	長崎市	TOHOシネマズ長崎	9	シネマコンプレックス						
553	長崎県	長崎市	長崎セントラル劇場	1	ミニシアター/名画座						

II 公共上映

1

全国映画祭リスト2025

2

公共の映画専門施設(シネマテーク)及び
映画資料館など

3

映画館以外で行われる上映活動

II | 公共上映

1

全国映画祭リスト2025

2025年度(2025年4月から2026年3月まで)に開催された映画祭を掲載。2020年以降の実施が確認できなかった映画祭も、終了が確認できないものは一部掲載している。「映画祭」の定義については、「凡例」を参照。国際映画祭は太字。

no.	都道府県	市区町村	映画祭名	国際 地域	第一回 開催年	開催 ペース	開催月 2025	備考
1	北海道	札幌市	札幌国際短編映画祭	国際映画祭	2006年	毎年	10月	
2	北海道	夕張市	ゆうばり国際ファンタスティック思い出映画祭	国際映画祭	1990年	毎年	10月	「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」→「ゆうばり国際ファンタスティック思い出映画祭」に改称。
3	北海道	千歳市	新千歳空港国際アニメーション映画祭	国際映画祭	2014年	毎年	11月	
4	北海道	札幌市	北海道フービーフェスティバル	地域映画祭	2024年	毎年	10月	「HOKKAIDO FOOD FILM FESTIVAL」→「北海道フービーフェスティバル」に改称。
5	北海道	札幌市	ブラザ映像祭	地域映画祭	2019年			2023年以降開催なし。
6	北海道	函館市	函館港イルミネーション映画祭	地域映画祭	1995年	毎年	12月	
7	北海道	網走市	網走映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	11月	
8	北海道	稚内市	わからない白夜映画祭	地域映画祭	2014年	毎年	6月	
9	北海道	新得町	新・しんとく空想の森映画祭	地域映画祭	1995年	毎年	5-6月	
10	青森県	青森市	青森インターナショナルLGBT フィルムフェスティバル	地域映画祭	2006年	毎年	7月	1日のみの開催。
11	岩手県	盛岡市	盛岡かわとみどりのほしぞら映画祭	地域映画祭	2020年	毎年		2025年確認できず。
12	岩手県	盛岡市	もりおか座映画祭	地域映画祭	2025年		10月	2025年第1回開催。
13	岩手県	宮古市	ジモトエイソウサイ	地域映画祭	2011年	毎年		2025年確認できず。
14	岩手県	花巻市	イーハトーブフェスティバル	地域映画祭	2016年	毎年	8月	
15	岩手県	一戸町	カシオペア映画祭	地域映画祭	1996年	毎年	10月	1日のみの開催。
16	宮城県	仙台市	ショートピース仙台短篇映画祭	地域映画祭	2001年	毎年	9月	
17	宮城県	仙台市	吉岡宿にしびりかの映画祭	地域映画祭	2018年	毎年	11月	1日のみの開催。
18	秋田県	横手市	あきた十文字映画祭	地域映画祭	1991年	毎年	2月	
19	山形県	山形市	山形国際ドキュメンタリー映画祭	国際映画祭	1989年	隔年	10月	
20	山形県	山形市	山形国際ムービーフェスティバル	地域映画祭	2005年	毎年	11月	
21	山形県	山形市	山の恵みの映画たち	地域映画祭	2014年	不定		次回は2026年開催。
22	山形県	米沢市	伴淳記念映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	10月	1日のみの開催。
23	山形県	鶴岡市	食の映画祭	地域映画祭	2016年	毎年		2023年以降開催なし。
24	福島県	いわき市	いわきボレボレ映画祭	地域映画祭	2011年	毎年	3月	2025年度開催なし。2026年4月開催予定。
25	福島県	本宮市	カナリヤ映画祭	地域映画祭	2013年	毎年	10月	1日のみの開催。
26	福島県	新地町	福島こどものみらい映画祭	地域映画祭	2008年	毎年	3月	2025年度確認できず。
27	茨城県	水戸市	水戸映画祭 / 水戸短編映像祭	地域映画祭	1985年/ 1997年	毎年	10月	
28	茨城県	日立市	ひたち映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	10月	1日のみの開催。
29	栃木県	那須町	那須ショートフィルムフェスティバル	地域映画祭	2006年	毎年	11月	
30	群馬県	前橋市	前橋映像祭	地域映画祭	2010年	毎年	10月	
31	群馬県	高崎市	高崎映画祭	地域映画祭	1987年	毎年	3月	
32	群馬県	中之条町	伊参スタジオ映画祭	地域映画祭	2001年	毎年	11月	
33	群馬県	玉村町	たまむら映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	9月	
34	群馬県	邑楽町	邑の映画会	地域映画祭	2008年	毎年	11月	1日のみの開催。
35	埼玉県	川口市	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	国際映画祭	2004年	毎年	7月	
36	埼玉県	さいたま市	岩槻映画祭	地域映画祭	2014年	毎年	2月	
37	埼玉県	さいたま市	SAITAMA なんとか映画祭	地域映画祭	2021年	毎年	9月	
38	千葉県	千葉市	ちば映画祭	地域映画祭	2008年	毎年		「ちば映画祭定期上映会」として年3回程度開催。
39	千葉県	浦安市	うらやすドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2011年	毎年	7月	
40	東京都	千代田区	東京国際映画祭	国際映画祭	1985年	毎年	10-11月	
41	東京都	千代田区	ラテンビート映画祭	国際映画祭	2003年	毎年	10-11月	東京国際映画祭共催。
42	東京都	渋谷区	イメージフォーラム・フェスティバル	国際映画祭	1987年	毎年	9-10月	京都・名古屋でも開催。
43	東京都	新宿区	レインボー・リール東京	国際映画祭	1992年	毎年	6-7月	
44	東京都	世田谷区	キネコ国際映画祭	国際映画祭	1992年	毎年	10-11月	
45	東京都	渋谷区	ショートショートフィルムフェスティバル&アジア	国際映画祭	1999年	毎年	5-6月	

no.	都道府県	市区町村	映画祭名	国際 地域	第一回 開催年	開催 ペース	開催月 2025	備考
46	東京都	千代田区	東京フィルメックス	国際映画祭	2000年	毎年	11月	
47	東京都	千代田区	イタリア映画祭	国際映画祭	2001年	毎年	5月	大阪でも開催。
48	東京都	渋谷区	EUフィルムデーズ	国際映画祭	2003年	毎年	6-7月	愛知・京都・大阪・福岡でも開催。
49	東京都	文京区	難民映画祭(元UNHCR WILL2LIVE映画祭)	国際映画祭	2005年	毎年	11-12月	大阪でも開催。
50	東京都	千代田区	日中映画祭(2025東京・中国映画週間)	国際映画祭	2006年	毎年	10月	
51	東京都	豊島区	映文連 国際短編映像祭	国際映画祭	2007年	毎年	11月	
52	東京都	目黒区	恵比寿映像祭	国際映画祭	2008年	毎年	1-2月	
53	東京都	千代田区	ダマー国際映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	4月	
54	東京都	渋谷区	フィンランド映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	11月	
55	東京都	渋谷区	トーキョーノーザンライツフェスティバル	国際映画祭	2011年	毎年		2021年以降開催なし
56	東京都	豊島区	東京アニメアワードフェスティバル	国際映画祭	2014年	毎年	3月	
57	東京都	渋谷区	イスラム映画祭	国際映画祭	2016年	毎年	2月	2025年10回の開催をもって休業を発表。
58	東京都	渋谷区ほか	コミュニティシネマフェスティバル	国際映画祭	2025年		11月、2-3月	2025年第1回開催。高崎・大阪・福岡でも開催。
59	東京都	千代田区	科学技術映像祭	地域映画祭	1960年	毎年	7月	1日のみの開催。
60	東京都	千代田区	国際有機農業映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	12月	1日のみの開催。
61	東京都	千代田区	TOHOシネマズ学生映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	3月	1日のみの開催。
62	東京都	千代田区	秋葉原映画祭	地域映画祭	2016年	毎年		確認できず。
63	東京都	千代田区	東京インディペンデント映画祭	地域映画祭	2022年	毎年	11月	1日のみの開催。
64	東京都	千代田区	秋葉原国際映画祭	地域映画祭	2024年		11月	確認できず。
65	東京都	中央区	びあフィルムフェスティバル	地域映画祭	1977年	毎年	9月	
66	東京都	港区	爆音映画祭 in ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場	地域映画祭	2008年	毎年	10月	
67	東京都	港区	みなとシネマフェスタ	地域映画祭	2021年	毎年	11-12月	
68	東京都	新宿区	ドキュメンタリー・ドリーム・ショー 山形 in 東京	地域映画祭	2002年	隔年		隔年開催。2024年に前回開催。
69	東京都	新宿区	高校生のための eiga worldcup	地域映画祭	2014年	毎年	12月	1日のみの開催。
70	東京都	新宿区	東京ドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2018年	毎年	12月	
71	東京都	新宿区	新宿東口映画祭	地域映画祭	2021年	毎年	5-6月	
72	東京都	文京区	文京映画祭	地域映画祭	2016年	毎年		2024年度以降開催なし。
73	東京都	文京区	つながる・つなげるシネマフェスティバル	地域映画祭	2020年	毎年		2024年以降開催なし。
74	東京都	墨田区	すみだパークシネマフェスティバル	地域映画祭	2020年	毎年	10月	
75	東京都	江東区	江東シネマフェスティバル	地域映画祭	2007年	毎年	12月	
76	東京都	世田谷区	下北沢映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	10月	
77	東京都	渋谷区	東京学生映画祭	地域映画祭	1991年	毎年	8月	
78	東京都	渋谷区	ラブストーリー映画祭	地域映画祭	2010年	毎年		2021年以降開催なし。
79	東京都	渋谷区	国際平和映像祭(UFPFF)	地域映画祭	2011年	毎年	9月	1日のみの開催。
80	東京都	渋谷区	青山フィルムナイト	地域映画祭	2013年	毎年		2021年以降開催なし。
81	東京都	杉並区	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	地域映画祭	2009年	毎年	2月	
82	東京都	杉並区	杉並ヒーロー映画祭	地域映画祭	2016年	毎年	10月	1日のみの開催。
83	東京都	杉並区	手話のまち 東京国際ろう芸術祭	地域映画祭	2017年	隔年	11月	「東京国際ろう映画祭」から「手話のまち 東京国際ろう芸術祭」に改称。
84	東京都	豊島区	池袋みらい国際映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	2月	
85	東京都	練馬区	被爆者の声をうけつづ映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	9月	
86	東京都	練馬区	江古田映画祭	地域映画祭	2013年	毎年	2-3月	
87	東京都	足立区	日本芸術センター映像グランプリ	地域映画祭	2009年	毎年	11-12月	神戸でも開催。
88	東京都	江戸川区	メイシネマ祭	地域映画祭	1996年	毎年	5月	
89	東京都	八王子市	八王子 Short Film 映画祭	地域映画祭	2013年	毎年	12月	1日のみの開催。
90	東京都	立川市	立川名画座通り映画祭	地域映画祭	2015年	毎年	9月	
91	東京都	武蔵野市	吉祥寺国際アニメーション映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	2月	
92	東京都	三鷹市	三鷹の森アニメフェスタ	地域映画祭	2002年	毎年	3月	1日のみの開催。
93	東京都	三鷹市	三鷹連雀映画祭	地域映画祭	2017年	毎年		2023年以降開催なし。
94	東京都	調布市	映画のまち調布シネマフェスティバル	地域映画祭	1989年	毎年	2-3月	
95	東京都	国立市	くにたち映画祭	地域映画祭	2021年	毎年	9-11月	
96	東京都	狛江市	よんたま映画祭(キタコマ沖縄映画祭)	地域映画祭	2015年	毎年		2023年以降開催なし。
97	東京都	多摩市	TAMA CINEMA FORUM	地域映画祭	1991年	毎年	11月	
98	東京都	西東京市	西東京市民映画祭	地域映画祭	2001年	毎年	5月	
99	神奈川県	横浜市	横浜フランス映画祭	国際映画祭	1993年	毎年	3月	
100	神奈川県	横浜市	ヨコハマ映画祭	地域映画祭	1980年	毎年	2月	1日のみの開催。
101	神奈川県	横浜市	大倉山ドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2008年	毎年	3月	
102	神奈川県	横浜市	よこはま若葉町多文化映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	2月	確認できず。(1月現在)
103	神奈川県	横浜市	横浜インディペンデント・フィルム・フェスティバル	地域映画祭	2010年	毎年	11月	1日のみの開催。

no.	都道府県	市区町村	映画祭名	国際 地域	第一回 開催年	開催 ペース	開催月 2025	備考
104	神奈川県	横浜市	ヨコハマ・フットボール映画祭	地域映画祭	2011年	毎年	10月	
105	神奈川県	横浜市	横浜中華街映画祭	地域映画祭	2012年	毎年	2月	確認できず。(1月現在)
106	神奈川県	横浜市	横浜国際映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	5月	
107	神奈川県	川崎市	KAWASAKIしんゆり映画祭	地域映画祭	1995年	毎年	10-11月	
108	神奈川県	藤沢市	湘南予告篇映画祭	地域映画祭	2008年	毎年	12月	「予告篇ZEN映画祭」→「湘南予告篇映画祭」に改称。
109	神奈川県	茅ヶ崎市	茅ヶ崎映画祭	地域映画祭	2012年	毎年	10-11月	
110	神奈川県	逗子市	逗子海岸映画祭	地域映画祭	2010年	毎年	4-5月	
111	神奈川県	大和市	YAMATO FILM FESTIVAL	地域映画祭	2011年	毎年	3月	確認できず。(1月現在)
112	新潟県	新潟市	新潟国際アニメーション映画祭	国際映画祭	2023年	毎年	2-3月	
113	新潟県	新潟市	にいがたインディーズムービーフェスティバル	地域映画祭	1996年	毎年	12月	1日のみの開催。
114	新潟県	十日町市	グリーンイメーজ国際環境映像祭	国際映画祭	2013年	毎年		2023年以降開催なし。
115	新潟県	長岡市	ながおか映画祭	地域映画祭	1996年	毎年	9月	
116	新潟県	柏崎市	海と星と空の柏崎映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	10月	
117	富山県	富山市	とやま映像祭	地域映画祭		毎年	3月	
118	石川県	金沢市	カナザワ映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	9月	
119	福井県	福井市	福井駅前短編映画祭	地域映画祭	2015年	毎年	11月	
120	福井県	福井市	福井映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	11月	1日のみの開催。
121	福井県	あわら市	あわら湯けむり芸術祭	地域映画祭	2015年	毎年	3月	
122	山梨県	富士河口湖町	湖畔の映画祭	地域映画祭	2015年	毎年		2020年以降開催なし。
123	長野県	松本市	まつもと子どもたちの映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	7月	1日のみの開催。
124	長野県	松本市	マツモトフットボール映画祭	地域映画祭	2015年	毎年	1月	確認できず。(1月現在)
125	長野県	上田市	うえた城下町映画祭	地域映画祭	1997年	毎年	11月	
126	長野県	飯山市	みゆき野映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	2月	
127	長野県	茅野市	小津安二郎記念・蓼科高原映画祭	地域映画祭	1998年	毎年	9月	
128	長野県	軽井沢町	まるっとみんなて映画祭	地域映画祭	2021年	毎年	1月	確認できず。(1月現在)
129	長野県	原村	星空の映画祭	地域映画祭	2010年	毎年	8月	
130	岐阜県	岐阜市	ぎふアジア映画祭	地域映画祭	2002年	毎年	9-11月	
131	岐阜県	岐阜市	MKE映画祭	地域映画祭	2012年	毎年	6月	1日のみの開催。
132	岐阜県	可見市	アール映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	11月	
133	静岡県	浜松市	はまつ映画祭	地域映画祭	2001年	毎年	2月	1日のみの開催。
134	静岡県	沼津市	めぐる沼津映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	11月	1日のみの開催。
135	愛知県	名古屋市	あいち国際女性映画祭	国際映画祭	1996年	毎年	9月	
136	愛知県	名古屋市	なごや国際オーガニック映画祭	国際映画祭	2012年	毎年		2024年度以降開催なし。
137	愛知県	名古屋市	あいちなごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバル	国際映画祭	2025年		12月	2025年第1回開催。
138	愛知県	名古屋市	アートフィルム・フェスティバル	地域映画祭	1996年	毎年	6月	1日のみの開催。
139	愛知県	名古屋市	大須にじいろ映画祭	地域映画祭	2015年	毎年		2020年以降開催なし。
140	愛知県	豊橋市	とよはしまちなかスロータウン映画祭	地域映画祭	2002年	毎年	1-2月	
141	愛知県	東海市	知多半島映画祭	地域映画祭	2011年	毎年	11月	1日のみの開催。
142	愛知県	大府市	おおぶ映画祭	地域映画祭	2018年	毎年	3月	
143	三重県	津市	三重県内男女共同参画連携映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	6-1月	
144	三重県	四日市市	四日市映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	12月	
145	三重県	志摩市	賢島映画祭	地域映画祭	2015年	毎年		確認できず。
146	滋賀県	東近江市	滋賀国際映画祭	地域映画祭	2018年	毎年		2023年以降開催なし。
147	京都府	京都市	京都国際子ども映画祭	国際映画祭	1994年	毎年	8月	
148	京都府	京都市	京都国際学生映画祭	国際映画祭	2000年	毎年	2月	
149	京都府	京都市	京都ヒストリカ国際映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	12月	
150	京都府	京都市	京まちなか映画祭	地域映画祭	2002年	毎年	12月	
151	京都府	京都市	下鴨映画祭	地域映画祭	2023年	不定	2月	1日のみの開催。
152	大阪府	大阪市	大阪アジア映画祭	国際映画祭	2005年	毎年	8-9月	2025年は万博に合わせて開催。2026年3月の開催はなし。
153	大阪府	大阪市	関西ウィア映画祭	国際映画祭	2006年	毎年	12月	京都でも開催。
154	大阪府	大阪市	花開くコリア・アニメーション+アジア	国際映画祭	2008年	毎年		2024年以降開催なし。
155	大阪府	大阪市	大阪韓国映画祭	国際映画祭	2015年	毎年	11月	
156	大阪府	大阪市	おおさかシネマフェスティバル	地域映画祭	1976年	毎年		1日のみの開催。
157	大阪府	大阪市	中之島映画祭	地域映画祭	2003年	毎年	5月	
158	大阪府	大阪市	十三下町映画祭	地域映画祭	2024年	毎年	11月	
159	大阪府	泉佐野市	泉佐野フィルムフェス	地域映画祭	2025年	毎年	11月	
160	大阪府	門真市	門真国際映画祭	国際映画祭	2018年	毎年		2022年以降開催なし。
161	兵庫県	神戸市	神戸発掘映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	10月	
162	兵庫県	神戸市	神戸クラシックコメディ映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	1月	

no.	都道府県	市区町村	映画祭名	国際 地域	第一回 開催年	開催 ペース	開催月 2025	備考
163	兵庫県	神戸市	神戸インディペンデント映画祭	地域映画祭	2019年	毎年	11月	
164	兵庫県	洲本市	うみぞら映画祭	地域映画祭	2016年	毎年	4月	
165	兵庫県	相生市	相生なぎさ短編映画祭	地域映画祭	2018年	毎年	5月	
166	兵庫県	宝塚市	宝塚映画祭	地域映画祭	1999年	毎年	11月	
167	兵庫県	南あわじ市	南あわじ市子ども映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	9月	1日のみの開催。
168	奈良県	奈良市	なら国際映画祭	国際映画祭	2010年	隔年	9月	2025年「なら国際映画祭 for YOUTH」として開催 (大阪でも開催)。
169	和歌山県	和歌山市	Kisssh-Kisssssh映画祭	地域映画祭	2013年	毎年	10月	
170	和歌山県	田辺市	田辺・弁慶映画祭	地域映画祭	2007年	毎年	11月	
171	鳥取県	米子市	よなご映像フェスティバル	地域映画祭	2007年	毎年		2020年以降開催なし。
172	鳥取県	米子市	米子映画事変	地域映画祭	2011年	毎年	2月	
173	鳥取県	境港市	海とみなとの映画祭	地域映画祭	2013年	毎年		2020年以降開催なし。
174	島根県	松江市ほか	しまね映画祭	地域映画祭	1992年	毎年	10-12月	
175	岡山県	岡山市	岡山映画祭	地域映画祭	1995年	不定		2025年確認できず。
176	岡山県	真庭市	ニューガーデン映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	3月	
177	岡山県	玉野市	宇野港芸術映画座	国際映画祭	2010年	隔年	1月	
178	広島県	広島市	ひろしまアニメーションシーズン	国際映画祭	2022年	隔年	8月	
179	広島県	広島市	広島国際映画祭	国際映画祭	2009年	毎年	11月	
180	広島県	広島市	食と農の映画祭 in ひろしま	地域映画祭	2009年	毎年	3月	確認できず。(1月現在)
181	広島県	広島市	広島イラン愛と平和の映画祭	地域映画祭	2014年	毎年	8月	
182	広島県	尾道市	尾道映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	1月	
183	山口県	周南市	周南[絆]映画祭	地域映画祭	2009年	毎年		2025年開催なし。2026年開催予定。
184	徳島県	徳島市	徳島ニューノーマル映画祭(徳島国際映画祭)	地域映画祭	2016年	毎年		2024年以降開催なし。
185	徳島県	徳島市	トリコロール映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	10月	
186	徳島県	神山町	神山映画祭	地域映画祭	2015年	毎年	11-12月	確認できず。(1月現在)
187	香川県	高松市	香川レインボー映画祭	地域映画祭	2005年	毎年	12月	1日のみの開催。
188	香川県	高松市	さぬき映画祭	地域映画祭	2006年	毎年	2月	
189	愛媛県	松山市	愛媛国際映画祭	国際映画祭	2020年	毎年		2024年以降開催なし。
190	愛媛県	松山市	松山映画祭	地域映画祭	2001年	毎年		2020年以降開催なし。
191	高知県	高知市	高知あだたん映画祭	地域映画祭	2022年	毎年	10月	確認できず。(1月現在)
192	高知県	四万十市	四万十映画祭	地域映画祭	2013年			2019年以降開催なし。
193	福岡県	福岡市	福岡アジア映画祭	国際映画祭	1987年	毎年		確認できず。
194	福岡県	福岡市	Asian Film Joint	国際映画祭	2021年		11月	2025年開催なし。2026年開催予定。
195	福岡県	福岡市	福岡アジアフィルムフェスティバル	地域映画祭	1991年	毎年	10月	
196	福岡県	福岡市	福岡インディペンデント映画祭	地域映画祭	2009年	毎年	10月	
197	福岡県	福岡市	ふくおか国際映画祭	地域映画祭	2023年		12月	
198	福岡県	北九州市	北九州国際映画祭	国際映画祭	2023年		2-3月	
199	福岡県	糸島市	糸島映画祭 いとシネマ	地域映画祭	2017年	毎年		2021年以降開催なし。
200	佐賀県	唐津市	唐津国際映画祭 KIFF	国際映画祭	2023年		7月	
201	佐賀県	佐賀市	富士町古湯映画祭	地域映画祭	1984年	毎年	9月	
202	長崎県	長崎市	ながさき・愛の映画祭	地域映画祭	2016年	毎年	1月	2026年6月開催予定。
203	長崎県	佐世保市	渋谷佐世保 TANPEN 映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	11月	東京でも開催。
204	熊本県	熊本市	東アジア市民共生映画祭	地域映画祭	2007年	隔年	10-1月	隔年開催。
205	熊本県	熊本市	くまもと復興映画祭(菊池映画祭)	地域映画祭	2017年	毎年	11月	
206	大分県	大分市	おおいた自主映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	9月	1日のみの開催。
207	大分県	別府市	Beppuブルーバード映画祭	地域映画祭	2017年	毎年	4月	確認できず。
208	大分県	中津市	山国映画祭	地域映画祭	2023年	毎年	3月	
209	大分県	由布市	湯布院映画祭	地域映画祭	1976年	毎年	8月	
210	大分県	由布市	ゆふいん文化・記録映画祭	地域映画祭	1998年	毎年	6月	
211	宮崎県	宮崎市	宮崎映画祭	地域映画祭	1995年	毎年		2025年度は開催なし。
212	鹿児島県	鹿児島市	国際オーガニック映画祭	地域映画祭	2008年	毎年	12月	「オーガニックな森時間」→「国際オーガニック映画祭」に改称。
213	鹿児島県	指宿市	いぶすき映画祭	地域映画祭	2018年	毎年	10月	1日のみの開催。
214	沖縄県	那覇市	島でぜんぶおーきな祭 沖縄国際文化祭	国際映画祭	2009年	毎年	4月	「島でぜんぶおーきな祭 沖縄国際映画祭」から「島で ぜんぶおーきな祭 沖縄国際文化祭」に改称。
215	沖縄県	那覇市	沖縄環太平洋国際映画祭 Cinema at Sea	国際映画祭	2023年	隔年	2-3月	2026年より隔年開催に。
216	沖縄県	石垣市	島んちゅぬ映画祭	国際映画祭	2026年		3月	2026年第1回開催。
217	毎年開催地を 変更して実施	静岡県 沼津市	丘の向こうに森の映画祭 (夜空と交差する森の映画祭)	地域映画祭	2014年	毎年	9月	
218	毎年開催地を 変更して実施	大阪市	JCF 学生映画祭	地域映画祭	2003年	毎年	3月	

II | 公共上映

2

公共の映画専門施設(シネマテーク)及び
映画資料館など

コミュニティシネマセンターが保有する公共の映画専門施設(シネマテーク)のリストに、「全国映画資料館録2020」(国立映画アーカイブ、映像産業振興機構編、2025年度改訂版作成予定)の内容を合わせて作成している。

<https://www.vipo.or.jp/u/zenkokueigashiryokanroku2020.pdf>

no.	都道府県	市区町村	施設名	映画資料館	ホール数	席数	35mm 映写機	16mm 映写機	DCP対応 プロジェクター	その他 プロジェクター	上映頻度(主催事業)
1	青森県	五所川原市	五所川原市立図書館	●	-	-	-	-	-	-	
2	青森県	三沢市	三沢市寺山修司記念館	●	-	-	-	-	-	-	
3	宮城県	仙台市	せんだいメディアテーク スタジオシアター		1	180	有	有	有	有	貸館運用が中心だが、主催上映会も行っている。「ショートピース! 仙台短篇映画祭」を実行委員会と共催。
4	山形県	山形市	山形ドキュメンタリー フィルムライブラリー		1	40	有	有	無	有	山形国際ドキュメンタリー映画祭のコンペティション部門応募作品等、多数の作品を収蔵。試写室では月に1回「金曜上映会」を開催。
5	福島県	須賀川市	須賀川市特撮アーカイブセンター	●	-	-	-	-	-	-	
6	福島県	湯川村	湯川たから館	●	-	-	-	-	-	-	
7	福島県	三春町	福島ガイナ 福島さくら遊学舎	●	-	-	-	-	-	-	
8	群馬県	太田市	太田市立新田図書館	●	-	-	-	-	-	-	
9	埼玉県	川口市	SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ 映像ホール		1	321	有	有	有	有	月に1,2回「ウィークエンドシアター」を実施。毎年7月に「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭」を開催。
10	千葉県	市川市	市川市文学ミュージアム	●	2	260/46	有	有	無	有	年間に約30回程度上映会を行う。
11	東京都	中央区	国立映画アーカイブ(京橋)	●	2	310/151	有	有	有	有	国立機関で唯一のフィルムアーカイブ。特集上映を連日実施。神奈川県相模原市に収蔵庫・分館がある。
12	東京都	中央区	メゾンエルメス Le Studio		1	-				有	外国映画を中心に毎月上映会を実施。
13	東京都	千代田区	アテネ・フランセ文化センター		1	130	有	有	有	有	「古典映画の再評価と現代映画の発見」をテーマに多様な映画の特集上映を実施。
14	東京都	新宿区	東京日仏学院 エスパス・イマージュ		1	108	有	有	有	有	フランス映画を中心に特集上映を定期的実施。
15	東京都	目黒区	東京都写真美術館ホール		1	190	有	有	有	有	毎年2月に「恵比寿映像祭」を開催。
16	東京都	江東区	江東区古石場文化センター	●	1	240	有	有	無	有	年1回「江東シネマフェスティバル」を開催するほか、毎月上映会「江東シネマプラザ」を開催。小津安二郎関連資料を数多く所蔵。
17	東京都	千代田区	川喜多記念映画文化博物館	●	-	-	-	-	-	-	
18	東京都	中央区	松竹大谷図書館	●	-	-	-	-	-	-	
19	東京都	新宿区	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	●	-	-	-	-	-	-	
20	東京都	台東区	台東区立したまちミュージアム	●	-	-	-	-	-	-	「台東区立下町民俗資料館」は2025年リニューアルし「台東区立したまちミュージアム」に改称。
21	東京都	世田谷区	世田谷文学館	●	-	-	-	-	-	-	
22	東京都	渋谷区	市川崑記念室	●	-	-	-	-	-	-	
23	東京都	杉並区	杉並アニメーションミュージアム	●	-	-	-	-	-	-	
24	東京都	練馬区	日本大学芸術学部芸術資料館	●	-	-	-	-	-	-	
25	東京都	練馬区	東映アニメーションギャラリー	●	-	-	-	-	-	-	
26	東京都	葛飾区	葛飾柴又寅さん記念館	●	-	-	-	-	-	-	
27	東京都	三鷹市	三鷹の森ジブリ美術館	●	-	-	-	-	-	-	
28	東京都	調布市	芸能美術文庫PAL	●	-	-	-	-	-	-	
29	東京都	調布市	調布市立中央図書館映画資料室	●	-	-	-	-	-	-	

no.	都道府県	市区町村	施設名	映画資料館	ホール数	席数	35mm映写機	16mm映写機	DCP対応プロジェクター	その他プロジェクター	上映頻度(主催事業)
30	神奈川県	川崎市	川崎市アートセンター アルテリオ映像館		1	111	有	有	有	有	アートハウス(ミニシアター)として週6日間上映。様々なワークショップも実施、10-11月に「KAWASAKIしんゆり映画祭」を実行委員会と共催。
31	神奈川県	川崎市	川崎市市民ミュージアム 映像ホール	●	-	-	-	-	-	-	2019年台風19号により大規模な浸水被害を受け、移転再建を予定。休館中も市内各地で上映会を実施。
32	神奈川県	鎌倉市	鎌倉市川喜多映画記念館	●	1	51	有	有	有	有	映画の発展に貢献した川喜多長政・かしこ夫妻の旧宅跡に2010年に開館。映画資料の展示、特集上映やトークイベント、ワークショップなどを定期的実施。
33	山梨県	甲府市	山梨県立文学館	●	1	300					年間4,5回程度「名作映画観賞会」を実施。文芸作品が原作となった映画を上映。
34	長野県	茅野市	新・雲呼荘	●	-	-	-	-	-	-	
35	長野県	安曇野市	熊井啓記念館	●	-	-	-	-	-	-	
36	岐阜県	羽島市	羽島市映画資料館 (羽島市歴史民俗資料館)	●	1	-		有			羽島市による公立の映画資料館。毎月「映画のつどい」として上映会を実施し、旧作を16mmフィルムで上映している。
37	静岡県	浜松市	木下恵介記念館	●	1	-				有	木下恵介監督に関連する映画資料を所蔵し、同監督作品を毎月上映している。ドキュメンタリーやアートシネマ等の上映、ワークショップも実施。
38	愛知県	名古屋市	愛知芸術文化センター / 愛知県立美術館		1	180	有	有		有	愛知芸術文化センターを会場に開催される「アートフィルム・フェスティバル」は29回を数え、毎年1本、映像作品の制作を行っている。
39	愛知県	豊田市	豊田郷土資料館	●	-	-	-	-	-	-	2022年閉館後、2024年4月「豊田市博物館」に統合。
40	三重県	亀山市	亀山市歴史博物館	●	-	-	-	-	-	-	2025年10月～2027年3月改装のため休館。
41	京都府	京都市	京都文化博物館 フィルムシアター	●	1	172	有	有		有	公共のフィルムアーカイブ。京都で製作された作品を中心に収集。毎週末、収蔵作品と外部借用作品による特集上映を実施。ワークショップ等も行っている。「京都ヒストリカ国際映画祭」「京都国際子ども映画祭」等会場。
42	京都府	京都市	おもちゃ映画ミュージアム	●	1	24					フィルムで撮影されたサイレント映画やアニメーション等の玩具映画を中心に定期的に上映会を行う。 2025年4月京都市上京区に移転。
43	京都府	京都市	京都府立図書館	●	-	-	-	-	-	-	
44	京都府	京都市	立命館大学アート・リサーチセンター	●	-	-	-	-	-	-	
45	京都府	京都市	東映太秦映画村 映画図書室	●	-	-	-	-	-	-	
46	大阪府	大阪市	プラネット映画資料図書館 プラネットプラスワン	●	1	25	有	有	無	有	映画フィルム、資料の収集を行うとともに、外国映画の旧作を中心に週5回上映。サイレント映画の生演奏付上映も定期的実施。(一神戸映画資料館)
47	大阪府	吹田市	国立民族学博物館 みんなくインテリジェントホール(講堂)		1	450	無	有	無	有	「みんなく映画会」として、文化人類学・民族学に関する貴重な映像資料などを、研究者の解説を交えて定期的に上映。
48	大阪府	池田市	阪急文化財団池田文庫	●	-	-	-	-	-	-	
49	大阪府	河南町	大阪芸術大学博物館	●	-	-	-	-	-	-	
50	兵庫県	神戸市	神戸映画資料館	●	1	38	有	有	無	有	公共のフィルムアーカイブ。毎週末、収蔵する古典映画等のフィルムによる特集上映や、先鋭的な現代映画の上映を実施。「神戸発掘映画祭」「神戸クラシックコメディ映画祭」会場。
51	兵庫県	市川町	橋本忍記念館	●	-	-	-	-	-	-	
52	鳥取県	智頭町	西河克己映画記念館	●	-	-	-	-	-	-	
53	島根県	安来市	足立美術館(映画資料)	●	-	-	-	-	-	-	
54	広島県	広島市	広島市映像文化ライブラリー		1	169	有	有	無	有	公共のフィルムアーカイブ。広島に関係する作品や、原爆や戦争をテーマにした作品等を中心にフィルムを収集。収蔵フィルム作品と外部借用作品による特集企画を連日上映。サイレント映画の伴奏付上映等のイベントやワークショップも開催。「ひろしまアニメーションシーズン」「広島国際映画祭」会場。 2026年春移転・開館。

no.	都道府県	市区町村	施設名	映画資料館	ホール数	席数	35mm 映写機	16mm 映写機	DCP対応 プロジェクター	その他 プロジェクター	上映頻度(主催事業)
55	広島県	尾道市	おのみち映画資料館	●	-	-	-	-	-	-	
56	山口県	山口市	山口情報芸術センター[YCAM]		1	100	有	有	有	有	山口市内唯一の常設の上映施設として、週6日、新作を含めアート系作品を中心に上映。特集上映やゲストトーク、野外上映等のイベントも実施。
57	山口県	下関市	下関市立近代先人顕彰館 (田中絹代ぶんか館)	●	1	40				有	毎月「名画劇場」を開催。田中絹代に関する常設展示を行う。
58	香川県	小豆島町	二十四の瞳映画村 ギャラリー松竹座映画館	●	1	40				有	
59	高知県	高知市	高知県立美術館		1	399	有	有	無	有	春夏秋冬の年4回、特集上映を開催。
60	高知県	高知市	高知県立文学館	●	-	-	-	-	-	-	
61	福岡県	福岡市	福岡市総合図書館 映像ホール[シネラ]	●	1	246	有	有	有	有	公共のフィルムアーカイブ。アジア広域の映画を多数収蔵する他、地域の郷土映像を収集。収蔵フィルム作品と外部借用作品による特集企画を連日上映。
62	福岡県	北九州市	松永文庫	●	-	-	-	-	-	-	
63	沖縄県	那覇市	沖縄県立博物館・美術館	●	-	-	-	-	-	-	

II | 公共上映

3

映画館以外で行われる上映活動

自主上映団体、公共文化施設による上映については、概ね過去1-2年の活動実績をネット上で確認し、定期的な活動が確認された団体や会場を掲載している。

移動上映事業者による上映については、主要な移動上映事業者のサイトを確認することに加え、近年ヒット作品を上映した公共文化施設を検索するなどして適宜追加した。

上映会(上映団体)名

上映会や上映団体の名称。

上映活動分類

自主上映団体(会場借用)

地域のホール等を借りて行われる自主上映団体による上映活動

自主上映団体(自館)

上映団体自らがつくった上映のための場所で行われる自主上映団体による上映活動

自主上映団体(カフェ等)

カフェ等の飲食店や書店、商業施設の一部などを利用して行われる自主上映団体による上映活動

公共文化施設

公共文化施設の運営団体が主催し、自らが管理する公共ホール等で行う上映活動

移動上映・移動興行

移動上映事業者が公共施設等の会場を借りて行う上映活動。

会場

上映活動が行われる会場。会場が不明の場合は「-」としている。移動上映事業者が主催者であることが確認できる場合、事業者名を()内に記載している。

周辺環境

上映会が行われている市町村から30キロ圏内に映画館がない場合、「*」を入れている。

上映頻度

上映頻度が明らかな場合のみ記載している。

映画館以外で行われる上映活動一覧

no.	都道府県	市区町村	上映会(上映団体)名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
1	北海道	札幌市	札幌映画サークル	自主上映団体(会場借用)	札幌市教育文化会館ほか		年6回以上
2	北海道	札幌市	クリエイティブスタジオシネマシリーズ	公共文化施設	札幌文化芸術劇場 hikaru (札幌市民交流プラザ/クリエイティブスタジオ)		年1-2回
3	北海道	札幌市	映画の空気	自主上映団体(カフェ等)	札幌市内のホールや商業施設など		
4	北海道	札幌市	キノマド	自主上映団体(カフェ等)	札幌市内の商業施設や寺院など		年10回以上
5	北海道	函館市	函館映画鑑賞協会	自主上映団体(会場借用)	函館市民会館ほか		
6	北海道	旭川市	まちなかぶんか小屋 映画部	自主上映団体(会場借用)	まちなかぶんか小屋		
7	北海道	帯広市	おびひろ自主上映の会	自主上映団体(会場借用)	上土幌町生涯学習センターほか		年6回以上
8	北海道	滝川市	滝川映画サークル	自主上映団体(会場借用)	滝川市音楽公民館ほか	*	年4回
9	北海道	砂川市	ゆうシアター / 優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	砂川市地域交流センターゆう	*	
10	北海道	厚岸町	名作鑑賞会	公共文化施設	本の森 厚岸情報館	*	毎月
11	青森県	青森市	カダール映画の日	公共文化施設	青森市男女共同参画プラザ カダール		年5-6回
12	青森県	青森市	映画上映会 / 優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	青森県立美術館		年1-2回
13	青森県	弘前市	harappa映画館	自主上映団体(会場借用)	スペースアストロ弘前ほか		
14	青森県	八戸市	白マドの灯	自主上映団体(会場借用)	八戸市美術館ほか		
15	青森県	むつ市	新作シネマ上映会	移動上映・移動興行	下北文化会館(オカダプランニング)	*	年3-4回
16	岩手県	盛岡市	岩手県立美術館(アート・シネマ上映会)	公共文化施設	岩手県立美術館		毎月
17	岩手県	盛岡市	〈映画の力〉プロジェクト	自主上映団体(会場借用)	盛岡市内各所		
18	岩手県	盛岡市	素敵なまちの映画会	公共文化施設	盛岡という星で BASE STATION ほか		年2回
19	岩手県	宮古市	シネマリーン上映会(元映画館)※2025年6月まで	自主上映団体(会場借用)	DORAホール(旧シネマリーン)(みやこ映画生協)	*	
20	岩手県	宮古市	シネマ・デ・アエル プロジェクト	自主上映団体(自館)	シネマ・デ・アエル	*	毎月
21	岩手県	宮古市	NE-PROJECTION[エヌ・イー・プロジェクション]	移動上映・移動興行	DORAホール(みやこシネマリーン)ほか東北各地		
22	岩手県	大船渡市	新作シネマ上映会	移動上映・移動興行	大船渡市民文化会館 リアスホール(オカダプランニング)	*	年6回以上
23	岩手県	久慈市	久慈新作シネマ上映会	移動上映・移動興行	久慈市文化会館 アンバーホール(オカダプランニング)	*	年2-3回
24	岩手県	遠野市	ねこせでキネマ	自主上映団体(会場借用)	遠野市立図書館 視聴覚ホール	*	
25	岩手県	釜石市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	釜石市民ホール TETTO	*	
26	岩手県	釜石市	新作映画会	移動上映・移動興行	釜石市民ホール TETTO(オカダプランニング)	*	年3-4回
27	岩手県	釜石市	CINEPIT	公共文化施設	釜石情報交流センター 釜石PIT	*	
28	岩手県	二戸市	新作映画会	移動上映・移動興行	二戸市民文化会館(オカダプランニング)	*	年3-4回
29	岩手県	奥州市	ティータイムシネマ倶楽部	公共文化施設	胆沢文化創造センター		
30	岩手県	奥州市	ワンコインシネマ	公共文化施設	前沢ふれあいセンター		年2回
31	岩手県	奥州市	シネマざさら座	公共文化施設	江刺体育文化会館ざさらホール		
32	岩手県	紫波町	シワキネマ	自主上映団体(会場借用)	オガールプラザほか		年4-5回
33	岩手県	洋野町	善映館(元映画館)	その他	善映館	*	
34	岩手県	一戸町	萬代館(元映画館)	公共文化施設	萬代館	*	
35	宮城県	石巻市	シアターキネマティカ / 石巻名画座	自主上映団体(自館)	シアターキネマティカ		年10回以上
36	宮城県	石巻市	オカダプランニング	移動上映・移動興行	気仙沼市民会館ほか		
37	宮城県	塩釜市	遊遊シアターフレンズ	自主上映団体(会場借用)	塩釜市遊ホール		
38	宮城県	気仙沼市	新作映画会	移動上映・移動興行	気仙沼市民会館(オカダプランニング)	*	
39	宮城県	加美町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	加美町中新田文化会館(中新田パッパホール)		
40	秋田県	秋田市	アウトクロープ・シネマ	自主上映団体(自館)	アウトクロープ・シネマ		毎月
41	秋田県	能代市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	能代市文化会館		
42	秋田県	横手市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	横手市ふれあいセンターかまくら館		
43	秋田県	大館市	小中学生映画鑑賞会 / 優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	大館市民文化会館		
44	秋田県	男鹿市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	男鹿市民文化会館		
45	秋田県	大仙市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	大仙市中仙市民会館		
46	秋田県	北秋田市	ファルコンシネマ / 優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	北秋田市文化会館 ファルコン		
47	秋田県	にかほ市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	仁賀保勤労青少年ホーム	*	
48	山形県	山形市	里山で映画を楽しむ会	自主上映団体(会場借用)	はらっぱ里山保育園		
49	山形県	山形市	おやこ映画の会 カンガルーのポケット	自主上映団体(会場借用)	やまぎん県民ホール、フォーラム山形ほか		
50	山形県	山形市	山形県映画センター	移動上映・移動興行	山形県内各地ほか		
51	山形県	米沢市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	米沢市市民文化会館		
52	山形県	鶴岡市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)		
53	山形県	酒田市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	酒田市ひらたタウンセンター		
54	山形県	酒田市	平田映画サークル あるふぁ'85	自主上映団体(会場借用)	酒田市ひらたタウンセンター		
55	山形県	新庄市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	新庄市民プラザ	*	
56	山形県	大石田町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	大石田町町民交流センター 虹のプラザ		
57	山形県	川西町	映画上映会	公共文化施設	川西町フレンドリープラザ		年1-2回
58	山形県	庄内町	庄内ドキュメンタリー映画友の会	自主上映団体(会場借用)	余目第一まちづくりセンターほか		
59	福島県	福島市	映画上映会 / 優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	福島県文化センター		
60	福島県	会津若松市	会津新作シネマ上映会	移動上映・移動興行	會津風雅堂(オカダプランニング)	*	年6回以上

no.	都道府県	市区町村	上映会(上映団体)名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
61	福島県	会津若松市	会津シネマウィーク/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	会津若松市文化センター	*	年1-2回
62	福島県	いわき市	小名浜座を楽しむ会	その他	小名浜座(元映画館)		
63	福島県	白河市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	白河市東文化センター	*	
64	福島県	喜多方市	喜多方プラザ名画座	公共文化施設	喜多方プラザ	*	
65	福島県	南相馬市	映画上映会	その他	朝日座(元映画館)	*	
66	福島県	南相馬市	シネポケット	その他	小高バイオニアヴィレッジほか	*	
67	福島県	本宮市	本宮映画劇場	その他	本宮映画劇場(元映画館)		
68	福島県	会津津美里町	会津新富座とともに歩む会	その他	会津新富座(元映画館)	*	
69	福島県	川内村	かわうちCINEMO	自主上映団体(カフェ等)	Café Amazon(カフェ・アマゾン)川内村店 (株)サンアメニティ		毎月
70	福島県	大熊町	おおくまCINEMO	公共文化施設	大熊町交流施設linkの大熊 多目的ホール (株)サンアメニティ	*	毎月
71	福島県	双葉町	ふたばCINEMO	公共文化施設	双葉町産業交流センター(株)サンアメニティ	*	毎月
72	福島県	浪江町	なみえコミュニティシネマ	自主上映団体(会場借用)	幾世橋防災コミュニティセンターほか	*	
73	茨城県	水戸市	310+1 cinema project	自主上映団体(会場借用)	Café+zakka+gallery Minervaほか		毎月
74	茨城県	水戸市	映画上映会	移動上映・移動興行	県民文化センター ザ・ヒロサワ・シティ会館 (茨城映画センター)		毎月
75	茨城県	水戸市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	水戸芸術館ACM劇場		
76	茨城県	水戸市	悠悠映画塾	移動上映・移動興行	茨城県立県民文化センターほか(茨城映画センター)		毎月
77	茨城県	水戸市	茨城映画センター	移動上映・移動興行	県民文化センター ザ・ヒロサワ・シティ会館ほか		毎月
78	茨城県	日立市	映画上映会	公共文化施設	日立市民会館		
79	茨城県	土浦市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	土浦市民会館 クラフトシビックホール土浦		
80	茨城県	結城市	アクロス映画上映会	公共文化施設	結城市民文化センターアクロス		
81	茨城県	笠間市	トモア駅前シネマ	公共文化施設	笠間市地域交流センターともべTomoa(茨城映画センター)		毎月
82	茨城県	取手市	映画上映会	公共文化施設	取手市立市民会館		年1-2回
83	茨城県	牛久市	エスカードシネマクラブ	自主上映団体(会場借用)	牛久市中央生涯学習センター (ゆめまちネット 牛久市ボランティア市民活動ネットワーク)		毎月
84	茨城県	常陸大宮市	映画上映会	公共文化施設	常陸大宮市文化センター		
85	茨城県	神栖市	新作上映会	公共文化施設	神栖市文化センター		
86	栃木県	鹿沼市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	鹿沼市民文化センター		
87	栃木県	真岡市	真岡市芸術鑑賞映画会	公共文化施設	真岡市民会館		年7回
88	栃木県	野木町	エニスホール映画会/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	野木町文化会館		年1-2回
89	群馬県	前橋市	群馬共同映画社	自主上映団体(会場借用)	群馬県内各地		
90	群馬県	桐生市	きりゅうシネクラブ	自主上映団体(会場借用)	桐生市内各所		年6回以上
91	群馬県	桐生市	るうふ倶楽部名画鑑賞会(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	桐生市市民文化会館		
92	群馬県	富岡市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	群馬県立自然史博物館		
93	群馬県	甘楽町	かんらシネマ(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	甘楽町文化会館		
94	埼玉県	さいたま市	彩の国シネマスタジオ	自主上映団体(会場借用)	彩の国さいたま芸術劇場/埼玉会館ほか (埼玉映画ネットワーク)		月2回程度
95	埼玉県	さいたま市	埼玉映画文化協会	移動上映・移動興行	埼玉会館ほか		毎月
96	埼玉県	秩父市	名もなき名画館プロジェクト	自主上映団体(会場借用)	珈琲 千茶古 別館コンチェルトほか県内各所		
97	埼玉県	所沢市	所沢ミュージック シネマ・セレクション	公共文化施設	所沢市民文化センターミュージック		年1回
98	埼玉県	本庄市	本庄シネマクラブ	自主上映団体(会場借用)	はにぼんプラザ		年6回
99	埼玉県	春日部市	春日部よい映画をみる会	自主上映団体(会場借用)	春日部市中央公民館		年1回
100	埼玉県	深谷市	親子映画上映会	自主上映団体(会場借用)	深谷市民文化会館		
101	埼玉県	上尾市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	上尾市コミュニティセンター		
102	埼玉県	越谷市	サンシティ名画劇場	公共文化施設	越谷サンシティ		毎月
103	埼玉県	和光市	サンアゼリアシアター	移動上映・移動興行	和光市民文化センター(埼玉映画文化協会)		
104	埼玉県	桶川市	映画上映会	公共文化施設	桶川市民ホール		
105	千葉県	千葉市	ちしろだい映画会	公共文化施設	千城台コミュニティセンター		年6回
106	千葉県	千葉市	月曜名画座/木曜名画座	公共文化施設	千葉市生涯学習センター		毎月
107	千葉県	佐倉市	旅するシネマ	公共文化施設	西志津ふれあいセンター		
108	千葉県	東金市	映画上映会/TOGANEシネマ	公共文化施設	東金文化会館	*	年6回
109	千葉県	勝浦市	Küste de シネマ	移動上映・移動興行	勝浦市芸術文化交流センター Küste(イウォレ京成)	*	毎月
110	千葉県	市原市	映画名作劇場	公共文化施設	市原市市民会館		
111	千葉県	鎌ヶ谷市	きらりシネマ	公共文化施設	きらり鎌ヶ谷市民会館		年3-4回
112	千葉県	君津市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	君津市民文化ホール		
113	千葉県	君津市	きみぶんシネマ	移動上映・移動興行	君津市民文化ホール(どこでもシネマ/東映エージェンシー)		毎月
114	千葉県	浦安市	うらやすドキュメンタリーテーク	自主上映団体(会場借用)	J:COM 浦安音楽ホール		
115	千葉県	浦安市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	浦安市文化会館		
116	千葉県	印西市	文化ホール映画会	公共文化施設	印西市文化ホール		

no.	都道府県	市区町村	上映会(上映団体)名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
117	千葉県	匝瑳市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	匝瑳市市民ふれあいセンター		
118	千葉県	山武市	シネフィルのぎく/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	成東文化会館 のぎくプラザ		
119	千葉県	いすみ市	岬ふれあいシネマ	公共文化施設	岬ふれあい会館	*	毎月
120	千葉県	栄町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	ふれあいプラザさかえ		
121	東京都	文京区	全国映画センター	その他	-		
122	東京都	文京区	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	響きの森文京公会堂		
123	東京都	台東区	カツペンのゆ	自主上映団体(自館)	カツペンのゆ		毎月
124	東京都	江東区	江東シネマプラザ/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	江東区古石場文化センター		
125	東京都	目黒区	C/NE名画座	自主上映団体(カフェ等)	C/NE 路地裏文化会館(レストラン)		
126	東京都	渋谷区	サム・フリークス	自主上映団体(会場借用)	ユーロライブ		年3-4回
127	東京都	渋谷区ほか	旅する映画館 café de cinéma	自主上映団体(カフェ等)	都内のカフェやバーなど		
128	東京都	杉並区	シアターパッカス	自主上映団体(自館)	シアターパッカス		毎月
129	東京都	豊島区	シネマハウス大塚	自主上映団体(自館)	シネマハウス大塚		毎月
130	東京都	板橋区	高島平ドキュメンタリー映画を見る会	自主上映団体(会場借用)	高島平図書館		年2-3回
131	東京都	板橋区	おおやまレトロシネマ	公共文化施設	板橋区立文化会館		年6回以上
132	東京都	葛飾区	シネマ堀切	自主上映団体(自館)	シネマ堀切		
133	東京都	府中市	TUFS Cinema	公共文化施設	東京外国語大学 プロメテウスホール		毎月
134	東京都	調布市	映画上映会(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	調布グリーンホールほか		年3回
135	東京都	調布市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	調布市文化会館たづくり		
136	東京都	町田市	映画上映会	公共文化施設	和光大学ポプリホール鶴川		年1-2回
137	東京都	町田市	ほんわかシネマ	公共文化施設	町田市民フォーラム		
138	東京都	町田市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	町田市民ホール		
139	東京都	小平市	ルネこだいら市民名画座	公共文化施設	小平市民文化会館 ルネこだいら		
140	東京都	日野市	ななおシネマ倶楽部	公共文化施設	七生公会堂		年2回
141	東京都	国立市	くにたち映画館	自主上映団体(カフェ等)	KFまちかどホールほか		毎月
142	東京都	多摩市	キノコヤ	自主上映団体(カフェ等)	キノコヤ		月1-2回
143	東京都	多摩市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	多摩市立永山公民館 ベルブ永山		
144	神奈川県	横浜市	映画上映会	公共文化施設	神奈川県近代文学館		年4-5回
145	神奈川県	横浜市	横浜キネマ倶楽部	自主上映団体(会場借用)	横浜市旭公会堂		年4-5回
146	神奈川県	横浜市	シネマトツカ	自主上映団体(カフェ等)	こまちカフェ		
147	神奈川県	相模原市	ここdeシネマ	自主上映団体(会場借用)	相模原南市民ホール(ここぞっと)		年2-3回
148	神奈川県	相模原市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	相模原南市民ホール		
149	神奈川県	相模原市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	相模原市立労働者総合福祉センター サン・エールさがみはら		
150	神奈川県	相模原市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	城山文化ホール(もみじホール城山)		
151	神奈川県	鎌倉市	鎌倉で映画と共に歩む会	自主上映団体(会場借用)	鎌倉生涯学習センター		
152	神奈川県	鎌倉市	グリーンシネマかまくら	自主上映団体(自館)	グリーンシネマかまくら		毎月4日間
153	神奈川県	鎌倉市	かまくら銀幕上映会	移動上映・移動興行	鎌倉芸術館(ドリーム・アーツ)		毎月
154	神奈川県	茅ヶ崎市	シネマテーク茅ヶ崎	自主上映団体(会場借用)	茅ヶ崎市立図書館		年2-3回
155	神奈川県	茅ヶ崎市	茅ヶ崎良い映画を観る会	自主上映団体(会場借用)	茅ヶ崎市民文化会館		毎月
156	神奈川県	座間市	県央シネマ/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	座間市立市民文化会館 ハーモニーホール座間		毎月
157	神奈川県	南足柄市	あしからシネマ	公共文化施設	南足柄市文化会館		毎月
158	新潟県	魚沼市	魚沼映画の専門店/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	魚沼市響きの森文化会館(←魚沼市小出郷文化会館)	*	毎月
159	新潟県	南魚沼市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	南魚沼市市民会館	*	年1-2回
160	新潟県	胎内市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	胎内市産業文化会館		
161	富山県	富山市	富山映画サークル協議会	自主上映団体(会場借用)	-		
162	富山県	富山市	とやま映像祭/わくわくシアター	公共文化施設	富山県映像センター		毎月
163	富山県	富山市	エスポラキ スタジオ	自主上映団体(会場借用)	オーバード・ホールほか		年10回程度
164	富山県	高岡市	Uホール上映会	公共文化施設	ふくおか総合文化センター Uホール		年1-2回
165	富山県	魚津市	映画上映会	公共文化施設	新川文化ホール	*	
166	富山県	黒部市	映画の森ほか	公共文化施設	黒部市国際文化センター	*	年4-5回
167	富山県	南砺市	じょうはな名画座	公共文化施設	南砺市城端伝統芸能会館	*	年6回
168	富山県	南砺市	メモリアシアター倶楽部	公共文化施設	南砺市井波総合文化センター	*	年2-3回
169	富山県	南砺市	ホールシネマ・イン・富山	公共文化施設	南砺市井波総合文化センター	*	年2回
170	石川県	金沢市	広坂シネマクラブ 映画上映会ほか	公共文化施設	金沢21世紀美術館		年4-5回
171	石川県	小松市	ウィークエンドシアター in うらら/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	石川県小松市團十郎芸術劇場うらら		毎月
172	石川県	加賀市	みに・キネマ加賀/加賀市映画を観る会ほか	自主上映団体(会場借用)	加賀市文化会館		
173	福井県	福井市	みに・キネマ福井上映会	自主上映団体(会場借用)	テアトルサンク		年2-3回
174	福井県	福井市	ゆうあいシアター/夏休み子どもシアター	公共文化施設	福井県生活学習館 ユー・アイふくい		年4回
175	福井県	越前市	映画上映会	公共文化施設	越前市文化センター		年2-3回
176	福井県	越前市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	越前市いまだて芸術館		

no.	都道府県	市区町村	上映会(上映団体)名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
177	福井県	美浜町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	美浜町生涯学習センターなびあす		
178	福井県	若狭町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	バレー若狭音楽ホール		
179	山梨県	都留市	映画上映会	公共文化施設	都の杜うぐいすホール(塩山シネマ)	*	年2-3回
180	山梨県	北杜市	北杜自主上映会	自主上映団体(会場借用)	八ヶ岳やまびこホール/須玉ふれあい館ほか		年3-4回
181	山梨県	身延町	身延シネマ鑑賞会	公共文化施設	身延町総合文化会館		
182	山梨県	富士川町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	富士川町ますほ文化ホール		
183	長野県	松本市	松本CINEMA セレクト	自主上映団体(会場借用)	まつもと市民芸術館/松本市中央公民館ほか		毎週末
184	長野県	松本市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	松本市波田文化センター		年2-3回
185	長野県	松本市	上土シネマミュージアム	自主上映団体(自館)	上土シネマミュージアム(元映画館)		年10回程度
186	長野県	上田市	うえだ子どもシネマクラブ	自主上映団体(自館)	上田映劇		月2回
187	長野県	伊那市	赤石商店シネマスタジオ	自主上映団体(自館)	赤石商店		毎月5日程度
188	長野県	下諏訪町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	下諏訪総合文化センター		
189	長野県	木曾町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	木曾文化公園文化ホール	*	
190	岐阜県	高山市	ワンコインシネマ	公共文化施設	高山市民文化会館	*	毎月
191	岐阜県	高山市	モンデウスシアター	公共文化施設	高山市位山交流広場モンデウスパーク	*	毎週末
192	岐阜県	羽島市	夏休み子ども映画会	公共文化施設	不二羽島文化センター		
193	岐阜県	可児市	アーキネマ倶楽部/アーラ映画祭ほか	公共文化施設	可児市文化創造センター アーラ		年6回程度
194	静岡県	静岡市	夢町座	自主上映団体(自館)	夢町座		年4-6回
195	静岡県	静岡市	清水映画サークル協議会	自主上映団体(会場借用)	はーとびあ清水、岡生涯学習交流館ほか		
196	静岡県	浜松市	新作映画上映	移動上映・移動興行	みをつくし文化センター(天竜光明会館)		
197	静岡県	浜松市	新作映画上映	移動上映・移動興行	なゆた浜北(天竜光明会館)		
198	静岡県	浜松市	新作映画上映	移動上映・移動興行	雄踏文化センター(天竜光明会館)		
199	静岡県	沼津市	スキマcinema	自主上映団体(会場借用)	沼津市内各所		
200	静岡県	掛川市	新作映画上映	移動上映・移動興行	掛川市生涯学習センター(天竜光明会館)		
201	静岡県	袋井市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	袋井市メロエプラザ		
202	静岡県	下田市	映画上映会	公共文化施設	下田市民文化会館	*	年6回
203	静岡県	御前崎市	御前崎みんなの映画祭ほか	公共文化施設	御前崎市民会館	*	年1回
204	愛知県	名古屋市長	シアター・カフェ	自主上映団体(自館)	シアター・カフェ		毎月10日程度
205	愛知県	春日井市	かすがい日曜シネマ	公共文化施設	文化フォーラム春日井/春日井市東部市民センター		年10回
206	三重県	伊勢市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	伊勢市生涯学習センター いせトピア		
207	三重県	尾鷲市	せぎやまロードショー	公共文化施設	尾鷲市民文化会館	*	
208	三重県	亀山市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	亀山市文化会館		
209	滋賀県	大津市	子ども映画会	公共文化施設	大津市生涯学習センター		毎月
210	滋賀県	長浜市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	木之本スティックホール	*	
211	滋賀県	長浜市	宮前シネマ	自主上映団体(カフェ等)	宮前舎(cinema)	*	毎月
212	滋賀県	近江八幡市	G-NETシネマ	公共文化施設	男女共同参画センター G-NETしが		年6回
213	滋賀県	甲賀市	碧水ホール	公共文化施設	碧水ホール		
214	滋賀県	東近江市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	東近江市あかね文化ホール		
215	滋賀県	東近江市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	八日市文化芸術会館		
216	京都府	京都市	京都国立近代美術館	公共文化施設	京都国立近代美術館		
217	京都府	京都市	京都映画サークル協議会	自主上映団体(会場借用)	京都教育文化センター		毎月
218	京都府	京都市	WOT(ワット=What's On Thursday)	公共文化施設	同志社大学寒梅館 ハーディーホール		年10回以上
219	京都府	京都市	映画上映会	移動上映・移動興行	京都市北文化会館(京都映画センター)		
220	京都府	京都市	京都映画センター	移動上映・移動興行	京都市呉竹文化センターほか		
221	京都府	綾部市	中丹映画大好き劇場	公共文化施設	中丹文化会館		年5-6回
222	京都府	宇治市	宇治セレクトシネマ	公共文化施設	宇治市文化センター(京都映画センター)		毎月
223	京都府	宮津市	みやづシネマ劇場	公共文化施設	宮津会館・みやづ歴史の館	*	年6回
224	京都府	城陽市	バルクシネマ	公共文化施設	文化バルク城陽		年5-6回
225	京都府	長岡京市	映画上映会	公共文化施設	長岡京記念文化会館(京都映画センター)		年6回
226	京都府	八幡市	シネマ in 八幡	公共文化施設	八幡市文化センター		年4回
227	京都府	京丹後市	丹後映画大好き劇場ほか	公共文化施設	京都府丹後文化会館	*	年3-4回
228	京都府	木津川市	あじざいシアター	公共文化施設	木津川市加茂文化センター		
229	京都府	久御山町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	久御山町ふれあい交流館 ゆうホール		
230	京都府	精華町	けいはんな映画劇場	公共文化施設	けいはんなプラザ		年6回
231	大阪府	大阪市	つるみヒューマンシアター	公共文化施設	鶴見区民センター		
232	大阪府	大阪市	あべのコミュニティシネマ	公共文化施設	阿倍野区民センター		
233	大阪府	大阪市	ウィークエンドシネマ	公共文化施設	大阪平和センター ピースおおさか		毎週末
234	大阪府	大阪市	大阪映画センター	移動上映・移動興行	阿倍野区民センターほか		
235	大阪府	大阪市	土間シネマ	自主上映団体(自館)	土間シネマ		週5日
236	大阪府	堺市	東文化名画座/子ども映画会	公共文化施設	堺市東文化会館		年3-4回
237	大阪府	堺市	名画鑑賞会	公共文化施設	堺市梅文化会館		年3-4回

no.	都道府県	市区町村	上映会(上映団体)名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
238	大阪府	豊中市	とよキネマ	公共文化施設	豊中市文化芸術センター		毎月
239	大阪府	豊中市	すてっふ映画上映会	公共文化施設	とよなか男女共同参画推進センターすてっふ		年6回
240	大阪府	枚方市	映画上映会	公共文化施設	枚方市総合文化芸術センター		
241	大阪府	茨木市	話題の映画@茨木	公共文化施設	茨木市市民総合センター(大阪映画センター)		年6回
242	大阪府	茨木市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	茨木市市民総合センター		
243	大阪府	富田林市	すばる映画祭-Film Collection	公共文化施設	すばるホール		年4回
244	大阪府	富田林市	とんだばやしシネマプラス	自主上映団体(カフェ等)	じないまちLab.(貸しスペース)		
245	大阪府	寝屋川市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	寝屋川市立地域交流センター		
246	大阪府	河内長野市	シネマ de ラブリー	公共文化施設	河内長野市立文化会館[ラブリーホール]		年6回
247	大阪府	大東市	映画上映会	公共文化施設	大東市立文化情報センター		毎月
248	大阪府	大東市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	大東市立文化ホール		
249	大阪府	和泉市	弥生の風名作シネマ劇場	公共文化施設	和泉シティプラザ弥生の風ホール		
250	大阪府	柏原市	リビエール映画上映会	公共文化施設	柏原市民文化会館		年2-3回
251	大阪府	摂津市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	摂津市民文化ホール(くすのきホール)		
252	大阪府	東大阪市	いこうらむシネマ	公共文化施設	東大阪男女共同参画センター		年4回
253	兵庫県	神戸市	神戸映画サークル協議会	自主上映団体(会場借用)	神戸朝日ホール		毎月
254	兵庫県	神戸市	KEN-Vi名画サロン/ 県美シネマクラシックほか	公共文化施設	兵庫県立美術館 ミュージアムホール(兵庫県映画センター)		毎月
255	兵庫県	神戸市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	兵庫県立美術館		
256	兵庫県	神戸市	なでしこ月曜シネマ	公共文化施設	神戸市立西区文化センター なでしこホール		年6回
257	兵庫県	神戸市	映画上映会	公共文化施設	神戸市立北区文化センター すずらんホール		
258	兵庫県	神戸市	心かよわず親子映画大会	公共文化施設	神戸文化ホール		年1回
259	兵庫県	神戸市	アミュースタ!神戸	その他	アミュースタ!神戸		毎週末
260	兵庫県	神戸市	兵庫県映画センター	移動上映・移動興行	神戸朝日ホールほか		
261	兵庫県	姫路市	姫路シネマクラブ	自主上映団体(会場借用)	姫路キャスパホール		年6回
262	兵庫県	明石市	明石シネマクラブ	自主上映団体(会場借用)	明石市生涯学習センター		年6回
263	兵庫県	西宮市	フレンテ映画サロン	公共文化施設	西宮市フレンテホール		年10回
264	兵庫県	西宮市	名画鑑賞会	公共文化施設	西宮市民会館		年2-3回
265	兵庫県	芦屋市	いきいきシネマサロン	公共文化施設	芦屋市ルナ・ホール		年6回
266	兵庫県	芦屋市	多文化共生映画上映会/ ヒューマンライツシアターほか	公共文化施設	芦屋市上宮川文化センター		年6回以上
267	兵庫県	伊丹市	伊丹ラスタ映画倶楽部	公共文化施設	伊丹市ラスタホール		
268	兵庫県	相生市	なぎざシネマほか	公共文化施設	相生市文化会館 扶桑電通なぎざホール		
269	兵庫県	豊岡市	豊岡映画センター	自主上映団体(会場借用)	豊岡劇場ほか		毎月
270	兵庫県	加古川市	加古川シネマクラブ	自主上映団体(会場借用)	加古川総合文化センター		年6回
271	兵庫県	西脇市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	西脇市立音楽ホール(アピカホール)		
272	兵庫県	宝塚市	シネマ イン ソリオ	公共文化施設	宝塚ソリオホール		年6回
273	兵庫県	川西市	みつな名画鑑賞会	公共文化施設	川西市みつなホール		
274	兵庫県	小野市	小野名画劇場	公共文化施設	うるおい交流館 エクラホール		毎月
275	兵庫県	丹波篠山市	メガエビス。(さぎそうホール)	自主上映団体(会場借用)	さぎそうホール		半年間毎日
276	兵庫県	朝来市	映画上映会	公共文化施設	生野メインホール		
277	兵庫県	宍粟市	映画上映会	公共文化施設	山崎文化会館	*	
278	兵庫県	加東市	かとうきらめきシネマ	公共文化施設	加東市滝野文化会館	*	年3-4回
279	兵庫県	たつの市	サタデーシネマ	公共文化施設	たつの市総合文化会館 赤とんぼ文化ホール		毎月
280	兵庫県	市川町	映画上映会	公共文化施設	市川町文化センター		
281	奈良県	奈良市	ならシネマテーク/ なら国際映画祭	自主上映団体(会場借用)	奈良市ならまちセンター市民ホールほか		毎月
282	奈良県	大和郡山市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	やまと郡山城ホール		
283	奈良県	生駒市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	南コミュニティセンターせせらぎ		
284	和歌山県	和歌山市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	和歌山県民文化会館		
285	和歌山県	海南市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	海南市民交流センター		
286	和歌山県	有田市	紀文ホール映画会	公共文化施設	有田市民会館紀文ホール	*	年6回
287	和歌山県	田辺市	キノクマ座(旧「ふたかわ超学校 音楽室シネマ」)	自主上映団体(カフェ等)	クリシュナカフェほか		毎月
288	和歌山県	かつらぎ町	映画上映会	公共文化施設	かつらぎ総合文化会館 あじさいホール	*	
289	和歌山県	那智勝浦町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	那智勝浦町体育文化会館		
290	鳥取県	鳥取市	えいがの時間	公共文化施設	わらべ館		年1回
291	鳥取県	鳥取市	クララヒコロダのひよっこりシネマ	自主上映団体(会場借用)	鳥取市文化ホールほか		年4-5回
292	鳥取県	米子市	米子シネマクラブ	自主上映団体(会場借用)	米子コンベンションセンター		年6回
293	鳥取県	米子市	米子名画シアター(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	米子市公会堂		
294	鳥取県	境港市	シンフォニー・ムービー・シアター	公共文化施設	境港市文化ホール		年2回
295	鳥取県	大山町	ええがな大山	自主上映団体(会場借用)	なかやま温泉館内 生活想像館わくわくホール		毎月
296	島根県	松江市	松江キネマ倶楽部	自主上映団体(会場借用)	松江市市民活動センター		年4-6回
297	島根県	松江市	さんびるシアター	公共文化施設	松江テルサ		毎月
298	島根県	松江市	島根県民会館名画劇場	公共文化施設	島根県民会館		毎月

no.	都道府県	市区町村	上映会(上映団体)名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
299	島根県	松江市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	松江市美保関海の学苑ふるさと創生館		
300	島根県	益田市	グラントシアター	公共文化施設	島根県芸術文化センター グラントワ		毎月
301	島根県	安来市	映画上映会	公共文化施設	安来市総合文化ホール アルテピア		
302	島根県	雲南市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	雲南市木次経済文化会館 チェリヴァホール		
303	島根県	川本町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	悠邑ふるさと会館	*	
304	島根県	津和野町	ミニ上映会	公共文化施設	日原にぎわい創出拠点かわべ	*	
305	岡山県	岡山市	岡山映画鑑賞会	自主上映団体(会場借用)	岡山県天神山文化プラザ		年2-4回
306	岡山県	岡山市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	岡山県天神山文化プラザ		年1-2回
307	岡山県	倉敷市	湊シネマ	公共文化施設	倉敷市玉島市民交流センター		毎月
308	岡山県	津山市	ベルフォーレシアター[まちなかシネマ]	公共文化施設	ベルフォーレ津山	*	毎月
309	岡山県	津山市ほか	シネ・リュエル CinéRuelle/余映	自主上映団体(会場借用)	ビクトリシアターほか		毎月
310	岡山県	笠岡市	映画上映会	公共文化施設	笠岡市保健センター		年1-2回
311	岡山県	新見市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	新見市新見文化交流館	*	
312	岡山県	真庭市	中央図書館シアター月イチ映画会ほか	公共文化施設	真庭市立中央図書館 映像シアター	*	毎月
313	岡山県	真庭市	ビクトリシアター	自主上映団体(自館)	ビクトリシアター	*	
314	岡山県	早島町	ハヤシネマ	公共文化施設	早島町 ゆるびの舎		毎月
315	広島県	広島市	広島映画サークル協議会	自主上映団体(会場借用)	広島県立美術館		年6回
316	広島県	広島市	Social Book Cafe ハチドリ舎	自主上映団体(自館)	Social Book Cafe ハチドリ舎(ブックカフェ)		毎月
317	広島県	広島市	1日映画館	公共文化施設	安芸区民文化センター		年1-2回
318	広島県	広島市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	安佐南区民文化センター		
319	広島県	呉市	呉映画サークル	自主上映団体(会場借用)	呉ポロシアター		年6回
320	広島県	三原市	リージョン映画のつどい/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	三原リージョンプラザ		毎月
321	広島県	福山市	福山映画サークル	自主上映団体(会場借用)	-		
322	広島県	三次市	きりりシネマ倶楽部	公共文化施設	三次市民ホール きりり((株)フューレック)	*	毎月
323	広島県	東広島市	くららシネマ	公共文化施設	東広島芸術文化ホール くらら		
324	広島県	廿日市市	ウッドワンさくらびあシネマ	公共文化施設	ウッドワンさくらびあ		年6回
325	山口県	下関市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	下関市民会館		
326	山口県	山口市	西京シネクラブ	自主上映団体(会場借用)	山口市民会館		毎月
327	山口県	岩国市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	岩国市周東文化会館	*	
328	山口県	光市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	光市民ホール		
329	山口県	長門市	ルネッサシネマ~市民名画劇場/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	ルネッサなごと		年3-4回
330	徳島県	徳島市	徳島でみれない映画をみる会	自主上映団体(会場借用)	徳島市シビックセンター		毎月
331	徳島県	徳島市	土曜映画会/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	徳島県立21世紀館		年6回
332	徳島県	鳴門市	なるとDeシネマ	公共文化施設	鳴門市うずしお会館		年2回
333	徳島県	小松島市	サウンドハウスホールシネマほか	公共文化施設	サウンドハウスホール		年6回以上
334	徳島県	阿南市	あなで映画をみよう会	自主上映団体(会場借用)	阿南市文化会館		年4回
335	徳島県	吉野川市	映画上映会	公共文化施設	吉野川市アメニティセンター		
336	徳島県	美馬市	ミライズ映画祭	公共文化施設	美馬市地域交流センター ミライズ	*	毎月
337	香川県	高松市	高松シネマクラブ	自主上映団体(会場借用)	高松国分寺ホールほか(香川映画センター)		毎月
338	香川県	善通寺市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	善通寺市民会館		
339	愛媛県	松山市	マネキネマ	自主上映団体(会場借用)	松山市男女共同参画推進センター コムズ		年4-5回
340	愛媛県	松山市	iDo(アイドゥ)	自主上映団体(会場借用)	宇和島市生涯学習センターほか県内各所		
341	愛媛県	松山市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	松山市総合福祉センター		
342	愛媛県	松山市	映画上映会	公共文化施設	松山市総合コミュニティセンター		
343	愛媛県	宇和島市	美沼名画座	公共文化施設	宇和島市立コスモスホール三間	*	毎月
344	愛媛県	宇和島市	パフィオ上映会/名作劇場(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	宇和島市生涯学習センター	*	
345	愛媛県	八幡浜市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	八幡浜市民文化活動センター	*	
346	愛媛県	新居浜市	モモンガ映写室/あかがねシネマ	自主上映団体(会場借用)	あかがねミュージアム		
347	愛媛県	四国中央市	観音寺映画観賞会	公共文化施設	観音寺市民会館		年5-6回
348	愛媛県	四国中央市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	四国中央市市民文化ホール		
349	愛媛県	内子町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	森文旭館		
350	高知県	高知市	市民映画会	公共文化施設	高知市文化プラザ、高知県立美術館		年2回
351	高知県	高知市	県文シネマ日和/優秀映画鑑賞推進事業ほか	公共文化施設	高知県立県民文化ホール(シネマ四国)		毎月
352	高知県	高知市	とさびくシアター/シネマ四国	自主上映団体(自館)	とさびくシアター/シネマ四国		
353	高知県	高知市	ゴトゴトシネマ	自主上映団体(会場借用)	喫茶メフィストフェレスほか		毎月5日程度
354	高知県	土佐市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	土佐市複合文化施設	*	
355	高知県	宿毛市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	宿毛市立中央公民館	*	
356	高知県	土佐清水市	昭和シネマ劇場(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	土佐清水市立市民文化会館	*	
357	高知県	香南市	映画上映会	公共文化施設	香南市弁天座		年1-2回
358	高知県	田野町	懐かし映画劇場(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	田野町ふれあいセンター	*	
359	高知県	安田町	大心劇場	自主上映団体(自館)	大心劇場(元映画館)	*	

no.	都道府県	市区町村	上映会(上映団体)名	上映活動分類	会場	周辺環境	上映頻度
360	高知県	四万十町	映画上映会	公共文化施設	窪川四万十会館	*	
361	福岡県	福岡市	福岡映画サークル協議会	自主上映団体(会場借用)	福岡市総合図書館/ 福岡市男女共同参画推進センターアミカス		年5-6回
362	福岡県	福岡市	九州日仏学館シネクラブ	公共文化施設	九州日仏学館		毎月
363	福岡県	福岡市	九州シネマ・アルチ	移動上映・移動興行	なみきホールほか		
364	福岡県	北九州市	北九州映画サークル協議会	自主上映団体(会場借用)	小倉昭和館/小倉コロナシネマワールド/戸畑市民会館		毎月
365	福岡県	北九州市	門司シネマフェスタ(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	北九州市立門司市民会館		
366	福岡県	八女市	おりなすシアター	公共文化施設	八女市民会館 はちひめホール		年1-2回
367	福岡県	小郡市	小郡名画座(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	小郡市文化会館		
368	福岡県	春日市	ふれぶんシネマ倶楽部	公共文化施設	春日市ふれあい文化センター		毎月
369	福岡県	大野城市	まどかびあシネマランド/キッズシネマ	公共文化施設	大野城まどかびあ		毎月
370	福岡県	宗像市	ユリックス名画シアター	公共文化施設	宗像ユリックス		毎月
371	福岡県	那珂川市	リバーサイド0円シアター	公共文化施設	中ノ島公園四季彩館		毎月
372	佐賀県	佐賀市	教育会館映画上映会	公共文化施設	佐賀県教育会館		年2回
373	佐賀県	鳥栖市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	鳥栖市民文化会館		
374	佐賀県	武雄市	たけお映画まつり/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	武雄市文化会館	*	
375	佐賀県	武雄市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	北方文化ホール	*	
376	佐賀県	鹿島市	映画上映会/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	鹿島市生涯学習センター エイブル	*	年1-2回
377	佐賀県	基山町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	基山町民会館		
378	長崎県	長崎市	映画上映会	公共文化施設	長崎市チトセピアホール		
379	長崎県	佐世保市	映画上映会	公共文化施設	アルカスSASEBO		
380	長崎県	大村市	シーハットシネマ	公共文化施設	大村市体育文化センター シーハットおおむら	*	年2回
381	長崎県	川棚町	映画上映会/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	川棚町公会堂		年1-2回
382	熊本県	熊本市	シネマリンク	移動上映・移動興行	熊本市中央公民館ほか		
383	熊本県	荒尾市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	荒尾総合文化センター		
384	熊本県	玉名市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	玉名市民会館		
385	熊本県	山鹿市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	八千代座	*	
386	熊本県	長洲町	名作映画上映会	公共文化施設	ながす未来館		
387	熊本県	山都町	山都町よい映画を観る会	自主上映団体(会場借用)	山都町立図書館	*	毎月
388	大分県	大分市	コンパルホール映画上映会(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	コンパルホール		
389	大分県	中津市	月イチ映画館コアシネマ(cinema)/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	コアやまくに		
390	大分県	中津市	なつかしの映画観賞会(優秀映画鑑賞推進事業)ほか	公共文化施設	中津文化会館		
391	大分県	日田市	なつかしの映画観賞会(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	日田市民文化会館		
392	大分県	佐伯市	ツキイチ映画	公共文化施設	さいき城山桜ホール	*	毎月
393	大分県	竹田市	グランツ映画館“玉洗劇場”	公共文化施設	竹田市総合文化ホール	*	年6回
394	大分県	豊後大野市	エイトピア映画上映会	公共文化施設	豊後大野市総合文化センター エイトピアおおの	*	年2-4回
395	大分県	国東市	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	くにさき総合文化センター		
396	大分県	九重町	優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	九重文化センター		
397	宮崎県	門川町	映画上映会/優秀映画鑑賞推進事業	公共文化施設	門川町総合文化会館		
398	宮崎県	美郷町	美郷キネマ(優秀映画鑑賞推進事業)	公共文化施設	美郷町北郷総合交流センター		
399	鹿児島県	阿久根市	映画上映会	公共文化施設	阿久根市民交流センター(風テラスあくね)	*	
400	沖縄県	石垣市	ゆいシネマ	自主上映団体(自館)	あまくま座	*	毎月
401	沖縄県	名護市	やんばるシネマ	自主上映団体(会場借用)	名護市立中央図書館		毎月

Ⅲ 特集：映画館(上映活動)の現状に関する 詳細調査2025

兵庫県の2つの上映活動の詳細調査

1

元町映画館

- (1) 元町映画館のレポート
- (2) レポートの分析

2

兵庫県映画センター

- (1) 兵庫県映画センターのレポート
- (2) レポートの分析

III | [特集] 映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査2025

兵庫県の上映活動の詳細調査

2025年の「映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査」では、兵庫県の映画館(ミニシアター)「元町映画館」と、兵庫県内の公共文化施設を中心に長年にわたり上映活動を続けている「兵庫県映画センター」という、2つの上映団体を調査した。

新しい映画振興策、取り分け、映画の「上映」の振興、支援策を考えるときに、その対象として第一に考えられるのは、長年にわたって映画文化の多様性を守り、世界各国の、また様々な時代の映画を体験させてくれる学びの空間である映画館「ミニシアター」である。本調査においても、各地域のミニシアターが具体的にどのような活動を展開しているのか、どれほど多様な作品を上映し、どのような教育的使命を担ったイベントを実践し、どのように地域のアクターとの連携に取り組んでいるのか、といった映画館が日々実践している上映活動を一望するデータによって、上映活動の「多様性」と「地域性」を計測すること、適切に評価する可能性を提示することを目指している。それはまた、ミニシアターが日常的に行う活動の公共的な意義を明らかにすることであり、公的な上映支援制度へとつながっていくものと考えている。

ミニシアターが映画文化の多様性を守る最も重要な存在であることは明らかであるが、“ミニシアター”という言葉は公共的な上映活動全般を象徴するような言葉でもある。実際には、映画館「以外」における上映活動によって地域の映画文化の多様性を守り、地域の人々の映画に対するアクセスを確保してきた団体も全国各地に数多く存在している。

今回の調査では、神戸市にある映画館(ミニシアター)「元町映画館」と、神戸市を拠点に兵庫県内全域で上映活動を行う「兵庫県映画センター」を調査対象として選定、このふたつの活動を詳細に見ることで、兵庫県の映画環境の一端を提示できるものと考えている。

III | [特集] 映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査 2025

1

元町映画館

(1)元町映画館のレポート

元町映画館

映画館。1スクリーン(66席+車椅子席1席)

2009年開館。ウェブサイトには、「・・淀川長治氏が尊敬したチャップリンが来日した神戸港。そのシンボルであるポートタワーの勇姿を臨む元町商店街。この由緒ある地に、私たちは「映画芸術の存続と継承」、そして「地域の活性化」を目指し、その土地に密着した文化発信の場所として、映画文化を取り戻すべく、ミニシアター『元町映画館』を設立しようとするものです…」とある。

運営団体:一般社団法人 元町映画館 兵庫県神戸市中央区元町通4丁目1-12

神戸市人口 148万6038人

近隣の映画館(神戸市)

シネマコンプレックス:109シネマズHAT神戸、OSシネマズミント神戸、OSシネマズ神戸ハーバーランド

ミニシアター:シネリーブル神戸、キノシネマ神戸国際、シネマ神戸、パルシネマしんこうえん

既存興行館:カナートホール 成人映画館:福原国際東映

年間上映本数 日本映画=166本 外国映画=133本 合計299本

表1:上映作品(元町映画館)

日本映画

	上映作品名	若い作り手	劇映画/アニメ/ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
1	愛されなくても別に	※	劇映画	井樫彩	日本	
2	アイヌブリ		劇映画	福永壮志	日本	
3	愛の茶番		劇映画	江本純子	日本	
4	愛のぬくもり		劇映画	いまおかしんじ	日本	
5	朝がくるともなしくなる	※	劇映画	石橋夕帆	日本	
6	アジアのユニークな国		劇映画	山内ケンジ	日本	
7	雨ニモマケズ	※	劇映画	飯塚冬酒	日本	
8	いきもののきろく		劇映画	井上淳一	日本	
9	うおっしゅ	※	劇映画	岡崎育之介	日本	
10	~運送ドラゴン~パワード人間/バトルクーリエ		劇映画	大東賢	日本	
11	オーガスト・マイ・ヘヴン	※	劇映画	工藤梨穂	日本	
12	オーファズ・ブルース	※	劇映画	工藤梨穂	日本	
13	思い立っても凶日	※	劇映画	野本梢	日本	
14	折にふれて	※	劇映画	村田陽奈	日本	
15	解放	※	劇映画	芋生悠	日本	
16	カフネ	※	劇映画	杵村春希	日本	
17	噛む家族	※	劇映画	馬淵ありさ	日本	
18	還暦高校生	※	劇映画	河崎実	日本	
19	嬉々な生活	※	劇映画	谷口慈彦	日本	
20	北浦兄弟	※	劇映画	辻野正樹	日本	
21	きょう、映画館に行かない?	※	劇映画	オムニバス	日本	
22	「桐島です」		劇映画	高橋伴明	日本	
23	くまをまつ		劇映画	滝野弘仁	日本	
24	狂い咲きサンダーロード		劇映画	石井聰互	日本	
25	神戸 ~都市が囁く夢~		劇映画	衣笠竜屯	日本	
26	こんな事があった		劇映画	松井良彦	日本	
27	サイボーグー心太助		劇映画	河崎実	日本	
28	左様なら	※	劇映画	石橋夕帆	日本	
29	サラバ、さらんへ、サラバ	※	劇映画	洪先恵	日本	
30	次元を超える		劇映画	豊田利晃	日本	
31	事実無根		劇映画	柳裕章	日本	
32	自由なファンシィ		劇映画	筒井武文	日本	
33	消滅世界	※	劇映画	川村誠	日本	
34	初級演技レッスン		劇映画	串田壮史	日本	
35	新宿泥棒日記		劇映画	大島渚	日本	

	上映作品名	若い 作り手	劇映画 / アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名 / 備考
36	SUPER HAPPY FOREVER	※	劇映画	五十嵐耕平	日本	
37	素敵すぎて素敵すぎて素敵すぎる	※	劇映画	大河原恵	日本、韓国	
38	スノードロップ		劇映画	吉田浩太	日本	
39	石門	※	劇映画	ホアン・ジー / 大塚竜治	日本	
40	そういうものに、わたしはなりたいたい。		劇映画	豊田利晃	日本	
41	爽子の衝動		劇映画	戸田彬弘	日本	
42	そこにきみはいて	※	劇映画	竹馬靖具	日本	
43	そして、アイヌ		劇映画	大宮浩一	日本	
44	太陽がしよっばい	※	劇映画	西川達郎	日本	
45	種まく旅人 醜のささやき		劇映画	篠原哲雄	日本	
46	天使の集まる島	※	劇映画	堀井綾香	日本	
47	逃走		劇映画	足立正生	日本	
48	ナマズのいた夏		劇映画	中川究矢	日本	
49	花束	※	劇映画	サヘル・ローズ	日本	
50	晴れの国		劇映画	大森青児	日本	
51	光る川		劇映画	金子雅和	日本	
52	フィクション	※	劇映画	酒井善三	日本	
53	冬物語	※	劇映画	奥野俊作	日本	
54	フレームユニオン 最強殺し屋伝説国岡 私闘編		劇映画	阪元裕吾	日本	
55	僕のなかのブラウニー	※	劇映画	相馬雄太	日本	
56	星より静かに		劇映画	君塚匠	日本	
57	松島トモ子 サメ遊戯		劇映画	河崎実	日本	
58	まつばだか	※	劇映画	安染涼 / 片山享	日本	
59	真夏の果実		劇映画	いまおかしんじ	日本	
60	水の中で深呼吸	※	劇映画	安井祥二	日本	
61	道草キッチン		劇映画	白羽弥仁	日本	
62	港に灯がともる		劇映画	安達もじり	日本	
63	悠優の君へ	※	劇映画	福原野乃花	日本	
64	ユリシーズ	※	劇映画	宇和川輝	日本、スペイン	
65	夜のまにまに	※	劇映画	磯部鉄平	日本	
66	ら・かんばねら		劇映画	鈴木一美	日本	
67	蘭島行		劇映画	鎌田義孝	日本	
68	Retake リテイク	※	劇映画	中野晃太	日本	
69	ROPE	※	劇映画	八木侖音	日本	
70	惑星ラブソング		劇映画	時川英之	日本	
71	わたしの頭はいつもうるさい	※	劇映画	宮森玲実	日本	
72	わたしの居場所	※	劇映画	濱嶋仁美	日本	
73	わたのはらぞこ	※	劇映画	加藤紗希	日本	
74	Underground アンダーグラウンド	※	ドキュメンタリー	小田香	日本	
75	いもうとの時間		ドキュメンタリー	鎌田麗香	日本	
76	うしろから撮るな 俳優織本順吉の人生		ドキュメンタリー	中村結美	日本	
77	ウナイ 透明な闇 PFAS汚染に立ち向かう		ドキュメンタリー	平良いづみ	日本	
78	近江ミッション 願いと 折りと 喜びと		ドキュメンタリー	溝淵雅幸	日本	
79	風たちの学校		ドキュメンタリー	田中健太	日本	
80	風に立つ愛子さん		ドキュメンタリー	藤川佳三	日本	
81	壁の外側と内側 ハレスチナ・イスラエル取材記		ドキュメンタリー	川上泰徳	日本	
82	関西7局 震災ドキュメンタリー 特別上映会		ドキュメンタリー		日本	
83	黒川の女たち		ドキュメンタリー	松原文枝	日本	
84	劇場が終わるとき		ドキュメンタリー	真喜屋力	日本	
85	声よ集まれ		ドキュメンタリー	朴英二	日本、韓国	
86	シアトリカル 唐十郎と劇団唐組の記録		ドキュメンタリー	大島新	日本	
87	市街戦のジャズメン 作家 佐藤泰志の衝撃		ドキュメンタリー	稲塚秀孝	日本	
88	鹿の国		ドキュメンタリー	弘理子	日本	
89	ジュンについて		ドキュメンタリー	田野隆太郎	日本	
90	選挙と謬	※	ドキュメンタリー	青柳拓	日本	
91	それでも私は Though I'm His Daughter		ドキュメンタリー	長塚洋	日本	
92	太陽(ティダ)の運命		ドキュメンタリー	佐古忠彦	日本	
93	どうすればよかったか?	※	ドキュメンタリー	藤野智明	日本	
94	新渡戸の夢 ~学ぶことは生きる証~		ドキュメンタリー	野澤和之	日本	
95	能登デモクラシー		ドキュメンタリー	五百旗頭幸男	日本	
96	ハッピー☆エンド		ドキュメンタリー	オオタヴィン	日本	
97	バルバティ・パウル 黄金の河を渡って		ドキュメンタリー	阿部櫻子	日本	
98	パレンと小刀 時代をつなぐ浮世絵物語		ドキュメンタリー	松本貴子	日本	
99	104歳、哲代さんのひとり暮らし		ドキュメンタリー	山本和宏	日本	
100	風琴 ~あるリードオルガン修復家のあしあと~		ドキュメンタリー	黒瀬政男	日本	
101	満天の星		ドキュメンタリー	葦澤恒	日本	
102	揺さぶられる正義		ドキュメンタリー	上田大輔	日本	

	上映作品名	若い 作り手	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/備考
103	よみがえる声		ドキュメンタリー	朴壽南/朴麻衣	日本、韓国	
104	レッド・バージ 今に続く 負の遺産		ドキュメンタリー	鶴見昌彦	日本	
105	海がきこえる		アニメーション	望月智充	日本	
106	無名の人生	※	アニメーション	鈴木竜也	日本	
107	はだしのゲンはまだ怒っている		ドキュメンタリー	込山正徳	日本	「本×映画×人間」
108	オキナワより愛を込めて		ドキュメンタリー	砂入博史	日本	「劇場が終わるとき」公開記念 1日限定上映&トーク
109	時代革命		ドキュメンタリー	佐藤充則/平野愛	日本	「香港時代革命」上映
110	最強殺し屋伝説国岡 [完全版]		劇映画	阪元裕吾	日本	「最強殺し屋伝説 国岡 [私闘編]」 公開記念
111	グリーンパレット		劇映画	阪元裕吾	日本	
112	孤独な惑星		劇映画	筒井武文	日本	「自由なファンシイ」公開記念
113	東京オリンピック2017 都営霞ヶ丘アパート		ドキュメンタリー	青山真也	日本	1日限定上映&トーク【モノの「保存/解体」 と、そのあいだで「残ったもの」を考える】
114	春をかざねて	※	劇映画	佐藤そのみ	日本	元町映画館オーファンダイアログ #06
115	あなたの瞳に話せたら	※	ドキュメンタリー	佐藤そのみ	日本	【震災を「わたしが」語ることについて】
116	蟻の兵隊		ドキュメンタリー	池谷薫	日本	戦後80年「蟻の兵隊」上映
117	帰ってきた あぶない刑事		劇映画	原廣利	日本	「BABEL LABEL 全国ミニシアター キャラバン IN 元町映画館」
118	青の帰り道		劇映画	藤井道人	日本	
119	朽ちないサクラ		劇映画	原廣利	日本	
120	映画 〇月〇日、区長になる女。		ドキュメンタリー	ベヤンスマキ	日本	「Woman's Film Week 2025」
121	鉢 ARAGANE		ドキュメンタリー	小田香	日本	「小田香特集2025」
122	セノーテ		ドキュメンタリー	小田香	日本	
123	ノイズが言うには		ドキュメンタリー	小田香	日本	
124	あの優しさへ		ドキュメンタリー	小田香	日本	
125	GAMA		ドキュメンタリー	小田香	日本	
126	Night Train		ドキュメンタリー	小田香	日本	
127	ニコトコ島	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	「大力拓哉・三浦崇志傑作選2025」
128	コロ石	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	
129	ほなね	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	
130	金太と銀次	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	
131	大力と三浦	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	
132	大力と三浦3	※	劇映画	大力拓哉/三浦崇志	日本	
133	ベイビーわるきゅーれ		劇映画	阪元裕吾	日本	「ベイビーわるきゅーれ」シリーズ3
134	ベイビーわるきゅーれ 2 ベイビー		劇映画	阪元裕吾	日本	作一挙上映
135	ベイビーわるきゅーれ ナイスデイズ		劇映画	阪元裕吾	日本	
136	飛べない天使	※	劇映画	堀井綾香	日本	Digout!
137	地獄のSE	※	劇映画	川上さわ	日本	#03:“表現”の無限の可能性
138	僕の月はきたない	※	劇映画	工藤沙	日本	
139	恋脳 Experiment	※	劇映画	岡田詩歌	日本	
140	ゼロ弾きのゴージュ		アニメーション	高畑勲	日本	夏休みの映画館 2025
141	バンダコバンダ		アニメーション	高畑勲	日本	
142	バンダコバンダ 雨ふりサーカスの巻		アニメーション	高畑勲	日本	
143	金髪の草原		劇映画	犬童一心	日本	元町映画館15周年記念
144	綿の国星		アニメーション	辻伸一	日本	「大島弓子に逢いたくて」
145	グーグーだって猫である		劇映画	犬童一心	日本	
146	Workcation		劇映画	神保慶政	日本	神保慶政監督特集
147	Originality		ドキュメンタリー	神保慶政	日本	「生活の中の映画」
148	憧れ		劇映画	神保慶政	日本	
149	せんそうはしらない		劇映画	神保慶政	日本	
150	0ライン 赤道の上で		劇映画	神保慶政	日本	
151	えんえんと、えんえんと		劇映画	神保慶政	日本	
152	僕はもうすぐ十一歳になる。		劇映画	神保慶政	日本	
153	偶然と想像		劇映画	濱口竜介	日本	濱口竜介監督特集上映
154	PASSION		劇映画	濱口竜介	日本	「映画と、からだと、あと何か」
155	親密さ		劇映画	濱口竜介	日本	
156	永遠に君を愛す		劇映画	濱口竜介	日本	
157	天国はまだ遠い		劇映画	濱口竜介	日本	
158	Walden		劇映画	濱口竜介	日本	
159	不気味なものの肌に触れる		劇映画	濱口竜介	日本	
160	何食わぬ顔		劇映画	濱口竜介	日本	
161	THE DEPTHS		劇映画	濱口竜介	日本	
162	なみのおと		ドキュメンタリー	濱口竜介	日本	
163	なみのこえ 新地町		ドキュメンタリー	濱口竜介	日本	
164	なみのこえ 気仙沼		ドキュメンタリー	濱口竜介	日本	
165	うたうひと		ドキュメンタリー	濱口竜介	日本	
166	ハッピーアワー		劇映画	濱口竜介	日本	

日本映画観客数 20,096

外国映画

	上映作品名	欧米以外	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/
1	赤い糸 輪廻のひみつ	※	劇映画	ギデンズ・コー	台湾	
2	IT'S NOT ME イッツ・ノット・ミー		劇映画	レオス・カラックス	フランス	
3	ウリリは黒魔術の夢をみた	※	劇映画	ティミー・ハーン	フィリピン	
4	オルエツトの方へ 4Kレストア版		劇映画	ジャック・ロジェ	フランス	
5	おんどのりの鳴く前に		劇映画	パウル・ネゴエスク	ルーマニア、ブルガリア	
6	籠の中の乙女 4Kレストア版		劇映画	ヨルゴス・ランティモス	ギリシャ	
7	季節はこのまま		劇映画	オリヴィエ・アサイヤス	フランス	
8	KIDDO キド		劇映画	ザラ・ドヴィンガー	オランダ	
9	九月と七月の姉妹		劇映画	アリアン・ラベド	アイルランド、イギリス、ドイツ	
10	クリスマス・イブ・イン・ミラース・ポイント		劇映画	タイラー・タオルミーナ	アメリカ	
11	狂ったリビドー	※	劇映画	ヤン・ヤーチュ	台湾	
12	黒い瞳 4K修復ロングバージョン		劇映画	ニキータ・ミナルコフ	イタリア	
13	来し方 行く末	※	劇映画	リウ・ジアイン	中国	
14	地獄でも大丈夫	※	劇映画	イム・オジョン	韓国	
15	娼生	※	劇映画	ブルース・チウ	台湾	
16	親友かよ	※	劇映画	アッター・ヘムワディー	タイ	
17	太陽の男たち	※	劇映画	タウフイー・サーレフ	シリア	
18	卵と石	※	劇映画	ホアン・ジー	中国	
19	タンゴの後で		劇映画	ジュシカ・バルー	フランス	
20	蝶の渡り	※	劇映画	ナナ・ジョルジャゼ	ジョージア	
21	テイク・ミー・サムウェア・ナイス		劇映画	エナ・センディヤレヴィッチ	オランダ、ボスニア	
22	ドマーニ! 愛のことば		劇映画	パオラ・コルテレージ	イタリア	
23	冬冬(トントン)の夏休み	※	劇映画	ホウ・シャオシェン	台湾	
24	白夜(1971) 4K		劇映画	ロベール・ブレソン	フランス、イタリア	
25	フーリッシュ・バード	※	劇映画	ホアン・ジー/大塚竜治	中国	
26	舟に乗って逝く	※	劇映画	チェン・シャオユ	中国	
27	ブラックバード、ブラックベリー、私は私。	※	劇映画	エレネ・ナヴェリアニ	ジョージア、スイス	
28	ブルー・ジーンズ 2Kレストア		劇映画	ジャック・ロジェ	フランス	
29	伯林—大都会交響楽 (特集「SILENT FILM LIVE [シリーズ27]」)		劇映画	ヴァルター・ルットマン	ドイツ	
30	マルティネス		劇映画	ロレーナ・パディージャ	メキシコ	
31	マルホランド・ドライブ 4Kレストア版		劇映画	デヴィッド・リンチ	アメリカ	
32	MOON GARDEN ムーンガーデン		劇映画	ライアン・スティヴンス・ハリス	アメリカ	
33	メイデン		劇映画	グラハム・フォイ	カナダ	
34	盲山	※	劇映画	リー・ヤン	中国	
35	モルグ 屍体消失		劇映画	オーレ・ポールネダル	デンマーク	
36	モロカイ・バウンド		劇映画	アリカ・テンガン	アメリカ	
37	わたしは異邦人	※	劇映画	エミネ・ユルドゥルム	トルコ	
38	アニタ 反逆の女神		ドキュメンタリー	アレクシス・ブルーム/スヴェトラナ・ジル	アメリカ	
39	キノ・ライカ 小さな町の映画館		ドキュメンタリー	ヴェリコ・ヴィダク	フランス、フィンランド	
40	キムズビデオ		ドキュメンタリー	アシュレイ・セイビン/デイヴィッド・レッドモン	アメリカ	
41	原爆スパイ		ドキュメンタリー	スティヴ・ジェームズ	イギリス、アメリカ	
42	シナリオ		ドキュメンタリー	ジャンリュック・ゴダール	フランス、日本	
43	女性の休日		ドキュメンタリー	パメラ・ホーガン	アイスランド、アメリカ	
44	青春 帰	※	ドキュメンタリー	ワン・ピン	フランス、ルクセンブルク、オランダ	
45	青春 苦	※	ドキュメンタリー	ワン・ピン		
46	青春 春	※	ドキュメンタリー	ワン・ピン		
47	セルロイド・クローゼット デジタル・リマスター版		ドキュメンタリー	ロブ・エプスタイン/ジェフリー・フリードマン	アメリカ	
48	2040 地球再生のビジョン		ドキュメンタリー	デイモン・ガモ	オーストラリア	
49	ネタニヤフ調書 汚職と戦争	※	ドキュメンタリー	アレクシス・ブルーム	イスラエル、アメリカ	
50	灰となっても	※	ドキュメンタリー	アラン・ラウ	香港、イギリス、カナダ	
51	非常戒厳前夜	※	ドキュメンタリー	キム・ヨンジン	韓国	
52	マリリン・モンロー 私の愛しかた		ドキュメンタリー	イアン・エアーズ	フランス	
53	砂時計サナトリウム		アニメーション	ブラザーズ・クエイ	イギリス、ポーランド、ドイツ	
54	冬の旅		劇映画	アニエス・ヴァルダ	フランス	「Woman's Film Week 2025」
55	子猫をお願い	※	劇映画	チョン・ジェウン	韓国	
56	ジャンヌ・ディエルマン ブリュッセル1080、 コメルス河畔通り23番地		劇映画	シャンタル・アケルマン	ベルギー、フランス	
57	ミゼリコルディア		劇映画	アラン・ギロディ	フランス	「アラン・ギロディ監督特集」
58	ノーバディーズ・ヒーロー		劇映画	アラン・ギロディ	フランス	
59	湖の見知らぬ男		劇映画	アラン・ギロディ	フランス	
60	モーグル・モーグリ		劇映画	パッサム・ターリク	イギリス、アメリカ	「イスラーム映画祭10」
61	さよなら、ジュリア	※	劇映画	ムハンマド・コルドファーニー	スウェーデン、エジプト、ドイツ、フランス、サウジアラビア、スウェーデン	

	上映作品名	欧米以外	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/
62	チュニスの切り裂き男	※	劇映画	カウサル・ビン・ハニーヤ	チュニジア、フランス、UAE、カナダ	「イスラーム映画祭10」
63	イチジクの樹の下で	※	劇映画	エリーゲ・セヒリー	チュニジア、フランス、スイス、ドイツ、カタル	
64	ラーナ、占領下の花嫁	※	劇映画	ハーニー・アブー・アスアド	パレスチナ、オランダ、UAE	
65	ギャベ	※	劇映画	モフセン・マフマルバフ	イラン、フランス	
66	怒れるシーラ	※	劇映画	アポリース・トラオレ	ブルキナファソ、セネガル、フランス、ドイツ	
67	母たちの村	※	劇映画	ウスマン・センベース	セネガル、ブルキナファソ、モロッコ、チュニジア、カメルーン、フランス	
68	シリンの結婚		劇映画	ヘルマ・サンダース＝ブラームス	西ドイツ	
69	ハリーマの道		劇映画	アルセン・アントン・オストイッチ	ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア、スロベニア、ドイツ、セルビア	
70	カシミール 冬の裏側	※	劇映画	アーミル・バシール	インド、フランス、カタル	
71	神に誓って	※	劇映画	ショエーブ・マンズール	パキスタン	
72	苦悩のリスト	※	ドキュメンタリー	ハナ・マフマルバフ	イギリス、アフガニスタン、イラン	「ヴィジョン・オブ・マフマルバフ」
73	子どもたちはもう遊ばない	※	ドキュメンタリー	モフセン・マフマルバフ	イギリス、イスラエル、イラン	
74	動くな、死ね、甦れ!	※	劇映画	ヴィターリー・カネフスキー	ソビエト	「ヴィターリー・カネフスキー
75	ひとりて生きる	※	劇映画	ヴィターリー・カネフスキー	フランス、ロシア	トリロジー」
76	ぼくら、20世紀の子供たち		劇映画	ヴィターリー・カネフスキー	フランス	
77	セカンド・アクト		劇映画	カンタン・デュビュ	フランス	「カンタン・デュビュ特集」
78	ダリ!!!!!!		劇映画	カンタン・デュビュ	フランス	
79	ヤニック		劇映画	カンタン・デュビュ	フランス	
80	鳥の島の財宝		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	「チェコ・ファンタジー・ゼマン」
81	王様の耳はロバの耳		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
82	狂気のクロニクル		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
83	彗星に乗って		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
84	カレル・ゼマンと子供たち		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
85	シンドバッドの冒険		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
86	クラブート		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
87	クリスマスの夢		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
88	ホンジークとマジェンカ		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
89	ブロコウク氏 映画制作の巻		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
90	水玉の幻想		アニメーション	カレル・ゼマン	チェコスロバキア	
91	ヴァラエティ		劇映画	ベット・ゴードン	アメリカ	「ベット・ゴードン エンブティ
92	エンブティ・スーツケース		劇映画	ベット・ゴードン	アメリカ	ニューヨーク」
93	エニバティズ・ウーマン		劇映画	ベット・ゴードン	アメリカ	
94	血 4Kレストア版		劇映画	ベドロ・コスタ	ポルトガル	「ベドロ・コスタ はじまりの刻
95	溶岩の家 4Kレストア版		劇映画	ベドロ・コスタ	ポルトガル、フランス、ドイツ	1989-1997」
96	骨(1997) 4Kレストア版		劇映画	ベドロ・コスタ	ポルトガル、フランス、ドイツ	
97	ヴァンダの部屋		ドキュメンタリー	ベドロ・コスタ	ポルトガル、ドイツ、スイス	
98	コロツサル・ユース		劇映画	ベドロ・コスタ	ポルトガル、フランス、スイス	
99	蟲(2018)		アニメーション	ヤン・シュヴァンクマイエル	チェコ、スロバキア	「ヤン・シュヴァンクマイエル特集」
100	グンストカメラ		ドキュメンタリー	ヤン・シュヴァンクマイエル	チェコ、スロバキア	
101	錬金炉アタノール		ドキュメンタリー	ヤン・ダニエル/アダム・オリハ	スロバキア、チェコ	
102	アリス		アニメーション	ヤン・シュヴァンクマイエル	スイス、西ドイツ、イギリス	
103	ファウスト		アニメーション	ヤン・シュヴァンクマイエル	チェコ、フランス、イギリス	
104	オテサーネク		アニメーション	ヤン・シュヴァンクマイエル	チェコ、イギリス	
105	サヴァイヴング ライフ		アニメーション	ヤン・シュヴァンクマイエル	チェコ	
106	ファンタスティック・プラネット		アニメーション	ルネ・ラルー	フランス	「ルネ・ラルー ファンタスティック・
107	時の支配者 4K修復版		アニメーション	ルネ・ラルー	フランス	コレクション」
108	ガンダーラ 4K修復版		アニメーション	ルネ・ラルー	フランス	
109	バガー・ドラマ		劇映画	ビート・バウムガルトナー	スイス	「第3回 ヘルヴェティカ・スイス映画祭」
110	ロツロツホ		ドキュメンタリー	マヤ・チュミ	スイス	
111	小さな逃避行		劇映画	イヴ・イェルサン	スイス	
112	ラ・パロマ		劇映画	ダニエル・シュミット	スイス	
113	マイ・スイート・ホーム		ドキュメンタリー	ハンス・ハルディマン	スイス	
114	要塞		ドキュメンタリー	フェルナン・メルガル	スイス	
115	男と女(1966)		劇映画	クロード・ルルーシュ	フランス	「男と女 ―クロニクルズ―」
116	男と女の詩		劇映画	クロード・ルルーシュ	フランス	
117	男と女 人生最良の日々		劇映画	クロード・ルルーシュ	フランス	
118	花嫁人形		劇映画	エルンスト・ルビッチ	ドイツ	SILENT FILM LIVE【シリーズ25】
119	スキナーの夜会服		劇映画	ウィリアム・A・サイター	アメリカ	

上映作品名	欧米以外	劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	監督名	製作国	特集名/
120 両夫婦		劇映画	チャールズ・チャップリン	アメリカ	SILENT FILM LIVE [シリーズ25]
121 デブくんの漂流		劇映画	ロスコー・アーバックル	アメリカ	
122 ファットティとキートンのおかしな肉屋		劇映画	ロスコー・アーバックル	アメリカ	SILENT FILM LIVE [シリーズ26]
123 戦艦ボチヨムキン	*	劇映画	セルゲイ・エイゼンシュテイン	ソ連	
124 海底王キートン		劇映画	バスター・キートン/ドナルド・クリスプ	アメリカ	SILENT FILM LIVE [シリーズ27]
125 ダグラスの海賊		劇映画	アルバート・パーカー	アメリカ	
126 最後の人		劇映画	F・W・ムルナウ	ドイツ	SILENT FILM LIVE [シリーズ27]
127 戦く影		劇映画	アルトゥール・ロビゾン	ドイツ	
128 オペラの怪人		劇映画	ルパート・ジュリアン	アメリカ	SILENT FILM LIVE [シリーズ28]
129 ノートルダム de せむし男		劇映画	ウォーレス・ウォースリー	アメリカ	
130 天罰		劇映画	ウォーレス・ウォースリー	アメリカ	夏休みの映画館 2025
131 風が吹くとき		アニメーション	ジミー・T・ムラカミ	イギリス	
132 猛進ロイド		劇映画	フレッド・ニューメイヤー/サム・テイラー	アメリカ	外国映画観客数 10,938
133 迷惑帽子		劇映画	D・W・グリフィス	アメリカ	
観客数合計			31,034		

表2：特集上映 ※番号青地は元町映画館独自企画

開催日	特集タイトル	観客数
1 2024/12/28 ～2025/1/17	濱口竜介監督特集上映「映画と、からだ、あと何か」 上映作品：『何食わぬ顔 (long version)』『PASSION』『永遠に君を愛す』『THE DEPTHS』『親密さ』『なみのおと』『なみのこえ 新地町』『なみのこえ 気仙沼』『うたうひと』『不気味なもの肌に触れる』ほか 『ドライブ・マイ・カー』の米アカデミー賞受賞を機に濱口竜介監督の知名度が上がっており、前回の特集上映時の2倍弱の動員となった。一般と学生の若い世代が来場者の中心で、映画館にとっても濱口作品にとっても、新しい観客の獲得の機会となった。	720
2 2025/1/1～1/3	『ベイビーわるきゅーれ』シリーズ3作一挙上映 上映作品：『ベイビーわるきゅーれ』『ベイビーわるきゅーれ 2 ベイビー』『ベイビーわるきゅーれ ナイスデイズ』 お正月の三が日で新作を含む3作品を連続上映したことで、連日足を運んでくれた方も、一度観たもののこの機会にもう一度観ると言うファンも来場し、最新作はほぼ満席となった。全治的に若い客層で、新たな観客の獲得にもつながった。	117
3 2025/2/8～2/21	『ヴィジョン・オブ・マフマルバフ』 上映作品：『苦悩のリスト』『子どもたちはもう遊ばない』	154
4 2025/2/8～2/21	『ペット・ゴードン エンプティ ニューヨーク』 上映作品：『ヴァラエティ』『エンプティ・スーツケース』『エニバディズ・ウーマン』	155
5 2025/2/22～2/28	関西7局 震災ドキュメンタリー 特別上映会 上映作品：『阪神・淡路大震災 ドキュメンタリーで振り返る30年前と今 Episode3 菅原通3丁目の人々の場合』『あの日あの場所、あの人』『想いをたずねて～父子が歩んだ30年～』『おうち～神戸母子寮の2年5か月～』『時計の針～亡くした母へ～阪神・淡路大震災29年～』『未来は今～10years old,14years after～』ほか ゲスト：【毎日放送】【関西テレビ】【読売テレビ】【NHK大阪】【朝日放送テレビ】【テレビ大阪】【サンテレビ】各局プロデューサー、ディレクター等 阪神淡路大震災から30年という節目に、関西の民放6局とNHK大阪放送局が共同で震災の伝承と将来起こりうる災害に備えた連携をテーマにプロジェクトを実施。震災直後の作品から最新作まで、30年間の放送の中から厳選した作品を無料上映した。各局のつながりが可視化でき、震災経験者からその子・孫世代まで幅広く来場。震災を経験した地として意義のある企画だった。	304
6 2025/3/1～3/7	「チェコ・ファンタジー・ゼマン!」 上映作品：『鳥の島の財宝』『玉様の耳はロバの耳』『狂気のクロニクル』『彗星に乗って』『カレル・ゼマンと子供たち』『シンドバッドの冒険』『クラバート』『クリスマスの夢』『ホンジークとマジェンカ』『プロコウ氏 映画製作の巻』『水玉の幻想』	138
7 2025/3/8～3/14	「Woman's Film Week 2025」 上映作品：『ジャンヌ・ディエルマン ブリュッセル1080、コメルス河畔通り23番地』『冬の旅(2K修復版)』『子猫をお願い4Kリマスター版』『映画 〇月〇日、区長になる女。』 ゲスト：ベヤンスマキさん(『映画 〇月〇日、区長になる女。』監督 ※リモート)、アルテシニアさん(作家)、かとうさおりさん(NINE STORIES主催)、奥村千織さん(1003店主) 国際女性デーに合わせて、さまざまな女性の生き方を映し出した作品を特集。ロードショー時には「女性映画」として捉えられていなかった作品も、フェミニズム的な視座を得た今観ることで、新たな面や魅力を発見できる機会となった。ゲストトークも好評。お客さまからの反応、反響も良かったので、毎年続けて実施していきたい。	164
8 2025/3/15～4/18	Digout! #03: “表現” の無限の可能性 上映作品：『飛べない天使』『地獄のSE』『僕の月はきたない』『恋脳 Experiment』 テーマごとに「いま、観てほしい」作品を連続公開するスタンプラリー企画。対象作品を有料鑑賞ごとに押し印し、3作品鑑賞でステッカー、4作品コンプリートでTシャツプレゼント。常連客を中心に、本企画があるからと+α本鑑賞してくれることで日本のインディーズ作品の動員を少しながらアップさせている。	230(4作品計)
9 2025/4/26～5/9	「アラン・ギロディ監督特集」 上映作品：『ミゼリコルディア』『ノーバディーズ・ヒーロー』『湖の見知らぬ男』 「アラン・ギロディ監督特集」公開記念トーク 2025/4/26 ストキンジェル・アルノーさん(神戸大学大学院国際文化学研究所・学術研究員) 2025/5/5 渋谷哲也さん(ドイツ映画研究者/日本大学文理学部教授)	218

開催日	特集タイトル	観客数
10	2025/5/3～5/9 「イスラーム映画祭10」 上映作品:『モーグル・モーグリ』『さよなら、ジュリア』『チユニスの切り裂き男』『イチジクの樹の下で』『ラナー、占領下の花嫁』『ギャベ』『怒れるシーラ』『母たちの村』『シリンの結婚』『ハリマの道』『カシミール 冬の裏側』『神に誓って』 「イスラーム映画祭10」公開記念トーク 2025/5/3 丸山大介さん(防衛大学校准教授) 2025/5/4 岡真理さん(早稲田大学文学部学術院 教授/アラブ文学者 ※リモート登壇) 2025/5/5 戸田真紀子さん(京都女子大学現代社会学部教授) 2025/5/6 渋谷哲也さん(ドイツ映画研究者/日本大学文理学部教授) 2025/5/7 拓哉さん(中央大学・政策文化総合研究所客員研究員) 2025/5/8 岩崎有一さん(ジャーナリスト/アジアプレス ※リモート登壇) 2025/5/9 故 麻田豊さん(ウルドゥー語学・文学/インド・イスラーム文化研究者)	899
11	2025/5/10～5/16 「小田香特集2025」 上映作品:『鮎 ARAGANE』『セノーテ』『ノイズが言うには』『あの優しさへ』『GAMA』『Night Train』	33
12	2025/6/7～6/9 「大力拓哉・三浦崇志傑作選2025」 上映作品:『ニコト島』『コロ石』『ほなね』『金太と銀次』『大力と三浦』『大力と三浦3』 小学生からの幼馴染で大阪在住の2人組映画監督、大力拓哉と三浦崇志。唯一無二の世界観で作品を生み出す彼らのDVD発売を記念した特集上映。集客はできなかったが毎日通って全プログラム鑑賞された方もいて、魅力の一端を伝えられたと思う。 「大力拓哉・三浦崇志傑作選2025」公開記念トーク 2025/6/7・6/8 大力拓哉さん(本作監督・出演)、三浦崇志さん(本作監督・出演)	6
13	2025/6/28～7/4 神保慶政監督特集「生活の中の映画」 上映作品:『Workation』『Originality』『憧れ』『せんそうはしらない』『0ライン-赤道の上で』『えんえんと、えんえんと』『僕はもうすぐ十一歳になる。』 ドキュメンタリーとフィクションを複雑に組み合わせる作品づくりを続ける神保慶政監督の全7作品を、「自分を生きる」「旅を生きる」「子どもを生きる」の3プログラムで構成した特集。 「生活の中の映画」公開記念 2025/6/28 トーク、クラフトビール試飲会 神保慶政さん(本作監督)、村上豪英さん(村上工務店代表) 2025/6/29 トーク、託児付き上映 神保慶政さん(本作監督)、藤田毅さん(リバーワークス社 緑化担当)	68
14	2025/7/5～7/11 「BABEL LABEL 全国ミニシアターキャラバン IN 元町映画館」 上映作品:『帰ってきたあぶない刑事』『青の帰り道』『朽ちないサクラ』 2025年に設立15周年を迎えたコンテンツスタジオ BABEL LABEL が、1年を通してその原点である全国のミニシアター巡る「BABEL LABEL 全国ミニシアターキャラバン」。元町映画館では7/5～11の1週間、劇場がセレクトした3作品を上映。 「BABEL LABEL 全国ミニシアターキャラバン IN 元町映画館」スペシャルトーク 2025/7/6 原廣利(『帰ってきたあぶない刑事』『朽ちないサクラ』監督)、原隆仁(TV版「あぶない刑事」シリーズ監督)	89
15	2025/7/26～8/8 「ルネ・ラルー ファンタスティック・コレクション」 上映作品:『ファンタスティック・プラネット』『時の支配者 4K修復版』『ガンダーラ 4K修復版』	291
16	8/9-10, 8/23-24 夏休みの映画館 2025 全国各地のミニシアター/コミュニティシネマが共同で開催する夏休みの子ども(若年層)向けの上映企画。 2025/8/9 『風が吹くとき』感想シェア会 映画チャ部 神戸本部メンバー 2025/8/10 サイレント映画を活弁付きで楽しもう! 『猛進ロイド』『迷惑帽子』『What's カツベン』 大森くみこ(活動写真弁士)、鳥飼りょう(楽士) 2025/8/23 『パンダコバンダ』『パンダコバンダ 雨ふりサーカスの巻』+ワークワークショップ 2025/8/24 『ゼロ弾きのゴーシュ』+ミニコンサート 来住姫乃さん(チェロ)、宮田晴奈さん(ヴァイオリン)、宮田雅代さん(ピアノ)	123
17	2025/8/16～8/22 元町映画館15周年記念「大島弓子に逢いたくて」 上映作品:『金髪の草原』『綿の国星』『グーゲーだつて猫である』 世代、性別を超えて愛され続ける漫画家・大島弓子原作の映画を特集上映。旧来からのファンに加え、これを機に漫画も読んでみたいという若い層も興味を持って来場してくれた。 元町映画館15周年記念「大島弓子に逢いたくて」開催記念トーク 2025/8/16 増田のぞみさん(甲南女子大学文学部メディア表現学科教授、マンガ研究)	193
18	2025/8/23～9/5 「ベドロ・コスタ はじまりの刻 1989-1997」 上映作品:『血 4Kレストア版』『溶岩の家 4Kレストア版』『骨 4Kレストア版』『ヴァンダの部屋』『コロッサル・ユース』	214
19	2025/10/4～10/17 「ヤン・シュヴァンクマイエル特集」 上映作品:『蟲』『クンストカメラ』『錬金師アタナール』『アリス』『ファウスト』『オテサーネク』『サヴァイヴング ライフ』	172
20	2025/11/8～11/21 「ヴィターリー・カネフスキー トリロジー」 上映作品:『動くな、死ぬ、甦れ!』『ひとりて生きる』『ぼくら、20世紀の子供たち』	155
21	2025/11/15～11/28 「カンタン・デビュー特集」 上映作品:『セカンド・アクト』『ダリ!!!!!!』『ヤニック』	61
22	2025/11/22～11/28 「第3回 ヘルヴェティカ・スイス映画祭」 上映作品:『バガー・ドラマ』『ロソッコ』『小さな逃避行』『ラ・パロマ』『マイ・スイート・ホーム』『要塞』 スイスで「GINMAKU 日本映画祭」を開催する松原美津紀さんが、現代のドキュメンタリーからクラシック作品まで計6本のスイス映画をセレクトして上映する企画。なかなか観る機会のないスイス映画を楽しんでもらえた。 「第3回 ヘルヴェティカ・スイス映画祭」公開記念トーク 2025/11/24 藤本高之さん(イスラーム映画祭主宰)、松原美津紀さん(ヘルヴェティカ・スイス映画祭代表)	272
23	2025/11/29～12/12 「男と女 ―クロニクルズ―」 上映作品:『男と女』『男と女の詩』『男と女 人生最良の日々』	142

特集上映の観客数 4,918

表3: 関連イベント: 公開記念ゲストトーク

1	2025/1/26	『地獄でも大丈夫』	金智英さん(神戸松蔭女子学院大学准教授)
2	2025/4/6	『ドマーニ! 愛のことば』	宇田川妙子さん(国立民族学博物館名誉教授)
3	2025/4/12	『ウリリは黒魔術の夢を見た』	ティミー・ハーンさん(本作監督 ※リモート)、ヤマクニキョウコさん(フィリピン映画研究)
4	2025/5/17	『風たちの学校』	田中健太さん(本作監督)、清水ひとみさん(フリースタールS-BASE 代表)
5	2025/6/21	『親友かよ』	加藤るみさん(映画コメンテーター)
6	2025/6/29	『親友かよ』	中村紀彦さん(映像・映画理論研究者/アビチャップン・ウィアラセタケン研究)
7	2025/6/29	『モルグ 屍体消失』	TKC ARTWORKSさん(HELLPIT VIDEO 店主/イラストレーター)
8	2025/7/27	『劇場が終わるとき』公開記念 『オキナワより愛を込めて』 1日限定上映&トーク	真喜屋力さん(『劇場が終わるとき』監督)、砂入博史さん(『オキナワより愛を込めて』監督)
9	2025/8/23	『舟に乗って逝く』	濱田麻矢さん(神戸大学大学院人文学研究科教授)
10	2025/9/27	『赤い糸 輪廻のひみつ』	葉山友美さん(台湾映画社/本作配給)、小島あつ子さん(台湾映画同好会/本作配給)
11	2025/10/4	『非常戒厳前夜』	木村幹さん(神戸大学大学院国際協力研究科教授)
12	2025/10/5	『セルロイド・クローゼット』	ストキンジェル・アルノーさん(神戸大学大学院国際化学研究科・学術研究員)
13	2025/10/18	『壁の外側と内側』公開記念 『太陽の男たち』特別上映&トーク	藤本高之さん(イスラム映画祭主宰)
14	2025/10/25	『石門』公開記念トーク	濱田麻矢さん(神戸大学大学院人文学研究科教授)
15	2025/10/25	『女性の休日』 『モヤモヤを言葉にしてみる会』	中谷文美さん(関西学院大学社会学部教授)
16	2025/10/26	『女性の休日』	アルテイシアさん(作家)
17	2025/11/8	『シナリオ』	筒井武文さん(映画監督 ※リモート登壇)

表4: サイレント映画伴奏付上映「SILENT FILM LIVE」

楽士・鳥飼りょうさんのピアノ/生伴奏でサイレント映画を楽しむ企画。

	開催日	上映作品	観客数
1	2025/1/4 ~ 1/10	『花嫁人形』『スキナーの夜会服』『両夫婦』『デブくんの漂流』『ファッティ&キートンのおかしな肉屋』	124
2	2025/4/5 ~ 4/11	『戦艦ポチョムキン』『海底王キートン』『ダグラスの海賊』	118
3	2025/7/12 ~ 7/18	『最後の人』『戦(おのの)く影』『伯林 大都会交響楽』	80
4	2025/11/1 ~ 11/7	『オペラの怪人』『ノートルダムのせむし男』『天罰』	110
			432

表5: 特別企画・特別上映

	開催日	企画タイトル
1	2025/1/1 ~ 1/3	『シアトリカル』公開記念: 『新宿泥棒日記』特別上映 唐十郎を追悼した大島新の監督第1作『シアトリカル』17年ぶりの上映に合わせて、父である大島渚が唐十郎ほかを映した『新宿泥棒日記』を特別上映。名監督の作品を35mmフィルムで上映したことで、当時を知るシニアを中心に30 ~ 50代の映画ファンも訪れた。
2	2025/3/9	『東京オリンピック2017 都営霞ヶ丘アパート』1日限定上映&トーク 【モノの「保存/解体」と、そのあいだで「残ったもの」を考える】 上映作品: 『東京オリンピック2017 都営霞ヶ丘アパート』 ゲスト: 青山真也さん(本作監督)、高森順子さん(社会心理学者)、片田友樹さん(建築家) 神戸に移り住んで3年の片田さんが、川や山・海による見ええない区別を感じたり、二項対立で語られる場面に遭遇した経験から、すぐそこにある他者を見つめる機会となればと企画。青山監督からは撮る/撮られるという関係について、高森さんからは被災者の手記を集める活動で出会った、書いたことと口に出すことが異なる被災者についてなど、コミュニティや関係のあり方を考えるヒントとなるエピソードが話された。
3	2025/8/2 ~ 8/8	戦後80年『蟻の兵隊』上映 ゲスト: 池谷薫さん(本作監督) 中国残留日本兵だった奥村和一を主人公に、加害と被害の両面から戦争に切り込んだドキュメンタリー『蟻の兵隊』を戦後80年の2025年に再上映。初日には池谷薫監督の舞台挨拶を行い、本作制作への思い、奥村さんと築いた“共犯関係”など圧倒されるエピソードを語っていただき、戦争をいま一度考える機会になった。
4	2025/9/13 ~ 9/19	『香港時代革命』緊急公開 元町映画館を拠点に池谷薫監督が主宰する「元町プロダクション」でご縁のあった佐藤充則さんの急逝を受け、パートナーの平野愛さんと共同監督した最後の作品を緊急公開。 『香港時代革命』公開記念トーク 2025/9/13 平野愛さん(本作プロデューサー)、池谷薫さん(映画監督) 2025/9/14 平野愛さん(本作プロデューサー)、阿古智子さん(社会学者/現代中国研究) 2025/9/17 平野愛さん(本作プロデューサー)、アリック・リーさん(レイディー・リパティエー香港代表)
5	2025/11/22	映画チア部10周年記念上映企画『折にふれて』 1日限定上映&シネマツリーリング 上映作品: 『折にふれて』 ゲスト: 村田陽奈さん(本作監督) 2015年に誕生した映画チア部が10周年を迎えたことを記念し、映画チア部神戸本部のメンバーによる10周年記念上映企画を開催。映画チア部京都支部OGである村田陽奈監督作品『折にふれて』を特別上映、村田監督の舞台挨拶を行った。同時に学生限定でミニシアターデビューを応援するイベント「シネマツリーリング」も実施し、「学生映画の作り方・卒業制作の話」をテーマに、監督と学生たちが映画について語り合う場も設置。また、本作にまつわる展示を中心に、映画チア部10年間の歩みを振り返る特別展示も開催した。
6	2025/12/27 ~ 12/30	『ハッピーアワー』上映 ゲスト: 濱口竜介さん(監督)、野原位さん(共同脚本)、北川喜雄さん(撮影)、田中幸恵さん(出演/あかり役)、菊池葉月さん(出演/核子役)、三原麻衣子さん(出演/美美役)、川村りらさん(出演/純役)、柴田修兵さん(出演/鶴飼役)、出村弘美さん(出演/日向子役)、坂庄基さん(出演/風間役)、久貝亜美さん(出演/淑恵役)、田辺泰信さん(出演/栗田役)、渋谷采郁さん(出演/袖月役)、福永祥子さん(出演/みつ役)、椎橋怜奈さん(出演/こずえ役)、川村知さん(出演/大紀役) 2015年のロードショー以来、毎年年末に実施している『ハッピーアワー』上映。例年同様、舞台挨拶のある年内最終営業日の12/30は満席となった。毎年多くのお客さまにお越しいただいているが、その度初鑑賞だという方も多くいる。濱口竜介監督、主役の4人の女性をはじめ総勢16名での舞台挨拶が大盛り上がりだった。

表6: 映画館外でのイベント

開催日	企画タイトル
1 2025/3/8	元町映画館オープンダイアローグ #06 【震災を『わたしが』語ることについて】
	実施会場: まちラボ
	上映作品: 『春をかきねて』『あなたの瞳に話せたら』 ゲスト: 佐藤そのみさん(本作監督)、 ファンリテーター: 中村紀彦さん(映像・映画理論研究者)
	映画を通して“開かれた対話の場”をつくりだすことを目指す企画で、東日本大震災を経験した佐藤そのみ監督の作品から、阪神淡路大震災を経験した神戸の地で震災を語ることをテーマに対話した。参加者それぞれの体験と抱えるモヤモヤを共有し、耳を傾ける意義のある場になった。
2 2025/5/17	元町映画館オープンダイアローグ #07 【映画『風たちの学校』から考える教育ってなんだ?】
	実施会場: まちラボ
	ゲスト: 田中健太さん(本作監督)、 ファンリテーター: 中村紀彦さん(映像・映画理論研究者)
	参加者どうしの対話を目的としたイベント。“学校”という言葉に持っている印象からスタートし、本作の舞台となった黄柳野高校での教育と、自身の学校での学びの経験とのギャップについてや「学校」という場所や、システムについてなど、参加者と語り合った。ご兄弟が黄柳野高校に通われていた方、お子さんがフリースクールに通われている方、教育分野が専門の大学の先生、中学校の教師など、ご自身の体験を交えた生の声も聞けた。
3 2025/7/12 ~ 7/31	「本×映画×絆」
	実施会場: 神戸市立兵庫図書館
	『KIDDO キドー』の公開を記念した神戸市立兵庫図書館との連携企画。「本×映画×絆」と題し、図書館スタッフが独自の視点で選書した書物を並べたコーナーを設置。展示書物は貸し出しも行った。
4 2025/8/16 ~ 8/24	観読往来「大島弓子に逢いたくて」
	実施会場: 書店「1003」
	元町映画館の上映作品をピックアップし、書店1003さんがその作品世界を豊かに広げる本たちを紹介する企画「観読往来」。今回は大島弓子のコミックスや関連書籍が並んだ特設コーナーを展開、多くの方に足を運んでいただいた。書店でコーナーを見て上映を知り、映画を観に来てくれた方もおり、相互に行き来して楽しんでもらった。
5 2025/9/6 ~ 9/23	観読往来「九月と七月の姉妹」
	実施会場: 書店「1003」
	原作のデージー・ジョンソンによる小説をはじめ、「Two Girls あなたとわたしの物語」をテーマに女性どうしの関係を描いた本たちが並んだ。
6 2025/10/25 ~ 11/9	観読往来「女性の休日」
	実施会場: 書店「1003」
	『女性の休日』を起点に、女性が働き、声を上げることについて書かれた本たちが並んだ。
7 2025/11/7 ~ 11/24	『ジュンについて』公開記念・夏葉社フェア
	実施会場: 書店「1003」「本の菜」
	“ひとり出版社”夏葉社の島田潤一郎さんを追ったドキュメンタリー『ジュンについて』公開を記念して、映画にも登場する神戸の独立書店「1003」「本の菜」にて夏葉社フェアを開催。本好きのお客さまが足を運んでくれた。
8 2025/11/15 ~ 12/5	「本×映画×人間」
	実施会場: 神戸市立兵庫図書館
	上映作品: 『はだしのゲンはまだ怒っている』
	『はだしのゲンはまだ怒っている』の公開を記念した神戸市立兵庫図書館との連携企画。「本×映画×人間」と題し、図書館スタッフが未来の平和を作ることができる「人間」への希望を込めた独自の視点で選書した書物を並べたコーナーを設置。展示書物は貸し出しも行った。

表7: タイアアップ

開催日	企画タイトル
1 2025/2/8 ~ 2/21	『ブラックバード、ブラックベリー、私は私。』
	実施会場: Café Cru.
	元町映画館の真裏にある「Café Cru.」にて、『ブラックバード、ブラックベリー、私は私。』劇中に登場したジョージア式のナポレオンパイを上映期間中提供。映画を観た方にも、Café Cru.のスイーツのファンにも好評だった。
2 2025/3/8 ~ 3/21	『蝶の渡り』
	実施会場: Café Cru. / ジェロボアム
	ジョージア映画『蝶の渡り』公開に合わせ、近隣の2店舗とタイアップ企画を実施した。主となる客層が似ていたこともあってか利用客も普段より多く、相互のお客さまが往来する良い機会となった。各店での実施内容は以下の通り。 【Café Cru.】上映期間中、人気のジョージア料理シュケメルリと、ジョージア発祥のオレンジワインを他愛アップメニューとして提供。 【ジェロボアム】ジョージア含む世界各地の銘醸ワイン約1,000種がそろう路地裏のワインショップ。公開1ヶ月ほど前から店内に映画のポスター、チラシ、割引券(一般1,800円→1,300円)を設置してもらい、映画の観客にはワイン購入の割引券を配布(10%OFF)した。
3 2025/3/15 ~ 3/28	『鹿の国』
	実施会場: 鹿鳴茶流 入船/ハイカラブルバードジビエ精肉店/ハイカラブルバード神戸
	「ニホンジカまるごと1頭有効活用」のバイオニアとしてエシカルな取り組みを続ける地元企業メリケンヘッドフォーターズが運営する3店舗と、本作鑑賞の方は各店の人気商品を割引価格で購入できるタイアアップを実施。内容は以下の通り。 【鹿鳴茶流 入船】兵庫県産鹿肉のカツレツ 1,500円→1,000円 【ハイカラブルバードジビエ精肉店】兵庫県産鹿もも肉の生ハム 972円→680円 【ハイカラブルバード神戸】兵庫県産野生鹿の革・角・骨を有効活用したグッズ 15%OFF
4 2025/7/26 ~ 8/7	「ルネ・ラルー ファンタスティック・コレクション」
	実施会場: Café Cru.
	『ファンタスティック・ブラネット』に登場するドラーク族をイメージしたビジュアルのソーダフロートを上映期間中提供。ビジュアルの良さから写真を撮ってSNS投稿してくださる方が多く、テイクアウトして映画を観ながら楽しむことも可能で、若い層を中心に楽しんでもらった。
5 2025/9/6 ~ 9/18	「季節はこのまま」
	実施会場: Café Cru.
	『季節はこのまま』劇中で弟のエティエヌが毎日のように作っていたハムとチーズのクレープを、美味しいハムとチーズを使ってCafé Cru.でも上映期間中提供。軽い食事でもおやつでも楽しめるよう、コーヒータウンなどのドリンクとのセットも。
6 2025/9/13 ~ 9/25	「オルエットの方へ 4Kレストア版」
	実施会場: Café Cru.
	おなかを空かせた主人公の女の子たちに食べさせたい、カラフルなビジュアルが素敵なお菓子を上映期間中タイアップスイーツとして提供。テイクアウトも好評だった。
7 2025/10/ ~ 10/9	「MOON GARDEN」
	独特な作品世界と主人公・エマをイメージしたドリンク(アルコール入り/ノンアルコール)を期間中提供。鑑賞後に余韻の時間を楽しんでもらえた。
8 2025/10/18 ~ 10/24	『壁の外側と内側』
	上映期間中、パレスチナの手しごと雑貨を取り扱う「架け箸」の商品を販売。また、2Fロビーでパレスチナでの虐殺に反対するスタンディングを行なっている有志の神戸市民による展示を実施した。多くの来場者に商品を手にとってもらい、パレスチナへの思いを伝える場となった。
9 2025/12/13 ~ 12/30	「道草キッチン」公開記念タイアアップ 「映画を観て、ベトナムごはんを楽しもう！」
	『道草キッチン』公開を記念して、元町映画館と同じ元町商店街にあるベトナム料理店タン・カフェとタイアップ。店舗ではポスター掲示と割引券付きチラシの設置をしてもらい、映画を観た方が店舗を利用するとハス茶サービスという内容で実施した。

(2)元町映画館 レポートの分析

元町映画館から提出された詳細な上映活動のデータから、元町映画館をどのように「評価」することができるだろう。神戸市内には、元町映画館を含め5館のミニシアター（その他に、シネコン3館、既存館1館）があり、元町映画館には、他のミニシアターと差異化するための、館独自のプログラミングが求められる。元町映画館の館独自のプログラミングとは具体的にはどのようなものなのか。レポートを参照しながら考えてみる。

■多様な映画を上映

2025年に公開された映画は1409本。これを公開された映画館の館数（公開規模）で分類したものが表8である。

「上映作品の多様性」の指標として、それほど大きな規模では公開されていない作品（10~99館で公開される中小規模の作品）が、館の上映作品全体に占める割合を設定する。日本映画の場合、10館~99館で公開される作品は334本で全公開作品の50%、外国映画では513本で70%を占めている。この中には、国際映画祭等で高い評価を得た作品や、世界的巨匠の作品、重要なドキュメンタリー映画、多くの若い作り手たちの野心的な作品、旧作のデジタルリマスター版のリバイバル上映や監督の特集上映などが含まれている。→表8

元町映画館は、1スクリーン（66席）で1年間に299本（日本映画166本、外国映画133本）もの作品を上映している。表1の上映作品リスト、表2-7の特集上映や関連イベントのデータを参照しながら、元町映画館の上映活動を分析してみよう。

公開館数が10館以上100館未満の作品が上映作品全体に占める割合をポイント化

81%以上=50点 / 71~80%=45点 / 61~70%=40点 / 51~60%=35点 / 41~50%=30点 / 31~40%=25点 / 30%以下=20 とすると、元町映画館の上映作品の中で公開館数10~99館の作品は、日本映画では166本中81本49%、外国映画は133本中67本50%となっており、ポイントは日本映画、外国映画とも30点となっている。昨年調査をした「シネマテークたかさき」は日本映画、外国映画とも80%を越えており、満点の50点、「横浜シネマリン」は32.5点となった。同じミニシアターであっても、館が立地する地域の人口規模や周辺の映画館のあり方などによって、上映している作品には大きな違いがあることがわかる。元町映画館が立地する神戸市にはミニシアターが5館あり、それぞれ上映する作品は異なっている。公開館数が10~99館の作品の多くが「シネリーブル神戸」「キノシネマ神戸国際」で上映されている。元町映画館のプログラムは、周辺に複数のミニシアターが存在する横浜シネマリンの上映作品の構成に近いところもあるが、横浜シネマリンとは異なる強い個性を見ることができる。→表9

■上映作品の多様性をさらに深くみる

「公開規模」のみでは上映作品の細やかな豊かさを計測するには十分ではない。国内の映画上映の現状を鑑みて、加点すべきより具体的な指標として以下のことが考えられる。各々の映画館の特色や傾向をより詳細に読み解き、こうした評価を加えることで、多様性の評価はより妥当なものとなるだろう。

・若手クリエイター作品の上映

若手クリエイターがそのキャリアをスタートし、経験を積み重ねる場としての映画館の役割を評価の指標とする。元町映画館の上映作品リストには、公開規模が小さい若手監督や新人監督の作品が非常に多く含まれている。日本映画では公開規模が「9館以下」の、インディペンデント映画の中でもかなり小規模な作品が166本中88本で50%以上を占めており、特集での上映作品を除く106本中42本が新しい作り手の作品である。「Digout! #03:“表現”の無限の可能性」ではインディペンデント映画のスタンプラリーを実施、「大力拓哉・三浦崇志傑作選2025」では、地域に関わりが深

表8：2025年に映画館で公開された作品の公開規模

日本映画				
公開館数	2025	シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ
300館以上	87	13%	79	8
150~299館	54	8%	36	18
100~149館	45	7%	26	19
70~99館	40	6%	19	21
50~69館	62	9%	17	41
30~49館	73	11%	25	37
10~29館	159	24%	18	42
2~9館	153	23%	14	15
公開本数合計1	673		234	201
			35%	30%
				35%
外国映画				
公開館数	2025	シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ
300館以上	29	4%	26	3
150~299館	28	4%	17	11
100~149館	36	12%	29	56
70~99館	51			
50~69館	90	12%	21	64
30~49館	147	20%	8	105
10~29館	225	31%	13	92
2~9館	130	18%	8	21
公開本数合計1	736		122	352
			17%	48%
				36%
日本映画1+外国映画1	1409		356	553
			25%	39%
				35%
本数				
日本映画10~99館	334	50%		
外国映画10~99館	513	70%		

表9：公開館数が10-99館の作品が上映作品全体に占める割合をポイント化

	元町映画館				シネマテークたかさき(2024年)				横浜シネマリン(2024年)			
	日本映画		外国映画		日本映画		外国映画		日本映画		外国映画	
300館以上	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
150~299	2	1%	0	0%	2	2%	0	0%	2	1%	0	0%
100~149	2	1%	0	0%	1	1%	0	0%	1	1%	1	0%
80~99	3	2%	0	0%	1	1%	6	3%	1	1%	1	1%
50~79	11	7%	8	6%	21	22%	31	17%	8	6%	11	7%
30~49	15	9%	22	17%	20	21%	53	29%	10	7%	28	17%
10~29	44	27%	30	23%	36	37%	68	38%	22	16%	69	42%
7~9	8	5%	7	5%	5	5%	1	1%	12	9%	1	1%
6以下	80	48%	66	50%	11	11%	21	12%	83	60%	52	32%
	166		133		97		180		139		163	
10~99館	81	49%	67	50%	83	86%	159	88%	53	38%	110	67%
	30		30		50		50		25		40	
平均	30				50				32.5			

い作り手、関西を拠点とするクリエイターの作品を取り上げており、地域のクリエイターを育成する場としての役割を果たしているという点でも高く評価することができる。→表1

•ドキュメンタリー映画の上映

近年では、ドキュメンタリー映画が映画館で公開されことはさほど珍しいことではなくなったが、それでもシネマコンプレックスで上映されるのはごく一部の作品に限られている。上映の機会が稀少であること、そして描く対象やテーマによって、より直接的に私たちの社会や他者との関係を観客に伝え、考察する機会を与えるという点において、ドキュメンタリー映画の上映本数も重要な評価の指標のひとつとすることができる。元町映画館では、現代の日本社会の課題を提起するドキュメンタリー作品の新作が多く上映されており、日本映画の新作106本中33本、31%を占めている。→表1

•多様な製作国(籍)の映画を上映

日本の映画市場は、諸外国と比較をしてみた場合、ハリウッドに代表されるアメリカ映画へ極端に偏ることなく、様々な国の映画を上映している。近年、若年層の外国語離れ・外国文化への関心の低さを指摘する声もあるが、映画を通じて異文化に対する関心や交流の場を広げるという点で、アジア、アフリカ、中南米といった多様な国々で製作された映画の上映を加点すべき指標とする。元町映画館では、特集以外の外国映画53本の中で、欧米以外の国で製作された作品が22本42%を占めている。→表1

■多彩な特集上映や関連イベント

・特集上映

ある時代や地域を絞って複数の作品を上映することにより、観客は作品や特集の掲げるテーマをより深く理解し、描かれた文化や社会を学ぶことができる。映画監督をはじめとする映画の作り手にフォーカスした特集は、まとめて作品を鑑賞することによってそのスタイルや制作へ至った背景、映画の歴史そのものを観客が理解しやすいという点で教育的な側面をも有しており、映画の作り手の育成にもつながる。また、映画館の独自性や特色が強く打ち出されるという点においても上映活動の多様性を評価する指標となる。

元町映画館の場合、特集上映の多彩さは群を抜いている。日本映画・外国映画合わせると1年間に23もの特集上映が行われており、しかも9企画は元町映画館の独自企画である。(表2番号青地)日本映画の166本中60本、外国映画では133本中80本が特集の中で上映されている。

日本映画の特集では、阪神淡路大震災から30年という節目の年に「関西7局 震災ドキュメンタリー特別上映会」を開催(放送局と共同開催)、元町映画館15周年記念企画「大島弓子に逢いたくて」では漫画家・大島弓子原作の映画を上映、地域の書店では大島弓子の関連書籍の特設コーナーが設けられた。また、2013-14年に神戸に滞在してワークショップを行い、ワークショップ参加者とともに『ハッピーアワー』を撮った、元町映画館にとって特別な存在である濱口竜介監督の特集上映には多くの観客を集めている。映画として重要であるということに加え、地域性の強い、地域に根差した特集を数多く実施している。→表2

・関連イベント

映画上映における関連イベントとは、映画上映の本質的な目的である映画作品の鑑賞に加えて、その体験をより充実したものにするために企画されるものである。

関連イベントの評価の指標としては、大きく分けて二つを挙げることができる。

ひとつは映画を通じて観客が学ぶ、様々な経験をするという点で「教育的な意義」が挙げられる。ゲストによるトークやレクチャーは、観客の作品自体に対する理解だけでなく、作品の描く文化や社会についての関心を深める。若い観客(子ども)のための教育プログラムとして、上映に合わせて体験型のワークショップや映画の解説、トークイベントなどを実施することには教育的な意義とともに、社会的な意義も含まれる。また、ミニコンサートや公演付の上映は、音楽など他の芸術ジャンルに関心を持つ層に対しても裾野を広げ、日常的に映画館へ足を運ぶことの少ない観客層の開拓・育成に繋がる。

関連イベントには、「社会的な意義」も含まれる。それは、映画館が文化的な拠点として、地域社会のなかで様々な人々や団体との結節点となる役割を果たすことを示す。映画上映を通じて多様なテーマに関心をもつ人々が集まり言葉を交わすことによって、映画を契機としたコミュニティが醸成され、それが結果的に映画館に観客が根付くという循環にもつながっていく。

公開記念ゲストトーク

元町映画館では新作の公開時に多彩なゲストによるトークイベントを実施しており、2025年の公開記念ゲストトークは17回に及んでいる。元町映画館のゲストトークは、監督や上映作品の関係者の舞台挨拶にとどまるものではなく、当該の映画が扱うテーマや歴史的な背景等に関する専門家の短いレクチャーが多く行われており、近隣の大学の様々な分野の研究者が登壇する。ここにも元町映画館の「地域性」を強く感じることができる。→表3

サイレント映画伴奏付上映「SILENT FILM LIVE」

関西を拠点に活動するサイレント映画伴奏者の鳥飼りょう氏のプログラミングによる「SILENT FILM

15周年記念企画「大島弓子に逢いたくて」チラシ



『ハッピーアワー』上映の日の記念撮影



SILENT FILM LIVEチラシ



LIVE」は2018年に始まったもので、シリーズ企画として年4回行われている。元町映画館の定番企画として人気があり、毎回、多くの観客を集めている。→表4

地域の文化施設・文化芸術団体・商店街等との連携

元町映画館では、映画館「以外」での活動も積極的に行っている。地域の書店や図書館、まちづくり会館「まちらぼ」等と連携して様々な事業を展開している。

「元町映画館オープンダイアログ」は、「まちらぼ」を会場として、「・・・映画を通して開かれた対話の場をつくりだすことを目指し・・・」で行われる企画で、2025年には、石巻出身の佐藤そのみ監督の作品の上映に合わせて『【震災を『わたしが』語ることについて】、ドキュメンタリー映画『風たちの学校』上映時には【映画『風たちの学校』から考える教育ってなんだ?】を開催している。

映画(観賞)と本(読書)を結ぶ、神戸市立兵庫図書館との連携企画「本×映画×絆」や、書店「1003」が元町映画館の上映作品をピックアップして関連する本を紹介する「観読往来」などもたびたび実施し好評を得ている。

また、カフェやレストラン等との「タイアップ」も積極的に展開している。元町映画館の真裏にある「Café Cru.」では、元町映画館の上映作品に合わせて様々なメニューが考案され、ドキュメンタリー映画『鹿の国』上映の際には、「ニホンジカまるごと1頭有効活用」のパイオニアである地元企業「メリケンヘッドクォーターズ」が運営する3店舗で各店の人気商品を割引価格で購入できるタイアップを実施している。→表5~7

元町映画館の特徴は、とにかく「地域」の映画館であろうとしていること、地域との関わりを様々な面で創り出そうとしている点にある。この点は、他のミニシアターと比較しても突出した特性であると言える。イベントの数は(タイアップを除いて)80回以上に上り、ほぼ毎週末にイベントが行われている。回数が多いだけでなく、地域に関わりのある人たちを巻き込みながら、手間ひまをかけてつくられたイベントが多いのも元町映画館の特徴である。この「地域との関わり」も重要な評価のポイントとして考える必要がある。

Ⅲ | [特集] 映画館(上映活動)の現状に関する詳細調査2025

2

兵庫県映画センター

(1) 兵庫県映画センターのレポート

兵庫県映画センター

上映団体。

「映画センター」とは、「..すぐれた映画を全国にくまなく上映していくことを目標」に活動する上映団体である。1960年代後半以降に全国各地につくられ、1972年には全国組織「全国映画センター連絡協議会」(現・一般社団法人全国映画センター)が設立されている。2026年1月現在、26の団体が全国映画センターのメンバーとして上映活動を行っている。各地の映画センターはそれぞれ立地する地域で、映画の配給や出張上映、自主上映を行っている。映画館「以外」で上映活動を行う団体として、その実績は高く評価されており、製作者、配給者からも厚い信頼を得ている。

兵庫県映画センターの歴史は古く、1969年の創業(1980年株式会社)以来、50年以上にわたり、兵庫県全域で上映活動を展開、兵庫県の映画文化の一翼を担い続けている。

株式会社兵庫県映画センター
〒653-0036 兵庫県神戸市長田区腕塚町2丁目1-15 クリエイト兵庫第一ビル2F
業務内容:映画配給(上映素材の貸出~自主上映) / 出張映写 / 映画・映像関連商品・映像機器の販売

表10: 上映作品(兵庫県映画センター)

日本映画 79作品

	作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
		新作(劇映画)			
1	1	アイミタガイ	草野翔吾	日本	BD
2	1	アイミタガイ	草野翔吾	日本	BD
3	1	アイミタガイ	草野翔吾	日本	BD
4	1	アイミタガイ	草野翔吾	日本	BD
5	2	悪は存在しない	濱口竜介	日本	BD
6	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
7	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
8	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
9	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
10	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
11	3	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	成田洋一	日本	DCP
12	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
13	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
14	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
15	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
16	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
17	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
18	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
19	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
20	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
21	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
22	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
23	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
24	4	あまるっく	中村和宏	日本	BD
25	5	お母さんが一緒	橋口亮輔	日本	BD
26	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
27	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
28	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
29	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
30	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
31	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
32	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
33	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
34	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD

	作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
35	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
36	6	お終活 再春!人生ラブソディ	香月秀之	日本	BD
37	7	オレンジ・ランプ	三原光尋	日本	BD
38	7	オレンジ・ランプ	三原光尋	日本	BD
39	7	オレンジ・ランプ	三原光尋	日本	BD
40	8	渇水	高橋正弥	日本	BD
41	9	カラオケ行こ!	山下敦弘	日本	BD
42	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
43	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
44	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
45	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
46	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
47	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
48	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
49	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
50	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
51	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
52	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
53	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
54	10	九十歳。何がめでたい	前田哲	日本	DCP
55	11	銀河鉄道の父	成島出	日本	BD
56	12	劇場版アナウンサーたちの戦争	一木正恵	日本	BD
57	12	劇場版アナウンサーたちの戦争	一木正恵	日本	BD
58	12	劇場版アナウンサーたちの戦争	一木正恵	日本	BD
59	12	劇場版アナウンサーたちの戦争	一木正恵	日本	BD
60	13	52ヘルツのクジラたち	成島出	日本	BD
61	14	ゴッドマザー コシノアヤコの生涯	曾根剛	日本	BD
62	14	ゴッドマザー コシノアヤコの生涯	曾根剛	日本	BD
63	15	こんにちは、母さん	山田洋次	日本	DCP
64	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
65	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
66	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
67	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
68	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
69	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
70	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
71	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
72	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
73	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
74	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
75	16	侍タイムスリッパ	安田淳一	日本	BD
76	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
77	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
78	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
79	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
80	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
81	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
82	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
83	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
84	17	35年目のラブレター	塚本連平	日本	BD
85	18	シサム	中尾浩之	日本	BD
86	19	ディア・ファミリー	月川翔	日本	DCP
87	20	とりつくしま	東かほり	日本	BD
88	21	PERFECT DAYS	ヴィム・ヴェンダース	日本	BD
89	21	PERFECT DAYS	ヴィム・ヴェンダース	日本	BD
90	21	PERFECT DAYS	ヴィム・ヴェンダース	日本	BD
91	21	PERFECT DAYS	ヴィム・ヴェンダース	日本	BD
92	22	はたらく細胞	武内英樹	日本	BD
93	22	はたらく細胞	武内英樹	日本	BD
94	22	はたらく細胞	武内英樹	日本	BD
95	22	はたらく細胞	武内英樹	日本	BD
96	23	八犬伝	曾利文彦	日本	BD
97	24	HAPPYEND	空音央	日米	DCP
98	24	福田村事件	森達也	日本	BD
99	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD
100	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD
101	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD

	作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
102	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD
103	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD
104	26	ぼくが生きてる、ふたつの世界	呉美保	日本	BD
105	27	マリッジカウンセラー	前田直樹	日本	BD
106	27	マリッジカウンセラー	前田直樹	日本	BD
107	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
108	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
109	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
110	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
111	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
112	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
113	28	港に灯がともる	安達もじり	日本	BD
114	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
115	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
116	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
117	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
118	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
119	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
120	29	夜明けのすべて	三宅唱	日本	BD
121	30	ラーゲリより愛を込めて	瀬々敬久	日本	DCP
122	31	ラドンの奇跡	徳由美子	日本	BD
123	31	ラドンの奇跡	徳由美子	日本	BD
124	32	ルート29	森井勇佑	日本	BD
125	32	ルート29	森井勇佑	日本	BD
126	33	レディ加賀	雑賀俊朗	日本	BD
		旧作・クラシック (劇映画)			
127	34	あの日のオルガン	平松恵美子	日本	BD
128	34	あの日のオルガン	平松恵美子	日本	BD
129	35	あん	河瀬直美	日・仏・独	BD
130	35	あん	河瀬直美	日・仏・独	BD
131	36	異動辞令は音楽隊!	内田英治	日本	BD
132	37	いのちの停車場	成島出	日本	BD
133	37	いのちの停車場	成島出	日本	BD
134	38	上を向いて歩こう	舛田利雄	日本	BD
135	39	梅切らぬバカ	和島香太郎	日本	BD
136	39	梅切らぬバカ	和島香太郎	日本	BD
137	39	梅切らぬバカ	和島香太郎	日本	BD
138	39	梅切らぬバカ	和島香太郎	日本	BD
139	40	大コメ騒動	本木克英	日本	BD
140	41	お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方	香月秀之	日本	BD
141	41	お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方	香月秀之	日本	BD
142	41	お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方	香月秀之	日本	BD
143	42	学校の怪談	平山秀幸	日本	35mmフィルム
144	43	君の笑顔に会いたくて	植田中	日本	BD
145	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
146	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
147	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
148	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
149	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
150	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
151	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
152	44	心の傷を癒すということ 劇場版	安達もじり	日本	BD
153	45	細雪	市川崑	日本	35mmフィルム
154	46	島守の塔	五十嵐匠	日本	BD
155	46	島守の塔	五十嵐匠	日本	BD
156	47	島守の塔	五十嵐匠	日本	BD
157	47	しゃぼん玉	東伸児	日本	BD
158	48	純愛物語	今井正	日本	35mmフィルム
159	49	長いお別れ	中野量太	日本	BD
160	49	長いお別れ	中野量太	日本	BD
161	50	にごりえ	今井正	日本	35mmフィルム
162	51	破戒	前田和男	日本	BD
163	52	日は好日	大森立嗣	日本	BD
164	53	ペコロスの母に会いに行く	森崎東	日本	BD
165	53	ペコロスの母に会いに行く	森崎東	日本	BD
166	54	べっぴんの町	原隆仁	日本	35mmフィルム
167	55	夕風の街 桜の国	佐々部清	日本	BD

	作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
168	56	老後の資金がありません! ドキュメンタリー	前田哲	日本	BD
169	1	荒野に希望の灯をともす	谷津賢二	日本	BD
170	1	荒野に希望の灯をともす	谷津賢二	日本	BD
171	1	荒野に希望の灯をともす	谷津賢二	日本	BD
172	1	荒野に希望の灯をともす	谷津賢二	日本	BD
173	1	荒野に希望の灯をともす	谷津賢二	日本	BD
174	2	コミュニティムービー 30(さんまる)	鈴木七沖	日本	BD
175	3	地蔵とリビドー	笠谷圭見	日本	BD
176	4	ジュンについて	田野隆太郎	日本	BD
177	5	ちづる	赤崎正和	日本	BD
178	6	つつんで、ひらいて	広瀬奈々子	日本	BD
179	7	東京オリンピック	市川崑	日本	35mm フィルム
180	8	徘徊 ママリン87歳の夏	田中幸夫	日本	DVD
181	9	104歳、哲代さんのひとり暮らし	山本和宏	日本	BD
182	9	104歳、哲代さんのひとり暮らし	山本和宏	日本	BD
183	10	Buddhist -今を生きようとする人たち-	後藤サヤカ	日本	
184	11	ほげますから、よろしく願います。	信友直子	日本	BD
185	12	ほげますから、よろしく願います。おかえりお母さん	信友直子	日本	BD
186	12	ほげますから、よろしく願います。おかえりお母さん	信友直子	日本	BD
187	12	ほげますから、よろしく願います。おかえりお母さん	信友直子	日本	BD
188	12	ほげますから、よろしく願います。おかえりお母さん	信友直子	日本	BD
		アニメーション			
189	1	映画さんねんないきもの事典	ウチヤマユウジ イワタナオミ 由水桂	日本	BD
190	1	映画さんねんないきもの事典	ウチヤマユウジ イワタナオミ 由水桂	日本	BD
191	1	映画さんねんないきもの事典	ウチヤマユウジ イワタナオミ 由水桂	日本	BD
192	2	えっちゃんのせんそう	有原誠治	日本	DVD
193	2	えっちゃんのせんそう	有原誠治	日本	DVD
194	3	ガラスのうさぎ	橋祐典	日本	DVD
195	4	この世界の片隅に	片淵須直	日本	BD
196	5	セロ弾きのゴーシュ	高畑勲	日本	DVD
197	6	それいけ!アンパンマン チャボンのヒーロー	橋本敏一	日本	BD
198	6	それいけ!アンパンマン チャボンのヒーロー	橋本敏一	日本	BD
199	6	それいけ!アンパンマン チャボンのヒーロー	橋本敏一	日本	BD
200	6	それいけ!アンパンマン チャボンのヒーロー	橋本敏一	日本	BD
201	7	それいけ!アンパンマン ばいきんまんといぼんのルルン	川越淳	日本	BD
202	8	ちいさな英雄 カニとタマゴと透明人間		日本	BD
203	9	チョッちゃん物語	ときたひろこ	日本	DVD
204	10	対馬丸~さようなら沖繩~	小林治	日本	DVD
205	11	屋根裏のラジャー	百瀬義行	日本	BD
206	11	屋根裏のラジャー	百瀬義行	日本	BD
207	11	屋根裏のラジャー	百瀬義行	日本	BD

79 作品

外国映画 53作品

	作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
		新作(劇映画)			
208	1	丘の上の本屋さん	クラウディオ・ロッシ・マッシミ	イタリア	BD
209	2	オペラ座の怪人	ジュエル・シュマッカー	アメリカ	DCP
210	3	お坊さまと鉄砲	パオ・チョニン・ドルジ	ブータン・仏・米・台湾	BD
211	4	枯れ葉	アキ・カウリスマキ	フィンランド・ドイツ	BD
212	5	関心領域	ジョナサン・グレイザー	米・英・ポーランド	BD
213	6	コットンテール	パトリック・ディキンソン	イギリス・日本	BD
214	7	草原に抱かれて	チャオ・スーシュエ	中国	BD
215	8	ダンサー イン Paris	セドリック・クラビッシュ	フランス・ベルギー	BD
216	9	小さき妻の花	リー・ルイジュン	中国	BD
217	10	東京カウボーイ	マーク・マリョット	アメリカ	BD
218	11	ドリームホース	ユーロス・リン	イギリス	BD
219	12	バスト ライブス 再会	セリヌ・ゾン	アメリカ・韓国	BD
220	13	ぼくとパパ、約束の週末	マルク・ローテムント	ドイツ	BD
221	14	ボストン1947	カン・ジュギョ	韓国	BD
222	15	ボレロ 永遠の旋律	アンヌ・フォンテーヌ	フランス	BD
223	16	本日公休	フー・ティエンユウ	台湾	BD
224	16	本日公休	フー・ティエンユウ	台湾	BD
225	17	ミセス・クルナス vs. ジョージ・W・ブッシュ	アンドレアス・ドレーゼン	ドイツ・フランス	BD

作品no.	作品名	監督	製作国	上映素材
226	リトル・ダンサーリマスター版	S・ダリドルー	アメリカ	BD
	旧作・クラシック (劇映画)			
227	アイ・イン・ザ・スカイ 世界一安全な戦場	ギャビン・フッド	イギリス	DVD
228	愛のアルバム	ジョージ・スティーヴンス	アメリカ	DVD
229	愛のアルバム	ジョージ・スティーヴンス	アメリカ	DVD
230	裏窓	アルフレッド・ヒッチコック	アメリカ	DVD
231	裏窓	アルフレッド・ヒッチコック	アメリカ	DVD
232	麗しのサブリナ	ビリー・ワイルダー	アメリカ	DVD
233	オズの魔法使	ヴィクター・フレミング	アメリカ	BD
234	楽聖ショパン	チャールズ・ヴィダー	アメリカ	DVD
235	楽聖ショパン	チャールズ・ヴィダー	アメリカ	DVD
236	ガス燈	ジョージ・キューカー	アメリカ	BD
237	風と共に去りぬ	ヴィクター・フレミング	アメリカ	BD
238	禁じられた遊び	ルネ・クレマン	フランス	DVD
239	高慢と偏見	ロバート・Z・レオナード	アメリカ	DVD
240	高慢と偏見	ロバート・Z・レオナード	アメリカ	DVD
241	高慢と偏見	ロバート・Z・レオナード	アメリカ	DVD
242	コーダ あいのうた	シアン・ヘダー	アメリカ・フランス・カナダ	BD
243	ジョジョ・ラビット	タイカ・ワイティティ	アメリカ	DVD
244	花嫁の父	ビンセント・ミネリ	アメリカ	DVD
245	花嫁の父	ビンセント・ミネリ	アメリカ	DVD
246	巴里のアメリカ人	ヴィンセント・ミネリ	アメリカ	BD
247	バラードへようこそ	マシュー・ウォーチャス	イギリス	BD
248	別離	グレゴリー・ラトフ	アメリカ	DVD
249	別離	グレゴリー・ラトフ	アメリカ	DVD
250	マンマ・ミーア	フィリダ・ロイド	アメリカ	BD
251	ミセス・ハリス、パリへ行く	アンソニー・ファビアン	イギリス	BD
252	邂逅(めぐりあい)	レオ・マックリー	アメリカ	DVD
253	雪道	イ・ナジョン	韓国	BD
254	ル・コルビュジエとアイリーン 追憶のヴィラ	マリー・マクガキアン	ベルギー・アイルランド	BD
255	ロープ	アルフレッド・ヒッチコック	アメリカ	DVD
256	ワンダー 君は太陽	ステイブ・ン・チョボウスキー	アメリカ	BD
	ドキュメンタリー			
257	83歳のやさしいスパイ	マイテ・アルベルディ	チリ・米・独・蘭・西	BD
258	燃えあがる女性記者たち	リントウ・トーマス、スシュミト・ゴージュ	インド	BD
	アニメーション			
259	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
260	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
261	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
262	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
263	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
264	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
265	怪盗グルーのミニオン超変身	クリス・ルノー	アメリカ	BD
266	Fly! フライ	バンジャマン・レネール	アメリカ	BD
267	Fly! フライ	バンジャマン・レネール	アメリカ	BD
268	Fly! フライ	バンジャマン・レネール	アメリカ	BD
269	Fly! フライ	バンジャマン・レネール	アメリカ	BD
270	野生の島のロズ	クリス・サンダース	アメリカ	BD
271	野生の島のロズ	クリス・サンダース	アメリカ	BD
272	私ときどきレッサーバンダ	ドミー・シー	アメリカ	DVD
273	インサイド・ヘッド		アメリカ	BD
274	映画 ひつじのショーン UFOフィーバー!	リチャード・フェラン、ウィル・ベッカー	イギリス・フランス	BD
275	おさるのジョージ		アメリカ	BD
276	トムとジェリー ジャックと豆の木	スパイク・ブランド トニー・セルボーン	アメリカ	DVD
277	ベット2	クリス・ルノ	アメリカ	BD
278	リトル・ニモ	波多正美、ウィリアム・T・ハーツ	アメリカ・日本	DVD

(2)兵庫県映画センター レポートの分析

■兵庫県全域36の市町村で上映会を開催

兵庫県映画センターは神戸市内にあるが、その活動は兵庫県全域に広がっている。

人口152万人の県庁所在地・神戸市をはじめ、姫路市、尼崎市、西宮市といった比較的人口規模の大きな市町村がある県南部の瀬戸内海沿岸部はもとより、中国山地の山間部の養父市や神河町、多可町、京都に接する丹波市や丹波篠山市、日本海に面する香美町や豊岡市、また淡路島の洲本市でも、兵庫県映画センターは県内の36の市町村で上映会を開催している。そのうち20の市町村は人口規模が5万人に満たない、最も近い映画館まで2時間近くかかるような町や村であり、兵庫県映画センターの活動は、映画館がない地域において大きなスクリーンで映画をみる貴重な機会を提供している。

1年間の上映会の回数は約300回に及んでおり、5万人以下の市町村で70回を超える上映会を行っている。

■大作からドキュメンタリー、クラシックまで～多彩な上映作品

兵庫県映画センターが2025年に上映した映画は、日本映画79作品、外国映画53作品で、計132作品にのぼる。→表10

一般社団法人全国映画センターが「非劇場上映の窓口となっている作品」(非劇場上映・自主上映に対する配給を行っている作品)が多数あり、これらの作品の兵庫県での上映は兵庫県映画センターが担当

お薦め作品リスト

2026 CINEMA SELECTION

学校や地域、啓発事業や各種イベントに映画会を！
最新お薦め作品リスト









2026年度最新のお薦め映画作品をご案内いたします！
総合リストに掲載している作品と併せてご参照ください。

- ◎上映形態・規模・地域によって、費用や配給開始時期が異なりますので、上映をご検討される場合、まず下記へ問い合わせください。
- ◎日本語字幕付き、日本語吹き替えがご用意できる作品もあります。
- ◎リストにない作品についても、お気軽にお問い合わせください。

兵庫県映画センター

TEL : 078-754-5503 FAX : 078-754-5507 MAIL : hyogoco@biglobe.jp
〒653-0036 神戸市長田区院塚町2丁目1-15 クリエイト兵庫第1ビル2F

 <p>てっぺんの向こうにあなたがいる 監督：阪本順治 出演：吉永小百合 佐藤浩市 130分</p>	 <p>TOKYOタクシー 監督：山田洋次 出演：倍賞千恵子 木村拓哉 103分</p>
 <p>フロントライン 監督：関根光才 出演：小栗旬 松坂桃李 129分</p>	 <p>ら・かんぱねら 監督：鈴木一美 出演：伊原剛志 南果歩 118分</p>
 <p>長崎 閃光の影 監督：松本准平 出演：菊池日菜子 小野花梨 川床明日香 109分</p>	 <p>木の上の軍隊 監督：平一敏 出演：境真一 山田裕貴 128分</p>

<p>おいてはおコゲン！ 哲代さんの、 心も体もさびない生き方 山あいの町で100歳を超えてひとり暮らしを続けている石井哲代さん。83歳で夫を見送ってから、姪や近所の人たちと助けあい、美しいながら過ごしています。なんでも美味しく、誰とも楽しく、いつだってご機嫌に。そんな哲代さんの101歳から104歳までの日々を見つめたドキュメンタリーです。</p> <p>104歳、哲代さんのひとり暮らし 監督：山本和宏 ドキュメンタリー 94分</p>	<p>観ればきっと、 明日が楽しくなる。 真一と千賀子の長女・亜矢がついに涼太と結婚。しかし式の直前、亜矢の何気ない一言が二人の関係を亀裂を生み、両家を巻き込む大騒動へと発展する。一方、真一の後輩・加藤は、母の認知症が受け入れられず、つい強い言葉で接してしまふ。そんな加藤に千賀子は「認知症でも心は忘れてない」と語りかける…。</p> <p>お終活3 幸春！メモリーズ 監督：香月秀之 出演：横山功 高畑淳子 115分</p>
<p>争族にむかひつゝ、 相続のススメ！ 母親が亡くなり悲しみに暮れる鈴木家の人びと、やがて遺産をめぐるトラブル発生。実家を処分して売却のお金も分配しようとする長女と次女、跡継ぎを理由に土地家屋は自分たちのもの主張する弟夫婦、さらに亡き長男の未亡人も加わり争いが激化した。家族に巻き起こった遺産相続をユルユルに描く。</p> <p>ソーゾク 監督：藤村廉実也 出演：大塚寧々 中山忍 97分</p>	<p>家族って、預かって厄介で、 それでもやっぱりいじおもしろい！ 親孝行のつもりで母親を温泉旅行に連れてきた三姉妹。互いにコンプレックスを持つ長女と次女、ふたりを機嫌よく見て「母親みたいな人生を送りたくない」といふ思い、温泉宿で繰り出される母親への悪戯は徐々にエスカレートし、お互いを罵倒する修羅場へと発展。そこに三女がサプライズで用意していた恋人が現れて…。</p> <p>お母さんが一緒 監督：横口亮輔 出演：江口のりこ 内田滋 古川琴音 106分</p>
<p>その手紙は、 精一杯の愛でした。 過酷な幼少時代を過ごしてきたゆえに読み書きができていない大人になってしまった主人公・西郷保と保を支え続けた妻・敬子。寄り添うように生きてきたふたり、定年退職を機に保は決意する。最愛の妻にこれまでの感謝の気持ちを込めた「ラブレター」を書くことを、60歳を超えた保の長い奮闘の日々が始まった。</p> <p>35年目のラブレター 監督：塚本達平 出演：笑福亭鶴瓶 原田知世 120分</p>	<p>コシノ三姉妹の母・コシノアヤコの 猛烈な人生の審判が始まる！ 危篤になったアヤコは、病院に搬送される。三姉妹が駆けつける中、天国行きか地獄行きかの審判がくだされる場所へ案内する天使がアヤコの前にも現れる。洋装店の開業、戦病死で夫を失ったアヤコが知る切実な過去、74歳で立ち上げたブランドなど、ミシンに縫えられ飛び込んだファッションの世界で生きてきた人生をアヤコは振り返っていた。</p> <p>ゴッドマザー コシノアヤコの生涯 監督：曾根剛 出演：大地真央 117分</p>

<p>小さな約束が、 みんなの希望に響いていく 岡山県倉敷市。「今度ここで打ち上げ花火を見せちゃる」高校生が、自閉症の青年と夢をあきらめかけている同級生を助めようとして口から飛び出した約束。それが街に思いがけない波紋を呼び起こす！笑われてもくじけそうになってもひたむきに突き進む高校生たちの強い願いは、やがて大人たちを巻き込み、大きな希望になっていく…。</p> <p>蔵のある街 監督：平松恵美子 出演：山時聡真 中島璃菜 103分</p>	<p>彼の夢をまともにもっとも人の、 それだけドクマ、 2013年ドラフト2位指名で阪神タイガースに入団した横田慎太郎。持ち前の負けん気と誰からも愛される人間性で成長を遂げていく。順風満帆な野球人生が待っていると信じられたその矢先、体に異変が起る。ボールが二重に見えるのだ。医師による診断結果は21歳の若者に「発熱性脳炎」。その日から病との過酷な闘いの日々が始まった。</p> <p>栄光のバックホーム 監督：秋山純 出演：松谷義也 鈴木京香 135分</p>
<p>あの日、何があったのか 事実と理由が知りたい 2011年3月11日、東日本大震災で宮城県石巻市の大川小学校は津波にのまれ、74人の児童と10人の教職員が亡くなった。なぜ大川小学校だけが…、事実と理由を知りたい。親たちの切なる願いは、やがて裁判へと進んでいく。5年にわたる裁判を含め親たちが繰り返した、のべ10年の闘いの記録を寺田監督が構成・編集し、追加撮影も行った。</p> <p>生きる 大川小学校 津波裁判を闘った人たち 監督：寺田和弘 ドキュメンタリー 124分</p>	<p>3人の夜、3つの子供部屋、 10日間、2458人のオオカミたち 映画スタジオに作成された子供部屋に集められた少女のような外見をした3人の成人女優たち。彼女たちはソーシャルメディアでの未成年の性被害についての研究のため、ネットワーク上で12歳の架空の少女を演じるために集められた。心理学者や社会学者の見守る中、実験は開始される。児童への性的搾取の実態を描いたドキュメンタリー。</p> <p>SNS 少女たちの10日間 2020年テレビ 104分 (R-15) エドゥケーション・ジャパン・パブリッシング66分 (R-15) 字幕</p>
<p>無人島に漂着した最新型アシストロボットのロスは、キツネのチャックリとオッサムのペンクシッポの協力のもと、種々のひな鳥キラリを育てるうちに心が芽生えはじめる。ロスの優しさに触れ、怪物として彼女を拒絶していた動物たちも次第に島の「家族」として受け入れていく。いつしか島はロスにとっての「家」となっていくのだった。</p> <p>野生の島のロス 声の出演：綾瀬はるか 柄本祐 鈴木福 102分</p>	<p>パティントンから放逐ペルーへ パティントンの育ての親・ルーシーおばさんの元気がないという知らせに、パティントンとブラウン一家がパティントンとペルーに行くこと、おばさんは失踪していた。行くと、ルーシーは一度、彼女を探し冒険へと変わる。だが、都会暮らしに慣れていたパティントンは次々とピンチに遭遇。果たしてルーシーおばさんを見つることができるのか？</p> <p>パティントン 消えた黄金郷の秘密 声の出演：松坂桃李 古田新太 吉田羊 斎藤工 107分</p>

している。

兵庫県映画センターは、多くの場合、県内各地の公共施設や自治体の文化担当部署、学校等から委託を受けて上映会を実施している。委託の主体である上映会主催者と話し合せて上映作品を決めることになるが、その際に用いられるのが、兵庫県映画センターがつくっている「お薦め作品リスト」である。このリストには、「人権-命の尊厳-障害-差別-」「人権-LGBT-女性-」「SDGs・食・原発」「高齢化社会を豊かに生きる」「戦争と平和」「映画が映す様々な日本の姿」「感動を分かち合う」「子どもたちと楽しいひとときを」というテーマ別に多彩な作品が掲載されている。上映会主催者は、このリストから上映会の目的や主たる対象に合わせて作品を選ぶことができる。

2025年に最も多く上映されたのは、2024年に公開された『あまろっく』(中村和宏監督)で、13会場で上映されている。これは尼崎を舞台にしたホームコメディで、「ご当地映画」といってもよい作品であり、兵庫県映画センターとしても「推したい」作品であったようで、自主事業としても県内各地で上映している。

『九十歳。何がめでたい』(2024)も13会場で上映されている。『お終活 再春!人生ラプソディ』(2024)、『お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方』(2021)、『梅切らぬバカ』(2021)など“高齢化社会を豊かに生きる”作品が人気を集めており、新作の『35年目のラブレター』、『ゴッドマザー コシノアヤコの生涯』も多くの会場で上映された。『104歳、哲代さんのひとり暮らし』『ばげますから、よろしくお願ひします』2作といったドキュメンタリーも複数会場で上映されている。

阪神・淡路大震災から30年の節目の年を迎えるということで、安達もじり監督の『港に灯がともる』

(2025)、『心の傷を癒すということ 劇場版』(2021)が多くの会場で上映されている。

人権、平和

人権や平和といったテーマを重視するのも兵庫県映画センターのプログラムの特徴である。2025年は戦後80年ということで、『劇場版アナウンサーたちの戦争』(2024)、『ラーゲリより愛を込めて』(2022)、『島守の塔』(2022)、『夕風の街桜の国』(2007)といった作品が複数の会場で上映され、子どもたち向けの上映会でも『えっちゃんのせんそう』『ガラスのうさぎ』『この世界の片隅に』『対馬丸～さようなら沖繩』といったアニメーションが上映されている。「人権-命の尊厳・障害・差別-」の作品リストには、呉美保監督の『ぼくが生きてる、ふたつの世界』、三宅唱監督の『夜明けのすべて』が入っており、多くの会場で上映されている。

また、「2026年春 お薦め作品リスト」には、2025年に公開された『TOKYO タクシー』、『てっぺんの向こうにあなたがいる』、『フロントライン』といった話題作とともに『木の上の軍隊』(平一紘監督、堤真一、山田裕貴)、『長崎 閃光の影で』(松本准平監督)が含まれている。

クラシック・名画鑑賞会

外国映画のクラシック作品も「シネマクラシック」「名画鑑賞会」「懐かしの名画鑑賞会」といった企画で上映されている。兵庫県映画センターのウェブサイトには、先述の「お薦め作品リスト」とは別に「作品紹介」のページがあり、数多くの名画、クラシック作品がリストアップされている。

■子ども/ファミリー/若年層向けの上映

子ども向け(若年層、ファミリー向け)の上映会も50回以上開催している。(同一市町村内の複数の学校で団体観賞を行うことも多いので上映会の回数は100回近くに上る)→表11

上映作品を見ると、非常に多様な作品が選ばれていることがわかる。2023年に大ヒットした『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』を、戦後80年の2025年の学校の団体鑑賞作品として上映、三宅唱監督の『夜明けのすべて』も複数の学校で上映されている。空音央監督の『HAPPYEND』も学校団体鑑賞で上映されている。

外国映画でも、ヘレン・ミレンがイギリス軍の諜報機関で働く大佐を演じた『アイ・イン・ザ・スカイ 世界一安全な戦場』(2016)や、『マイティ・ソー バトルロイヤル』のタイカ・ワイティティ監督が、第2次世界大戦時のドイツに生きる人びとの姿を10歳の少年ジョジョの目を通して描いた『ジョジョ・ラビット』が団体鑑賞作品として選ばれている。子どもたちは多彩な映画作品を通して戦争や平和について考えることができる。

アニメーション映画も多数上映されている。2024年に大ヒットした『怪盗グルーのミニオン超変身』や『Fly! フライ』、2025年に公開されたばかりの『野生の島のロズ』、『それいけ! アンパンマン チャボンのヒーロー』も、映画館のない市町村の子どもたちに届けられている。

また、戦争を描いた童話を映画化した『えっちゃんのせんそう』(2001)や『ガラスのうさぎ』(2005)、『対馬丸～さようなら沖繩～』(1982)といったアニメーションも上映している。映画館まで行くのが難しい地域の子どもたちにとって、大きなスクリーンで、みんなで映画を見たことは、忘れられない体験となっているにちがいない。

表 11：兵庫県映画センター若年層向け上映作品

no.	作品名	製作国		劇映画/アニメ/ ドキュメンタリー	
1	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	日本	2023	劇映画	学校団体鑑賞
2	35年目のラブレター	日本	2025	劇映画	学校団体鑑賞
3	はたらく細胞	日本	2024	劇映画	野外上映
4	HAPPYEND	日米	2024	劇映画	学校団体鑑賞
5	夜明けのすべて	日本	2024	劇映画	学校団体鑑賞
6	夜明けのすべて	日本	2024	劇映画	学校団体鑑賞
7	夜明けのすべて	日本	2024	劇映画	学校団体鑑賞
8	学校の怪談	日本	1995	劇映画	真夏のオパケ上映会
9	島守の塔	日本	2022	劇映画	学校団体鑑賞
10	アイ・イン・ザ・スカイ 世界一安全な戦場	イギリス	2016	劇映画	学校団体鑑賞
11	ジョジョ・ラビット	アメリカ	2020	劇映画	人権教育映画会
12	ワンダー 君は太陽	アメリカ	2018	劇映画	学校団体鑑賞
13	映画さんねんないきもの事典	日本	2022	アニメーション	
14	映画さんねんないきもの事典	日本	2022	アニメーション	野外上映
15	映画さんねんないきもの事典	日本	2022	アニメーション	
16	えっちゃんのせんそう	日本	2001	アニメーション	
17	えっちゃんのせんそう	日本	2001	アニメーション	学校団体鑑賞
18	ガラスのうさぎ	日本	1979	アニメーション	学校団体鑑賞
19	この世界の片隅に	日本		アニメーション	学校団体鑑賞
20	セロ弾きのゴーシュ	日本	1982	アニメーション	
21	それいけ! アンパンマン チャボンのヒーロー	日本	2025	アニメーション	クリスマス子ども上映会
22	それいけ! アンパンマン チャボンのヒーロー	日本	2025	アニメーション	
23	それいけ! アンパンマン チャボンのヒーロー	日本	2025	アニメーション	
24	それいけ! アンパンマン チャボンのヒーロー	日本	2025	アニメーション	
25	それいけ! アンパンマン ばいぎんまんとえほんのルルン	日本	2024	アニメーション	春休み映画会
26	ちいさな英雄 カニとタマゴと透明人間	日本	2018	アニメーション	夏休み星空上映会
27	チョッチャん物語	日本	1996	アニメーション	こども平和映画会
28	対馬丸~さようなら沖縄~	日本	1982	アニメーション	平和のための戦争展
29	屋根裏のラジャー	日本	2023	アニメーション	学校団体鑑賞
30	屋根裏のラジャー	日本	2023	アニメーション	子ども映画祭
31	屋根裏のラジャー	日本	2023	アニメーション	夏休み子どもシアター
32	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	星空映画会
33	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	
34	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	
35	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	星空映画会
36	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	子ども映画会
37	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	学校団体鑑賞
38	怪盗グルーのミニオン超変身	米	2024	アニメーション	
39	Fly! フライ	アメリカ	2024	アニメーション	親子映画会
40	Fly! フライ	アメリカ	2024	アニメーション	
41	Fly! フライ	アメリカ	2024	アニメーション	
42	Fly! フライ	アメリカ	2024	アニメーション	
43	野生の島のロズ	アメリカ	2025	アニメーション	
44	野生の島のロズ	アメリカ	2025	アニメーション	
45	私ときどきレッサーパンダ	アメリカ	2024	アニメーション	学校団体鑑賞
46	インサイド・ヘッド	アメリカ	2015	アニメーション	
47	映画 ひつじのショーン UFOフィーバー!	英仏	2019	アニメーション	学校団体鑑賞
48	おさるのジョージ	アメリカ		アニメーション	
49	トムとジェリー ジャックと豆の木	アメリカ	2013	アニメーション	
50	ベット2	アメリカ	2019	アニメーション	ユニバーサル上映
51	リトル・ニモ	アメリカ・日本	1989	アニメーション	

兵庫県映画センターが1年間に開催する上映会の観客数は、のべ86,000人に上る。この数字は、中小都市のミニシアターの1年間の観客数を大きく上回る。県内の人口5万人以下の20市町村での兵庫県映画センターの上映回数は70回以上に上り、10万人以下の市町村に広げると27市町村、上映回数は120回を超える。さらに、10万人以下の10以上の市町村で学校団体鑑賞や子ども向けの上映会を実施している。兵庫県映画センターの活動は、兵庫県の映画文化にとって非常に重要な役割を果たしている。

このような活動を評価するには、元町映画館のような、拠点となる場所をもって様々なプログラムを組み立てる「映画館」とはまた別の視点、評価軸が必要となるだろう。

兵庫県映画センターのように、移動映写を行う事業者は全国各地に数多く存在している。活動の規模は大小様々であるが、その数は100社以上に上るものと考えられる。その中には、兵庫県映画センターのように、年間300回もの上映会を実施する大規模な事業者も存在している。

かつて、映画の「学校団体鑑賞」は全国各地の多くの小中学校、高校でも行われていた。それが最も盛んに行われていた時代がいつであるかは明確ではないが、その時代に比べれば、移動映写の事業者数が減っていることはまちがいないだろう。兵庫県映画センターのレポートで最も驚かされたのは、現在も多くの市町村で「学校団体鑑賞」が行われていること、特に映画館のない市町村の多くの小中学校で上映会が行われている点である。

このような移動上映事業者の活動の詳細な実態はほとんど把握されていない。映画文化の振興、支援策を考える上では、他の都道府県の類似の上映団体の活動の実態も把握する必要がある。

IV 資料 | 都道府県別上映施設一覧

地方別上映施設地図

都道府県別上映施設一覧

北海道・東北
 関東
 中部
 近畿
 中国・四国
 九州・沖縄

本年鑑のデータ作成にあたっては、以下の資料を参照した。

人口

各都道府県が発表している「人口推計」を参照。(各年10月1日現在)

*北海道のみ「人口推計」が毎月末であるため、9月30日現在のデータを使用している。

スクリーン数及び映画館数

『映画上映活動年鑑』(コミュニティシネマセンター刊)

『日本映画産業統計』(日本映画製作者連盟) <http://www.eiren.org/toukei/data.html>

『映画年鑑』別冊「映画館名簿」[1993～2025(時事映画通信社刊/キネマ旬報社刊)]

*各年の1月1日から12月31日まで営業があった映画館をスクリーン数及び映画館数の対象としている。

「映画館名簿」に掲載されていない映画館でも、恒常的な上映を行っている場合は加え、また、掲載されている上映施設でも上映実績が確認できなかった場合は載せていないものがある。

観客数、興行収入、都道府県別観客数

『日本映画産業統計』(日本映画製作者連盟) <http://www.eiren.org/toukei/data.html>

『特定サービス産業実態調査報告書 映画館編』(経済産業省) <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/tokusabizi/>

『経済センサス 活動調査』(総務省・経済産業省 5年ごとに実施)令和3年経済センサス活動調査サービス関連産業に関する集計

『日本映画産業統計』における観客数には都道府県別の内訳は示されていないが、2019年まで公表されていた「特定サービス産業実態調査報告書 映画館編」及び「経済センサス 活動調査」には、都道府県別観客数が記載されている。

2025年のデータでは、2015～2023年に発表された「特定サービス産業実態調査報告書」及び「経済センサス 活動調査」における、各年の観客数計に対して各都道府県の観客数が占める割合の平均値を使用。これを「日本映画産業統計」に乗じることで各都道府県の観客数の概算値を算出した。

映画祭

コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストを毎年更新している。

公共の映画専門施設(シネマテーク)及び映画資料館など

コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストに、「全国映画資料館録2020」(国立映画アーカイブ、映像産業振興機構編)をあわせて作成している。

映画館以外で行われる上映活動

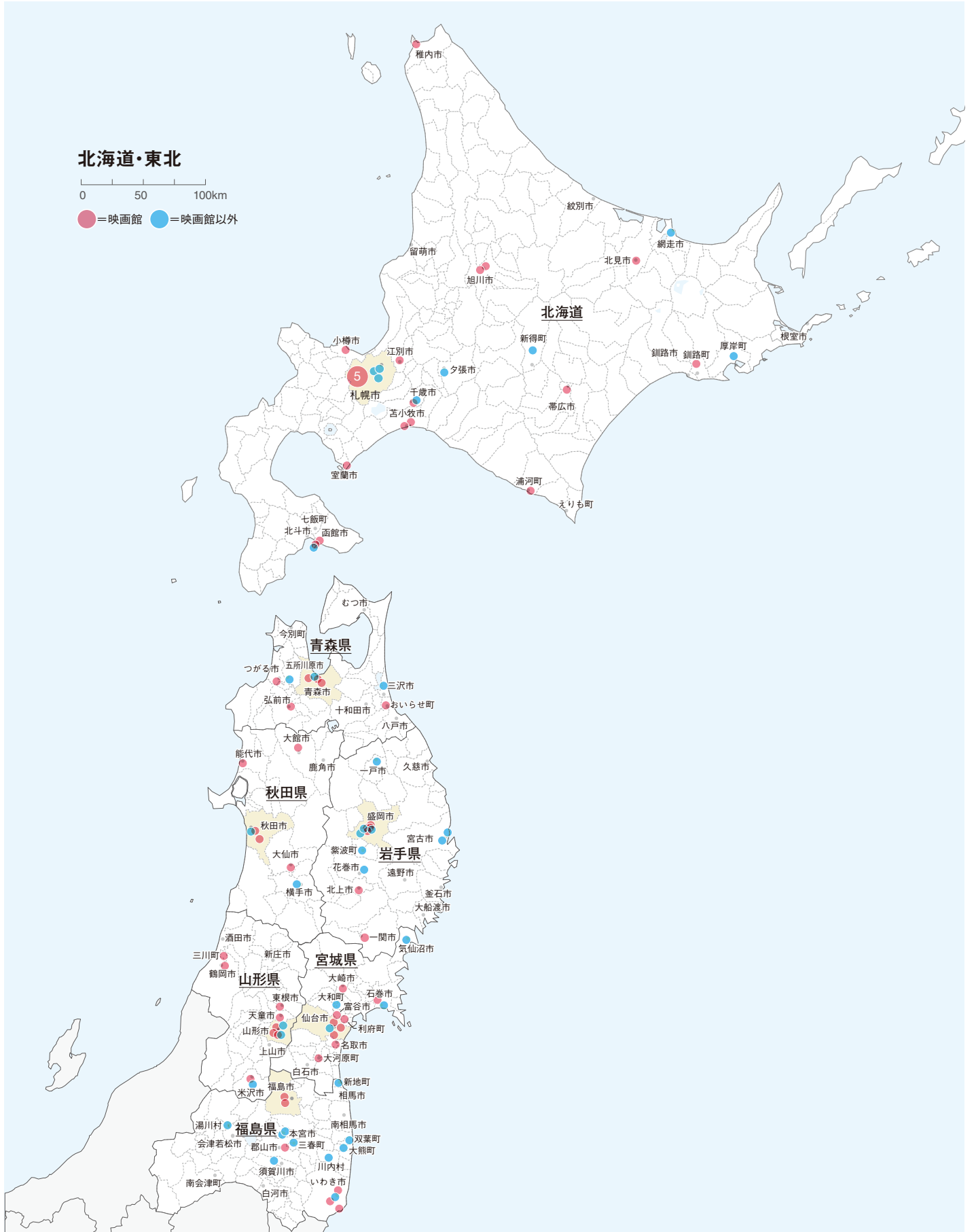
コミュニティシネマセンターが独自に調査したリストに新たに確認できた定期的に活動を行う上映団体・上映活動を追加している。

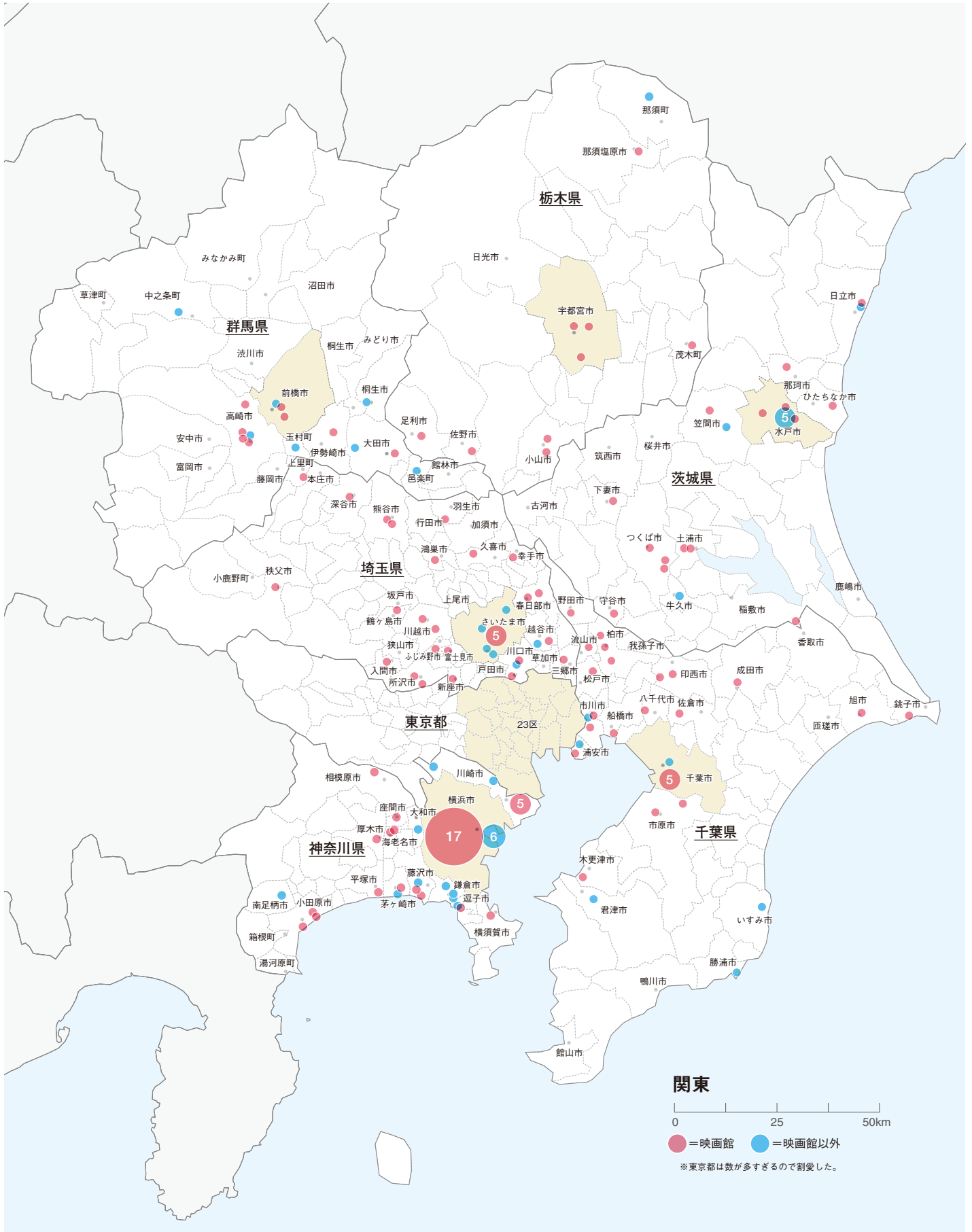
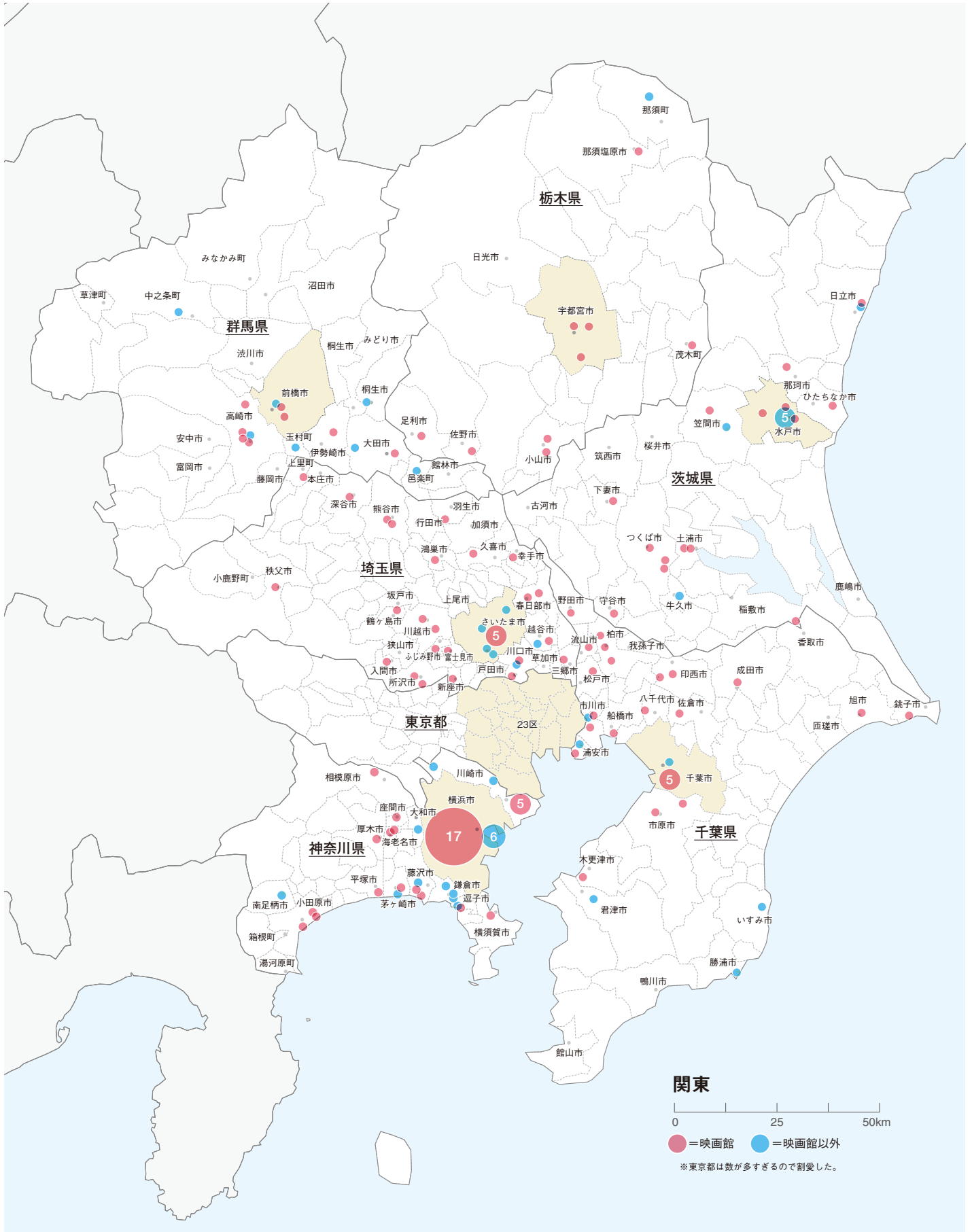
さらに、同一会場における月1回以上程度の活動が確認できた上映団体・活動をA、その他をBと分類している。

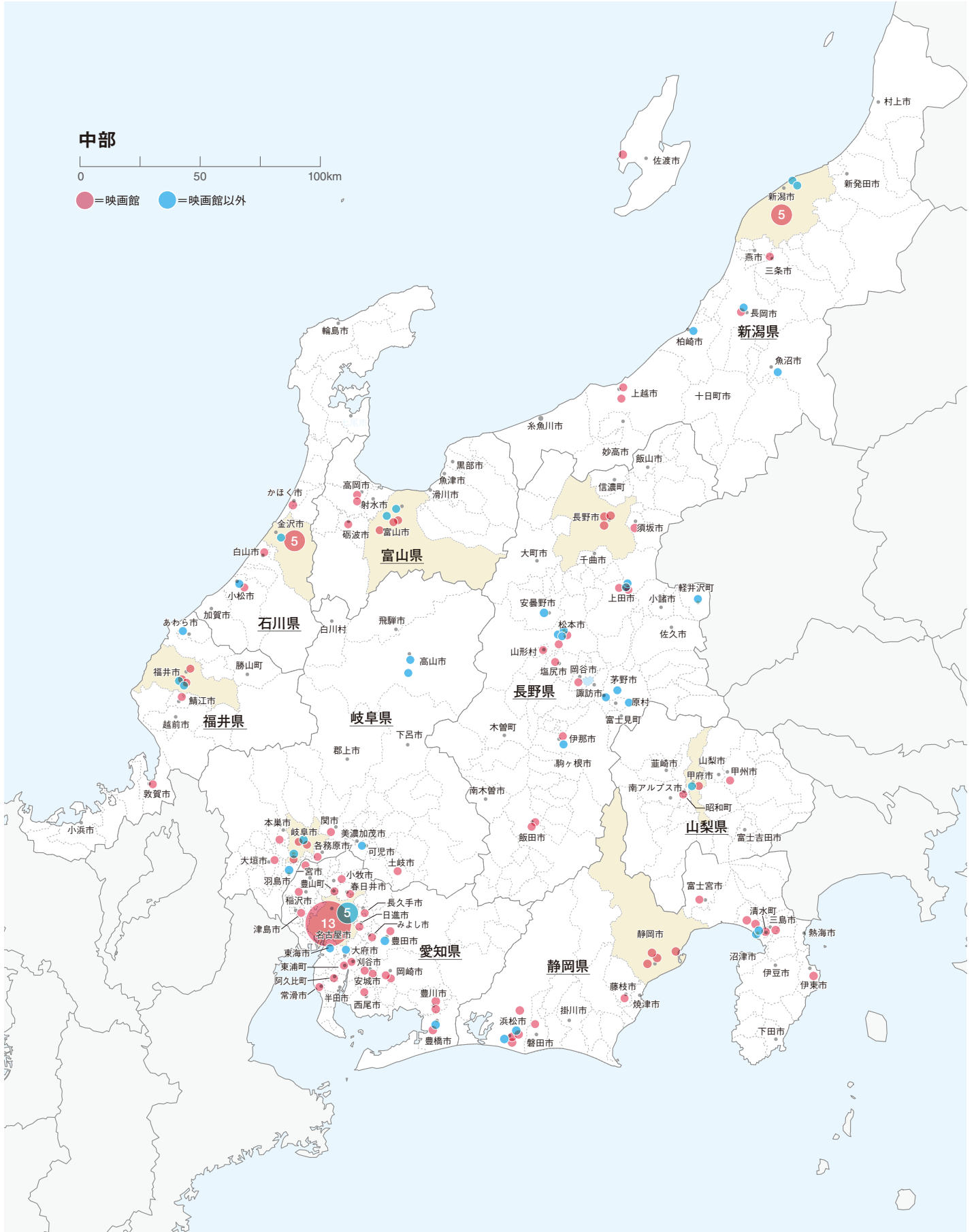
北海道・東北

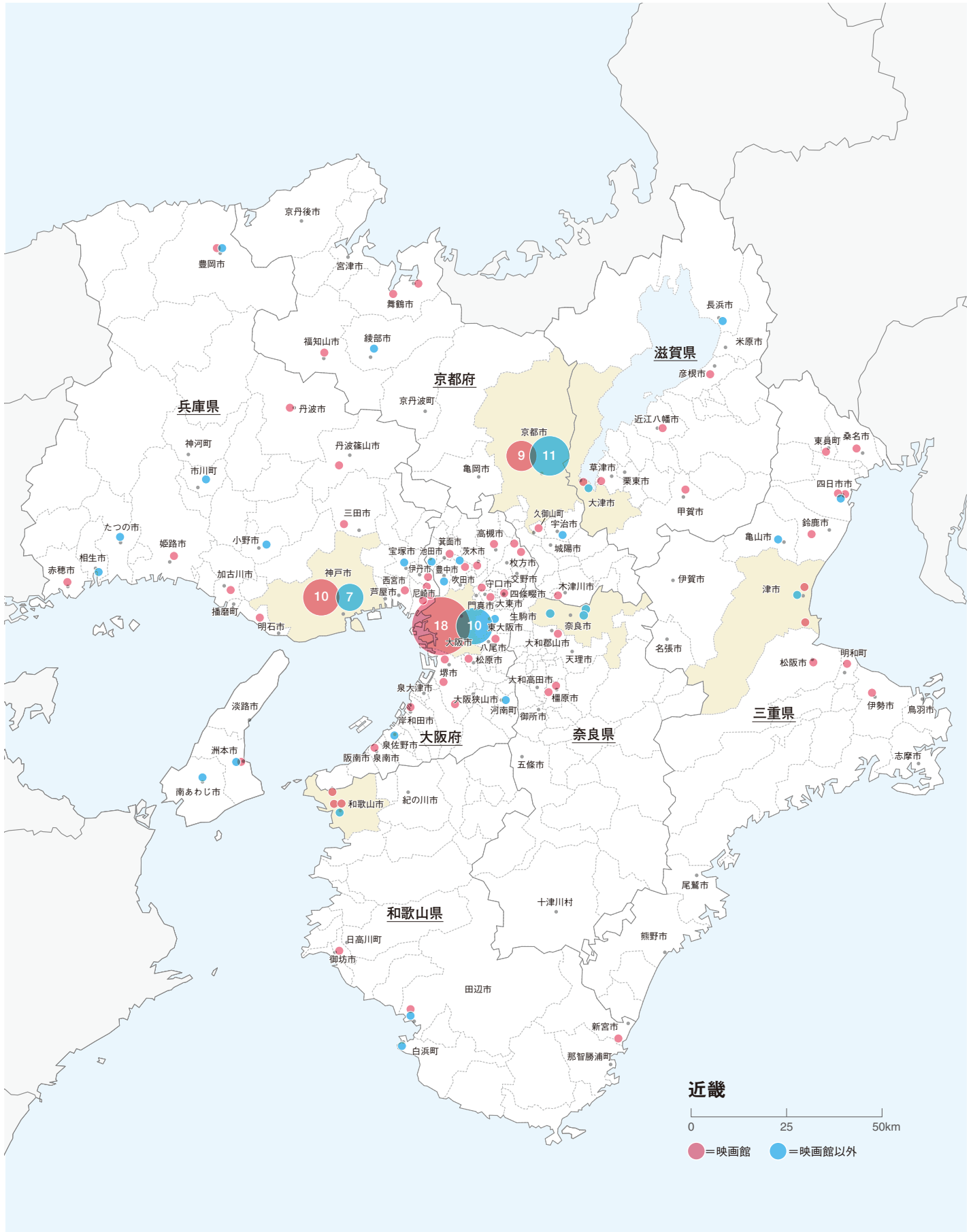
0 50 100km

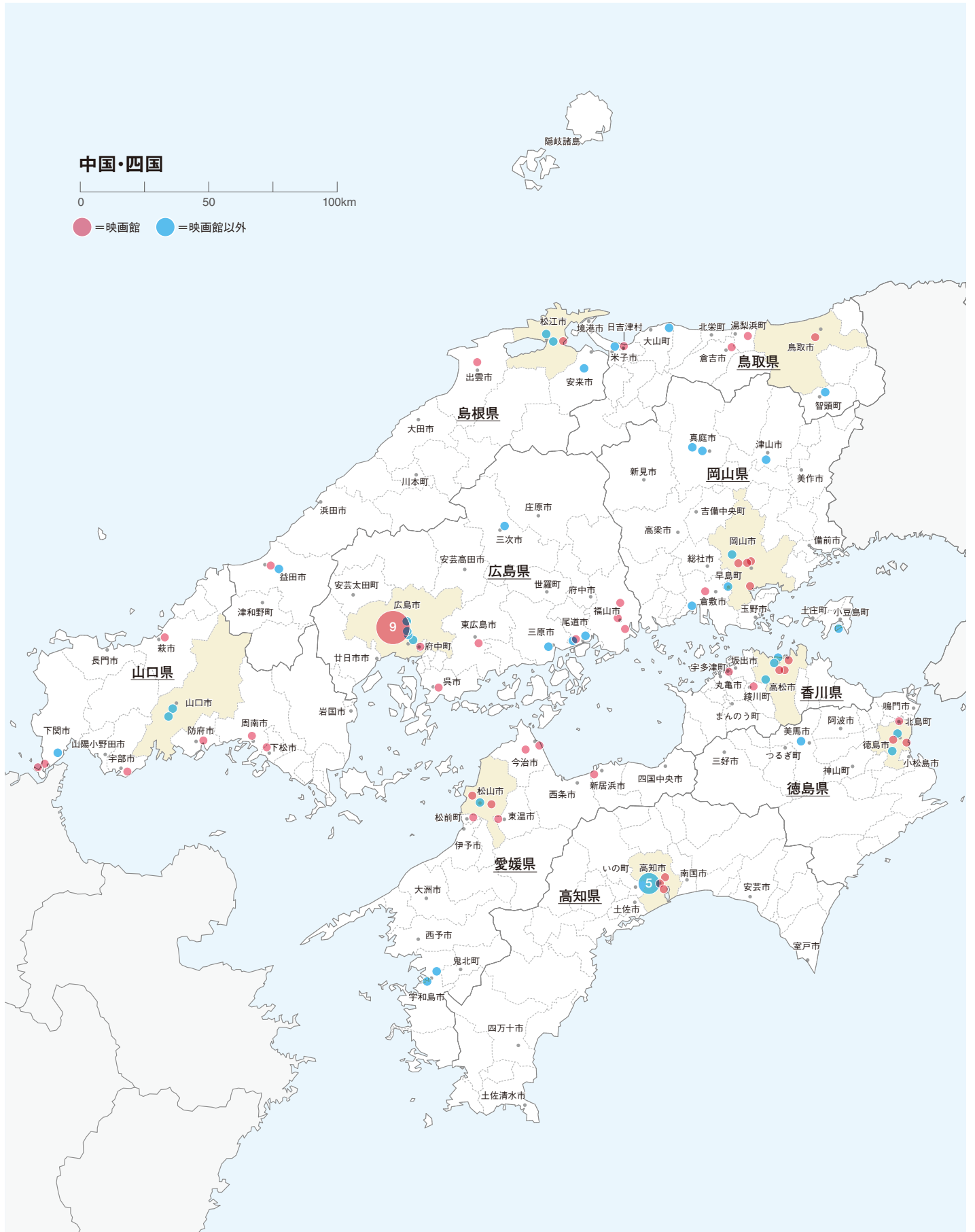
● = 映画館 ● = 映画館以外

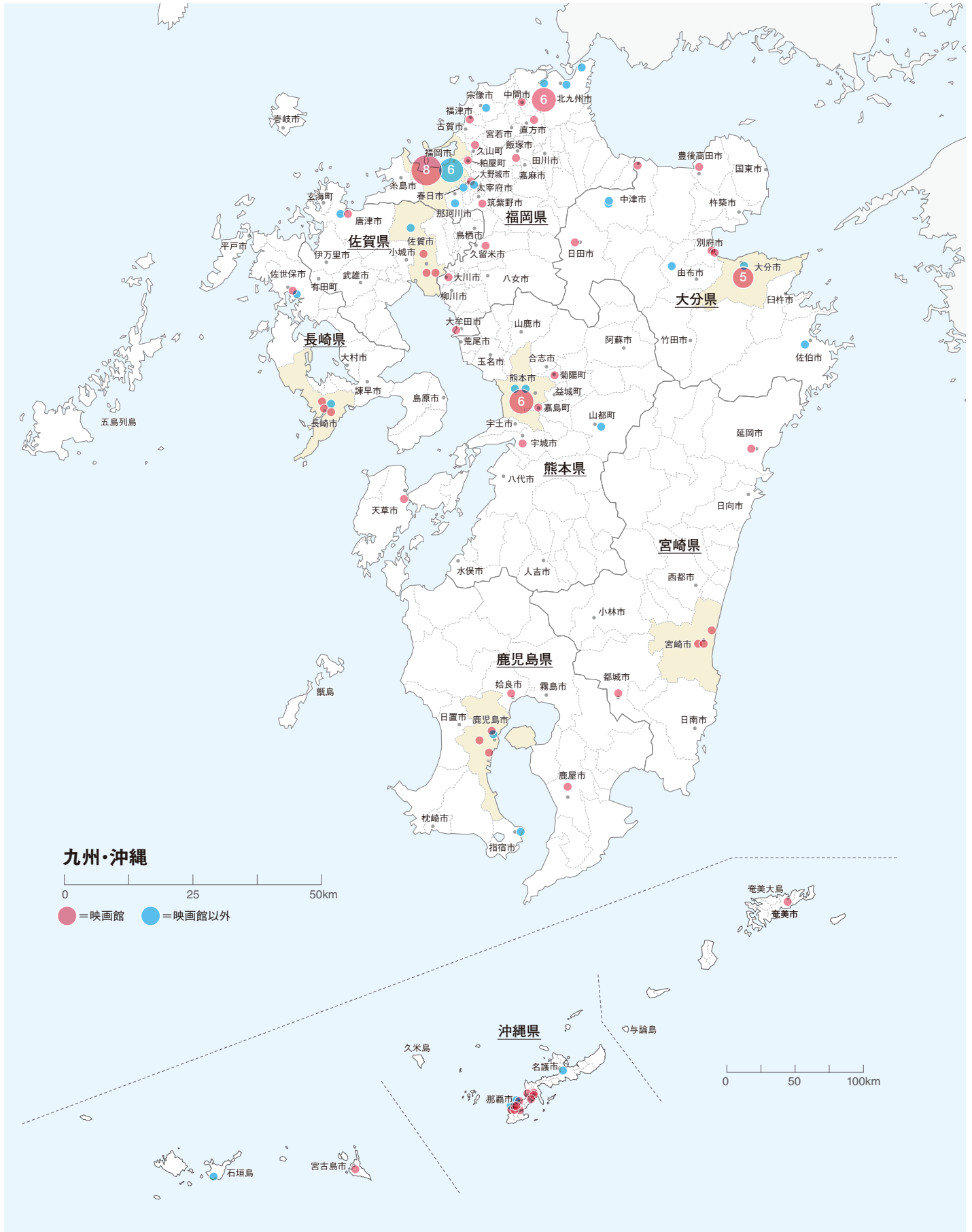












北海道

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
北海道人口	5,006,019	5,054,468	5,377,435	-371,416
札幌市(県庁所在地)人口	1,955,605	1,956,543	1,947,097	8,508
北海道のスクリーン数	113	114	114	-1
1スクリーン当り人口	44,301	44,337	47,170	
映画館年間観客数(概算)	5,280,000	3,670,000	5,360,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	0.7	1.0	

映画館の
状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
札幌市	ローソン・ユナイテッドシネマ札幌 ^{*1}	1	11	1	11	ユナイテッド・シネマ札幌	1	11
	札幌シネマフロンティア	1	12	1	12	札幌シネマフロンティア	1	12
	TOHOシネマズすすきの ^{*2}	1	10	1	10			
						ディノスシネマズ札幌劇場 ^{*3}	1	6
小樽市	イオンシネマ小樽	1	7	1	7	イオンシネマ小樽	1	7
旭川市	シネプレックス旭川	1	7	1	7	シネプレックス旭川	1	7
						ディノスシネマズ旭川 ^{*4}	1	7
	イオンシネマ旭川駅前	1	8	1	8	イオンシネマ旭川駅前	1	8
帯広市	シネマ太陽帯広	1	5	1	5	シネマ太陽帯広	1	5
北見市	イオンシネマ北見	1	7	1	7	イオンシネマ北見	1	7
苫小牧市	ディノスシネマズ苫小牧	1	7	1	7	ディノスシネマズ苫小牧	1	7
江別市	イオンシネマ江別	1	8	1	8	イオンシネマ江別	1	8
釧路町	イオンシネマ釧路	1	8	1	8	イオンシネマ釧路	1	8
	シネマコンプレックス 合計	11	90	11	90	合計	12	93

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
札幌市	シアターキノ	ミ	1	2	1	2	シアターキノ	1	2
	サツゲキ ^{*5}	元既	1	4	1	4			
函館市	シネマアイリス	ミ	1	1	1	1	シネマアイリス	1	1
苫小牧市	シネマ・トラス	ミ	1	1	1	1	シネマ・トラス	1	1
浦河町	浦河大黒座 ^{*6}	元既	1	1	1	1			
	ミニシアター/名画座 合計	5	9	5	9	合計	3	4	

既存興行館	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
函館市	シネマ太陽函館	既	1	4	1	4	シネマ太陽函館	1	4
室蘭市	ディノスシネマズ室蘭 ^{*7}	既	1	4	1	4	ディノスシネマズ室蘭	1	4
稚内市	T・ジョイ稚内	新既	1	3	1	3	T・ジョイ稚内	1	3
千歳市	新千歳空港シアター ^{*8}	新既	1	3	1	3	ソラシネマちとせ ^{*8}	1	3
浦河町							浦河大黒座 ^{*6}	1	1
	既存興行館 合計	4	14	4	14	合計	5	15	

成人映画館	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
札幌市	マッシュシアター ^{*9}			1	1	札幌有楽シアター ^{*9}	1	1
						札幌劇場 ^{*10}	1	1
	成人映画館 合計	0	0	1	1	合計	2	2
	シネマコンプレックス以外 合計	9	23	10	24	合計	10	21

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	11	90	11	90	12	93	-1	-3
ミニシアター/名画座 合計	5	9	5	9	3	4	2	5
既存興行館 合計	4	14	4	14	5	15	-1	-1
成人映画館 合計	0	0	1	1	2	2	-2	-2
シネマコンプレックス以外 合計	9	23	10	24	10	21	-1	2
北海道合計	20	113	21	114	22	114	-2	-1

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
札幌市	札幌国際短編映画祭	国際映画祭	2006年	2025年10月10日～13日	サツゲキ	
	北海道フービーフェスティバル	地域映画祭	2024年	2025年10月10日～12日	赤れんが庁舎ほか	「HOKKAIDO FOOD FILM FESTIVAL」→「北海道フービーフェスティバル」に改称。
	プラザ映像祭	地域映画祭	2019年	-	-	2023年以降開催なし。
函館市	函館港イルミナシオン映画祭	地域映画祭	1995年	2025年12月5日～7日	函館市公民館	
夕張市	ゆうばり国際ファンタスティック思い出映画祭	国際映画祭	1990年	2025年10月17日～20日	あ・りさーだの杜ほか	「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」→「ゆうばり国際ファンタスティック思い出映画祭」に改称。
網走市	網走映画祭	地域映画祭	2007年	2025年11月8日～9日	網走市民会館	
稚内市	わっかない白夜映画祭	地域映画祭	2014年	2025年6月21日～22日	T・ジョイ稚内	
千歳市	新千歳空港国際アニメーション映画祭	国際映画祭	2014年	2025年11月21日～25日	新千歳空港ターミナルビル	
新得町	新・しんとく空想の森映画祭	地域映画祭	1995年	2025年5月30日～6月1日	新内ホール	

シネマテーク及び映画資料館等

ホール数 席数

映画館以外で行われる上映活動 A

会場

札幌市	キノマド	札幌市内の商業施設や寺院など
厚岸町	名作鑑賞会	本の森 厚岸情報館

映画館以外で行われる上映活動 B

会場

札幌市	クリエイティブスタジオシネマシリーズ	札幌文化芸術劇場hikaru(札幌市民交流プラザ/クリエイティブスタジオ)
	札幌映画サークル	札幌市教育文化会館ほか
	映画の空気	札幌市内のホールや商業施設など
函館市	函館映画鑑賞協会	函館市民会館ほか
旭川市	まちなかぶんか小屋 映画部	まちなかぶんか小屋
帯広市	おびひろ自主上映の会	上士幌町生涯学習センターほか
滝川市	滝川映画サークル	滝川市音楽公民館ほか
砂川市	優秀映画鑑賞推進事業/ゆうシアター	砂川市地域交流センターゆう

※1

2024年12月「ユナイテッド・シネマ札幌」→「ローソン・ユナイテッドシネマ札幌」に改称。

※2

2023年11月閉館

※3

2019年6月閉館

※4

2022年9月(株)スガイディノスが民事再生法の適用を受け、同社が運営していた映画館4館のうち「ディノスシネマ旭川」が閉館。

※5

「札幌東宝プラザ」(2スクリーン)→「札幌プラザ2・5」(貸ホール/2スクリーン/2011年8月～)→「サツゲキ」2020年7月閉館 2026年3月閉館

※6

2024年より既存興行館からミニシアターに移行。

※7

2026年8月の閉館を発表。

※8

「ジャガポックルシアター」(2011～2016)「ソランネマちとせ」(2016～2019)「新千歳空港シアター」(2019～)

※9

2016年5月「札幌有楽シネマ」→「札幌有楽シアター」に移転。2021年～「マッシュシアター」。2024年3月閉館

※10

2023年3月閉館

※11

2026年2月「ル・シネマ・キャトル」(東川町)閉館

青森県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
青森県人口	1,145,475	1,164,752	1,293,682	-148,207
青森市(県庁所在地)人口	256,304	260,554	284,754	-28,450
青森県のスクリーン	34	35	44	-10
1スクリーン当り人口	33,690	33,279	29,402	
映画館年間観客数(概算)	1,130,000	780,000	950,000	
年間映画鑑賞回数	1.0	0.7	0.7	

映画館の
状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
青森市	イオンシネマ新青森*1	1	8	1	8	青森コロナワールド*1	1	8
弘前市	イオンシネマ弘前	1	6	1	6	イオンシネマ弘前	1	6
八戸市						フォーラム八戸*2	1	9
つがる市	シネマヴィレッジ8・イオン柏	1	8	1	8	シネマヴィレッジ8・イオン柏	1	8
おいらせ町	TOHOシネマズおいらせ下田	1	7	1	7	TOHOシネマズおいらせ下田	1	7
	シネマコンプレックス 合計	4	29	4	29	合計	5	38

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
青森市	シネマディクト	元既	1	2	1	2	シネマディクト	1	2
	ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	合計	1	2	

既存興行館	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
青森市	青森松竹アムゼ	既	1	3	1	3	青森松竹アムゼ	1	3
	既存興行館 合計	1	3	1	3	合計	1	3	

成人映画館	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
弘前市	テアトル弘前*3			1	1	テアトル弘前	1	1
	成人映画館 合計	0	0	1	1	合計	1	1
	シネマコンプレックス以外 合計	2	5	3	6	合計	3	6

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	4	29	4	29	5	38	-1	-9
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	1	2	0	0
既存興行館 合計	1	3	1	3	1	3	0	0
成人映画館 合計	0	0	1	1	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	2	5	3	6	3	6	-1	-1
青森県合計	6	34	7	35	8	44	-2	-10

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
青森市	青森インターナショナルLGBT フィルムフェスティバル	地域映画祭	2006年 2025年7月5日	アウガ5Fカダール	1日のみの開催。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
五所川原市	五所川原市立図書館	-
三沢市	三沢市寺山修司記念館	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
青森市	カダール映画の日
八戸市	白マドの灯
	青森市男女共同参画プラザカダール
	八戸市美術館ほか

映画館以外で行われる上映活動B	会場
青森市	優秀映画鑑賞推進事業/映画上映会
弘前市	harappa映画館
むつ市	新作シネマ上映会
	青森県立美術館
	スペースアストロ弘前ほか
	下北文化会館(オカダプランニング)

*1
2021年8月「青森コロナワールド」閉館、2024年3月跡地に「イオンシネマ新青森」開館。*2
2023年1月閉館*3
2024年3月閉館



岩手県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
岩手県人口	1,126,813	1,144,407	1,268,083	-141,270
盛岡市(県庁所在地)人口	278,377	280,902	296,701	-18,324
岩手県のスクリーン	24	21	25	-1
1スクリーン当り人口	46,951	54,496	50,723	
映画館年間観客数(概算)	690,000	480,000	790,000	
年間映画鑑賞回数	0.6	0.4	0.6	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
盛岡市	フォーラム盛岡 ^{*1}	1 10	1 7	フォーラム盛岡	1 7	
北上市	イオンシネマ北上 ^{*2}	1 7	1 7	イオンシネマ北上	1 7	
シネマコンプレックス 合計	2	17	2	14	2	14

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
盛岡市					アート・フォーラム ^{*3}	1 2
	盛岡中央映画劇場 ^{*4}	元既 - 1	- 1			
	盛岡ルミエール ^{*5}	元既 - 1	- 1	盛岡ルミエール ^{*5}	- 1	
ミニシアター/名画座 合計	0	2	0	2	合計	1 3

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
盛岡市	盛岡中央映画劇場 ^{*4}	既 1 1	1 1	盛岡中央映画劇場 ^{*4}	1 2	
	盛岡ルミエール ^{*5}	既 1 1	1 1	盛岡ルミエール ^{*5}	1 1	
	盛岡ピカデリー ^{*6}	既 1 1	1 1	盛岡ピカデリー	1 1	
宮古市					みやこシネマリン ^{*7}	1 2
一関市	一関シネプラザ	既 1 2	1 2	一関シネプラザ	1 2	
既存興行館 合計	4	5	4	5	合計	5 8

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0 0
シネマコンプレックス以外 合計	4	7	4	7	合計	6 11

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	2	17	2	14	2	14	0	0
ミニシアター/名画座 合計	0	2	0	2	1	3	-1	-1
既存興行館 合計	4	5	4	5	5	8	-1	-3
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	4	7	4	7	6	11	-2	-4
岩手県合計	6	24	6	21	8	25	-2	-4

^{*1} 2025年10月「フォーラム盛岡8・9・10」が開館し、スクリーン数7→10。

^{*2} 2026年3月閉館 移転予定。

^{*3} 2023年4月閉館

^{*4} 2スクリーンのうち1スクリーンをミニシアター、1スクリーンを既存興行館としてカウント。

^{*5} 2スクリーンのうち1スクリーンをミニシアター、1スクリーンを既存興行館としてカウント。

^{*6} 2025年10月閉館

^{*7} 2016年9月閉館。閉館後はDORAホールとして貸館上映を継続。

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
盛岡市	盛岡かわとみどりのほしぞら映画祭	地域映画祭	2020年	—	—	2025年確認できず。
	もりおか座映画祭	地域映画祭	2025年	2025年10月25日～26日	リリオホール / フォーラム盛岡 / 盛岡中央映画劇場	2025年第1回開催
宮古市	ジモトエイゾウサイ	地域映画祭	2011年	—	—	2025年確認できず。
花巻市	イーハトーブフェスティバル	地域映画祭	2016年	2025年8月30日～31日	宮沢賢治童話村	
一戸町	カシオペア映画祭	地域映画祭	1996年	2025年10月12日	萬代館	1日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
—			—	—		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
盛岡市	岩手県立美術館(アート・シネマ上映会)	岩手県立美術館				
	〈映画の力〉プロジェクト	盛岡市内各所				
宮古市	NE-PROJECTION[エヌ・イー・プロジェクション] / シネマリン上映会	DORA ホール(元映画館)ほか東北各地				
	シネマ・デ・アエル プロジェクト	シネマ・デ・アエル				
紫波町	シワキネマ上映会ほか	オガールプラザほか				
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
盛岡市	素敵なまちの映画会	盛岡という星で BASE STATION ほか				
大船渡市	新作シネマ上映会	大船渡市民文化会館 リアスホール(オカダプランニング)				
久慈市	久慈新作シネマ上映会	久慈市文化会館 アンバーホール(オカダプランニング)				
釜石市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	釜石市民ホール TETTO				
	CINEPIT	釜石情報交流センター 釜石 PIT				
洋野町	善映館(元映画館)	善映館				
一戸町	萬代館(元映画館)	萬代館				
遠野市	ねこぜでキネマ	遠野市立図書館 視聴覚ホール				
二戸市	新作映画会	二戸市民文化会館(オカダプランニング)				
奥州市	ティータイムシネマ倶楽部	胆沢文化創造センター				
	ワンコインシネマ	前沢ふれあいセンター				
	シネマささら座	江刺体育文化会館 ささらホール				

宮城県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
宮城県人口	2,230,717	2,247,139	2,329,431	-98,714
仙台市(県庁所在地)人口	1,094,799	1,096,168	1,084,674	10,125
宮城県のスクリーン	74	77	73	1
1スクリーン当り人口	30,145	29,184	31,910	
映画館年間観客数(概算)	3,240,000	2,390,000	3,260,000	
年間映画鑑賞回数	1.5	1.1	1.4	

映画館の
状況

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
シネマコンプレックス								
仙台市	TOHOシネマズ仙台	1	9	1	9	TOHOシネマズ仙台 ^{※1}	1	9
	MOVIX仙台	1	10	1	10	MOVIX仙台	1	10
石巻市	イオンシネマ石巻	1	8	1	8	イオンシネマ石巻	1	8
名取市	イオンシネマ名取	1	10	1	10	イオンシネマ名取	1	10
大崎市	シネマ・リオネ古川	1	6	1	6	シネマ・リオネ古川	1	6
富谷市	109シネマズ富谷	1	10	1	10	109シネマズ富谷	1	10
大河原町	ユナイテッド・シネマ フォルテ宮城大河原 ^{※2}	1	7	1	7			
利府町	イオンシネマ新利府 ^{※3}	1	11	1	11			
						MOVIX利府 ^{※4}	1	12
シネマコンプレックス 合計	8	71	8	71	合計	7	65	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
ミニシアター/名画座									
仙台市	フォーラム仙台	ミ	1	3	1	3	フォーラム仙台	1	3
							桜井薬局セントラルホール ^{※5}	1	1
ミニシアター/名画座 合計	1	3	1	3	合計	2	4		

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
既存興行館									
仙台市	チネ・ラヴィータ ^{※6}	既	1	3	1	3	チネ・ラヴィータ	1	3
既存興行館 合計	0	0	1	3	合計	1	3		

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
成人映画館									
石巻市							石巻日活パールシネマ ^{※7}	1	1
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	1	1		
シネマコンプレックス以外 合計	1	3	2	6	合計	4	8		

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	8	71	8	71	7	65	1	6
ミニシアター/名画座 合計	1	3	1	3	2	4	-1	-1
既存興行館 合計	0	0	1	3	1	3	-1	-3
成人映画館 合計	0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	1	3	2	6	4	8	-3	-5
宮城県合計	9	74	10	77	11	73	-2	1

※1
2016年7月開館※2
2011年に開館した「シアターフォルテ」跡に、2018年7月「ユナイテッド・シネマ宮城大河原」開館。※3
2021年3月開館※4
2020年10月閉館※5
2018年6月閉館※6
2024年3月閉館※7
2017年6月閉館

**公共上映の
状況**

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
仙台市	ショートピース! 仙台短篇映画祭	地域映画祭	2001年	2025年9月20日～23日	せんだいメディアテーク	
	吉岡宿にしびりかの映画祭	地域映画祭	2018年	2025年11月9日	にしびりかの美術館	1日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数			
仙台市	せんだいメディアテーク	1	180			
映画館以外で行われる上映活動A		会場				
石巻市	シアターキネマティカ / 石巻名画座	シアターキネマティカ				
	オカダプランニング	気仙沼市民会館ほか				
映画館以外で行われる上映活動B		会場				
塩釜市	遊遊シアターフレンズ	塩釜市遊ホール				
気仙沼市	新作映画会	気仙沼市民会館(オカダプランニング)				
加美町	優秀映画鑑賞推進事業	加美町中新田文化会館(中新田パッパホール)				

秋田県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
秋田県人口	878,798	896,225	1,009,659	-130,861
秋田市(県庁所在地)人口	292,587	296,286	313,668	-21,081
秋田県のスクリーン	18	18	22	-4
1スクリーン当り人口	48,822	49,790	45,894	
映画館年間観客数(概算)	780,000	590,000	760,000	
年間映画鑑賞回数	0.9	0.7	0.8	

映画館の状況

		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス							
秋田市	TOHOシネマズ秋田	1	8	1	8	1	8
							ルミエール秋田 ^{※1}
						1	5
大仙市	イオンシネマ大曲	1	5	1	5	1	5
	シネマコンプレックス 合計	2	13	2	13	3	18

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座							
秋田市						秋田フォーラス・シネマパレ ^{※2}	1 2
大館市	御成座 ^{※3}	元既	1 1	1 1	1 1	御成座 ^{※3}	1 1
	ミニシアター/名画座 合計		1 1	1 1	1 1	合計	2 3

		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館							
秋田市	アルヴェシアター ^{※1}	新既	1 3	1 3			
能代市	イオンファミリーシアター能代	既	1 1	1 1	イオンファミリーシアター能代	1 1	
	既存興行館 合計		2 4	2 4	合計	1 1	

		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館							
	成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0 0
	シネマコンプレックス以外 合計	3	5	3	5	合計	3 4

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	2	13	2	13	3	18	-1	-5
ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	2	3	-1	-2
既存興行館 合計	2	4	2	4	1	1	1	3
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	5	3	5	3	4	0	1
秋田県合計	5	18	5	18	6	22	-1	-4

公共上映の状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
横手市	あきた十文字映画祭	地域映画祭	1991年 2026年2月7日～8日	横手市三重地区交流センター	

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
秋田市 アウトクロープ・シネマ	アウトクロープ・シネマ

映画館以外で行われる上映活動B	会場
能代市 優秀映画鑑賞推進事業	能代市文化会館
横手市 優秀映画鑑賞推進事業ほか	横手市ふれあいセンターかまくら館
大館市 優秀映画鑑賞推進事業/小中学生映画鑑賞会	大館市民文化会館
男鹿市 優秀映画鑑賞推進事業	男鹿市民文化会館
大仙市 優秀映画鑑賞推進事業	大仙市中仙市民会館
北秋田市 優秀映画鑑賞推進事業/ファルコンシネマ	北秋田市文化会館 ファルコン
にかほ市 優秀映画鑑賞推進事業ほか	仁賀保勤労青少年ホーム

※1 2020年5月「ルミエール秋田」閉館、同年12月「アルヴェシアター」開館。スクリーン数5→3。

※2 2017年2月閉館

※3 2005年に閉館後、2014年に運営会社を変えて開館。



山形県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
山形県人口	994,537	1,010,776	1,113,029	-118,492
山形市(県庁所在地)人口	237,800	239,986	253,267	-15,467
山形県のスクリーン	54	54	56	-2
1スクリーン当り人口	18,417	18,718	19,876	
映画館年間観客数(概算)	2,200,000	1,850,000	1,580,000	
年間映画鑑賞回数	2.2	1.8	1.4	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
山形市	フォーラム山形*1	1 4	1 4	フォーラム山形*1	1 4	1 4
	ソラリス	1 6	1 6	ソラリス	1 6	1 6
	MOVIE ON やまがた	1 10	1 10	MOVIE ON やまがた	1 10	1 10
米沢市	イオンシネマ米沢	1 7	1 7	イオンシネマ米沢	1 7	1 7
天童市	イオンシネマ天童	1 9	1 9	イオンシネマ天童	1 9	1 9
東根市	フォーラム東根	1 8	1 8	フォーラム東根	1 8	1 8
三川町	イオンシネマ三川	1 7	1 7	イオンシネマ三川	1 7	1 7
シネマコンプレックス 合計	7	51	7	51	合計	7 51

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
山形市	フォーラム山形*1	ミ - 1	- 1	フォーラム山形*1	- 1	1
鶴岡市	鶴岡まちなかキネマ*2	ミ - 1	- 1	鶴岡まちなかキネマ*2	- 2	2
ミニシアター/名画座 合計	0	2	0	2	合計	0 3

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
鶴岡市	鶴岡まちなかキネマ*2	新既 1 1	1 1	鶴岡まちなかキネマ*2	1 2	2
既存興行館 合計	1	1	1	1	合計	1 2

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0 0
シネマコンプレックス以外 合計	1	3	1	3	合計	1 5

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	7	51	7	51	7	51	0	0
ミニシアター/名画座 合計	0	2	0	2	0	3	0	-1
既存興行館 合計	1	1	1	1	1	2	0	-1
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	1	3	1	3	1	5	0	-2
山形県合計	8	54	8	54	8	56	0	-2

※1
5スクリーンのうち4スクリーンをシネマコンプレックス、1スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※2
2010年開館、2020年5月閉館したが、運営母体を変え、スクリーン数を4→2に減らして2023年3月再開。1スクリーンずつミニシアター、既存興行館としてカウント。

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
山形市	山形国際ドキュメンタリー映画祭	国際映画祭	1989年	2025年10月9日～16日	山形市中央公民館/山形市民会館/フォーラム山形ほか	
	山形国際ムービーフェスティバル	地域映画祭	2005年	2025年11月7日～9日	MOVIE ON山形	
	山の恵みの映画たち	地域映画祭	2014年	-	-	次回は2026年開催。
米沢市	伴淳記念映画祭	地域映画祭	2006年	2025年10月26日	米沢市市民文化会館	1日のみの開催。
鶴岡市	食の映画祭	地域映画祭	2016年	-	-	2023年以降開催なし。
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数			
山形市	山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー	1	40			
映画館以外で行われる上映活動 A		会場				
山形市	山形県映画センター	山形県内各地				
映画館以外で行われる上映活動 B		会場				
山形市	里山で映画を楽しむ会	はらっぱ里山保育園				
	おやこ映画の会 カンガルーのポケット	やまぎん県民ホール/フォーラム山形ほか				
米沢市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	米沢市市民文化会館				
鶴岡市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)				
酒田市	優秀映画鑑賞推進事業	酒田市ひらたタウンセンター				
	平田映画サークル あるふぁ'85	酒田市ひらたタウンセンター				
新庄市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	新庄市民プラザ				
大石田町	優秀映画鑑賞推進事業	大石田町町民交流センター 虹のプラザ				
川西町	映画上映会	川西町フレンドリープラザ				
庄内町	庄内ドキュメンタリー映画友の会	余目第一まちづくりセンターほか				

福島県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
福島県人口	1,717,454	1,743,199	1,900,253	-182,799
福島市(県庁所在地)人口	268,906	272,163	293,186	-24,280
福島県のスクリーン	33	33	26	7
1スクリーン当り人口	52,044	52,824	73,087	
映画館年間観客数(概算)	1,380,000	930,000	1,510,000	
年間映画鑑賞回数	0.8	0.5	0.8	

映画館の
状況

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
シネマコンプレックス								
福島市	フォーラム福島 ^{※1}	1	5	1	5	フォーラム福島 ^{※1}	1	5
	イオンシネマ福島 ^{※2}	1	9	1	9	イオンシネマ福島 ^{※2}	1	7
郡山市	郡山テアトル	1	6	1	6	郡山テアトル	1	6
いわき市	ボレボレシネマズいわき小名浜 ^{※3}	1	9	1	9			
	イオンシネマ新利府 ^{※3}					ボレボレいわき ^{※3}	1	7
シネマコンプレックス 合計	4	29	4	29	合計	4	25	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
ミニシアター/名画座									
福島市	フォーラム福島 ^{※1}	ミ	-	1	-	1	フォーラム福島 ^{※1}	-	1
いわき市	湯本駅前ミニシアター Kuramoto ^{※4}	ミ	1	1	1	1			
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	合計	0	1		

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
既存興行館								
いわき市	まちボレいわき ^{※3}	新既	1	2	1	2		
既存興行館 合計	1	2	1	2	合計	0	0	

	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
成人映画館							
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	2	4	2	4	合計	0	1

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	4	29	4	29	4	25	0	4
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	0	1	1	1
既存興行館 合計	1	2	1	2	0	0	1	2
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	2	4	2	4	0	1	2	3
福島県合計	6	33	6	33	4	26	2	7

※1
6スクリーンのうち5スクリーンをシネマコンプレックス、1スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※2
2018年3月スクリーン数7→9

※3
2018年6月「ボレボレシネマズいわき小名浜」開館と同時に、2010年開館の「ボレボレいわき」がスクリーン数を7→2に減らし、「まちボレいわき」として開館。

※4
2019年4月開館 2025年10月閉館

**公共上映の
状況**

映画祭		地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
いわき市	いわきボレボレ映画祭	地域映画祭	2008年	2025年3月21日～27日	まちボレいわき	2025年度開催なし。 2026年4月開催予定。
本宮市	カナリヤ映画祭	地域映画祭	2011年	2025年10月5日	サンライズもとみや	1日のみの開催。
新地町	福島こどものみらい映画祭	地域映画祭	2013年	2025年3月22日	新地町文化交流センター	2025年度確認できず。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
須賀川市	須賀川市特撮アーカイブセンター		-	-		
湯川村	湯川たから館		-	-		
三春町	福島ガイナ 福島さくら遊学舎		-	-		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
本宮市	本宮映画劇場		本宮映画劇場(元映画館)			
川内村	かわうち CINEMO		Café Amazon(カフェ・アマゾン)川内村店((株)サンアメニティ)			
大熊町	おおくま CINEMO		大熊町交流施設linkの大熊 多目的ホール((株)サンアメニティ)			
双葉町	ふたば CINEMO		双葉町産業交流センター((株)サンアメニティ)			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
福島市	映画上映会 / 優秀映画鑑賞推進事業		福島県文化センター			
会津若松市	会津新作シネマ上映会		會津風雅堂(オカダプランニング)			
	会津シネマウィーク / 優秀映画鑑賞推進事業		会津若松市文化センター			
いわき市	小名浜座を楽しむ会		小名浜座(元映画館)			
白河市	優秀映画鑑賞推進事業ほか		白河市東文化センター			
喜多方市	喜多方プラザ名画座		喜多方プラザ			
南相馬市	映画上映会		朝日座(元映画館)			
	シネポケット		小高バイオニアヴィレッジほか			
会津美里町	会津新富座とともに歩む会		会津新富座(元映画館)			
浪江町	なみえコミュニティシネマ		幾世橋防災交流センターほか			

茨城県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
茨城県人口	2,791,231	2,810,049	2,907,262	-116,031
水戸市(県庁所在地)人口	265,768	266,965	271,047	-5,279
茨城県のスクリーン数	91	91	89	2
1スクリーン当り人口	30,673	30,880	32,666	
映画館年間観客数(概算)	3,580,000	2,770,000	3,290,000	
年間映画鑑賞回数	1.3	1.0	1.1	

映画館の
状況

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
シネマコンプレックス								
水戸市	TOHOシネマズ水戸内原	1	8	1	8	TOHOシネマズ水戸内原	1	8
	ユナイテッド・シネマ水戸*1	1	8	1	8	シネプレックス水戸*1	1	8
土浦市	シネマサンシャイン土浦	1	9	1	9	シネマサンシャイン土浦	1	9
下妻市	イオンシネマ下妻	1	5	1	5	イオンシネマ下妻	1	5
つくば市	シネプレックスつくば	1	8	1	8	シネプレックスつくば	1	8
	MOVIXつくば	1	9	1	9	MOVIXつくば	1	9
	USシネマつくば	1	10	1	10	USシネマつくば	1	10
ひたちなか市	TOHOシネマズひたちなか	1	10	1	10	TOHOシネマズひたちなか	1	10
守谷市	イオンシネマ守谷	1	10	1	10	イオンシネマ守谷	1	10
稲敷市	USシネマパルナ稲敷	1	7	1	7	USシネマパルナ稲敷	1	7
	シネマコンプレックス 合計	10	84	10	84	合計	10	84

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
ミニシアター/名画座								
土浦市	土浦セントラルシネマズ*2	元既	-	1	-	1		
那珂市	あまや座*3	ミ	1	1	1	1		
	ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	合計	0	0

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
既存興行館								
日立市	シネマサンライズ*4	新既	1	1	1	1		
土浦市	土浦セントラルシネマズ*2	既	1	1	1	1		
笠間市	笠間ボレボレホール	既	1	2	1	2		
	既存興行館 合計	3	4	3	4	合計	2	4

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
成人映画館								
水戸市	水戸銀星映画劇場	1	1	1	1	水戸銀星映画劇場	1	1
	成人映画館 合計	1	1	1	1	合計	1	1
	シネマコンプレックス以外 合計	5	7	5	7	合計	3	5

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	10	84	10	84	10	84	0	0
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	0	0	1	2
既存興行館 合計	3	4	3	4	2	4	1	0
成人映画館 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	5	7	5	7	3	5	2	2
茨城県合計	15	91	15	91	13	89	2	2

*1
2017年8月運営会社が変わり「シネプレックス水戸」→「ユナイテッド・シネマ水戸」。*2
2スクリーンのうち1スクリーンをミニシアター、1スクリーンを既存興行館としてカウント。*3
2017年10月開館*4
2020年3月開館

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
水戸市	水戸映画祭 / 水戸短編映像祭	1985年 / 1997年	2025年10月18日～19日・25日～26日	水戸芸術館ACM劇場	
日立市	ひたち映画祭	2023年	2025年10月26日	シネマサンライズ	1日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数		
-		-	-		
映画館以外で行われる上映活動 A		会場			
水戸市	310+1 cinema project	Café + zakka + gallery Minerva ほか			
	映画上映会	県民文化センター ザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城映画センター)			
	悠悠映画塾	茨城県立県民文化センターほか(茨城映画センター)			
	茨城映画センター	県民文化センター ザ・ヒロサワ・シティ会館ほか			
笠間市	トモア駅前シネマ	笠間市地域交流センターともべ Tomoa(茨城映画センター)			
牛久市	エスカードシネマクラブ	牛久市中央生涯学習センター (ゆめまちネット 牛久市ボランティア市民活動ネットワーク)			
映画館以外で行われる上映活動 B		会場			
水戸市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	水戸芸術館ACM劇場			
結城市	アクロス映画上映会	結城市民文化センターアクロス			
日立市	映画上映会	日立市民会館			
土浦市	優秀映画鑑賞推進事業	土浦市民会館 クラフトシビックホール土浦			
取手市	映画上映会	取手市立市民会館			
常陸大宮市	映画上映会	常陸大宮市文化センター			
神栖市	新作上映会	神栖市文化センター			

栃木県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
栃木県人口	1,868,706	1,882,342	1,968,425	-99,719
宇都宮市(県庁所在地)人口	511,106	511,852	519,631	-8,525
栃木県のスクリーン数	64	64	64	0
1スクリーン当り人口	29,199	29,412	30,757	
映画館年間観客数(概算)	2,800,000	2,010,000	2,470,000	
年間映画鑑賞回数	1.5	1.1	1.3	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
宇都宮市	MOVIX 宇都宮	1	10	1	10	1	10
	TOHOシネマズ宇都宮	1	10	1	10	1	10
足利市	ユナイテッド・シネマ アシコタウンあしかが	1	8	1	8	1	8
佐野市	109シネマズ佐野	1	10	1	10	1	10
小山市	小山シネマロブレ	1	5	1	5	1	5
	シネマハーヴェスト	1	8	1	8	1	8
那須塩原市	フォーラム那須塩原	1	9	1	9	1	9
シネマコンプレックス 合計		7	60	7	60	7	60

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2025		2024		2016			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
宇都宮市	宇都宮ヒカリ座	元既	1	3	1	3	宇都宮ヒカリ座	1	3
ミニシアター/名画座 合計		1	3	1	3	合計	1	3	

既存興行館		2025		2024		2016			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
茂木町	もびあホール*2	既	1	1	1	1	もびあホール	1	1
既存興行館 合計		1	1	1	1	合計	1	1	

成人映画館		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	4	2	4	合計	2	4

		2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		7	60	7	60	7	60	0	0
ミニシアター/名画座 合計		1	3	1	3	1	3	0	0
既存興行館 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		2	4	2	4	2	4	0	0
栃木県合計		9	64	9	64	9	64	0	0

映画祭	地域/国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
那須町	那須ショートフィルムフェスティバル	地域映画祭	2006年	2025年11月8日～16日	那須高原 南ヶ丘牧場

公共上映の
状況

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
-	-

映画館以外で行われる上映活動B	会場
真岡市	真岡市芸術鑑賞会映画会
鹿沼市	優秀映画鑑賞推進事業
野木町	エニスホール映画会/優秀映画鑑賞推進事業

*1
2016年3月開館*2
現在は定期的な上映を行っていない。



群馬県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
群馬県人口	1,876,416	1,889,425	1,966,381	-89,965
前橋市(県庁所在地)人口	324,954	326,271	335,411	-10,457
群馬県のスクリーン数	52	52	61	-9
1スクリーン当り人口	36,085	36,335	32,236	
映画館年間観客数(概算)	2,640,000	1,980,000	2,850,000	
年間映画鑑賞回数	1.4	1.0	1.4	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
前橋市	ユナイテッド・シネマ前橋	1 9	1 9	ユナイテッド・シネマ前橋	1 9	
高崎市	109シネマズ高崎 ^{*1}	1 8	1 8	109シネマズ高崎	1 8	
	イオンシネマ高崎	1 10	1 10	イオンシネマ高崎	1 10	
伊勢崎市	MOVIX 伊勢崎 ^{*2}	1 10	1 10	MOVIX 伊勢崎 ^{*2}	1 11	
				プレビ劇場 ISESACI ^{*3}	1 10	
太田市	イオンシネマ太田	1 10	1 10	イオンシネマ太田	1 10	
	シネマコンプレックス 合計	5 47	5 47	合計	6 58	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
前橋市	前橋シネマハウス ^{*4}	ミ 1 2	1 2			
高崎市	シネマテークたかさき	ミ 1 2	1 2	シネマテークたかさき	1 2	
	高崎電気館 ^{*5}	元既 1 1	1 1	高崎電気館 ^{*5}	1 1	
	ミニシアター/名画座 合計	3 5	3 5	合計	2 3	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
	既存興行館 合計	0 0	0 0	合計	0 0	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
	成人映画館 合計	0 0	0 0	合計	0 0	
	シネマコンプレックス以外 合計	3 5	3 5	合計	2 3	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	5	47	5	47	6	58	-1	-11
ミニシアター/名画座 合計	3	5	3	5	2	3	1	2
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	5	3	5	2	3	1	2
群馬県合計	8	52	8	52	8	61	0	-9

^{*1}
2025年8月閉館

^{*2}
2019年3月「プレビ劇場 ISESACI」へ移転、スクリーン数11→10。

^{*3}
2019年1月閉館

^{*4}
「前橋テアトル西友」(～2006)「シネマまえばし」(2009～2013)「前橋シネマハウス」(2018.3～)

^{*5}
2001年休館。2014年所有者が「高崎電気館」を高崎市へ寄付し、上映活動を再開。地域活性化センターとして運用。

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
前橋市	前橋映像祭	地域映画祭	2010年	2025年10月25日～26日	裏の間(re/noma)	
高崎市	高崎映画祭	地域映画祭	1987年	2026年3月20日～29日	高崎芸術劇場/シネマテークたかさき/高崎電気館	
中之条町	伊参スタジオ映画祭	地域映画祭	2001年	2025年11月8日～9日	伊参スタジオ公園	
玉村町	たまむら映画祭	地域映画祭	2023年	2025年9月6日～7日	玉村町文化センター	
邑楽町	邑の映画会	地域映画祭	2008年	2025年11月1日	邑楽町中央公民館	1日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
太田市	太田市立新田図書館		-	-		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
前橋市	群馬共同映画社		群馬県内各地			
桐生市	きりゆうシネクラブ		桐生市内各所			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
桐生市	るうふ倶楽部名画鑑賞会(優秀映画鑑賞推進事業)		桐生市市民文化会館			
富岡市	優秀映画鑑賞推進事業		群馬県立自然史博物館			
甘楽町	かんらシネマ(優秀映画鑑賞推進事業)		甘楽町文化会館			

埼玉県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
埼玉県人口	7,322,991	7,329,258	7,270,549	52,442
さいたま市(県庁所在地)人口	1,356,136	1,351,136	1,265,950	90,186
埼玉県のスクリーン数	236	238	209	27
1スクリーン当り人口	31,030	30,795	34,787	
映画館年間観客数(概算)	11,660,000	9,010,000	11,220,000	
年間映画鑑賞回数	1.6	1.2	1.5	

映画館の
状況

映画館の 状況	シネマコンプレックス	2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
さいたま市	イオンシネマ大宮	1	8	1	8	1	8
	MOVIXさいたま	1	12	1	12	1	12
川越市	イオンシネマ浦和美園	1	11	1	11	1	11
	ユナイテッド・シネマ浦和	1	9	1	9	1	9
熊谷市	ユナイテッド・シネマ ウニクス南古谷	1	9	1	9	1	9
	イオンシネマ熊谷	1	8	1	8	1	8
川口市	シネティアラ21	1	8	1	8	1	8
	MOVIX川口	1	9	1	9	1	9
秩父市	イオンシネマ川口 ^{*1}	1	10	1	10		
	ユナイテッド・シネマ ウニクス秩父 ^{*2}	1	7	1	7		
所沢市	T・ジョイ エミテラス所沢 ^{*3}	1	12	1	12		
	ユナイテッド・シネマ春日部	1	9	1	9	1	9
春日部市	イオンシネマ春日部	1	10	1	10	1	10
	イオンシネマ羽生	1	9	1	9	1	9
鴻巣市	こらのすシネマ	1	8	1	8	1	8
	イオンシネマ越谷レイクタウン	1	10	1	10	1	10
越谷市	ローソン・ユナイテッドシネマ入間 ^{*4}	1	9	1	9	1	9
	ユナイテッド・シネマ新座	1	9	1	9	1	9
久喜市	109シネマズ葛蒲	1	11	1	11	1	11
	TOHOシネマズ ららぽーと富士見	1	9	1	9	1	9
富士見市	シネマサンシャイン三郷 ^{*6}	1	12	1	12	1	12
	シネプレックス幸手	1	9	1	9	1	9
幸手市	ユナイテッド・シネマわかば ^{*7}	1	9	1	9	1	9
	イオンシネマ大井	1	7	1	7	1	7
ふじみ野市	ユナイテッド・シネマ ウニクス上里	1	9	1	9	1	9
	シネマコンプレックス 合計	25	233	25	233	22	204

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
さいたま市	OttO ^{*8}	ミ 1	1			
川越市	川越スカラ座	元既 1	1	1	1	1
深谷市	深谷シネマ	ミ 1	1	1	1	1
ミニシアター/名画座 合計		3	3	2	2	2

既存興行館	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
所沢市	新所沢 Let'sシネパーク ^{*9}	既	1	3	新所沢 Let'sシネパーク	1	3
既存興行館 合計		0	0	1	3	1	3

成人映画館	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	3	3	5	3	5

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	25	233	25	233	22	204	3	29
ミニシアター/名画座 合計	3	3	2	2	2	2	1	1
既存興行館 合計	0	0	1	3	1	3	-1	-3
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	3	3	5	3	5	0	-2
埼玉県合計	28	236	28	238	25	209	3	27

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
川口市	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	国際映画祭	2004年	2025年7月18日～26日	SKIPシティ	
さいたま市	岩槻映画祭	地域映画祭	2014年	2026年2月14日～15日	市民会館いわつき	
	SAITAMAなんとか映画祭	地域映画祭	2021年	2025年9月26日～28日	レイボックホール	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
川口市	SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ		1	321		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
さいたま市	彩の国シネマスタジオ		彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館ほか(埼玉映画ネットワーク)			
	埼玉映画文化協会		埼玉会館ほか			
越谷市	サンシティ名画劇場		越谷サンシティ			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
秩父市	名もなき名画館プロジェクト		珈琲 千茶古 別館コンチェルトほか県内各所			
所沢市	所沢ミュージズ シネマ・セレクション		所沢市民文化センターミュージズ			
本庄市	本庄シネマクラブ		はにぼんプラザ			
春日部市	春日部よい映画をみる会		春日部市中央公民館			
深谷市	親子映画上映会		深谷市民文化会館			
上尾市	優秀映画鑑賞推進事業		上尾市コミュニティセンター			
和光市	サンアジアシアター		和光市民文化センター(埼玉映画文化協会)			
桶川市	映画上映会		桶川市民ホール			

※1

2021年6月開館

※2

2022年7月開館

※3

2024年9月開館

※4

2024年12月「ユナイテッド・シネマ入間」→「ローソン・ユナイテッドシネマ入間」。

※5

2016年12月運営会社が変わり「シネプレックス新座」→「ユナイテッド・シネマ新座」。

※6

2024年11月「MOVIX 三郷」閉館、2025年7月「シネマサンシャイン三郷」開館

※7

2016年7月運営会社が変わり「シネプレックスわかば」→「ユナイテッド・シネマわかば」。

※8

2025年4月開館

※9

2024年2月閉館

千葉県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
千葉県人口	6,277,188	6,275,423	6,240,408	36,780
千葉市(県庁所在地)人口	987,361	984,598	973,549	13,812
千葉県のスクリーン数	220	220	208	12
1スクリーン当り人口	28,533	28,525	30,002	
映画館年間観客数(概算)	10,700,000	8,140,000	9,930,000	
年間映画鑑賞回数	1.7	1.3	1.6	

映画館の
状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
千葉市	京成ローザ	1	10	1	10	1	10
	ユナイテッド・シネマ幕張*1	1	10	1	10	1	10
	T・ジョイ蘇我	1	12	1	12	1	12
	イオンシネマ幕張新都心	1	10	1	10	1	10
銚子市	イオンシネマ銚子	1	5	1	5	1	5
市川市	TOHOシネマズ市川コルトンプラザ	1	9	1	9	1	9
	イオンシネマ市川妙典	1	9	1	9	1	9
船橋市	TOHOシネマズららぽーと船橋	1	10	1	10	1	10
木更津市	USシネマ木更津	1	10	1	10	1	10
松戸市	ユナイテッド・シネマ テラスモール松戸*2	1	11	1	11		
成田市	成田HUMAXシネマズ*3	1	10	1	10	1	9
佐倉市	シネマサンシャインユーカリが丘*4	1	8	1	8	1	8
旭市	旭サンモールシネマ	1	6	1	6	1	6
柏市	MOVIX 柏の葉	1	10	1	10	1	10
	TOHOシネマズ柏	1	9	1	9	1	9
市原市	USシネマちはら台	1	10	1	10	1	10
	TOHOシネマズ市原	1	10	1	10	1	10
流山市	TOHOシネマズ流山おおたかの森	1	11	1	11	1	11
八千代市	TOHOシネマズ八千代緑が丘	1	10	1	10	1	10
浦安市	シネマイクスピアリ	1	16	1	16	1	16
印西市	イオンシネマ千葉ニュータウン	1	8	1	8	1	8
	USシネマ千葉ニュータウン	1	10	1	10	1	10
	シネマコンプレックス 合計	22	214	22	214	21	202

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
千葉市	千葉劇場	元既	1	1	1	1	千葉劇場	1	1
柏市	キネマ旬報シアター*6	ミ	1	3	1	3	キネマ旬報シアター*6	1	3
	ミニシアター/名画座 合計		2	4	2	4	合計	2	4

既存興行館	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
野田市	イオンスペースシネマ野田	既	1	2	1	2	イオンスペースシネマ野田	1	2
	既存興行館 合計		1	2	1	2	合計	1	2

成人映画館	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
	成人映画館 合計	0	0	0	0	0	合計	0	0
	シネマコンプレックス以外 合計	3	6	3	6	3	合計	3	6

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	22	214	22	214	21	202	1	12
ミニシアター/名画座 合計	2	4	2	4	2	4	0	0
既存興行館 合計	1	2	1	2	1	2	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	6	3	6	3	6	0	0
千葉県合計	25	220	25	220	24	208	1	12

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
千葉市	ちば映画祭	2008年	-	-	「ちば映画祭定期上映会」として年3回程度開催。
浦安市	うらやすドキュメンタリー映画祭	2011年	2025年7月20日～21日	浦安市文化会館	
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数		
市川市	市川市文学ミュージアム	2	260/46		
映画館以外で行われる上映活動 A		会場			
千葉市	月曜名画座 / 木曜名画座	千葉市生涯学習センター			
勝浦市	Küste de シネマ	勝浦市芸術文化交流センター Küste(イウォレ京成)			
君津市	きみぶんシネマ	君津市民文化ホール(どこでもシネマ/東映エージェンシー)			
いすみ市	岬ふれあいシネマ	岬ふれあい会館			
映画館以外で行われる上映活動 B		会場			
千葉市	ちしろだい映画会	千城台コミュニティセンター			
佐倉市	旅するシネマ	西志津ふれあいセンター			
東金市	映画上映会 / TOGANE シネマ	東金文化会館			
市原市	映画名作劇場	市原市市民会館			
鎌ヶ谷市	きらりシネマ	きらり鎌ヶ谷市民会館			
君津市	優秀映画鑑賞推進事業	君津市民文化ホール			
浦安市	うらやすドキュメンタリーテーク	J:COM浦安音楽ホール			
	優秀映画鑑賞推進事業	浦安市文化会館			
印西市	文化ホール映画会	印西市文化ホール			
匝瑳市	優秀映画鑑賞推進事業	匝瑳市市民ふれあいセンター			
山武市	優秀映画鑑賞推進事業 / シネフィルのぎく	成東文化会館 のぎくプラザ			
栄町	優秀映画鑑賞推進事業	ふれあいプラザさかえ			

※1

2021年12月運営会社が変わり「シネプレックス幕張」→「ユナイテッド・シネマ幕張」。

※2

2019年10月開館

※3

2017年4月スクリーン数9→10

※4

2018年5月「イオンシネマユーカリが丘」開館、同年6月「シネマサンシャインユーカリが丘」開館。

※5

2016年4月開館

※6

「柏ステーションシアター」(～2012)「TKPシアター柏」(2013～14)「キネマ旬報シアター」(2014.6～)

神奈川県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
神奈川県人口	9,217,647	9,223,695	9,145,572	72,075
横浜市(県庁所在地)人口	3,772,320	3,771,063	3,731,293	41,027
神奈川県のスクリーン数	246	246	208	38
1スクリーン当り人口	37,470	37,495	43,969	
映画館年間観客数(概算)	16,260,000	12,530,000	15,720,000	
年間映画鑑賞回数	1.8	1.4	1.7	

映画館の状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
横浜市	ムービル ^{*1}	1 5	1 5	ムービル	1 5	
	109シネマズ港北	1 7	1 7	109シネマズ港北	1 7	
	イオンシネマみなとみらい	1 8	1 8	イオンシネマみなとみらい	1 8	
	TOHOシネマズららぽーと横浜	1 13	1 13	TOHOシネマズららぽーと横浜	1 13	
	イオンシネマ港北ニュータウン	1 12	1 12	イオンシネマ港北ニュータウン	1 12	
	横浜ブルク13	1 13	1 13	横浜ブルク13	1 13	
	TOHOシネマズ上大岡	1 9	1 9	TOHOシネマズ上大岡	1 9	
	T・ジョイ横浜 ^{*2}	1 9	1 9			
	ロゾン・ユナイテッドシネマSTYLE-S みなとみらい ^{*3}	1 12	1 12			
	109シネマズゆめが丘 ^{*4}	1 10	1 10			
川崎市	チネチッタ	1 12	1 12	チネチッタ	1 12	
	イオンシネマ新百合ヶ丘	1 9	1 9	イオンシネマ新百合ヶ丘	1 9	
	TOHOシネマズ川崎	1 9	1 9	TOHOシネマズ川崎	1 9	
	109シネマズ川崎	1 10	1 10	109シネマズ川崎	1 10	
相模原市	MOVIX橋本	1 9	1 9	MOVIX橋本	1 9	
横須賀市	横須賀HUMAXシネマズ ^{*5}	1 10	1 10	横須賀HUMAXシネマズ ^{*5}	1 8	
平塚市	シネプレックス平塚	1 8	1 8	シネプレックス平塚	1 8	
藤沢市	109シネマズ湘南	1 10	1 10	109シネマズ湘南	1 10	
小田原市	TOHOシネマズ小田原	1 9	1 9	TOHOシネマズ小田原	1 9	
	小田原コロナシネマワールド	1 10	1 10	小田原コロナシネマワールド	1 10	
茅ヶ崎市	イオンシネマ茅ヶ崎	1 6	1 6	イオンシネマ茅ヶ崎	1 6	
大和市				イオンシネマつきみ野 ^{*6}	1 9	
海老名市	イオンシネマ海老名 ^{*7}	1 7	1 7	イオンシネマ海老名 ^{*7}	1 7	
	TOHOシネマズ海老名	1 10	1 10	TOHOシネマズ海老名	1 10	
座間市	イオンシネマ座間 ^{*8}	1 10	1 10			
	シネマコンプレックス 合計	24 227	24 227	合計	21 193	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
横浜市	シネマ・ジャック&ベティ	ミ 1 2	1 2	シネマ・ジャック&ベティ	1 2	
	横浜シネマリン ^{*10}	元既 1 1	1 1	ブリリアショートショートシアター ^{*9}	1 1	
	シネマノヴェチェント	ミ 1 1	1 1	横浜シネマリン ^{*10}	1 1	
	キノシネマ横浜みなとみらい ^{*11}	ミ 1 3	1 3	シネマノヴェチェント	1 1	
川崎市	川崎市アートセンター アルテリオ映像館	ミ 1 1	1 1	川崎市アートセンター アルテリオ映像館	1 1	
藤沢市	シネコヤ ^{*12}	ミ 1 1	1 1			
小田原市	小田原シネマ館 ^{*13}	ミ 1 1	1 1			
逗子市	シネマ・アミーゴ	ミ 1 1	1 1	シネマ・アミーゴ	1 1	
厚木市	あつぎのえいがかんkiki ^{*14}	ミ 1 3	1 3	アミーゴあつぎ映画.comシネマ ^{*14}	1 2	
	ミニシアター/名画座 合計	9 14	9 14	合計	7 9	

既存興行館	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
横浜市	県民共済シネマホール	既 1 1	1 1	県民共済シネマホール	1 1	
	港南台シネサロン	既 1 2	1 2	港南台シネサロン	1 2	
				横浜ニューアトル ^{*15}	1 1	
	既存興行館 合計	2 3	2 3	合計	3 4	

成人映画館	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
横浜市	横浜光音座	1 2	1 2	横浜光音座	1 2	
	成人映画館 合計	1 2	1 2	合計	1 2	
	シネマコンプレックス以外 合計	12 19	12 19	合計	11 15	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	24	227	24	227	21	193	3	34
ミニシアター / 名画座 合計	9	14	9	14	7	9	2	5
既存興行館 合計	2	3	2	3	3	4	-1	-1
成人映画館 合計	1	2	1	2	1	2	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	12	19	12	19	11	15	1	4
神奈川県合計	36	246	36	246	32	208	4	38

公共上映の
状況

映画祭	地域	国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
横浜市	フランス映画祭	国際映画祭	1993年	2025年3月20日～23日	横浜市役所1Fアトリウム/ 横浜ブルク13	
	ヨコハマ映画祭	地域映画祭	1980年	2026年2月1日	関内ホール	1日のみの開催。
	大倉山ドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2008年	2026年3月14日～15日	横浜市大倉山記念館	
	よこはま若葉町多文化映画祭	地域映画祭	2009年	2025年2月15日～21日	シネマ・ジャック&ベティほか	確認できず。 (1月現在)
	横浜インディペンデント・フィルム・フェスティバル	地域映画祭	2010年	2025年11月15日	シネマ・ジャック&ベティ	1日のみの開催。
	ヨコハマ・フットボール映画祭	地域映画祭	2011年	2025年10月11日～12日	綱島ミズキーホール	
	横浜中華街映画祭	地域映画祭	2010年	-	-	確認できず。 (1月現在)
	横浜国際映画祭	地域映画祭	2023年	2025年5月4日～6日	赤レンガパーク / イオンシネマ みなとみらいほか	
川崎市	KAWASAKIしんゆり映画祭	地域映画祭	2012年	2025年10月25日～11月3日	川崎市アートセンター	
藤沢市	湘南予告篇映画祭	地域映画祭	1995年	2025年12月20日～21日	KIKI BASE FUJISAWA	「予告篇ZEN映画祭」→「湘南予告篇映画祭」に改称。
茅ヶ崎市	茅ヶ崎映画祭	地域映画祭	2010年	2025年10月25日～11月20日	茅ヶ崎館 / イオンシネマ茅ヶ崎 / ハスキーズギャラリー	
逗子市	逗子海岸映画祭	地域映画祭	2008年	2025年4月25日～5月6日	逗子海岸	
大和市	YAMATO FILM FESTIVAL	地域映画祭	2012年	2025年3月16日	大和市文化創造拠点 シリウス	確認できず。 (1月現在)

シネマテーク及び映画資料館等

	ホール数	席数	
川崎市	川崎市アートセンター(アルテリオ映像館)	1	111
	川崎市市民ミュージアム(台風被害により移転再建を予定)	-	-
鎌倉市	鎌倉市川喜多映画記念館	1	51

映画館以外で行われる上映活動A

	会場
鎌倉市	グリーンシネマかまくら
	かまくら銀幕上映会
南足柄市	あしがらシネマ
	南足柄市文化会館

映画館以外で行われる上映活動B

	会場
横浜市	映画上映会
	横浜キネマ倶楽部
	シネマトツカ
相模原市	ここdeシネマ
	優秀映画鑑賞推進事業
	優秀映画鑑賞推進事業
	優秀映画鑑賞推進事業ほか
鎌倉市	鎌倉で映画と共に歩む会
茅ヶ崎市	シネマテーク茅ヶ崎
	茅ヶ崎良い映画を観る会
座間市	県央シネマ / 優秀映画鑑賞推進事業
	座間市立市民文化会館 ハーモニーホール座間

※1
2026年9月の閉館を発表。

※2
2020年9月開館

※3
2024年4月開館

※4
2024年7月開館

※5
2020年6月スクリーン数8→10

※6
2018年2月閉館

※7
日本初のシネコンとして開館(「ワナー・マイカル・シネマズ海老名」)。2026年5月の閉館を発表。

※8
2020年3月開館

※9
2017年12月閉館

※10
2014年3月閉館、運営者が変わり同年12月開館。

※11
2019年4月開館

※12
2017年4月開館

※13
2024年3月開館

※14
「厚木テアトルシネパーク」(～2008.3)「アミューあつぎ映画.comシネマ」(2014～2018.11/2016.41スクリーン増)「あつぎのえいがかんkiki」(2018.12～)

※15
2018年6月閉館

シネマコンプレックス以外 ミニシアター/名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
墨田区	ストレンジャー ^{※18}	ミ	1	1	1	1	
品川区	目黒シネマ	名	1	1	1	1	1
	キネカ大森	ミ	1	3	1	3	1
目黒区	東京都写真美術館ホール	ミ	1	1	1	1	1
世田谷区	下高井戸シネマ	ミ	1	1	1	1	1
	下北沢トリウッド	ミ	1	1	1	1	1
	シモキタ・エキマエ・シネマ K2 ^{※19}	ミ	1	1	1	1	
渋谷区	ユーロスペース	ミ	1	2	1	2	1
	ユーロライブ	ミ	1	1	1	1	1
	シネマヴェーラ渋谷	名	1	1	1	1	1
	ル・シネマ 渋谷宮下 ^{※21}	ミ	1	2	1	2	1
	恵比寿ガーデンシネマ	ミ	1	2	1	2	1
	シネクイント ^{※23}	ミ	1	2	1	2	1
	ホワイトシネクイント ^{※24}	ミ	1	1	1	1	
	シアター・イメージフォーラム	ミ	1	2	1	2	1
	ヒューマントラストシネマ渋谷	ミ	1	3	1	3	1
	シネマライズ ^{※25}						1
中野区	ポレポレ東中野	ミ	1	1	1	1	1
杉並区	ラピュタ阿佐ヶ谷	名	1	1	1	1	1
	モーク阿佐ヶ谷 ^{※26}	ミ	1	1	1	1	1
豊島区	シネ・リーブル池袋 ^{※27}	ミ	1	2	1	2	1
	新文芸坐	名	1	1	1	1	1
	シネマ・ロサ	元既	1	2	1	2	1
北区	シネマ・チュブキ・タバタ	ミ	1	1	1	1	1
足立区	シネマブルーススタジオ	名	1	1	1	1	1
立川市	キノシネマ立川高島屋S.C.館 ^{※29}	ミ	1	3	1	3	
武蔵野市	アップリンク吉祥寺 ^{※30}	ミ	1	5	1	5	
青梅市	シネマネコ ^{※31}	ミ	1	1	1	1	
	ミニシアター/名画座 合計		40	67	39	65	合計
							37
							57

※1

2018年3月開館、「TOHOシネマズスカラ座/みゆき座」が12,13スクリーンとなる。

※2

2017年2月「お台場シネマメディアージュ」閉館、4月同地に「ユナイテッド・シネマアクアシティお台場」開館。

※3

2016年4月「品川プリンスシネマ」→「T・ジョイPRINCE品川」に改称。

※4

2023年4月開館

※5

2017年11月開館

※6

2018年11月「TOHOシネマズ錦糸町」「楽天地シネマズ錦糸町」統合→「TOHOシネマズ錦糸町オリナス」開館。

※7

2019年7月「シネマサンシャイン池袋」閉館、「グランドシネマサンシャイン池袋」開館

※8

2020年7月開館

※9

2016年4月「T・ジョイ大泉」→「T・ジョイSEIBU大泉」に改称。

※10

2020年9月開館

※11

2017年9月開館

※12

2017年2月～2019年11月休館後、「109シネマズグランベリーパーク」に改称し再開。

※13

2025年12月開館

※14

2022年7月開館

※15

2026年1月開館

※16

「角川シネマ新宿」(2スクリーン)が2018年2月「EJアニメシアター」(1スクリーン)に。→2023年8月開館。2023年11月同様に「キノシネマ新宿」(2スクリーン)開館。

※17

2022年11月閉館

※18

2022年9月開館。2024年2月運営会社がアート&サイエンス株式会社→ナカチカ株式会社へ。

※19

2022年1月開館

※20

2010年9月「渋谷シアター TSUTAYA」閉館後、地階スクリーンは「映画美術学校試写室」(2010～)、2階スクリーンは「オーディトリウム渋谷」(2011～2014)「ユーロライブ」(2015～)となる。

※21

2023年6月「ル・シネマ」はBunkamuraの長期休館に伴い「渋谷TOEI」跡地に転移、「ル・シネマ渋谷宮下」に。

※22

2021年5月閉館

※23

バルコが運営する映画館。「渋谷PARCO Part3」8Fにあったが、2016年8月建て替えのため休館。2018年5月閉館した「渋谷シネパレス」跡に再開、スクリーン数1→2。

※24

バルコが運営する映画館。2019年11月新生「渋谷PARCO」8Fに開館。

※25

2016年7月閉館

※26

2020年12月「ユジク阿佐ヶ谷」閉館、2021年7月「モーク阿佐ヶ谷」開館。

※27

2026年1月閉館

※28

2016年9月開館

※29

2019年6月開館

※30

2018年12月開館

※31

2021年6月開館

既存興行館		2025		2024		2016			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
千代田区	丸の内ピカデリー	既	1	3	1	3	丸の内ピカデリー	1	3
							TOHOシネマズ スカラ座 / みゆき座 ^{*1}	1	2
							TOHOシネマズ 日劇 ^{*32}	1	3
中央区	丸の内TOEI ^{*34}	既	1	2	1	2	丸の内TOEI	1	2
	東劇	既	1	1	1	1	東劇	1	1
墨田区							楽天地シネマズ錦糸町 ^{*6}	1	4
大田区							テアトル蒲田 / 蒲田宝塚 ^{*35}	1	2
渋谷区	渋谷HUMAXシネマ	既	1	1	1	1	渋谷HUMAXシネマ	1	1
							渋谷シネパレス ^{*23}	1	2
							渋谷TOEI ^{*36}	1	2
豊島区	池袋HUMAXシネマズ ^{*37}	既	1	4	1	4	池袋HUMAXシネマズ ^{*37}	1	6
江戸川区	船堀シネパル	既	1	2	1	2	船堀シネパル	1	2
八王子市							ニュー八王子シネマ ^{*38}	1	4
武蔵野市	吉祥寺オデオン	既	1	3	1	3	吉祥寺オデオン	1	3
	吉祥寺プラザ ^{*39}	既			1	1	吉祥寺プラザ	1	1
既存興行館 合計			7	16	8	17	合計	16	39

成人映画館		2025		2024		2016			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
新宿区							飯田橋くわら劇場 ^{*40}	1	1
台東区	上野オークラ劇場 / 上野特選劇場		1	3	1	3	上野オークラ劇場 / 上野特選劇場	1	3
豊島区	シネロマン池袋		1	1	1	1	シネロマン池袋	1	1
成人映画館 合計			2	4	2	4	合計	3	5
シネマコンプレックス以外 合計			49	87	49	86	合計	56	101

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	34	329	34	329	28	260	6	69
ミニシアター / 名画座 合計	40	67	39	65	37	57	3	10
既存興行館 合計	7	16	8	17	16	39	-9	-23
成人映画館 合計	2	4	2	4	3	5	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	49	87	49	86	56	101	-7	-14
東京都合計	83	416	83	415	84	361	-1	55

^{*32}
2018年2月閉館

^{*33}
2019年10月閉館

^{*34}
2025年7月閉館

^{*35}
2019年8月「蒲田宝塚」閉館、9月「テアトル蒲田」閉館

^{*36}
2022年12月閉館

^{*37}
2023年1月スクリーン数6→4

^{*38}
2017年1月閉館

^{*39}
2024年1月閉館

^{*40}
2016年5月閉館

^{*41}
2026年3月「TOHOシネマズ大井町」(品川区)開館。

公共上映の
状況

映画祭	地域/国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
千代田区	東京国際映画祭	国際映画祭	1985年	2025年10月27日～11月5日	TOHOシネマズ日比谷/角川シネマ有楽町/シネスイッチ銀座ほか	
	ラテンビート映画祭	国際映画祭	2003年	2025年10月27日～11月5日	TOHOシネマズシャンテ/シネスイッチ銀座ほか	東京国際映画祭共催。
渋谷区	イメージフォーラム・フェスティバル	国際映画祭	1987年	2025年9月27日～10月11日(東京)	シアター・イメージフォーラム/渋谷スカイ	京都・名古屋でも開催。
新宿区	レインボー・リール東京	国際映画祭	1992年	2025年6月21日～22日・7月12日～13日	ユーロライブ/東京ウイメンズプラザホール	
世田谷区	キネコ国際映画祭	国際映画祭	1992年	2025年10月31日～11月4日	二子玉川ライズ/109シネマズ二子玉川ほか	
渋谷区	ショートショートフィルムフェスティバル&アジア	国際映画祭	1999年	2025年5月28日～6月11日(会場) 2025年4月24日～6月30日	LINE CUBE SHIBUYAほか	
千代田区	東京フィルメックス	国際映画祭	2000年	2025年11月21日～30日	有楽町朝日ホール/ヒューマントラストシネマ有楽町	
	イタリア映画祭	国際映画祭	2001年	2025年5月1日～6日(東京)	有楽町朝日ホール	大阪でも開催。
渋谷区	EUフィルムデーズ	国際映画祭	2003年	2025年6月28日～7月11日(東京)	シアター・イメージフォーラム	愛知・京都・大阪・福岡でも開催。
文京区	難民映画祭 (元UNHCR WILL2LIVE映画祭)	国際映画祭	2005年	2025年11月6日・12月2日～3日(東京)	TOHOシネマズ六本木ヒルズ/イタリア文化会館	大阪でも開催。
千代田区	日中映画祭(2025東京・中国映画週間)	国際映画祭	2006年	2025年10月21日～28日	TOHOシネマズ日本橋/有楽町朝日ホール	
豊島区	映文連 国際短編集映祭	国際映画祭	2007年	2025年11月26日～28日	国立新美術館講堂/新文芸坐	
目黒区	恵比寿映像祭	国際映画祭	2008年	2026年2月6日～23日	東京都写真美術館ほか	
千代田区	ダマー国際映画祭	国際映画祭	2009年	2025年4月12日～13日	日比谷コンベンションホール	
渋谷区	フィンランド映画祭	国際映画祭	2009年	2025年11月8日～14日	ユーロスペース	
	トーキョーノーザンライツフェスティバル	国際映画祭	2011年	-	-	2021年以降開催なし
豊島区	東京アニメアワードフェスティバル	国際映画祭	2014年	2026年3月13日～16日	シネマ・ロサ/池袋HUMAXシネマズほか	
渋谷区	イスラーム映画祭	国際映画祭	2016年	2025年2月20日	ユーロライブ	2025年10回の開催をもって休業を発表。
	コミュニティシネマフェスティバル	国際映画祭	2025年	2026年2月12日～3月12日(東京)	ユーロスペース/Stranger/アテネ・フランセ文化センターほか	2025年第1回開催。高崎・大阪・福岡でも開催。
千代田区	科学技術映像祭	地域映画祭	1960年	2025年7月28日	科学技術館	1日のみの開催。
	TOHOシネマズ学生映画祭	地域映画祭	2007年	2026年3月30日	TOHOシネマズ 大井町	1日のみの開催。
	国際有機農業映画祭	地域映画祭	2007年	2026年3月8日	日比谷コンベンションホール	1日のみの開催。
	秋葉原映画祭	地域映画祭	2016年	-	-	確認できず。
	東京インディペンデント映画祭	地域映画祭	2022年	2025年11月1日	ワテラスコモンホール	1日のみの開催。
	秋葉原国際映画祭	地域映画祭	2024年	-	-	確認できず。
中央区	ぴあフィルムフェスティバル	地域映画祭	1977年	2025年9月6日～20日	国立映画アーカイブ	
港区	爆音映画祭 in ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場	地域映画祭	2008年	2025年10月10日～19日	ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場	
	みなとシネマフェスタ	地域映画祭	2021年	2025年11月23日～12月2日	麻布区民センターほか	
新宿区	ドキュメンタリー・ドリーム・ショー 山形 in 東京	地域映画祭	2002年	-	-	隔年開催。
	高校生のための eiga worldcup	地域映画祭	2014年	2025年12月14日	東京富士大学	1日のみの開催。
	東京ドキュメンタリー映画祭	地域映画祭	2018年	2025年12月6日～19日	ケイズシネマ	
	新宿東口映画祭	地域映画祭	2021年	2025年5月23日～6月5日	シネマカリテ/新宿武蔵野館	
文京区	文京映画祭	地域映画祭	2016年	-	-	2024年度以降開催なし。
	つながる・つなげるシネマフェスティバル	地域映画祭	2020年	-	-	2024年以降開催なし。
墨田区	すみだパークシネマフェスティバル	地域映画祭	2020年	2025年10月11日～13日	隅田公園そ風ひろば	
江東区	江東シネマフェスティバル	地域映画祭	2007年	2025年12月13日～15日	江東区古石場文化センター	
世田谷区	下北沢映画祭	地域映画祭	2009年	2025年10月11日～13日	北沢タウンホールほか	
渋谷区	東京学生映画祭	地域映画祭	1991年	2025年8月16日～17日	ユーロライブ	
	ラブストーリー映画祭	地域映画祭	2010年	-	-	2021年以降開催なし。
	国際平和映像祭(UFPFF)	地域映画祭	2011年	2025年9月20日	ヒューマントラストシネマ渋谷	1日のみの開催。
	青山フィルムメイト	地域映画祭	2013年	-	-	2021年以降開催なし。
	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	地域映画祭	2009年	2026年2月7日～11日	座・高円寺2	
杉並区	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	地域映画祭	2009年	2026年2月7日～11日	座・高円寺2	1日のみの開催。
	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	地域映画祭	2016年	2025年10月4日	座・高円寺2	
	手話のまち 東京国際ろう芸術祭	地域映画祭	2017年	2025年11月6日～9日	座・高円寺	「東京国際ろう映画祭」から「手話のまち 東京国際ろう芸術祭」に改称。

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
豊島区	池袋みらい国際映画祭	地域映画祭	2017年 2026年2月20日～23日	みらい館大明	
練馬区	被爆者の声をうけつぐ映画祭	地域映画祭	2007年 2025年9月13日～14日	武蔵大学	
	江古田映画祭	地域映画祭	2013年 2026年2月28日～3月11日	武蔵大学 / ギャラリー古藤ほか	
足立区	日本芸術センター映像グランプリ	地域映画祭	2009年 2025年11月7日～12月8日	シネマブルーススタジオほか	神戸でも開催。
江戸川区	メイシネマ祭	地域映画祭	1996年 2025年5月3日～5日	小松川区民館ホール	
八王子市	八王子 Short Film 映画祭	地域映画祭	2013年 2025年12月14日	Royal Garden Palace 八王子日本閣	1日のみの開催。
立川市	立川名画座通り映画祭	地域映画祭	2015年 2025年9月1日～7日	立川市柴崎学習館 / シネマ・ツアー / キノシネマ立川高島屋 S.C. 館	
武蔵野市	吉祥寺国際アニメーション映画祭	地域映画祭	2006年 2026年2月20日～22日	武蔵野公会堂	
三鷹市	三鷹の森アニメフェスタ	地域映画祭	2002年 2026年3月8日	三鷹市芸術文化センター	1日のみの開催。
	三鷹連雀映画祭	地域映画祭	2017年 -	-	2023年以降開催なし。
調布市	映画のまち調布シネマフェスティバル	地域映画祭	1989年 2026年2月6日～3月1日	調布市文化会館たづくりほか	
国立市	くにたち映画祭	地域映画祭	2021年 2025年9月13日～11月30日	FSXホールほか	
狛江市	よんたま映画祭(キタコマ沖縄映画祭)	地域映画祭	2015年 -	-	2023年以降開催なし。
西東京市	西東京市民映画祭	地域映画祭	2001年 2025年5月24日・9月13日～15日	タクトホームこもれび GRAFARE ホール	
多摩市	TAMA CINEMA FORUM	地域映画祭	1991年 2025年11月8日～24日	パルテノン多摩 / ヴィータホール / ヘルプホール	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数	
中央区	国立映画アーカイブ		2	310/151	
	メゾンエルメス Le Studio		1		
千代田区	アテネ・フランセ文化センター		1	130	
新宿区	東京日仏学院 エスパス・イマージュ		1	108	
目黒区	東京都写真美術館		1	190	
江東区	江東区古石場文化センター		1	240	
千代田区	川喜多記念映画文化博物館		-	-	
中央区	松竹大谷図書館		-	-	
新宿区	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館		-	-	
台東区	台東区立したまちミュージアム		-	-	
世田谷区	世田谷文学館		-	-	
渋谷区	市川崑記念室		-	-	
杉並区	杉並アニメーションミュージアム		-	-	
練馬区	日本大学芸術学部芸術資料館		-	-	
	東映アニメーションギャラリー		-	-	
葛飾区	葛飾柴又寅さん記念館		-	-	
三鷹市	三鷹の森ゾブリ美術館		-	-	
調布市	芸能美術文庫 PAL		-	-	
	調布市立中央図書館映画資料室		-	-	

映画館以外で行われる上映活動A

		会場
台東区	カツペンのゆ	カツペンのゆ
杉並区	シアターバックス	シアターバックス
豊島区	シネマハウス大塚	シネマハウス大塚
板橋区	おおよまレトロシネマ	板橋区立文化会館
府中市	TUFS Cinema	東京外国語大学 プロメテウスホール
国立市	くにたち映画館	KFまちかどホールほか

映画館以外で行われる上映活動B

		会場
文京区	優秀映画鑑賞推進事業	響きの森文京公会堂
江東区	江東シネマプラザ/優秀映画鑑賞推進事業	江東区古石場文化センター
目黒区	C/NE名画座	C/NE 路地裏文化会館(レストラン)
渋谷区	サム・フリークス	ユーロライブ
渋谷区ほか	旅する映画館 café de cinéma	都内のカフェやバーなど
板橋区	高島平ドキュメンタリー映画を見る会	高島平図書館
葛飾区	シネマ堀切	シネマ堀切
調布市	映画上映会(優秀映画鑑賞推進事業)	調布グリーンホールほか
	優秀映画鑑賞推進事業ほか	調布市文化会館たづくり
町田市	映画上映会	和光大学ポプリホール鶴川
	ほんわかシネマ	町田市民フォーラム
	優秀映画鑑賞推進事業ほか	町田市民ホール
小平市	ルネこだいら市民名画座	小平市民文化会館 ルネこだいら
日野市	ななおシネマ倶楽部	七生公会堂
多摩市	キノコヤ	キノコヤ
	優秀映画鑑賞推進事業ほか	多摩市立永山公民館 ベルブ永山

新潟県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
新潟県人口	2,071,066	2,098,804	2,285,856	-214,790
新潟市(県庁所在地)人口	760,085	766,259	807,450	-47,365
新潟県のスクリーン数	64	64	64	0
1スクリーン当り人口	32,360	32,794	35,717	
映画館年間観客数(概算)	2,940,000	2,220,000	2,680,000	
年間映画鑑賞回数	1.4	1.1	1.2	

映画館の
状況

	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
シネマコンプレックス							
新潟市							
ユナイテッド・シネマ新潟	1	10	1	10	ユナイテッド・シネマ新潟	1	10
イオンシネマ新潟西	1	9	1	9	イオンシネマ新潟西	1	9
T・ジョイ新潟万代	1	8	1	8	T・ジョイ新潟万代	1	8
イオンシネマ新潟南	1	9	1	9	イオンシネマ新潟南	1	9
長岡市							
T・ジョイ長岡	1	10	1	10	T・ジョイ長岡	1	10
燕市							
イオンシネマ県央	1	7	1	7	イオンシネマ県央	1	7
上越市							
J-MAXシアター	1	8	1	8	J-MAXシアター	1	8
シネマコンプレックス 合計	7	61	7	61	合計	7	61

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
ミニシアター/名画座							
新潟市							
新潟シネ・ウインド	ミ	1	1	1	新潟シネ・ウインド	1	1
十日町市							
十日町シネマパラダイス ^{*1}					十日町シネマパラダイス ^{*1}	1	1
上越市							
高田世界館 ^{*2}	元既	1	1	1	高田世界館 ^{*2}	1	1
佐渡市							
ガシマシネマ ^{*3}	ミ	1	1	1			
ミニシアター/名画座 合計	3	3	3	3	合計	3	3

	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
既存興行館							
既存興行館 合計	0	0	0	0	合計	0	0

	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
成人映画館							
新潟市							
映劇大要 ^{*4}					映劇大要 ^{*4}	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	3	3	3	合計	3	3

	2025		2024		2016		増減(2016⇒2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	7	61	7	61	7	61	0	0
ミニシアター/名画座 合計	3	3	3	3	3	3	0	0
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	3	3	3	3	3	0	0
新潟県合計	10	64	10	64	10	64	0	0

^{*1}
2018年3月閉館

^{*2}
2009年「高田日活」(～2007)から運営者を変えて「高田世界館」開館。

^{*3}
2017年4月開館

^{*4}
2019年8月閉館

**公共上映の
状況**

映画祭		地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
新潟市	新潟国際アニメーション映画祭	国際映画祭	2023年	2026年2月20日～25日	NEXT21 新潟市民プラザ / 新潟シネ・ウインドほか	
	にいがたインディーズムービーフェスティバル	地域映画祭	1996年	2025年12月6日	新潟シネ・ウインド	1日のみの開催。
長岡市	ながおか映画祭	地域映画祭	1996年	2025年9月19日～23日	長岡リリックホール	
柏崎市	海と星と空の柏崎映画祭	地域映画祭	2023年	2025年10月3日～5日	柏崎市市民プラザ	
十日町市	グリーンイメージ国際環境映像祭	国際映画祭	2013年	—	—	2023年以降開催 なし。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
—			—	—		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
魚沼市	魚沼映画の専門店 / 優秀映画鑑賞推進事業		魚沼市響きの森文化会館 (← 魚沼市小出郷文化会館)			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
南魚沼市	優秀映画鑑賞推進事業ほか		南魚沼市民会館			
胎内市	優秀映画鑑賞推進事業		胎内市産業文化会館			

富山県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
富山県人口	986,224	995,955	1,061,393	-75,169
富山市(県庁所在地)人口	401,456	403,869	418,142	-16,686
富山県のスクリーン数	33	33	32	1
1スクリーン当り人口	29,886	30,180	33,169	
映画館年間観客数(概算)	1,390,000	1,040,000	1,310,000	
年間映画鑑賞回数	1.4	1.0	1.2	

映画館の状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
富山市	TOHOシネマズファボーレ富山	1	10	1	10	TOHOシネマズファボーレ富山	1	10
	J-MAXシアターとやま	1	8	1	8	J-MAXシアターとやま ^{※1}	1	8
						富山シアター大都会 ^{※2}	1	5
高岡市	TOHOシネマズ高岡	1	8	1	8	TOHOシネマズ高岡	1	8
砺波市	イオンシネマとなみ ^{※3}	1	5	1	5			
シネマコンプレックス 合計	4	31	4	31	合計	4	31	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
富山市	ほとり座 ^{※4}	ミ	1	1	1	1	フォルツァ総曲輪 ^{※4}	1	1
高岡市	御旅屋座(ダフレンズ) ^{※5}	ミ	1	1	1	1			
ミニシアター/名画座 合計	2	2	2	2	合計	1	1		

既存興行館	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
既存興行館 合計	0	0	0	0	合計	0	0

成人映画館	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	2	2	2	2	合計	1	1

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	4	31	4	31	4	31	0	0
ミニシアター/名画座 合計	2	2	2	2	1	1	1	1
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	2	2	2	2	1	1	1	1
富山県合計	6	33	6	33	5	32	1	1

公共上映の状況

映画祭	地域/国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
富山市	とやま映像祭	地域映画祭	2026年3月7日～8日	富山県教育文化会館	

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
富山市 エスポラキ スタジオ	オーバード・ホールほか

映画館以外で行われる上映活動B	会場
富山市 富山映画サークル協議会	-
とやま映像祭/わくわくシアター	富山県映像センター
高岡市 Uホール上映会	ふくおか総合文化センター Uホール
魚津市 映画上映会	新川文化ホール
黒部市 映画の森ほか	黒部市国際文化センター
南砺市 じょうはな名画座	南砺市城端伝統芸能会館
メモリアシアター倶楽部	南砺市井波総合文化センター
ホールシネマ・イン・富山	南砺市井波総合文化センター

※1 2016年6月開館
 ※2 2018年9月開館
 ※3 2023年7月開館

※4 2016年9月「フォルツァ総曲輪」閉館、11月シネマカフェ「ほとり座」開館。2020年6月日「フォルツァ総曲輪」に移転。
 ※5 2020年7月開館

石川県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
石川県人口	1,089,858	1,098,531	1,150,818	-60,960
金沢市(県庁所在地)人口	454,163	455,759	466,189	-12,026
石川県のスクリーン数	62	62	54	8
1スクリーン当り人口	17,578	17,718	21,311	
映画館年間観客数(概算)	1,620,000	1,210,000	1,660,000	
年間映画鑑賞回数	1.5	1.1	1.4	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
金沢市	ユナイテッド・シネマ金沢	1 9	1 9	ユナイテッド・シネマ金沢	1 9	
	イオンシネマ金沢	1 8	1 8	イオンシネマ金沢	1 8	
	イオンシネマ金沢フォーラス	1 9	1 9	イオンシネマ金沢フォーラス	1 9	
	金沢コロナシネマワールド	1 10	1 10	金沢コロナシネマワールド	1 10	
小松市	イオンシネマ新小松 ^{※1}	1 7	1 7			
かほく市	シネマサンシャインかほく	1 8	1 8	シネマサンシャインかほく	1 8	
白山市	イオンシネマ白山 ^{※2}	1 10	1 10			
野々市市				イオンシネマ御経塚 ^{※3}	1 8	
	シネマコンプレックス 合計	7 61	7 61	合計	6 52	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
金沢市	シネモンド	ミ 1 1	1 1	シネモンド	1 1	
	ミニシアター/名画座 合計	1 1	1 1	合計	1 1	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
	既存興行館 合計	0 0	0 0	合計	0 0	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
金沢市					金沢駅前シネマ ^{※4}	1 1
	成人映画館 合計	0 0	1 1	合計	1 1	
	シネマコンプレックス以外 合計	1 1	1 1	合計	2 2	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	7	61	7	61	6	52	1	9
ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	1	1	1	1	2	2	-1	-1
石川県合計	8	62	8	62	8	54	0	8

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
金沢市	カナザワ映画祭	地域映画祭	2007年 2025年9月18日～23日	金沢21世紀美術館	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数 席数		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場		
金沢市	広坂シネマクラブ 映画上映会ほか		金沢21世紀美術館		
小松市	ワークエンドシアター in うらら / 優秀映画鑑賞推進事業		石川県小松市團十郎芸術劇場うらら		
映画館以外で行われる上映活動 B			会場		
加賀市	みに・キネマ加賀 / 加賀市映画を観る会ほか		加賀市文化会館		

※1
2017年3月開館※2
2021年7月開館※3
2021年5月開館※4
2020年3月閉館

福井県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
福井県人口	731,805	738,691	782,232	-50,427
福井市(県庁所在地)人口	252,733	254,776	265,246	-12,513
福井県のスクリーン数	27	27	31	-4
1スクリーン当り人口	27,104	27,359	25,233	
映画館年間観客数(概算)	870,000	590,000	980,000	
年間映画鑑賞回数	1.2	0.8	1.3	

映画館の状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
福井市	テアトルサンク	1 5	1 5	テアトルサンク	1 5	
	福井コロナシネマワールド	1 10	1 10	福井コロナシネマワールド	1 10	
鯖江市	鯖江アレックスシネマ	1 7	1 7	鯖江アレックスシネマ	1 7	
	シネマコンプレックス 合計	3 22	3 22	合計	3 22	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
福井市	福井メトロ劇場	元既 1 1	1 1	福井メトロ劇場	1 1	
	ミニシアター/名画座 合計	1 1	1 1	合計	1 1	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
福井市					福井シネマ*	1 4
敦賀市	敦賀アレックスシネマ	既 1 4	1 4	敦賀アレックスシネマ	1 4	
	既存興行館 合計	1 4	1 4	合計	2 8	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
	成人映画館 合計	0 0	0 0	合計	0 0	
	シネマコンプレックス以外 合計	2 5	2 5	合計	3 9	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	3	22	3	22	3	22	0	0
ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
既存興行館 合計	1	4	1	4	2	8	-1	-4
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	2	5	2	5	3	9	-1	-4
福井県合計	5	27	5	27	6	31	-1	-4

公共上映の状況

映画祭	地域/国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
福井市	福井映画祭	地域映画祭	2006年 2025年11月30日	福井メトロ劇場	1日のみの開催。
	福井駅前短編映画祭	地域映画祭	2015年 2025年11月7日~9日	コノジナガヤシアスペース / テアトルサンク	
あわら市	あわら湯けむり芸術祭	地域映画祭	2015年 2026年3月1日~8日	-	

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
-	-

映画館以外で行われる上映活動B	会場
福井市	みに・キネマ福井上映会
	テアトルサンク
	ゆうあいシアター / 夏休みこどもシアター
	福井県生活学習館 ユー・アイふくい
越前市	映画上映会
	越前市文化センター
	優秀映画鑑賞推進事業
	越前市いまだて芸術館
美浜町	優秀映画鑑賞推進事業
	美浜町生涯学習センターなびあす
若狭町	優秀映画鑑賞推進事業ほか
	パレア若狭音楽ホール

※ 2018年9月閉館

山梨県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
山梨県人口	783,870	790,215	829,884	-46,014
甲府市(県庁所在地)人口	185,005	186,063	192,325	-7,320
山梨県のスクリーン数	12	12	14	-2
1スクリーン当り人口	65,323	65,851	59,277	
映画館年間観客数(概算)	860,000	500,000	880,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	0.6	1.1	

映画館の
状況

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
シネマコンプレックス								
昭和町	TOHOシネマズ甲府	1	9	1	9	TOHOシネマズ甲府	1	9
	シネマコンプレックス 合計	1	9	1	9	合計	1	9

シネマコンプレックス以外 ミニシアター/名画座/元既・既存館/既・既存館/新既・新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
ミニシアター/名画座								
	ミニシアター/名画座 合計	0	0	0	0	合計	0	0

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
既存興行館									
甲府市	シアターセントラル Be館 ^{*1}	既	1	2	1	2	シアターセントラル Be館	1	2
笛吹市							テアトル石和 ^{*2}	1	1
甲州市	塩山シネマ ^{*3}	既	1	1	1	1	塩山シネマ	1	1
	既存興行館 合計		2	3	2	3	合計	3	4

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
成人映画館								
甲府市					甲南劇場 ^{*4}	1	1	
	成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	1	1
	シネマコンプレックス以外 合計	2	3	2	3	合計	4	5

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	1	9	1	9	1	9	0	0
ミニシアター/名画座 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館 合計	2	3	2	3	3	4	-1	-1
成人映画館 合計	0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	2	3	2	3	4	5	-2	-2
山梨県合計	3	12	3	12	5	14	-2	-2

公共上映の
状況

映画祭	地域	国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
富士河口湖町	湖畔の映画祭		地域映画祭	2015年	-	2020年以降開催なし。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
甲府市 山梨県立文学館	-	-

映画館以外で行われる上映活動 A	会場
-	-

映画館以外で行われる上映活動 B	会場
都留市 映画上映会	都の杜うぐいすホール(塩山シネマ)
北杜市 北杜自主上映会	八ヶ岳やまびこホール/須玉ふれあい館ほか
身延町 身延シネマ鑑賞会	身延町総合文化会館
富士川町 優秀映画鑑賞推進事業ほか	富士川町ますほ文化ホール

^{*1} 2023年12月休館、休館中は貸館や出張上映を行う。2025年5月再開。

^{*2} 2018年2月閉館

^{*3} 2020年以降不定期営業。

^{*4} 2021年11月閉館

^{*5} 2026年3月「CineYama」(上野原市)開館。

長野県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
長野県人口	1,972,243	1,989,104	2,088,162	-115,919
長野市(県庁所在地)人口	358,783	361,626	376,202	-17,419
長野県のスクリーン数	73	64	63	10
1スクリーン当り人口	27,017	31,080	33,145	
映画館年間観客数(概算)	1,790,000	1,390,000	1,810,000	
年間映画鑑賞回数	0.9	0.7	0.9	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
長野市	長野グランドシネマズ	1	8	1	8	1	8
松本市	松本シネマライツ	1	8	1	8	1	8
	イオンシネマ松本*1	1	8	1	8		
上田市	TOHOシネマズ上田	1	8	1	8	1	8
岡谷市	岡谷スカラ座	1	7	1	7	1	7
須坂市	イオンシネマ須坂*2	1	9				
佐久市						1	8
山形村	アイシティシネマ	1	6	1	6	1	6
	アイシティシネマ						
	佐久アムシネマ*3						
	シネマコンプレックス 合計	7	54	6	45	6	45

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
長野市	長野ロキシー/松竹相生座	元既	1	3	1	3	1	3
上田市	上田映劇/トララム・ライゼ*4	元既	2	2	2	2		
塩尻市	塩尻東座1号館	元既	1	1	1	1	1	1
	塩尻東座2号館							
	シネマポイント*5							
	ミニシアター/名画座 合計	4	6	4	6	2	4	

既存興行館		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
長野市	長野千石劇場	既	1	3	1	3	1	3
飯田市	飯田常磐劇場	既	1	3	1	3	1	3
	飯田セングキシネマズ	既	1	4	1	4	1	4
伊那市	伊那旭座	既	1	2	1	2	1	2
	既存興行館 合計	4	12	4	12	5	13	

成人映画館		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
塩尻市	塩尻東座2号館	1	1	1	1	1	1
	成人映画館 合計	1	1	1	1	1	1
	シネマコンプレックス以外 合計	9	19	9	19	8	18

		2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
	シネマコンプレックス 合計	7	54	6	45	6	45	1	9
	ミニシアター/名画座 合計	4	6	4	6	2	4	2	2
	既存興行館 合計	4	12	4	12	5	13	-1	-1
	成人映画館 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
	シネマコンプレックス以外 合計	9	19	9	19	8	18	1	1
	長野県合計	16	73	15	64	14	63	2	10

*1
2017年9月開館*2
2025年10月開館*3
2023年9月閉館*4
2011年「上田映劇」閉館、2017年4月運営者を変え再開。2020年7月近隣の「上田でんき館」跡地を「トララム・ライゼ」として再開。それぞれを1館としてカウントする。*5
2020年6月閉館

**公共上映の
状況**

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
松本市	まつもと子どもたちの映画祭	地域映画祭	2009年	2025年7月12日	まつもと市民芸術館	1日のみの開催。
	マツモトフットボール映画祭	地域映画祭	2015年	2025年1月11日	まつもと市民芸術館	確認できず。 (1月現在)
上田市	うえだ城下町映画祭	地域映画祭	1997年	2025年11月21日～23日	上田映劇 / 犀の角	
飯山市	みゆき野映画祭	国際映画祭	2009年	2026年2月12日～14日	斑尾高原スキー場 / 飯山市文化交流館なちゅら	
茅野市	小津安二郎記念・蓼科高原映画祭	地域映画祭	1998年	2025年9月20日～21日	茅野市民館 / 新星劇場 / 無藝荘	
軽井沢町	まるっとみんなで映画祭	地域映画祭	2021年	2025年1月17日～20日	軽井沢町中央公民館 / 中軽井沢図書館 / 上田映劇	確認できず。 (1月現在)
原村	星空の映画祭	地域映画祭	2010年	2025年8月3日～17日	八ヶ岳自然文化園	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
茅野市	新・雲呼荘		-	-		
安曇野市	熊井啓記念館		-	-		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
松本市	松本 CINEMA セレクト		まつもと市民芸術館 / 松本市中央公民館ほか			
	上土シネマミュージアム		上土シネマミュージアム(元映画館)			
上田市	うえだ子どもシネマクラブ		上田映劇			
伊那市	赤石商店シネマスタジオ		赤石商店			
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
松本市	優秀映画鑑賞推進事業ほか		松本市波田文化センター			
下諏訪町	優秀映画鑑賞推進事業		下諏訪総合文化センター			
木曾町	優秀映画鑑賞推進事業ほか		木曾文化公園文化ホール			

岐阜県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
岐阜県人口	1,897,676	1,913,076	2,022,785	-125,109
岐阜市(県庁所在地)人口	392,350	394,133	405,582	-13,232
岐阜県のスクリーン数	61	55	56	5
1スクリーン当り人口	31,109	34,783	36,121	
映画館年間観客数(概算)	2,240,000	1,720,000	2,350,000	
年間映画鑑賞回数	1.2	0.9	1.2	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
岐阜市	TOHOシネマズ岐阜	1	10	1	10	1	10
大垣市	大垣コロナシネマワールド	1	10	1	10	1	10
関市	関シネックスマーゴ	1	8	1	8	1	8
土岐市	イオンシネマ土岐※1	1	6				
各務原市	イオンシネマ各務原	1	10	1	10	1	10
本巣市	TOHOシネマズモレラ岐阜	1	12	1	12	1	12
シネマコンプレックス 合計		6	56	5	50	5	50

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
岐阜市	CINEX※2	元既	1	3	1	3	
	ロイヤル劇場※3	名	1	1	1	1	
ミニシアター/名画座 合計			2	4	2	4	合計
						0	0

既存興行館		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
岐阜市						CINEX※2	1	4
						ロイヤル劇場※3	1	1
既存興行館 合計		0	0	0	0	合計	2	5

成人映画館		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
岐阜市	岐阜朝日劇場	1	1	1	1	岐阜朝日劇場	1	1
成人映画館 合計		1	1	1	1	合計	1	1
シネマコンプレックス以外 合計		3	5	3	5	合計	3	6

		2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		6	56	5	50	5	50	1	6
ミニシアター/名画座 合計		2	4	2	4	0	0	2	4
既存興行館 合計		0	0	0	0	2	5	-2	-5
成人映画館 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	5	3	5	3	6	0	-1
岐阜県合計		9	61	8	55	8	56	1	5

※1
2025年4月開館※2
2020年～2023年4スクリーンのうち既存興行館2スクリーン、ミニシアター2スクリーンにカウント。2024年スクリーン数4→3、全スクリーンをミニシアターとしてカウント。※3
2020年より既存興行館からミニシアター/名画座に移行。

**公共上映の
状況**

映画祭		地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
岐阜市	ぎふアジア映画祭	地域映画祭	2002年	2025年9月15日～11月2日	ぎふしんフォーラム / 岐阜市文化センター / CINEX	
	MKE映画祭	地域映画祭	2012年	2025年6月28日	岐阜県図書館	1日のみの開催。
可児市	アキラ映画祭	地域映画祭	2006年	2025年11月14日～16日	可児市文化創造センター	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
羽島市	羽島市映画資料館(羽島市歴史民俗資料館)		1	-		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
高山市	ワンコインシネマ		高山市民文化会館			
	モンデウスシアター		高山市位山交流広場モンデウスパーク			
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
羽島市	夏休み子ども映画会		不二羽島文化センター			
可児市	アキラキネマ倶楽部 / アキラ映画祭ほか		可児市文化創造センター アーラ			

静岡県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
静岡県人口	3,491,925	3,524,160	3,687,821	-195,896
静岡市(県庁所在地)人口	666,764	672,291	702,052	-35,288
静岡県のスクリーン数	106	106	96	10
1スクリーン当り人口	32,943	33,247	38,415	
映画館年間観客数(概算)	4,980,000	3,820,000	5,020,000	
年間映画鑑賞回数	1.4	1.1	1.4	

映画館の状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
静岡市	MOVIX 清水	1 9	1 9	MOVIX 清水	1 9	
	シネシティザート	1 10	1 10	シネシティザート	1 10	
浜松市	TOHOシネマズ浜松	1 9	1 9	TOHOシネマズ浜松	1 9	
	TOHOシネマズサンストリート浜北	1 9	1 9	TOHOシネマズサンストリート浜北	1 9	
沼津市	シネマサンシャイン沼津 ^{※1}	1 8	1 8	シネマサンシャイン沼津	1 8	
	シネマサンシャインららぽーと沼津 ^{※2}	1 10	1 10			
三島市	ジョイランドみしま	1 6	1 6	ジョイランドみしま	1 6	
富士宮市	イオンシネマ富士宮	1 6	1 6	イオンシネマ富士宮	1 6	
磐田市	TOHOシネマズららぽーと磐田	1 10	1 10	TOHOシネマズららぽーと磐田	1 10	
藤枝市	藤枝シネ・プレーゴ	1 7	1 7	藤枝シネ・プレーゴ	1 7	
清水町	シネプラザサントムーン	1 12	1 12	シネプラザサントムーン	1 12	
	シネマコンプレックス 合計	11 96	11 96	合計	10 86	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
静岡市	静岡シネ・ギャラリー	ミ 1 2	1 2	静岡シネ・ギャラリー	1 2	
浜松市	シネマイーラ	ミ 1 1	1 1	シネマイーラ	1 1	
伊東市	金星シネマ ^{※3}	ミ 1 1	1 1			
	ミニシアター/名画座 合計	3 4	3 4	合計	2 3	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
静岡市	静岡東宝会館	既 1 5	1 5	静岡東宝会館	1 5	
	既存興行館 合計	1 5	1 5	合計	1 5	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
浜松市	シネマハウス新映	1 1	1 1	シネマハウス新映	1 1	
沼津市				沼津シネマ10 ^{※4}	1 1	
	成人映画館 合計	1 1	1 1	合計	2 2	
シネマコンプレックス以外 合計	5 10	5 10	合計	5 10		

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	11	96	11	96	10	86	1	10
ミニシアター/名画座 合計	3	4	3	4	2	3	1	1
既存興行館 合計	1	5	1	5	1	5	0	0
成人映画館 合計	1	1	1	1	2	2	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	5	10	5	10	5	10	0	0
静岡県合計	16	106	16	106	15	96	1	10

※1 2026年4月の閉館を発表。

※2 2019年6月開館

※3 2024年9月開館

※4 2020年12月閉館

**公共上映の
状況**

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
浜松市	はままつ映画祭	地域映画祭	2001年	2026年2月8日	クリエート浜松	1日のみの開催。
沼津市	めぐる沼津映画祭	地域映画祭	2023年	2025年11月8日	サンフロントホールほか	1日のみの開催。
	丘の向こうに森の映画祭 (夜空と交差する森の映画祭)	地域映画祭	2014年	2025年9月27日～28日	INN THE PARK 沼津	
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数			
浜松市	木下恵介記念館	1	-			
映画館以外で行われる上映活動 A		会場				
沼津市	スキマ cinema	沼津市内各所				
映画館以外で行われる上映活動 B		会場				
静岡市	夢町座	夢町座				
	清水映画サークル協議会	はーとびあ清水、岡生涯学習交流館ほか				
浜松市	新作映画上映	みをつくし文化センター(天竜光明会館)				
	新作映画上映	なゆた浜北(天竜光明会館)				
	新作映画上映	雄踏文化センター(天竜光明会館)				
掛川市	新作映画上映	掛川市生涯学習センター(天竜光明会館)				
袋井市	優秀映画鑑賞推進事業	袋井市メロープラザ				
下田市	映画上映会	下田市民文化会館				
御前崎市	御前崎みんなの映画祭ほか	御前崎市市民会館				

愛知県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
愛知県人口	7,453,803	7,465,250	7,507,251	-53,448
名古屋市(県庁所在地)人口	2,338,873	2,331,264	2,305,134	33,739
愛知県のスクリーン数	276	266	275	1
1スクリーン当り人口	27,007	28,065	27,299	
映画館年間観客数(概算)	12,130,000	9,130,000	12,130,000	
年間映画鑑賞回数	1.6	1.2	1.6	

映画館の状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
名古屋市	中川コロナシネマワールド	1	12	1	12	中川コロナシネマワールド	1	12
	イオンシネマ ワンダー	1	10	1	10	イオンシネマ ワンダー	1	10
	109シネマズ名古屋	1	10	1	10	109シネマズ名古屋	1	10
	ミッドランドスクエア シネマ	1	14	1	14	ミッドランドスクエア シネマ ^{*1}	1	14
	イオンシネマ大高	1	10	1	10	イオンシネマ大高	1	10
	イオンシネマ名古屋茶屋	1	12	1	12	イオンシネマ名古屋茶屋	1	12
						TOHOシネマズ名古屋ベイシティ ^{*2}	1	12
豊橋市	ユナイテッド・シネマ豊橋 18	1	18	1	18	ユナイテッド・シネマ豊橋 18	1	18
岡崎市	ローソン・ユナイテッドシネマ岡崎 ^{*3}	1	9	1	9	シネプレックス岡崎 ^{*3}	1	9
	イオンシネマ岡崎	1	10	1	10	イオンシネマ岡崎	1	10
一宮市	TOHOシネマズ木曾川	1	10	1	10	TOHOシネマズ木曾川	1	10
半田市						半田コロナシネマワールド ^{*4}	1	11
春日井市						春日井コロナシネマワールド ^{*5}	1	8
豊川市	豊川コロナシネマワールド	1	10	1	10	豊川コロナシネマワールド	1	10
	イオンシネマ豊川	1	7	1	7	イオンシネマ豊川	1	7
津島市	TOHOシネマズ津島	1	10	1	10	TOHOシネマズ津島	1	10
豊田市	イオンシネマ豊田KiTARA ^{*6}	1	9	1	9			
安城市	安城コロナシネマワールド	1	10	1	10	安城コロナシネマワールド	1	10
	シネマららぽーと安城 ^{*7}	1	10					
常滑市	イオンシネマ常滑 ^{*8}	1	9	1	9			
小牧市	小牧コロナシネマワールド	1	10	1	10	小牧コロナシネマワールド	1	10
稲沢市	ユナイテッド・シネマ稲沢	1	9	1	9	ユナイテッド・シネマ稲沢	1	9
日進市	TOHOシネマズ赤池 ^{*9}	1	10	1	10			
みよし市	MOVIX 三好	1	12	1	12	MOVIX 三好	1	12
長久手市	イオンシネマ長久手	1	10	1	10	イオンシネマ長久手 ^{*10}	1	10
豊山町	ミッドランドシネマ名古屋空港	1	12	1	12	ミッドランドシネマ名古屋空港	1	12
阿久比町	ユナイテッド・シネマ阿久比	1	9	1	9	ユナイテッド・シネマ阿久比	1	9
東浦町	TOHOシネマズ東浦	1	9	1	9	TOHOシネマズ東浦	1	9
	シネマコンプレックス 合計	25	261	24	251	合計	24	254

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
名古屋市	ナゴヤキネマ・ノイ ^{*11}	ミ	1	1			
					名古屋シネマテーク ^{*11}	1	1
					名演小劇場 ^{*12}	1	2
	シネマスコーレ	ミ	1	1	シネマスコーレ	1	1
	センチュリーシネマ	ミ	1	2	センチュリーシネマ	1	2
	伏見ミリオン座 ^{*13}	ミ	1	4	伏見ミリオン座 ^{*13}	1	3
	大須シネマ ^{*14}	ミ	1	1			
	三越映画劇場 ^{*15}	ミ	1	1	三越映画劇場	1	1
					キノシタホール ^{*16}	1	1
刈谷市	刈谷日劇 ^{*17}	元既	1	2			
	ミニシアター/名画座 合計		7	12	合計	7	11

既存興行館	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
名古屋市					ピカデリー ^{*18}	1	2
刈谷市					刈谷日劇 ^{*17}	1	2
豊田市					トヨタグラント ^{*19}	1	2
	既存興行館 合計	0	0	0	合計	3	6

		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館							
名古屋市	中村映劇	1	1	1	1	1	1
一宮市						尾西シネラマパワー ^{※20}	1
春日井市	春日井ユニオン劇場	1	1	1	1	春日井ユニオン劇場	1
西尾市	鶴城映劇	1	1	1	1	鶴城映劇	1
	成人映画館 合計	3	3	3	3	合計	4
	シネマコンプレックス以外 合計	10	15	10	15	合計	21

		2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
	シネマコンプレックス 合計	25	261	24	251	24	254	1	7
	ミニシアター / 名画座 合計	7	12	7	12	7	11	0	1
	既存興行館 合計	0	0	0	0	3	6	-3	-6
	成人映画館 合計	3	3	3	3	4	4	-1	-1
	シネマコンプレックス以外 合計	10	15	10	15	14	21	-4	-6
	愛知県合計	35	276	34	266	38	275	-3	1

公共上映の状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
名古屋市	あいち国際女性映画祭	国際映画祭	1996年	2025年9月11日～15日	ウイルあいち / ミッドランドスクエア シネマ	
	なごや国際オーガニック映画祭	国際映画祭	2012年	-	-	2024年度以降開催なし。
	あいち・なごやインターナショナル・アニメーション・フィルム・フェスティバル	国際映画祭	2025年	2025年12月12日～17日	ミッドランドスクエア シネマ / 109シネマズ名古屋ほか	2025年第1回開催。
	アートフィルム・フェスティバル	地域映画祭	1996年	2025年6月15日	愛知芸術文化センター	1日のみの開催。
	大須にじいろ映画祭	地域映画祭	2015年	-	-	2020年以降開催なし。
豊橋市	とよはしまちなかスロータウン映画祭	地域映画祭	2002年	2026年1月24日～2月15日	穂の国とよはし芸術劇場 PLAT	
東海市	知多半島映画祭	地域映画祭	2011年	2025年11月1日	東海市芸術劇場	1日のみの開催。
大府市	おおぶ映画祭	地域映画祭	2018年	2026年3月14日～15日	愛三文化会館	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
名古屋市	愛知芸術文化センター / 愛知県立美術館		1	180		
豊田市	豊田郷土資料館		-	-		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
名古屋市	シアター・カフェ		シアター・カフェ			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
春日井市	かすがい日曜シネマ		文化フォーラム春日井 / 春日井市東部市民センター			

※1_ 2016年7月スクリーン数7→14

※2_ 2020年11月閉館

※3_ 2018年2月「シネプレックス岡崎」→「ユナイテッド・シネマ岡崎」、2025年7月「ローソン・ユナイテッドシネマ岡崎」に改称。

※4_ 2019年5月閉館

※5_ 2017年2月閉館

※6_ 2017年11月閉館

※7_ 2025年4月開館

※8_ 2017年7月開館

※9_ 2017年11月開館

※10_ 2016年12月開館

※11_ 2023年7月「名古屋シネマテーク」閉館、2024年3月「ナゴヤキネマ・ノイ」開館。

※12_ 2023年3月休館後、11月閉館。

※13_ 2019年4月移転、スクリーン数3→4。

※14_ 2019年4月開館 2025年4月閉館

※15_ 2020年10月休館、運営母体を変え2023年3月再開。

※16_ 2019年4月閉館

※17_ 2020年より既存興行館からミニシアターに移行。2025年12月閉館

※18_ 2016年6月閉館

※19_ 2019年4月閉館

※20_ 2020年12月閉館

※21_ 2026年6月「TOHOシネマズ栄」(名古屋市)開館予定。

三重県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
三重県人口	1,695,415	1,711,370	1,807,611	-112,196
津市(県庁所在地)人口	264,568	267,001	278,674	-14,106
三重県のスクリーン数	63	63	58	5
1スクリーン当り人口	26,911	27,165	31,166	
映画館年間観客数(概算)	2,380,000	1,840,000	2,250,000	
年間映画鑑賞回数	1.4	1.1	1.2	

映画館の状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
津市	イオンシネマ津*1	1 7	1 7	イオンシネマ津	1 7	
	イオンシネマ津南*2	1 9	1 9			
四日市市	109シネマズ四日市	1 9	1 9	109シネマズ四日市	1 9	
桑名市	イオンシネマ桑名	1 8	1 8	イオンシネマ桑名	1 8	
鈴鹿市	イオンシネマ鈴鹿	1 8	1 8	イオンシネマ鈴鹿	1 8	
東員町	イオンシネマ東員	1 10	1 10	イオンシネマ東員	1 10	
明和町	109シネマズ明和	1 8	1 8	109シネマズ明和	1 8	
シネマコンプレックス 合計	7	59	7	59	6	50

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
伊勢市	進富座	ミ 1 2	1 2	進富座	1 2	
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	1	2

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
伊賀市					ジストシネマ伊賀上野**3	1 4
既存興行館 合計	0	0	0	0	1	4

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
四日市市	ロッポニカ四日市	1 1	1 1	ロッポニカ四日市	1 1	
松阪市	松阪大映劇場	1 1	1 1	松阪大映劇場	1 1	
成人映画館 合計	2	2	2	2	2	2
シネマコンプレックス以外 合計	3	4	3	4	4	8

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	7	59	7	59	6	50	1	9
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	1	2	0	0
既存興行館 合計	0	0	0	0	1	4	-1	-4
成人映画館 合計	2	2	2	2	2	2	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	4	3	4	4	8	-1	-4
三重県合計	10	63	10	63	10	58	0	5

公共上映の状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
津市	三重県内男女共同参画連携映画祭	地域映画祭	2006年 2025年6月7日~2026年1月25日	三重県内各会場	
四日市市	四日市映画祭	地域映画祭	2007年 2025年12月20日~21日	近鉄百貨店四日市店	
志摩市	賢島映画祭	地域映画祭	2015年	-	確認できず。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
亀山市 亀山市歴史博物館	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
-	-

映画館以外で行われる上映活動B	会場
伊勢市 優秀映画鑑賞推進事業	伊勢市生涯学習センター いせトピア
尾鷲市 せぎやまロードショー	尾鷲市民文化会館
亀山市 優秀映画鑑賞推進事業	亀山市文化会館

*1 2025年6月閉館
*2 2018年11月開館

**3 2018年2月閉館

滋賀県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
滋賀県人口	1,396,532	1,400,812	1,413,079	-16,547
大津市(県庁所在地)人口	344,395	344,659	340,956	3,439
滋賀県のスクリーン数	33	33	38	-5
1スクリーン当り人口	42,319	42,449	37,186	
映画館年間観客数(概算)	1,690,000	1,230,000	1,610,000	
年間映画鑑賞回数	1.2	0.9	1.1	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
大津市	ユナイテッド・シネマ大津	1 7	1 7	ユナイテッド・シネマ大津	1 7	
				大津アレックスシネマ*	1 5	
近江八幡市	イオンシネマ近江八幡	1 8	1 8	イオンシネマ近江八幡	1 8	
草津市	イオンシネマ草津	1 9	1 9	イオンシネマ草津	1 9	
甲賀市	水口アレックスシネマ	1 5	1 5	水口アレックスシネマ	1 5	
	シネマコンプレックス 合計	4 29	4 29	合計	5 34	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
	0	0	0	0	0	0
	ミニシアター/名画座 合計	0 0	0 0	合計	0 0	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
彦根市	彦根ビバシティシネマ	既 1 4	1 4	彦根ビバシティシネマ	1 4	
	既存興行館 合計	1 4	1 4	合計	1 4	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
	0	0	0	0	0	0
	成人映画館 合計	0 0	0 0	合計	0 0	
	シネマコンプレックス以外 合計	1 4	1 4	合計	1 4	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	4	29	4	29	5	34	-1	-5
ミニシアター/名画座 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館 合計	1	4	1	4	1	4	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	1	4	1	4	1	4	0	0
滋賀県合計	5	33	5	33	6	38	-1	-5

公共上映の
状況

映画祭	地域	国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
東近江市	滋賀国際映画祭	地域映画祭	2018年	-	-	2023年以降開催なし。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
大津市	子ども映画会
大津市	大津市生涯学習センター
長浜市	宮前シネマ
長浜市	宮前舎(cinemo)

映画館以外で行われる上映活動B	会場
長浜市	優秀映画鑑賞推進事業
長浜市	木之本スティックホール
近江八幡市	G-NETシネマ
近江八幡市	男女共同参画センター G-NETしが
甲賀市	碧水ホール
甲賀市	碧水ホール
東近江市	優秀映画鑑賞推進事業
東近江市	東近江市あかね文化ホール
東近江市	優秀映画鑑賞推進事業
東近江市	八日市文化芸術会館

※
2022年3月閉館

京都府

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
京都府人口	2,506,615	2,521,262	2,607,663	-101,048
京都市(県庁所在地)人口	1,433,071	1,437,377	1,475,909	-42,838
京都府のスクリーン数	82	82	75	7
1スクリーン当り人口	30,568	30,747	34,769	
映画館年間観客数(概算)	4,990,000	3,680,000	4,530,000	
年間映画鑑賞回数	2.0	1.5	1.7	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
京都市	MOVIX 京都	1	12	1	12	1	12
	TOHOシネマズ二条	1	11	1	11	1	11
	T・ジョイ京都	1	12	1	12	1	12
	イオンシネマ京都桂川	1	12	1	12	1	12
木津川市	イオンシネマ高の原	1	9	1	9	1	9
久御山町	イオンシネマ久御山	1	8	1	8	1	8
シネマコンプレックス 合計		6	64	6	64	6	64

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
京都市	京都シネマ	ミ	1	3	1	3	1	3
	出町座 ^{※1}	ミ	1	2	1	2		
	アップリンク京都 ^{※2}	ミ	1	4	1	4		
						京都みなみ会館 ^{※3}	1	1
舞鶴市	シネ・グルージャ[カフェシネマ] ^{※4}	ミ	1	1	1	1		
	ミニシアター/名画座 合計		4	10	4	10	2	4

既存興行館		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
福知山市	福知山シネマ ^{※5}	既	1	3	1	3	1	2
舞鶴市	舞鶴八千代	既	1	3	1	3	1	3
既存興行館 合計			2	6	2	6	2	5

成人映画館		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
京都市	本町館 ^{※6}	1	1	1	1	1	1
	千本日活	1	1	1	1	1	1
成人映画館 合計		2	2	2	2	2	2
シネマコンプレックス以外 合計		8	18	8	18	6	11

		2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		6	64	6	64	6	64	0	0
ミニシアター/名画座 合計		4	10	4	10	2	4	2	6
既存興行館 合計		2	6	2	6	2	5	0	1
成人映画館 合計		2	2	2	2	2	2	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		8	18	8	18	6	11	2	7
京都府合計		14	82	14	82	12	75	2	7

※1
2017年12月開館

※2
2020年6月開館

※3
2018年3月休館、2019年8月新館開館(スクリーン数1→3)。2023年9月閉館。

※4
2019年7月開館

※5
2017年頃スクリーン数2→3

※6
2025年10月閉館

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
京都市	京都国際子ども映画祭	国際映画祭	1994年	2025年8月9日～11日	京都文化博物館	
	京都国際学生映画祭	国際映画祭	2000年	2026年2月20日～23日	京都文化博物館	
	京都ヒストリカ国際映画祭	国際映画祭	2009年	2025年12月2日～7日	京都文化博物館	
	京まちなか映画祭	地域映画祭	2002年	2025年12月12日～14日	京都文化博物館	
	下鴨映画祭	地域映画祭	2023年	2025年12月11日	京都府立文化芸術会館	1日のみの開催。
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数			
京都市	京都文化博物館フィルムシアター	1	172			
	おもちゃ映画ミュージアム	1	24			
	京都府立図書館	-	-			
	立命館大学アート・リサーチセンター	-	-			
	東映太秦映画村 映画図書室	-	-			
映画館以外で行われる上映活動 A		会場				
京都市	京都国立近代美術館	京都国立近代美術館				
	京都映画サークル協議会	京都教育文化センター				
	WOT(ワット=What's On Thursday)	同志社大学寒梅館 ハーディーホール				
	京都映画センター	京都市呉竹文化センターほか				
綾部市	中丹映画大好き劇場	中丹文化会館				
宇治市	宇治セレクトシネマ	宇治市文化センター(京都映画センター)				
映画館以外で行われる上映活動 B		会場				
京都市	映画上映会	京都市北文化会館(京都映画センター)				
宮津市	みやづシネマ劇場	宮津会館・みやづ歴史の館				
城陽市	パルクシネマ	文化パルク城陽				
長岡京市	映画上映会	長岡京記念文化会館(京都映画センター)				
八幡市	シネマ in 八幡	八幡市文化センター				
京丹後市	丹後映画大好き劇場ほか	京都府丹後文化会館				
木津川市	あじさいシアター	木津川市加茂文化センター				
久御山町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	久御山町ふれあい交流館 ゆうホール				
精華町	けいはんな映画劇場	けいはんなプラザ				

大阪府

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
大阪府人口	8,777,998	8,770,315	8,840,322	-62,324
大阪市(県庁所在地)人口	2,816,247	2,791,907	2,693,309	122,938
大阪府のスクリーン数	242	241	224	18
1スクリーン当り人口	36,273	36,391	39,466	
映画館年間観客数(概算)	15,650,000	11,990,000	14,740,000	
年間映画鑑賞回数	1.8	1.4	1.7	

映画館の
状況

映画館の 状況	シネマコンプレックス	2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
大阪府	なんばパークスシネマ	1	11	1	11	1	11	
	あべのアポロシネマ*1	1	9	1	9	1	8	
	TOHOシネマズ梅田	1	10	1	10	1	10	
	T・ジョイ梅田*2	1	7	1	7	1	7	
	大阪ステーションシティシネマ	1	12	1	12	1	12	
	TOHOシネマズなんば	1	12	1	12	1	12	
	イオンシネマシアタス心齋橋*3	1	7	1	7			
	堺市	MOVIX堺*4	1	12	1	12	1	12
	TOHOシネマズ鳳	1	10	1	10	1	10	
	TOHOシネマズ泉北	1	9	1	9	1	9	
	岸和田市	ユナイテッド・シネマ岸和田	1	9	1	9	1	9
	吹田市	109シネマズ大阪エキスポシティ	1	11	1	11	1	11
	高槻市	高槻アレックスシネマ	1	9	1	9	1	9
	守口市	イオンシネマ大日	1	8	1	8	1	8
	枚方市	ユナイテッド・シネマ枚方*5	1	9	1	9	1	9
		TOHOシネマズくずはモール	1	10	1	10	1	10
	茨木市	イオンシネマ茨木	1	10	1	10	1	10
	八尾市	MOVIX八尾*6	1	12	1	12	1	12
	松原市	TOHOシネマズセブンパーク天美*7	1	10	1	10		
	箕面市	109シネマズ箕面	1	9	1	9	1	9
	門真市	TOHOシネマズららぽーと門真*8	1	9	1	9		
	東大阪市						1	7
	泉南市	イオンシネマりんくう泉南	1	8	1	8	1	8
四條畷市	イオンシネマ四條畷	1	11	1	11	1	11	
	シネマコンプレックス 合計	23	224	23	224	21	204	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくきた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
大阪府	シネ・ヌーヴォ / シネ・ヌーヴォ X	ミ 1 2	1 2	シネ・ヌーヴォ / シネ・ヌーヴォ X	1 2	
	第七藝術劇場	ミ 1 1	1 1	第七藝術劇場	1 1	
	シアターセブン*10	ミ - 1	- 1	シアターセブン*10	- 1	
	テアトル梅田(←シネ・リーブル梅田)*11	ミ 1 4	1 4	シネ・リーブル梅田*11	1 4	
				テアトル梅田*12	1 2	
	扇町キネマ*13	ミ 1 1	1 1			
	キノシネマ心齋橋*14	ミ 1 2	1 2			
	シネマート心齋橋*14	ミ - -	- -	シネマート心齋橋	1 2	
	シアターエミュ*15	ミ 1 1				
	新世界国際劇場*16	名 1 1	1 1	新世界国際劇場	1 1	
	新世界東映	名 1 1	1 1	新世界東映	1 1	
	ミニシアター/名画座 合計	8 14	8 14	合計	7 14	

既存興行館	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
大阪府					淡路東宝*17	1 1
	既存興行館 合計	0 0	0 0	合計	1 1	

成人映画館	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
大阪府	日劇シネマ/ローズ	1 2	1 2	日劇シネマ/ローズ	1 2	
	上六シネマ	1 1	1 1	上六シネマ	1 1	
	新世界国際地下劇場*15	1 1	1 1	新世界国際地下劇場	1 1	
				国名小劇*18	1 1	
	成人映画館 合計	3 4	3 4	合計	4 5	
	シネマコンプレックス以外 合計	11 18	10 17	合計	12 20	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	23	224	23	224	21	204	2	20
ミニシアター / 名画座 合計	8	14	7	13	7	14	1	0
既存興行館 合計	0	0	0	0	1	1	-1	-1
成人映画館 合計	3	4	3	4	4	5	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	11	18	10	17	12	20	-1	-2
大阪府合計	34	242	33	241	33	224	1	18

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
大阪市	大阪アジア映画祭	国際映画祭	2005年 2025年8月29日～9月7日	ABCホール、テアトル梅田、T・ジョイ梅田、中之島美術館ほか	2025年は万博に合わせて開催。2026年3月の開催はなし。
	関西クィア映画祭	国際映画祭	2006年 2025年12月5日～7日(大阪)	豊中すてつぷ/ウイングス京都	京都でも開催。
	花開くコリア・アニメーション+アジア	国際映画祭	2008年 -	-	2024年以降開催なし。
	大阪韓国映画祭	国際映画祭	2015年 2025年11月24日～30日	大阪韓国文化院	
	おおさかシネマフェスティバル	地域映画祭	1976年 2026年3月8日	ホテルエルセラーン大阪	1日みの開催。
	中之島映画祭	地域映画祭	2003年 2025年5月3日～5日	大阪市中央公会堂	
	十三下町映画祭	地域映画祭	2024年 2025年11月7日～9日	シアターセブン / 第七芸術劇場	
	JCF学生映画祭	地域映画祭	2003年 2026年3月7日～8日	大阪大学中之島芸術センター	毎年開催地を変更して実施。
泉佐野市	泉佐野フィルムフェス	地域映画祭	2025年 2025年11月29日～30日	エブノ泉の森ホール	
門真市	門真国際映画祭	国際映画祭	2018年 -	-	2022年以降開催なし。

シネマテーク及び映画資料館等

		ホール数	席数
大阪市	ブラネット映画資料図書館(ブラネットプラスワン)	1	25
吹田市	国立民族学博物館	1	450
池田市	阪急文化財団池田文庫	-	-
河南町	大阪芸術大学博物館	-	-

映画館以外で行われる上映活動A

	会場
大阪市	ウィークエンドシネマ 土間シネマ
豊中市	とよキネマ
大東市	映画上映会

映画館以外で行われる上映活動B

	会場
大阪市	つるみヒューマンシアター あべのコミュニティシネマ 大阪映画センター
堺市	東文化名画座 / 子ども映画会 名画鑑賞会
豊中市	すてつぷ映画上映会
枚方市	映画上映会
茨木市	話題の映画@茨木 優秀映画鑑賞推進事業
富田林市	すばる映画祭 - Film Collection とんだばやしシネマプラス 優秀映画鑑賞推進事業
寝屋川市	優秀映画鑑賞推進事業
河内長野市	シネマ de ラブリー
大東市	優秀映画鑑賞推進事業
和泉市	弥生の風名作シネマ劇場
柏原市	リビエール映画上映会
摂津市	優秀映画鑑賞推進事業
東大阪市	いこう!らむシネマ

※1
2017年3月スクリーン数8→9

※2
2023年4月「梅田ブルク7」→「T・ジョイ梅田」に改称。

※3
2021年3月開館

※4
2026年2月開館

※5
2017年2月運営会社が変わり「シネプレックス枚方」→「ユナイテッド・シネマ枚方」。2025年2月閉館

※6
2023年8月～2024年11月休館

※7
2021年11月開館

※8
2023年4月開館

※9
2020年2月閉館

※10
「第七芸術劇場」と「シアターセブン」を合わせて1館としてカウント。

※11
2024年4月「シネ・リーブル梅田」→「テアトル梅田」に改称。

※12
2022年9月閉館

※13
2023年10月開館

※14
2024年10月「シネマート心斎橋」閉館、12月同地に「キノシネマ心斎橋」開館。

※15
2025年11月開館

※16
2016年3月閉館

※17
2017年5月閉館

※18
2021年12月閉館

兵庫県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
兵庫県人口	5,306,818	5,336,665	5,525,807	-218,989
神戸市(県庁所在地)人口	1,486,038	1,492,282	1,537,471	-51,433
兵庫県のスクリーン数	120	120	124	-4
1スクリーン当り人口	44,223	44,472	44,563	
映画館年間観客数(概算)	6,020,000	4,230,000	6,080,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	0.8	1.1	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
神戸市	109	10	1	10	1	10
	OSシネマズミント神戸	1	8	OSシネマズミント神戸	1	8
	OSシネマズ神戸ハーバーランド*1	1	10	OSシネマズ神戸ハーバーランド*1	1	9
姫路市	アースシネマズ姫路	1	12	アースシネマズ姫路	1	12
尼崎市	MOVIXあまがさき	1	11	MOVIXあまがさき	1	11
明石市	イオンシネマ明石	1	7	イオンシネマ明石	1	7
西宮市	TOHOシネマズ西宮OS	1	12	TOHOシネマズ西宮OS	1	12
伊丹市	TOHOシネマズ伊丹	1	8	TOHOシネマズ伊丹	1	8
加古川市	イオンシネマ加古川	1	8	イオンシネマ加古川	1	8
三田市	イオンシネマ三田ウッディタウン	1	7	イオンシネマ三田ウッディタウン	1	7
シネマコンプレックス 合計	10	93	10	93	10	92

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
ミニシアター/名画座							
神戸市	シネ・リーブル神戸*2	ミ	1	3	シネ・リーブル神戸*2	1	3
	元町映画館	ミ	1	1	元町映画館	1	1
	キノシネマ神戸国際*3	元既	1	4			
	シネマ神戸*4	名	1	2	シネマ神戸*4	1	1
	バルシネマしんこうえん	名	1	1	バルシネマしんこうえん	1	1
尼崎市	塚口サンサン劇場*5	元既	-	2			
豊岡市	豊岡劇場*6	元既	-	1	豊岡劇場*6	-	1
宝塚市	シネ・ピビア	ミ	1	2	シネ・ピビア	1	2
丹波市	エビスシネマ*7	ミ	1	1			
ミニシアター/名画座 合計	7	17	7	17	5	9	

	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
既存興行館							
神戸市	カナートホール	既	1	1	カナートホール	1	1
姫路市					神戸国際松竹*3	1	4
					シネパレス山陽座*8	1	4
					姫路OS*9	1	3
尼崎市	塚口サンサン劇場*5	既	1	2	塚口サンサン劇場	1	4
洲本市	洲本オリオン	既	1	1	洲本オリオン*10	0	0
豊岡市	豊岡劇場*6	新既	1	1	豊岡劇場*6	1	1
赤穂市	ブラット赤穂シネマ	既	1	3	ブラット赤穂シネマ	1	3
既存興行館 合計	5	8	5	8	7	20	

	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
成人映画館							
神戸市	福原国際東映	1	1	福原国際東映	1	1	
					シネマ神戸2*4	1	1
尼崎市	尼崎パレス	1	1	尼崎パレス	1	1	
成人映画館 合計	2	2	2	2	3	3	
シネマコンプレックス以外 合計	14	27	14	27	15	32	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	10	93	10	93	10	92	0	1
ミニシアター/名画座 合計	7	17	7	17	5	9	2	8
既存興行館 合計	5	8	5	8	7	20	-2	-12
成人映画館 合計	2	2	2	2	3	3	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	14	27	14	27	15	32	-1	-5
兵庫県合計	24	120	24	120	25	124	-1	-4

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
神戸市	神戸発掘映画祭	地域映画祭	2009年	2025年10月11日～13日	神戸映画資料館	
	神戸クラシックコメディ映画祭	地域映画祭	2017年	2026年1月10日～12日	神戸映画資料館/ 旧グッゲンハイム邸	
	神戸インディペンデント映画祭	地域映画祭	2019年	2025年11月29日～30日	新開地アートひろば	
洲本市	うみぞら映画祭	地域映画祭	2016年	2025年4月26日～27日	大浜海水浴場	
相生市	相生なぎさ短編映画祭	地域映画祭	2018年	2025年5月24日～25日	扶桑電通なぎさホール	
宝塚市	宝塚映画祭	地域映画祭	1999年	2025年11月21日～27日	シネ・ピビア	
南あわじ市	南あわじ市子ども映画祭	地域映画祭	2006年	2025年9月27日	南あわじ市市地区公民館	1日のみの開催。

シネマテーク及び映画資料館等

		ホール数	席数
神戸市	神戸映画資料館	1	38
市川町	橋本忍記念館	-	-

映画館以外で行われる上映活動 A

		会場
神戸市	神戸映画サークル協議会	神戸朝日ホール
	KEN-Vi名画サロン / 県美シネマクラシックほか	兵庫県立美術館 ミュージアムホール(兵庫県映画センター)
	アムスタ! 神戸	アムスタ!神戸
	兵庫県映画センター	神戸朝日ホールほか県内各地
豊岡市	豊岡映画センター	豊岡劇場ほか
小野市	小野名画劇場	うるおい交流館 エクラホール
丹波篠山市	メガエビス。(さぎそうホール)	さぎそうホール
たつの市	サタデーシネマ	たつの市総合文化会館 赤とんぼ文化ホール

映画館以外で行われる上映活動 B

		会場
神戸市	優秀映画鑑賞推進事業	兵庫県立美術館
	なでしこ月曜シネマ	神戸市立西区文化センター なでしこホール
	映画上映会	神戸市立北区文化センター すずらんホール
	心かよわす親子映画大会	神戸文化ホール
姫路市	姫路シネマクラブ	姫路キャスバホール
明石市	明石シネマクラブ	明石市生涯学習センター
西宮市	フレンテ映画サロン	西宮市フレンテホール
	名画鑑賞会	西宮市民会館
芦屋市	いきいきシネマサロン	芦屋市ルナ・ホール
	多文化共生映画上映会 / ヒューマンライツシアターほか	芦屋市上宮川文化センター
伊丹市	伊丹ラスタ映画倶楽部	伊丹市ラスタホール
相生市	なぎさシネマほか	相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール
加古川市	加古川シネマクラブ	加古川総合文化センター
西脇市	優秀映画鑑賞推進事業	西脇市立音楽ホール(アピカホール)
宝塚市	シネマ イン ソリオ	宝塚ソリオホール
川西市	みつなかな画鑑賞会	川西市みつなかなホール
朝来市	映画上映会	生野メインホール
宍粟市	映画上映会	山崎文化会館
加東市	かとうきらめきシネマ	加東市滝野文化会館
市川町	映画上映会	市川町文化センター

※1

2018年2月スクリーン数9→10

※2

2017年11月～2020年10月スクリーン数4

※3

2022年3月「神戸国際松竹」閉館、同年4月「キノシネマ神戸国際」閉館。

※4

2021年3月より成人映画館だった「シネマ神戸2」もミニシアターの編成に変更。

※5

4スクリーンのうち2スクリーンを既存興行館、2スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※6

2011年閉館、2014年～2022年8月は(有)石橋設計により運営。閉館後、2023年3月以降一般社団法人により運営。1スクリーンを既存興行館、1スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※7

2021年7月閉館

※8

2016年1月閉館

※9

2016年1月閉館

※10

2016年休館中

奈良県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
奈良県人口	1,274,196	1,285,094	1,356,950	-82,754
奈良市(県庁所在地)人口	345,172	347,557	358,786	-13,614
奈良県のスクリーン数	27	27	34	-7
1スクリーン当り人口	47,192	47,596	39,910	
映画館年間観客数(概算)	1,560,000	1,330,000	1,500,000	
年間映画鑑賞回数	1.2	1.0	1.1	

映画館の状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
大和郡山市	シネマサンシャイン大和郡山	1	9	1	9	シネマサンシャイン大和郡山	1	9
橿原市	TOHOシネマズ橿原	1	9	1	9	TOHOシネマズ橿原	1	9
	ユナイテッド・シネマ橿原	1	9	1	9	ユナイテッド・シネマ橿原	1	9
河合町						イオンシネマ西大和*	1	7
シネマコンプレックス 合計	3	27	3	27	合計	4	34	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降閉館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
ミニシアター/名画座 合計	0	0	0	0	合計	0	0

既存興行館	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
既存興行館 合計	0	0	0	0	合計	0	0

成人映画館	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	0	0	0	0	合計	0	0

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	3	27	3	27	4	34	-1	-7
ミニシアター/名画座 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県合計	3	27	3	27	4	34	-1	-7

公共上映の状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
奈良市	なら国際映画祭	国際映画祭	2010年 2025年9月21日~23日	奈良公園バスターミナルレクチャーホール	2025年「なら国際映画祭 for YOUTH」として開催(大阪でも開催)。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
奈良市 ならシネマテーク/なら国際映画祭	奈良市ならまちセンター市民ホールほか

映画館以外で行われる上映活動B	会場
大和郡山市 優秀映画鑑賞推進事業	やまと郡山城ホール
生駒市 優秀映画鑑賞推進事業	南コミュニティセンターせせらぎ

※ 2022年8月閉館

和歌山県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
和歌山県人口	867,927	879,617	953,924	-85,997
和歌山市(県庁所在地)人口	341,549	344,941	362,163	-20,614
和歌山県のスクリーン数	31	31	30	1
1スクリーン当り人口	27,998	28,375	31,797	
映画館年間観客数(概算)	1,070,000	830,000	890,000	
年間映画鑑賞回数	1.2	0.9	0.9	

映画館の状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
和歌山市	1	10	1	10	1	10
イオンシネマ和歌山	1	10	1	10	1	10
シネマコンプレックス 合計	2	20	2	20	2	20

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
和歌山市	1	1	1	1		
シネマ203*	ミ					
ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	0	0

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
御坊市	1	3	1	3	1	3
田辺市	1	3	1	3	1	3
新宮市	1	4	1	4	1	4
既存興行館 合計	3	10	3	10	3	10

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	4	11	4	11	3	10

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	2	20	2	20	2	20	0	0
ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	0	0	1	1
既存興行館 合計	3	10	3	10	3	10	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	4	11	4	11	3	10	1	1
和歌山県合計	6	31	6	31	5	30	1	1

公共上映の状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
和歌山市	Kisssh-Kisssssh映画祭	2013年	2025年10月18日	和歌山城二の丸芝生広場	1日のみの開催。
田辺市	田辺・弁慶映画祭	2007年	2025年11月7日~9日	紀南文化会館	

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
田辺市	キノクマ座(旧「ふたかわ超学校 音楽室シネマ」)
	クリシュナカフェほか

映画館以外で行われる上映活動B	会場
和歌山市	優秀映画鑑賞推進事業 和歌山県民文化会館
海南市	優秀映画鑑賞推進事業 海南市民交流センター
有田市	紀文ホール映画会 有田市民会館紀文ホール
かつらぎ町	映画上映会 かつらぎ総合文化会館 あじさいホール
那智勝浦町	優秀映画鑑賞推進事業 那智勝浦町体育文化会館

※ 2023年10月開館

鳥取県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
鳥取県人口	524,535	531,085	569,579	-45,044
鳥取市(県庁所在地)人口	180,021	182,207	192,658	-12,637
鳥取県のスクリーン数	12	12	11	1
1スクリーン当り人口	43,711	44,257	51,780	
映画館年間観客数(概算)	690,000	490,000	640,000	
年間映画鑑賞回数	1.3	0.9	1.1	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
日吉津村	MOVIX日吉津	1	6	1	6	1	6
シネマコンプレックス 合計		1	6	1	6	1	6

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
湯梨浜町	ジグシアター*	ミ	1	1	1	1	1
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	0	0

既存興行館		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
鳥取市	鳥取シネマ	既	1	2	1	2	1	2
倉吉市	倉吉パープルタウン シネマエポック	既	1	3	1	3	1	3
既存興行館 合計		2	5	2	5	2	5	

成人映画館		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	6	3	6	2	5

		2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		1	6	1	6	1	6	0	0
ミニシアター/名画座 合計		1	1	1	1	0	0	1	1
既存興行館 合計		2	5	2	5	2	5	0	0
成人映画館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		3	6	3	6	2	5	1	1
鳥取県合計		4	12	4	12	3	11	1	1

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
米子市	よなご映像フェスティバル	地域映画祭	2007年	-	2020年以降開催なし。
	米子映画事変	地域映画祭	2011年	2026年2月21日~22日	米子コンベンションセンター
境港市	海とみなとの映画祭	地域映画祭	2013年	-	2020年以降開催なし。

シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数
智頭町	西河克己映画記念館	-	-

映画館以外で行われる上映活動A		会場
大山町	ええがな大山	なかやま温泉館内 生活想像館わくわくホール

映画館以外で行われる上映活動B		会場
鳥取市	えいがの時間	わらべ館
	クララとクロダのひよっこリシネマ	鳥取市文化ホールほか
米子市	米子シネマクラブ	米子コンベンションセンター
	米子名画シアター(優秀映画鑑賞推進事業)	米子市公会堂
境港市	シンフォニー・ムービー・シアター	境港市文化ホール

※
2021年7月開館、1ヶ月に1週間程度上映。

鳥根県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
鳥根県人口	633,105	641,396	689,817	-56,712
松江市(県庁所在地)人口	195,516	197,280	205,775	-10,259
鳥根県のスクリーン数	16	16	15	1
1スクリーン当り人口	39,569	40,087	45,988	
映画館年間観客数(概算)	690,000	490,000	640,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	0.8	0.9	

映画館の状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
松江市	イオンシネマ松江 ^{※1}	1	5			
	松江東宝5 ^{※1}	-	-	1	5	松江東宝5
出雲市	T・ジョイ出雲	1	10	1	10	T・ジョイ出雲
	シネマコンプレックス 合計	2	15	2	15	合計
					2	15

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
益田市	小野沢シネマ ^{※2}	ミ	1	1	1	1
	ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	合計
					0	0

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
	既存興行館 合計	0	0	0	0	合計
					0	0

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
	成人映画館 合計	0	0	0	0	合計
	シネマコンプレックス以外 合計	1	1	1	1	合計
					0	0

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	2	15	2	15	2	15	0	0
ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	0	0	1	1
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	1	1	1	1	0	0	1	1
鳥根県合計	3	16	3	16	2	15	1	1

公共上映の状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
松江市ほか	しまね映画祭	地域映画祭	1992年	2025年10月11日~12月21日	鳥根県民会館ほか
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数		
安来市	足立美術館(映画資料)	-	-		
映画館以外で行われる上映活動A		会場			
松江市	さんびるシアター	松江テルサ			
	鳥根県民会館名画劇場	鳥根県民会館			
益田市	グラントワシアター	鳥根県芸術文化センター グラントワ			
映画館以外で行われる上映活動B		会場			
松江市	松江キネマ倶楽部	松江市民活動センター			
	優秀映画鑑賞推進事業	松江市美保関海の学苑ふるさと創生館			
安来市	映画上映会	安来市総合文化ホール アルテピア			
雲南市	優秀映画鑑賞推進事業	雲南市木次経済文化会館 チェリヴァホール			
川本町	優秀映画鑑賞推進事業ほか	悠邑ふるさと会館			
津和野町	ミニ上映会	日原にぎわい創出拠点かわべ			

※1 2025年1月「松江東宝5」閉館、同年7月「イオンシネマ松江」開館。

※2 2008年に閉館した「デジタルシアター益田中央」跡に2022年1月開館。

※3 2026年4月「シネマドア」(鳥取市)開館予定。

岡山県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
岡山県人口	1,815,161	1,830,621	1,915,401	-100,240
岡山市(県庁所在地)人口	709,799	712,632	720,571	-10,772
岡山県のスクリーン数	34	34	39	-5
1スクリーン当り人口	53,387	53,842	49,113	
映画館年間観客数(概算)	2,170,000	1,700,000	2,400,000	
年間映画鑑賞回数	1.2	0.9	1.3	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
岡山市	イオンシネマ岡山	1 11	1 11	イオンシネマ岡山	1 11	
	TOHOシネマズ岡南	1 10	1 10	TOHOシネマズ岡南	1 10	
倉敷市	MOVIX倉敷	1 10	1 10	MOVIX倉敷	1 10	
	シネマコンプレックス 合計	3 31	3 31	合計	3 31	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
岡山市	シネマ・クレール丸の内	ミ 1 2	1 2	シネマ・クレール丸の内	1 2	
	ミニシアター/名画座 合計	1 2	1 2	合計	1 2	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
岡山市	メルバ ^{※1}	既 1 1	1 1	メルバ ^{※1}	1 4	
				ジョリー東宝 ^{※1}	1 1	
	既存興行館 合計	1 1	1 1	合計	2 5	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
岡山市					岡山日活 ^{※2}	1 1
	成人映画館 合計	0 0	0 0	合計	1 1	
	シネマコンプレックス以外 合計	2 3	2 3	合計	4 8	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	3	31	3	31	3	31	0	0
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	1	2	0	0
既存興行館 合計	1	1	1	1	2	5	-1	-4
成人映画館 合計	0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	2	3	2	3	4	8	-2	-5
岡山県合計	5	34	5	34	7	39	-2	-5

※1 福武観光(株)は2022年1月「メルバ」を閉じ、「ジョリー東宝」→「メルバ」に改称。

※2 2019年12月閉館

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
岡山市	岡山映画祭	1995年	—	—	2025年確認できず。
玉野市	宇野港芸術映画座	2010年	2025年1月10日～13日	UNO PORT INN/ 奉還町4丁目ラウンジ・カド	隔年開催。
真庭市	ニューガーデン映画祭	2023年	2026年3月27日～29日	ビクトリアシアターほか	
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数		
—		—	—		
映画館以外で行われる上映活動 A		会場			
倉敷市	湊シネマ	倉敷市玉島市民交流センター			
津山市	ベルフォーレシアター [まちなかシネマ]	ベルフォーレ津山			
津山市ほか	シネ・リュエル CinéRuelle/ 余映	ビクトリアシアターほか			
真庭市	中央図書館シアター月イチ映画会ほか	真庭市立中央図書館 映像シアター			
	ビクトリアシアター	ビクトリアシアター			
早島町	ハヤシネマ	早島町 ゆるびの舎			
映画館以外で行われる上映活動 B		会場			
岡山市	岡山映画鑑賞会	岡山県天神山文化プラザ			
	優秀映画鑑賞推進事業ほか	岡山県天神山文化プラザ			
笠岡市	映画上映会	笠岡市保健センター			
新見市	優秀映画鑑賞推進事業	新見市新見文化交流館			

広島県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
広島県人口	2,694,648	2,716,733	2,838,494	-143,846
広島市(県庁所在地)人口	1,174,357	1,179,915	1,196,380	-22,023
広島県のスクリーン数	88	79	73	15
1スクリーン当り人口	30,621	34,389	38,883	
映画館年間観客数(概算)	4,300,000	3,160,000	3,860,000	
年間映画鑑賞回数	1.6	1.2	1.4	

映画館の
状況

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
シネマコンプレックス								
広島市	イオンシネマ広島	1	7	1	7	イオンシネマ広島	1	7
	109シネマズ広島	1	9	1	9	109シネマズ広島	1	9
	TOHOシネマズ緑井	1	8	1	8	TOHOシネマズ緑井	1	8
	イオンシネマ広島西風新都*1	1	9	1	9			
	MOVIX広島駅*2	1	9					
福山市	福山エーガル8シネマズ	1	8	1	8	福山エーガル8シネマズ	1	8
	福山コロナシネマワールド	1	10	1	10	福山コロナシネマワールド	1	10
東広島市	T・ジョイ東広島	1	6	1	6	T・ジョイ東広島	1	6
府中町	広島バルト11	1	11	1	11	広島バルト11	1	11
	シネマコンプレックス 合計	9	77	8	68	合計	7	59

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
ミニシアター/名画座									
広島市	八丁座	ミ	1	2	1	2	八丁座	1	2
	サロンシネマ*3	ミ	1	2	1	2	サロンシネマ*3	1	2
	広島横川シネマ	ミ	1	1	1	1	広島シネ・ツイン本通り*4	1	1
							広島横川シネマ	1	1
呉市	呉ポポロ*5	元既	-	1	-	1			
尾道市	シネマ尾道	ミ	1	1	1	1	シネマ尾道	1	1
福山市	シネマモード*6	元既	1	2	1	2	シネマモード	1	2
	ミニシアター/名画座 合計	5	9	5	9	合計	6	9	

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
既存興行館									
呉市	呉ポポロ*5	新既	1	1	1	1	呉ポポロ	1	2
	既存興行館 合計	1	1	1	1	合計	1	2	

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
成人映画館									
広島市	横川有楽座*7	1	1	1	1	1	広島の場シネマ/有楽座*7	1	2
							広島横川銀映*8	1	1
	成人映画館 合計	1	1	1	1	合計	2	3	
	シネマコンプレックス以外 合計	7	11	7	11	合計	9	14	

	2025		2024		2016		増減(2016⇒2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	9	77	8	68	7	59	2	18
ミニシアター/名画座 合計	5	9	5	9	6	9	-1	0
既存興行館 合計	1	1	1	1	1	2	0	-1
成人映画館 合計	1	1	1	1	2	3	-1	-2
シネマコンプレックス以外 合計	7	11	7	11	9	14	-2	-3
広島県人口	16	88	15	79	16	73	0	15

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
広島市	ひろしまアニメーションシーズン	国際映画祭	2022年	-	-	次回は2026年8月開催。
	広島国際映画祭	国際映画祭	2009年	2025年11月28日～30日	NTTクレドホール	
	食と農の映画祭 in ひろしま	地域映画祭	2009年	2025年3月21日～27日	サロンシネマ	確認できず。 (1月現在)
	広島イラン愛と平和の映画祭	地域映画祭	2014年	2025年8月2日～8日	広島横川シネマ	
尾道市	尾道映画祭	地域映画祭	2017年	2026年2月27日～3月1日	しまなみ交流館/ シネマ尾道ほか	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
広島市	広島市映像文化ライブラリー		1	169		
尾道市	おのみち映画資料館		-	-		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
三原市	リージョン映画のつどい / 優秀映画鑑賞推進事業		三原リージョンプラザ			
	きりりシネマ倶楽部		三次市民ホール きりり((株)フェューレック)			
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
広島市	広島映画サークル協議会		広島県立美術館			
	Social Book Cafe ハチドリ舎		Social Book Cafe ハチドリ舎(ブックカフェ)			
	1日映画館		安芸区民文化センター			
	優秀映画鑑賞推進事業		安佐南区民文化センター			
呉市	呉映画サークル		呉ポロシアター			
福山市	福山映画サークル		-			
東広島市	くわらシネマ		東広島芸術文化ホール くわら			
廿日市市	ウッドワンさくらびあシネマ		ウッドワンさくらびあ			

※1

2018年4月開館

※2

2025年3月開館

※3

2014年9月大手町から八丁堀「広島ループ」 「広島東映」跡へ移転。

※4

2016年10月閉館

※5

2スクリーンのうち1スクリーンを既存興行館、1スクリーンをミニシアターとしてカウント。

※6

2026年6月の閉館を発表。

※7

2018年9月「広島の場シネマ/有楽座」閉館。11月「広島横川銀映」跡に後継館「横川有楽座」開館。

※8

2018年9月閉館

※9

2027年春「アップリンク広島」(広島市)開館予定。

山口県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
山口県人口	1,261,226	1,279,601	1,393,904	-132,678
山口市(県庁所在地)人口	187,965	189,547	197,261	-9,296
山口県のスクリーン数	33	32	31	2
1スクリーン当り人口	38,219	39,988	44,965	
映画館年間観客数(概算)	1,420,000	1,020,000	1,440,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	0.8	1.0	

映画館の
状況

		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス							
下関市	シネマサンシャイン下関	1	8	1	8	1	8
宇部市	シネマスクエア7	1	7	1	7	1	7
防府市	イオンシネマ防府	1	7	1	7	1	7
下松市	MOVIX周南	1	7	1	7	1	7
	シネマコンプレックス 合計	4	29	4	29	4	29

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座							
下関市	シネマポスト ^{※1}	ミ	1	1	1	1	
萩市	萩ツインシネマ	ミ	1	2	1	2	1
周南市	シネマ・スーヴェル ^{※2}	ミ	1	1			
	ミニシアター/名画座 合計	3	4	2	3	1	2

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
	既存興行館 合計	0	0	0	0	0

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
	成人映画館 合計	0	0	0	0	0
	シネマコンプレックス以外 合計	3	4	2	3	1

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	4	29	4	29	4	29	0	0
ミニシアター/名画座 合計	3	4	2	3	1	2	2	2
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	4	2	3	1	2	2	2
山口県合計	7	33	6	32	5	31	2	2

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
周南市	周南[絆]映画祭	地域映画祭	2009年	-	2026年開催予定。

シネマテーク及び映画資料館等

		ホール数	席数
山口市	山口情報芸術センター〔YCAM〕	1	100
下関市	下関市立近代先人類彰館(田中絹代ぶんか館)	1	40

映画館以外で行われる上映活動A

	会場
山口市	西京シネクラブ

映画館以外で行われる上映活動B

	会場
下関市	優秀映画鑑賞推進事業
岩国市	優秀映画鑑賞推進事業
光市	優秀映画鑑賞推進事業
長門市	ルネッサシネマ～市民名画劇場/ 優秀映画鑑賞推進事業

※1

2023年10月開館、1ヶ月に2週間程度上映。

※2

2012年「テアトル徳山」閉館、2015年まで貸しホール。2025年3月「シネマ・スーヴェル」開館。

徳島県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
徳島県人口	676,246	685,357	750,185	-73,939
徳島市(県庁所在地)人口	243,123	245,349	258,189	-15,066
徳島県のスクリーン数	19	19	10	9
1スクリーン当り人口	35,592	36,071	75,019	
映画館年間観客数(概算)	450,000	350,000	320,000	
年間映画鑑賞回数	0.7	0.5	0.4	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
徳島市	イオンシネマ徳島 ^{※1}	1	9	1	9	
北島町	シネマサンシャイン北島	1	8	1	8	1
	シネマコンプレックス 合計	2	17	2	17	1
						8
						8

シネマコンプレックス以外 ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
徳島市	ufotable CINEMA ^{※2}	元既	1	2	1	2
	ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	合計
						0
						0

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
徳島市					ufotable CINEMA ^{※2}	1
	既存興行館 合計	0	0	0	0	合計
						1
						2

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
	成人映画館 合計	0	0	0	0	合計
						0
	シネマコンプレックス以外 合計	1	2	1	2	合計
						1
						2

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	2	17	2	17	1	8	1	9
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	0	0	1	2
既存興行館 合計	0	0	0	0	1	2	-1	-2
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	1	2	1	2	1	2	0	0
徳島県合計	3	19	3	19	2	10	1	9

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
徳島市	徳島ニューノーマル映画祭(徳島国際映画祭)	地域映画祭	2016年	-	2024年以降開催なし。
	トリコロール映画祭	地域映画祭	2017年	2025年10月18日～19日	第二倉庫アクア・チッタ
神山町	神山映画祭	地域映画祭	2015年	-	確認できず。(1月現在)

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
徳島市	徳島でみれない映画をみる会
徳島市	徳島市シビックセンター
美馬市	ミライズ映画祭
	美馬市地域交流センター ミライズ

映画館以外で行われる上映活動B	会場
徳島市	土曜映画会/優秀映画鑑賞推進事業
徳島市	徳島県立21世紀館
鳴門市	なるとDeシネマ
鳴門市	鳴門市うずしお会館
小松島市	サウンドハウスホールシネマほか
小松島市	サウンドハウスホール
阿南市	あなんで映画をみよう会
阿南市	阿南市文化会館
吉野川市	映画上映会
吉野川市	吉野川市アメニティセンター

※1
2017年4月開館

※2
2019年より既存興行館からミニシアターに移行。

香川県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
香川県人口	908,642	917,058	972,156	-63,514
高松市(県庁所在地)人口	407,260	409,246	420,736	-13,476
香川県のスクリーン数	26	26	26	0
1スクリーン当り人口	34,948	35,271	37,391	
映画館年間観客数(概算)	1,210,000	940,000	1,160,000	
年間映画鑑賞回数	1.3	1.0	1.2	

映画館の
状況

		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス							
高松市	イオンシネマ高松東	1	7	1	7	1	7
宇多津町	イオンシネマ宇多津	1	7	1	7	1	7
綾川町	イオンシネマ綾川	1	9	1	9	1	9
	シネマコンプレックス 合計	3	23	3	23	3	23

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

		2025		2024		2016			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
ミニシアター/名画座									
高松市	ホールソレイユ	ミ	1	2	1	2	ホールソレイユ	1	2
	ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	合計	1	2	

		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
既存興行館								
	既存興行館 合計	0	0	0	0	合計	0	0

		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
成人映画館								
高松市	ロッポニカ高松	1	1	1	1	ロッポニカ高松	1	1
	成人映画館 合計	1	1	1	1	合計	1	1
	シネマコンプレックス以外 合計	2	3	2	3	合計	2	3

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	3	23	3	23	3	23	0	0
ミニシアター/名画座 合計	1	2	1	2	1	2	0	0
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	2	3	2	3	2	3	0	0
香川県合計	5	26	5	26	5	26	0	0

公共上映の
状況

映画祭	地域/国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
高松市	香川レインボー映画祭	地域映画祭	2005年 2025年12月6日	丸亀町レッツホール	1日のみの開催。
	さぬき映画祭	地域映画祭	2006年 2026年2月7日～8日	香川県民ホール/ イオンシネマ高松東ほか	

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
小豆島町 二十四の瞳映画村 ギャラリー松竹座映画館	1	40

映画館以外で行われる上映活動A	会場
高松市 高松シネマクラブ	高松国分寺ホールほか(香川映画センター)

映画館以外で行われる上映活動B	会場
善通寺市 優秀映画鑑賞推進事業	善通寺市民会館

高知県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
高知県人口	644,881	655,698	721,256	-76,375
高知市(県庁所在地)人口	309,972	313,900	335,275	-25,303
高知県のスクリーン数	11	11	10	1
1スクリーン当り人口	58,626	59,609	72,126	
映画館年間観客数(概算)	560,000	370,000	640,000	
年間映画鑑賞回数	0.9	0.6	0.9	

映画館の
状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
高知市	TOHOシネマズ高知	1	9	1	9	TOHOシネマズ高知	1	9
	シネマコンプレックス 合計	1	9	1	9	合計	1	9

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
高知市	キネマ ミュージアム ^{※1}	ミ	1	1	1	1		
	ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	合計	0	0

既存興行館	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
高知市	高知あだご劇場 ^{※2}	既	1	1	1	1	高知あだご劇場	1	1
	既存興行館 合計	1	1	1	1	合計	1	1	

成人映画館	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
	成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0	0
	シネマコンプレックス以外 合計	2	2	2	2	合計	1	1

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	1	9	1	9	1	9	0	0
ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	0	0	1	1
既存興行館 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	2	2	2	2	1	1	1	1
高知県合計	3	11	3	11	2	10	1	1

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
高知市	高知あだご映画祭	地域映画祭	2022年	-	-	確認できず。 (1月現在)
四万十市	四万十映画祭	地域映画祭	2013年	-	-	2019年以降開催なし。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数	
高知市	高知県立美術館	1	399
	高知県立文学館	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
高知市	県文シネマ日和/優秀映画鑑賞推進事業ほか
	とさびくシアター/シネマ四国
	ゴトゴトシネマ
安田町	大心劇場

映画館以外で行われる上映活動B	会場
高知市	市民映画会
土佐市	優秀映画鑑賞推進事業
宿毛市	優秀映画鑑賞推進事業
土佐清水市	昭和シネマ劇場(優秀映画鑑賞推進事業)
香南市	映画上映会
田野町	懐かし映画劇場(優秀映画鑑賞推進事業)
四万十町	映画上映会

※1
2017年10月「ウィークエンドキネマM」開館、2019年1月休館。2023年10月「キネマ ミュージアム」開館。

※2
2024年12月～2025年8月休館

愛媛県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
愛媛県人口	1,258,374	1,275,349	1,374,881	-116,507
松山市(県庁所在地)人口	494,811	498,806	513,691	-18,880
愛媛県のスクリーン数	46	46	59	-13
1スクリーン当り人口	27,356	27,725	23,303	
映画館年間観客数(概算)	1,540,000	1,150,000	1,320,000	
年間映画鑑賞回数	1.2	0.9	1.0	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
松山市	シネマサンシャイン衣山	1 9	1 9	シネマサンシャイン衣山	1 9	
				シネマサンシャイン大街道*1	1 5	
今治市	ユナイテッド・シネマ フジグラン今治*2	1 6	1 6	ユナイテッド・シネマ フジグラン今治	1 6	
	イオンシネマ今治新都市	1 7	1 7	イオンシネマ今治新都市*3	1 7	
新居浜市	TOHOシネマズ新居浜	1 7	1 7	TOHOシネマズ新居浜	1 7	
大洲市				シネマサンシャイン大州*4	1 6	
東温市	シネマサンシャイン重信	1 7	1 7	シネマサンシャイン重信	1 7	
松前町	シネマサンシャインエミフルMASAKI	1 9	1 9	シネマサンシャインエミフルMASAKI	1 9	
	シネマコンプレックス 合計	6 45	6 45	合計	8 56	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
松山市	シネマルナティック	ミ 1 1	1 1	シネマルナティック	1 1	
	ミニシアター/名画座 合計	1 1	1 1	合計	1 1	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
今治市					アイシネマ今治*5	1 2
	既存興行館 合計	0 0	0 0	合計	1 2	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
	成人映画館 合計	0 0	0 0	合計	0 0	
	シネマコンプレックス以外 合計	1 1	1 1	合計	2 3	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	6	45	6	45	8	56	-2	-11
ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
既存興行館 合計	0	0	0	0	1	2	-1	-2
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	1	1	1	1	2	3	-1	-2
愛媛県合計	7	46	7	46	10	59	-3	-13

*1
2021年1月閉館*2
2026年1月閉館*3
2016年6月開館*4
2019年1月閉館*5
2016年10月休館

公共上映の
状況

映画祭		地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
松山市	愛媛国際映画祭	国際映画祭	2020年	—	—	2024年以降開催なし。
	松山映画祭	地域映画祭	2001年	—	—	2020年以降開催なし。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
—			—	—		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
松山市	マネキネマ	松山市男女共同参画推進センター コムズ				
	iDo(アイドゥ)	宇和島市生涯学習センターほか県内各所				
宇和島市	美沼名画座	宇和島市立コスモスホール三間				
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
松山市	優秀映画鑑賞推進事業	松山市総合福祉センター				
	映画上映会	松山市総合コミュニティセンター				
宇和島市	パフィオ上映会/名作劇場(優秀映画鑑賞推進事業)	宇和島市生涯学習センター				
八幡浜市	優秀映画鑑賞推進事業ほか	八幡浜市民文化活動センター				
新居浜市	モモンガ映写室/あかがねシネマ	あかがねミュージアム				
四国中央市	観音寺映画観賞会	観音寺市民会館				
	優秀映画鑑賞推進事業	四国中央市市民文化ホール				
内子町	優秀映画鑑賞推進事業	森文旭館				

福岡県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
福岡県人口	5,088,814	5,097,710	5,106,707	-17,893
福岡市(県庁所在地)人口	1,669,707	1,656,737	1,553,778	115,929
福岡県のスクリーン数	190	194	183	7
1スクリーン当り人口	26,783	26,277	27,906	
映画館年間観客数(概算)	8,720,000	6,680,000	7,480,000	
年間映画鑑賞回数	1.7	1.3	1.5	

映画館の
状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
福岡市	ユナイテッド・シネマ キャナルシティ	1	13	1	13	ユナイテッド・シネマ キャナルシティ	1	13
	T・ジョイ博多	1	11	1	11	T・ジョイ博多	1	11
	TOHOシネマズ ららぽーと福岡 ^{*1}	1	9	1	9			
	ユナイテッド・シネマ福岡もち ^{*2}	1	11	1	11	ユナイテッド・シネマ福岡 ^{*2}	1	10
						TOHOシネマズ天神 ^{*3}	1	9
北九州市	イオンシネマ戸畑	1	8	1	8	イオンシネマ戸畑	1	8
	ローソン・ユナイテッドシネマ小倉 ^{*4}	1	10	1	10	シネプレックス小倉 ^{*4}	1	10
	T・ジョイリバーウォーク北九州	1	8	1	8	T・ジョイリバーウォーク北九州	1	8
	小倉コロナシネマワールド	1	10	1	10	小倉コロナシネマワールド	1	10
大牟田市	セントラルシネマ大牟田	1	7	1	7	セントラルシネマ大牟田	1	7
久留米市	T・ジョイ久留米	1	10	1	10	T・ジョイ久留米	1	10
直方市	TOHOシネマズ直方	1	9	1	9	TOHOシネマズ直方	1	9
飯塚市	シネマサンシャイン 飯塚 ^{*5}	1	9	1	9			
中間市	ユナイテッド・シネマ なかま16 ^{*6}	1	13	1	13	ユナイテッド・シネマ なかま16 ^{*6}	1	16
筑紫野市	イオンシネマ筑紫野	1	9	1	9	イオンシネマ筑紫野	1	9
大野城市	イオンシネマ大野城	1	8	1	8	イオンシネマ大野城	1	8
福津市	TOHOシネマズ福津	1	10	1	10	TOHOシネマズ福津	1	10
久山町	ユナイテッド・シネマ トリアス久山	1	12	1	12	ユナイテッド・シネマ トリアス久山	1	12
粕屋町	イオンシネマ福岡	1	9	1	9	イオンシネマ福岡	1	9
	シネマコンプレックス 合計	18	176	18	176	合計	17	169

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
福岡市	KBCシネマ	ミ	1	2	1	2	KBCシネマ	1	2
	キノシネマ天神 ^{*7}	ミ	1	3	1	3			
北九州市	小倉昭和館 ^{*8}	名	1	1	1	1	小倉昭和館 ^{*8}	1	2
	ミニシアター/名画座 合計	3	6	3	6	合計	2	4	

既存興行館	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
福岡市	福岡中洲大洋 ^{*9}	既		1	4	福岡中洲大洋	1	4	
	TOHOシネマズ天神・ソラリア館 ^{*3}	既	1	3	1	3			
大川市	大川シネマホール	新既	1	1	1	1	大川シネマホール	1	1
	既存興行館 合計	2	4	3	8	合計	2	5	

成人映画館	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
福岡市	駅前パレス/駅前ロマン ^{*10}	1	2	1	2	駅前パレス/駅前ロマン ^{*10}	2	2
北九州市	小倉名画座	1	2	1	2	小倉名画座	1	2
						八幡有楽劇場 ^{*11}	1	1
	成人映画館 合計	2	4	2	4	合計	4	5
	シネマコンプレックス以外 合計	7	14	8	18	合計	8	14

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	18	176	18	176	17	169	1	7
ミニシアター/名画座 合計	3	6	3	6	2	4	1	2
既存興行館 合計	2	4	3	8	2	5	0	-1
成人映画館 合計	2	4	2	4	4	5	-2	-1
シネマコンプレックス以外 合計	7	14	8	18	8	14	-1	0
福岡県合計	25	190	26	194	25	183	0	7

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
福岡市	福岡アジア映画祭	国際映画祭	1987年	—	—	確認できず。
	Asian Film Joint	国際映画祭	2021年	—	—	2026年開催予定。
	福岡アジアフィルムフェスティバル	地域映画祭	1991年	2025年10月9日～13日	福岡アジア美術館	
	福岡インディペンデント映画祭	地域映画祭	2009年	2025年10月3日～5日	福岡市美術館ミュージアムホール	
	ふくおか国際映画祭	地域映画祭	2023年	2025年12月25日～27日	九州大学大橋キャンパス/ 九州電力みらいホール	
北九州市	北九州国際映画祭	国際映画祭	2023年	2026年2月27日～3月1日	J:COM北九州芸術劇場/ 小倉昭和館	
糸島市	糸島映画祭 いとシネマ	地域映画祭	2017年	—	—	2021年以降開催なし。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
福岡市	福岡市総合図書館(映像ホール)		1	246		
北九州市	松永文庫		—	—		
映画館以外で行われる上映活動 A			会場			
福岡市	九州日仏学館シネクラブ		九州日仏学館			
	九州シネマ・アルチ		なみきホールほか			
北九州市	北九州映画サークル協議会		小倉昭和館/小倉コロナシネマワールド/戸畑市民会館			
春日市	ふれぶんシネマ倶楽部		春日市ふれあい文化センター			
大野城市	まどかぴあシネマランド/キッズシネマ		大野城まどかぴあ			
宗像市	ユリックス名画シアター		宗像ユリックス			
那珂川市	リバーサイド0円シアター		中ノ島公園四季彩館			
映画館以外で行われる上映活動 B			会場			
福岡市	福岡映画サークル協議会		福岡市総合図書館/福岡市男女共同参画推進センターアミカス			
北九州市	門司シネマフェスタ(優秀映画鑑賞推進事業)		北九州市立門司市民会館			
八女市	おりなすシアター		八女市民会館 はちひめホール			
小郡市	小郡名画座(優秀映画鑑賞推進事業)		小郡市文化会館			

※1
2022年4月開館

※2
2016年3月休館、2018年11月「ユナイテッド・シネマ福岡もち」として再開。スクリーン数10→11。

※3
2012年「天神東宝」「ソラリアシネマ」統合→「TOHOシネマズ天神(本館/ソラリア館)」。2017年3月「TOHOシネマズ天神本館」閉館、「TOHOシネマズ天神ソラリア館」は存続。

※4
2025年7月「シネプレックス小倉」→「ローソン・ユナイテッドシネマ小倉」に改称。

※5
2023年7月開館

※6
16スクリーン(～2015)→12スクリーン(2016)→13スクリーン(2017～)

※7
2020年4月開館

※8
2022年夏、火事で被災。2023年12月スクリーン数を2→1に減らし再開。

※9
2024年3月休館

※10
2019年より1館2スクリーンとしてカウント。

※11
2019年6月休館

佐賀県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
佐賀県人口	781,351	787,675	828,388	-47,037
佐賀市(県庁所在地)人口	227,117	228,293	235,625	-8,508
佐賀県のスクリーン数	21	21	20	1
1スクリーン当り人口	37,207	37,508	41,419	
映画館年間入場者数	860,000	660,000	800,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	0.8	1.0	

映画館の状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
佐賀市	イオンシネマ佐賀大和	1	8	1	8	イオンシネマ佐賀大和	1	8
	109シネマズ佐賀	1	10	1	10	109シネマズ佐賀	1	10
シネマコンプレックス 合計	2	18	2	18	合計	2	18	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
佐賀市	シアター・シエマ	ミ	1	2	1	2	シアター・シエマ	1	2
唐津市	シアターエンヤ*	ミ	1	1	1	1			
ミニシアター/名画座 合計	2	3	2	3	合計	1	2		

既存興行館	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
既存興行館 合計	0	0	0	0	合計	0	0

成人映画館	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	2	3	2	3	合計	1	2

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	2	18	2	18	2	18	0	0
ミニシアター/名画座 合計	2	3	2	3	1	2	1	1
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	2	3	2	3	1	2	1	1
佐賀県合計	4	21	4	21	3	20	1	1

公共上映の状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
唐津市	唐津国際映画祭 KIFF	国際映画祭	2023年 2025年7月8日～13日	シアター・エンヤ	
佐賀市	富士町古湯映画祭	地域映画祭	1984年 2025年9月20日～21日	佐賀市立富士公民館 フォレストふじ	

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
-	-

映画館以外で行われる上映活動B	会場
-----------------	----

佐賀市	教育会館映画上映会	佐賀県教育会館
鳥栖市	優秀映画鑑賞推進事業	鳥栖市民文化会館
武雄市	たけお映画まつり/優秀映画鑑賞推進事業	武雄市文化会館
	優秀映画鑑賞推進事業	北方文化ホール
鹿島市	映画上映会/優秀映画鑑賞推進事業	鹿島市生涯学習センター エイブル
基山町	優秀映画鑑賞推進事業	基山町民会館

※
2019年10月開館

長崎県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
長崎県人口	1,234,361	1,250,705	1,366,514	-114,214
長崎市(県庁所在地)人口	383,418	388,490	426,578	-37,193
長崎県のスクリーン数	25	25	25	-1
1スクリーン当り人口	49,374	50,028	54,661	
映画館年間観客数(概算)	1,260,000	980,000	1,250,000	
年間映画鑑賞回数	1.0	0.8	0.9	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
長崎市	ローソン・ユナイテッドシネマ長崎*	1 8	1 8	ユナイテッド・シネマ長崎*	1 8	
	TOHOシネマズ長崎	1 9	1 9	TOHOシネマズ長崎	1 9	
佐世保市	佐世保シネマボックス太陽	1 7	1 7	佐世保シネマボックス太陽	1 7	
	シネマコンプレックス 合計	3 24	3 24	合計	3 24	

シネマコンプレックス以外 ミ：ミニシアター/名：名画座/元既：元・既存館/既：既存館/新既：新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
長崎市	長崎セントラル劇場	元既 1 1	1 1	長崎セントラル劇場	1 1	
	ミニシアター/名画座 合計	1 1	1 1	合計	1 1	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
	既存興行館 合計	0 0	0 0	合計	0 0	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
	成人映画館 合計	0 0	0 0	合計	0 0	
	シネマコンプレックス以外 合計	1 1	1 1	合計	1 1	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	3	24	3	24	3	24	0	0
ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
既存興行館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	0	0	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
長崎県合計	4	25	4	25	4	25	0	0

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
長崎市	ながさき・愛の映画祭	地域映画祭	2016年 2025年1月19日	長崎県勤労福祉会館	次回は2026年6月開催。
佐世保市	渋谷佐世保 TANPEN 映画祭	地域映画祭	2017年 2025年11月30日(長崎)	佐世保市役所	東京でも開催。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
-	-

映画館以外で行われる上映活動B	会場	
長崎市	映画上映会	長崎市チトセピアホール
佐世保市	映画上映会	アルカス SASEBO
大村市	シーハットシネマ	大村市体育文化センター シーハットおおむら
川棚町	映画上映会/優秀映画鑑賞推進事業	川棚町公会堂

※ 2025年4月「ユナイテッド・シネマ長崎」→「ローソン・ユナイテッドシネマ長崎」に改称。

熊本県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
熊本県人口	1,683,115	1,696,144	1,774,538	-91,423
熊本市(県庁所在地)人口	735,455	737,409	739,606	-4,151
熊本県のスクリーン数	68	68	49	19
1スクリーン当り人口	24,752	24,943	36,215	
映画館年間観客数(概算)	1,780,000	1,330,000	1,160,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	0.8	0.7	

映画館の
状況

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス						
熊本市	ユナイテッド・シネマ熊本 ^{※1}	1 10	1 10	ユナイテッド・シネマ熊本 ^{※1}	1 10	
	TOHOシネマズはません	1 9	1 9	TOHOシネマズはません	1 9	
	TOHOシネマズ 熊本サクラマチ ^{※2}	1 9	1 9			
	熊本ピカデリー ^{※3}	1 10	1 10			
宇城市	TOHOシネマズ宇城	1 8	1 8	TOHOシネマズ宇城	1 8	
菊陽町	TOHOシネマズ光の森	1 9	1 9	TOHOシネマズ光の森	1 9	
嘉島町	イオンシネマ熊本	1 8	1 8	イオンシネマ熊本	1 8	
	シネマコンプレックス 合計	7 63	7 63	合計	5 44	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
ミニシアター/名画座						
熊本市	Denkikan	ミ 1 3	1 3	Denkikan	1 3	
天草市	本渡第一映劇 ^{※4}	元既 1 1	1 1			
	ミニシアター/名画座 合計	2 4	2 4	合計	1 3	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
既存興行館						
天草市					本渡第一映劇 ^{※4}	1 1
	既存興行館 合計	0 0	0 0	合計	1 1	

	2025		2024		2016	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
成人映画館						
熊本市	桃劇場	1 1	1 1	桃劇場	1 1	
	成人映画館 合計	1 1	1 1	合計	1 1	
	シネマコンプレックス以外 合計	3 5	3 5	合計	3 5	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	7	63	7	63	5	44	2	19
ミニシアター/名画座 合計	2	4	2	4	1	3	1	1
既存興行館 合計	0	0	0	0	1	1	-1	-1
成人映画館 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
シネマコンプレックス以外 合計	3	5	3	5	3	5	0	0
熊本県合計	10	68	10	68	8	49	2	19

※1
2016年4月運営会社が変わり「シネプレックス熊本」→「ユナイテッド・シネマ熊本」。2025年3月閉館

※2
2019年9月開館

※3
2021年4月開館

※4
2020年より既存興行館からミニシアターに移行。

**公共上映の
状況**

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
熊本市	東アジア市民共生映画祭	2007年	—	—	隔年開催。
	くまもと復興映画祭(菊池映画祭)	2017年	2025年11月21日～22日	市民会館シアーズホーム 夢ホール	
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数		
—		—	—		
映画館以外で行われる上映活動 A		会場			
熊本市	シネマリンク	熊本市中央公民館ほか			
山都町	山都町よい映画を観る会	山都町立図書館			
映画館以外で行われる上映活動 B		会場			
荒尾市	優秀映画鑑賞推進事業	荒尾総合文化センター			
玉名市	優秀映画鑑賞推進事業	玉名市民会館			
山鹿市	優秀映画鑑賞推進事業	八千代座			
長洲町	名作映画上映会	ながす未来館			

大分県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
大分県人口	1,074,257	1,085,198	1,159,634	-85,377
大分市(県庁所在地)人口	468,938	470,818	478,586	-9,648
大分県のスクリーン数	44	44	35	9
1スクリーン当り人口	24,415	24,664	33,132	
映画館年間観客数(概算)	1,500,000	1,120,000	1,340,000	
年間映画鑑賞回数	1.4	1.0	1.2	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
大分市	TOHOシネマズ大分わさだ	1	11	1	11	TOHOシネマズ大分わさだ	1	11
	T・ジョイパークプレイス大分	1	9	1	9	T・ジョイパークプレイス大分	1	9
	TOHOシネマズアミュプラザおおいた	1	10	1	10	TOHOシネマズアミュプラザおおいた	1	10
中津市	セントラルシネマ三光 ^{※1}	1	8	1	8			
	シネマコンプレックス 合計	4	38	4	38	合計	3	30

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2025		2024		2016			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
大分市	大分シネマ5	ミ	1	1	1	1	大分シネマ5	1	1
	大分シネマ5 bis ^{※2}	ミ	1	1	1	1	大分シネマ5 bis ^{※2}	1	1
別府市	別府ブルーバード劇場	元既	1	1	1	1	別府ブルーバード劇場	1	1
日田市	日田シネマテーク・リベルテ	元既	1	1	1	1	日田シネマテーク・リベルテ	1	1
豊後高田市	玉津東天紅 ^{※3}	ミ	1	1	1	1			
ミニシアター/名画座 合計		5	5	5	5	合計	4	4	

既存興行館		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
既存興行館 合計		0	0	0	0	合計	0	0

成人映画館		2025		2024		2016		
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
別府市	別府南映劇場	1	1	1	1	別府南映劇場	1	1
成人映画館 合計		1	1	1	1	合計	1	1
シネマコンプレックス以外 合計		6	6	6	6	合計	5	5

		2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		4	38	4	38	3	30	1	8
ミニシアター/名画座 合計		5	5	5	5	4	4	1	1
既存興行館 合計		0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館 合計		1	1	1	1	1	1	0	0
シネマコンプレックス以外 合計		6	6	6	6	5	5	1	1
大分県合計		10	44	10	44	8	35	2	9

※1
2020年3月開館

※2
2009年12月「セントラルシネマ」閉館後、2011年3月1スクリーンが「シネマ5bis」に。

※3
2017年4月開館

公共上映の
状況

映画祭	地域/国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
大分市	おおいた自主映画祭	2017年	2025年9月15日	J:COMホルトホール大分	1日のみの開催。
別府市	Beppuブルーバード映画祭	2017年	-	-	確認できず。
中津市	山国映画祭	2023年	2026年3月13日～15日	コアやまくに/ 山国きのたんく	
由布市	湯布院映画祭	1976年	2025年8月21日～24日	ゆふいんラックホール	
	ゆふいん文化・記録映画祭	1998年	2025年6月6日～8日	ゆふいんラックホール	
シネマテーク及び映画資料館等		ホール数	席数		
-		-	-		
映画館以外で行われる上映活動 A		会場			
中津市	月イチ映画館コアシネマ(cinema)/優秀映画鑑賞推進事業	コアやまくに			
佐伯市	ツキイチ映画	さいき城山桜ホール			
映画館以外で行われる上映活動 B		会場			
大分市	コンバルホール映画上映会(優秀映画鑑賞推進事業)	コンバルホール			
中津市	なつかしの映画観賞会(優秀映画鑑賞推進事業)ほか	中津文化会館			
日田市	なつかしの映画観賞会(優秀映画鑑賞推進事業)	日田市民文化会館			
竹田市	グランツ映画館「玉洗劇場」	竹田市総合文化ホール			
豊後大野市	エイトピア映画上映会	豊後大野市総合文化センター エイトピアおおの			
国東市	優秀映画鑑賞推進事業	くにさき総合文化センター			
九重町	優秀映画鑑賞推進事業	九重文化センター			

宮崎県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
宮崎県人口	1,017,134	1,030,361	1,103,847	-86,713
宮崎市(県庁所在地)人口	391,237	394,448	401,282	-10,045
宮崎県のスクリーン数	26	26	18	8
1スクリーン当り人口	39,121	39,629	61,325	
映画館年間観客数(概算)	890,000	680,000	830,000	
年間映画鑑賞回数	0.9	0.7	0.8	

映画館の
状況

シネマコンプレックス	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
宮崎市	セントラルシネマ宮崎	1	9	1	9	セントラルシネマ宮崎	1	9
	ワンダーアティックシネマ ^{*1}	1	7	1	7			
シネマコンプレックス 合計	2	16	2	16	合計	1	9	

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
宮崎市	宮崎キネマ館 ^{*2}	ミ	1	4	1	4	宮崎キネマ館 ^{*2}	1	2
ミニシアター/名画座 合計	1	4	1	4	合計	1	2		

既存興行館	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
都城市	シネポート	既	1	3	1	3	シネポート	1	3
延岡市	延岡シネマ	既	1	3	1	3	延岡シネマ	1	3
既存興行館 合計	2	6	2	6	合計	2	6		

成人映画館	2025		2024		2016		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
宮崎市					宮崎ロマン ^{*3}	1	1
成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	1	1
シネマコンプレックス以外 合計	3	10	3	10	合計	4	9

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計	2	16	2	16	1	9	1	7
ミニシアター/名画座 合計	1	4	1	4	1	2	0	2
既存興行館 合計	2	6	2	6	2	6	0	0
成人映画館 合計	0	0	0	0	1	1	-1	-1
シネマコンプレックス以外 合計	3	10	3	10	4	9	-1	1
宮崎県合計	5	26	5	26	5	18	0	8

公共上映の
状況

映画祭	地域	国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考
宮崎市	宮崎映画祭	地域映画祭	1995年	-	-	2025年度は開催なし。
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数		
-			-	-		
映画館以外で行われる上映活動A			会場			
-			-			
映画館以外で行われる上映活動B			会場			
門川町	映画上映会/優秀映画鑑賞推進事業		門川町総合文化会館			
美郷町	美郷キネマ(優秀映画鑑賞推進事業)		美郷町北郷総合交流センター			

※1
2020年11月開館

※2
2021年4月移転、スクリーン数2→4。

※3
2020年4月休館、7月閉館

鹿児島県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
鹿児島県人口	1,514,179	1,531,712	1,637,040	-122,861
鹿児島市(県庁所在地)人口	579,202	583,061	598,910	-19,708
鹿児島県のスクリーン数	39	39	31	8
1スクリーン当り人口	38,825	39,275	52,808	
映画館年間観客数(概算)	1,670,000	1,220,000	1,460,000	
年間映画鑑賞回数	1.1	0.8	0.9	

映画館の
状況

	2025		2024		2016			
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
鹿児島市	鹿児島ミッテ10	1	10	1	10	鹿児島ミッテ10	1	10
	TOHOシネマズ与次郎 ^{※1}	1	10	1	10	TOHOシネマズ与次郎	1	10
	天文館シネマパラダイス	1	7	1	7	天文館シネマパラダイス	1	7
始良市	シネマサンシャイン始良 ^{※2}	1	9	1	9			
	シネマコンプレックス 合計	4	36	4	36	合計	3	27

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
鹿児島市	ミニシアター/名画座	ミ	1	1	1	1	ガーデنزシネマ	1	1
	ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	合計	1	1	

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
鹿屋市	既存興行館	新既	1	1	1	1	リシアター ^{※3}	1	1
奄美市	シネマパニック	既	1	1	1	1	シネマパニック	1	1
	既存興行館 合計	2	2	2	2	合計	2	2	

	2025		2024		2016				
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン			
鹿児島市	成人映画館						鹿児島旭シネマ ^{※4}	1	1
	成人映画館 合計	0	0	0	0	合計	1	1	
	シネマコンプレックス以外 合計	3	3	3	3	合計	4	4	

	2025		2024		2016		増減(2016→2025)		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
	シネマコンプレックス 合計	4	36	4	36	3	27	1	9
	ミニシアター/名画座 合計	1	1	1	1	1	1	0	0
	既存興行館 合計	2	2	2	2	2	2	0	0
	成人映画館 合計	0	0	0	0	1	1	-1	-1
	シネマコンプレックス以外 合計	3	3	3	3	4	4	-1	-1
	鹿児島県合計	7	39	7	39	7	31	0	8

公共上映の
状況

映画祭	地域 国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
鹿児島市	国際オーガニック映画祭	地域映画祭	2008年	2025年12月6日～8日	ガーデنزシネマ	「オーガニックな森時間」→「国際オーガニック映画祭」に改称。
指宿市	いぶすき映画祭	地域映画祭	2018年	2025年10月5日	指宿市民会館	1日のみの開催。

シネマテーク及び映画資料館等	ホール数	席数
-	-	-

映画館以外で行われる上映活動A	会場
-	-

映画館以外で行われる上映活動B	会場	
阿久根市	映画上映会	阿久根市民交流センター(風テラスあくね)

※1
2026年夏の閉館を発表。

※2
2017年4月開館

※3
2010年5月閉館、2014年頃より定期的な上映を行っている。

※4
2017年9月閉館

沖縄県

	2025	2024	2016	増減(2016⇒2025)
沖縄県人口	1,466,454	1,467,065	1,439,913	26,541
那覇市(県庁所在地)人口	309,197	310,353	319,870	-10,673
沖縄県のスクリーン数	54	53	42	12
1スクリーン当り人口	27,157	27,680	34,284	
映画館年間観客数(概算)	2,060,000	1,540,000	1,300,000	
年間映画鑑賞回数	1.4	1.0	0.9	

映画館の
状況

シネマコンプレックス		2025		2024		2016	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
那覇市	シネマQ	1	9	1	9	1	9
浦添市	ローソン・ユナイテッドシネマ PARCO CITY 浦添 ^{※1}	1	11	1	11		
北谷町	ミハマ7プレックス	1	8	1	8	1	8
北中城村	シネマライカム	1	9	1	9	1	9
南風原町	サザンプレックス	1	7	1	7	1	7
シネマコンプレックス 合計		5	44	5	44	4	33

シネマコンプレックス以外 ミ:ミニシアター/名:名画座/元既:元・既存館/既:既存館/新既:新しくできた既存興行館(2005年以降開館)

ミニシアター/名画座		2025		2024		2016			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
那覇市	桜坂劇場	ミ	1	3	1	3	桜坂劇場	1	3
	シネマバレット ^{※2}	元既	1	2	1	2			
	ファミンチュシアター ^{※3}	ミ	1	1					
沖縄市	シアタードーナツ	ミ	1	1	1	1	シアタードーナツ	1	1
	シネマプラザハウス1954 ^{※4}	ミ	1	2	1	2			
ミニシアター/名画座 合計		5	9	4	8	合計	2	4	

既存興行館		2025		2024		2016			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
那覇市							シネマバレット ^{※2}	1	2
宮古島市	よしもと南の島パニパニシネマ	新既	1	1	1	1	よしもと南の島パニパニシネマ	1	1
既存興行館 合計		1	1	1	1	合計	2	3	

成人映画館		2025		2024		2016			
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン		
那覇市							首里劇場 ^{※5}	1	1
沖縄市							コザ琉映 ^{※6}	1	1
成人映画館 合計		0	0	0	0	合計	2	2	
シネマコンプレックス以外 合計		6	10	5	9	合計	6	9	

		2025		2024		2016		増減(2016→2025)	
		映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネマコンプレックス 合計		5	44	5	44	4	33	1	11
ミニシアター/名画座 合計		5	9	4	8	2	4	3	5
既存興行館 合計		1	1	1	1	2	3	-1	-2
成人映画館 合計		0	0	0	0	2	2	-2	-2
シネマコンプレックス以外 合計		6	10	5	9	6	9	0	1
沖縄県合計		11	54	10	53	10	42	1	12

※1
2019年6月開館※2
2019年より既存興行館からミニシアターに移行。※3
2025年10月開館※4
2019年11月開館※5
2022年4月閉館※6
2016年7月閉館

公共上映の
状況

映画祭	地域	国際	開催開始年	2025年の開催	主な会場	備考	
那覇市	島でぜんぶおーきな祭	沖縄国際文化祭	国際映画祭	2009年	2025年4月5日～6日	那覇文化芸術劇場なはと / てんぶす那覇ほか	「島でぜんぶおーきな祭 沖縄国際映画祭」→「島でぜんぶおーきな祭 沖縄国際文化祭」に改称。
那覇市	沖縄環太平洋国際映画祭 Cinema at Sea	国際映画祭	2023年	—	—	2026年より隔年開催に。	
石垣市	島んちゆぬ映画祭	国際映画祭	2026年	2026年3月20日～22日	市民会館 / あまくま座 / CITY JACKほか	2026年 第1回開催。	
シネマテーク及び映画資料館等			ホール数	席数			
那覇市	沖縄県立博物館・美術館		—	—			
映画館以外で行われる上映活動 A			会場				
石垣市	ゆいシネマ		あまくま座				
名護市	やんばるシネマ		名護市立中央図書館				
映画館以外で行われる上映活動 B			会場				
—			—				

V 上映に関わる用語



映画館

不特定多数の観客に対して、映画を専門的に上映する施設のこと。「劇場」ともいう。

日本では、厚生労働省が監督官庁となっている。映画館の設置に際しては、「興行場法」に基づき、都道府県知事の許可が必要である。多くの映画館が、都道府県ごとに、生活衛生関係営業の運営適正化及び振興に関する法律に基づき、興行生活衛生同業組合（興行組合）へ任意に加盟している。近年では、上記の枠組みとは異なる形で、カフェやミニ図書館、ライブハウス等と合わせて映画上映の場をつくる「準映画館」ともいうべき場所も増えつつある。

本年鑑では、スクリーン数や上映プログラムによって、映画館を「シネマコンプレックス（シネコン）」、「ミニシアター／名画座」、「既存興行館」、「成人映画館」の4つに分類している。

シネマコンプレックス（シネコン）

マルチプレックス、複合型映画館とも呼ばれる。

同一の運営組織が、同一の所在地に名称の統一された複数のスクリーンを設置し、かつ、出入口、入場券売場、ロビー・売店、映写室等を集約化して共有する映画館のこと。「2020年経済構造実態調査報告書二次集計結果乙調査篇 映画館」（総務省・経済産業省）によれば「6スクリーン以上」、日本映画製作者連盟の定義によれば「5スクリーン以上」をひとつの建物・施設（サイト）に有する映画館を示す。本年鑑では原則として「5スクリーン以上」をシネマコンプレックスとしている。

既存興行館（既存館）

興行会社が経営する従来型の映画館を指す。かつてはその多くが大手映画製作・配給会社の直営・系列館として運営されてきた。シネマコンプレックスの展開により急速に減少、現在では、ほとんどの既存興行館が「フリー・ブッキング」で自ら番組編成を行っており、ミニシアターのような番組編成に変える映画館も増えている。

本年鑑では、新たに開館した映画館であっても、大手映画製作・配給会社の作品を中心に番組編成を行うものは「既存興行館」としている。

ミニシアター

大手映画製作・配給会社の直接の影響下でない独立した経営を行い、単館ないしは数館による公開を前提とした作品を中心に番組編成を行う小規模映画館。「前衛的なテーマなどの演劇公演・映画上映を企画」（『広辞苑』）する傾向が強いことから、「アートシアター」「アートハウス」「アートシネマ」と呼ばれることもある。

席数20席以下から200席程度の劇場まで規模は様々だが、全国生活衛生営業指導センター「生活衛生関係営業実態調査（映画館）」（2006年）では、「観客席数が300席以下の映画館で、芸術性などに特化した作品を上映する」とされている。

近年では、「シネマコンプレックス以外の映画館」として、既存興行館、ミニシアターを総称して「ミニシアター」としている例も散見される。

名画座

旧作及び封切館での上映が終了した新作で番組編成をしている映画館。

かつては、ある作品を封切り公開終了後の一週から二週以上後に上映する映画館を「二番館」とし、以下「三番館」「四番館」があり、三番館以降を名画座と呼んだ。約7500館の映画館が存在していた1950～60年代、作品数が現在と比べて少なかったため、こうした「下番線劇場」と呼ばれる映画館へ番数順に映画が上映されていく仕組みが存在した。こういった劇場では、二本立てや三本立てで、複数の映画製作会社の作品を折り混ぜて上映した。また、上映回数がかさむほどフィルムに傷が付き、映画の鮮度、話題性も時間経過とともに落ちるため、入場料を安くし、「入替なし」という形式で上映していた。現在では、「二番館」「名画座」という言葉は明確に区別されることなく使われており、「名画座」が一般的である。

本年鑑では、映画館の分類を「ミニシアター／名画座」としている。

アートハウス

1940年代後半から50年代初頭にかけて、アメリカのニューヨークをはじめとする都市や学園都市に生まれた小規模な映画館を示す言葉として用いられた。これらの映画館では、主に非ハリウッド的な前衛性の強い作品やヨーロッパ映画、自主映画、ドキュメンタリー映画が上映された。現在では同様の上映の場を示す言葉として広く用いられている。

我が国では、「ミニシアター」と同様、大手映画製作・配給会社の直接の影響下でない独立した経営を行い、単館ないしは数館による公開を前提とした作品を中心に番組編成を行う映画館を指す。「ミニシアター」が、施設や展開数が大規模なかつての直営・系列館や現在のシネマコンプレックスのような映画館と差別化するための和製英語であるのに対して、「アートハウス」は、上映する作品の芸術的・実験的・社会的な側面をより意識して用いられる。公共の映画専門施設(シネマテーク)やカフェ型の上映施設やホール等を活用して定期的に行われる上映会などが含まれる場合もある。

成人映画館

映画倫理委員会(映倫)によって、18歳未満の者の鑑賞には不相当であると指定された成人映画を上映する映画館。「ポルノ映画館」「ピンク映画館」等の呼称も「成人映画館」を示すものとして用いられる。基本的には独立経営であるが、ピンク映画の製作配給会社による直営館も存在する。

公開

広く一般の人々の入場・鑑賞を前提として、映画を上映すること。興行として映画館で上映する場合に使用することが多い。

江戸時代に新刊本が袋に入れて発売され、その封を切って読むことに由来して「封切り」ともいう。かつては地方に先行して作品を公開する都市部の映画館を「封切館」と呼んだ。

日本映画製作者連盟は毎年1月に前年の日本映画／外国映画の公開本数を発表しているが、「公開」の定義は明示されていない。2019年まで『キネマ旬報』決算特別号に毎年掲載されていた「封切映画一覧表」では「東京都内にある商業映画劇場、ホール及びそれに準ずる施設において、スクリーン上で7日間以上、1日1回以上、有料上映された初公開作品」を封切映画としている。

興行

一般的には、観客を集め、その多くは料金を取って、演劇(芸能)、音楽、映画、スポーツなどの催しを行うことを意味する。

日本においては、「日本標準産業分類」(総務省統計局、2024年4月)に基づき、大分類「生活関連サービス業、娯楽業」の中分類80「娯楽業」として分類される事業が具体的に相当する。上記の催しものを反復的かつ継続的に行う施設を興行場といい、「興行場法」の規制の対象となる。

映画においては、映画館や上映施設をマネジメントすること、ないしはその営業のスタイルを「興行」という。作品を映画館等で上映し、入場料金を徴収し、投下した資本の回収を行うことを示す。映画館の運営・経營業務に携わる者を「興行者」、組織としては「興行会社」と呼称する。本来、「興行」と「配給」は作品の「買い手」と「売り手」の関係に相応し、異なる立場を表す言葉であるが、日本の映画産業においては、大手映画会社が「製作」「配給」「興行」を一貫して経営してきたため、映画の流通業務を幅広く示す言葉として用いられる場合もある。

公共上映

地域における上映作品の多様化に貢献し、興行的に主流でない映画(非主流映画)を鑑賞する機会を、広く観客に提供することを目的とした上映活動を指す。その運営が営利的(有料上映)であるか、非営利的(無料上映)であるかを問わない。

非主流映画には、先進的独創的な映画、古典的歴史的な映画、紹介される機会が比較的少ない国の映画、インディペンデント映画、ドキュメンタリー、実験映画などが含まれるが、これらの種別はしばしば互いに重なり合っている。

こうした上映活動が行われる場所としては、系列化されていない小規模な映画館(ミニシアター、アートハウス)、映画アーカイブ・シネマテーク、美術館・博物館、図書館、公共ホール、アートセンターなどの公共文化施設があり、このような場所で映画祭や自主上映等の活動も展開され、地域の上映環境に多様性をもたらしている。

また、主流の映画を含んでいても、映画館が存在しない地域で、公共文化施設などを活用して映画を上映する活動や特別なプログラムとして上映する活動などは公共上映に含まれる。

こうした活動は、社会を構成する様々なコミュニティに対して映画へのアクセシビリティを高めることで、他の芸術と同様、文化の次世代への継承、社会包摂、地域活性化、人材育成などの公共的課題に効果をもたらすポテンシャルを有している。

コミュニティシネマ

地域における多様な映画受容の促進に貢献する上映組織及びその活動を意味する。具体的には、公共上映に携わる映画館、映画アーカイブ・シネマテーク、映画祭、自主上映団体(シネクラブや映画サークル)、移動上映団体、美術館・博物館、図書館、公共ホール、アートセンター、学校などを指す。

コミュニティシネマという語が初めて登場したのは、2003年3月に発行された「21世紀の芸術振興策を考える～芸術振興のための法と制度 最終報告書 アメリカ、韓国の映画振興を中心に」(財団法人国際文化交流推進協会[エース・ジャパン]編集・発行)の末尾に掲げられた「芸術振興策に関する提言～公共上映の振興を中心に～」においてである。この後、2003年の映画上映ネットワーク会議(のちの全国コミュニティシネマ会議)において「コミュニティシネマ憲章」が採択され、コミュニティシネマの理念の本格導入が始まる。本憲章では、「上映環境の地域格差の是正と上映作品の多様性の確保」、「多様なコミュニティに対する多様な上映機会の提供」、「メディアリテラシーの向上など教育的使命を実

現すること」、「地域に対する貢献」をコミュニティシネマの使命として掲げている。地域の文化拠点として、そこに住む様々な人々が多様な映画を体験する場を構築し、これを継続的に運用していくことがコミュニティシネマの目的である。

シネマテーク

本来は映画の収蔵施設を意味する(-thequeは、収納箱、墓を意味するギリシャ語のthēkēに由来する)。しかし、今日では、映画芸術の普及を目的に、古典映画を軸としたプログラムを展開する上映活動あるいは上映施設へと、その意味を転用させている。これは、アンリ・ラングロワが自らの映画コレクションをもとに1936年に設立した「シネマテーク・フランセーズ」が、先鋭的なプログラミング(特集上映の編成)によって、トリュフォーやゴダールといった映画作家に多大な影響を与えたことを範としたためであろう。本年鑑においては「映画を定期的に上映する映画アーカイブや美術館等の文化施設、公立映画館など、公共的な映画上映のための専門施設」をシネマテークとしている。

フィルム(映画)アーカイブ

映画フィルム及び映画関連資料の保存を行う施設の総称である。施設の種別は、博物館・美術館、文書館、資料館、図書館など多様であるが、いずれもフィルム(映画)の保存に携わっている点で共通している。その活動には、低温低湿管理が施された収蔵庫でのフィルム保存、写真化学あるいはデジタル技術を活用したフィルム復元、収蔵フィルムの物理的特性からスタッフ・キャストのクレジット表記に至るまでの緻密な目録化、制作当時の社会的文化的技術的文脈を重視したオーセンティックなプログラミング(上映)に加え、ノン・フィルムマテリアルと呼ばれる映画関連資料(ポスター、チラシ、スチール、シナリオ、セット、衣装、予算書、機材、雑誌、書籍など)を収集・保存し、その目録化を行うドキュメンテーションの作業が含まれる。

フィルムアーカイブの第一世代に属するのは、ドイツ国立フィルムアルヒーフ(1934年設立)、英国映画協会(BFI)フィルムライブラリー(1935年設立)、ニューヨーク近代美術館(MoMA)フィルムライブラリー(1935年設立)、シネマテーク・フランセーズ(1936年設立)であり、これら4機関が1937年に国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)を結成した。FIAFは、2022年6月現在、79ヶ国173団体(94の正会員、79の準会員)を擁しており、日本では国立映画アーカイブ、福岡市総合図書館がFIAFに加盟している。この他、国内の主要な公共のフィルムアーカイブとして、広島市映像文化ライブラリー、京都府京都文化博物館、川崎市市民ミュージアム、神戸映画資料館がある。他にも、映画に関する資料を収蔵している施設(映画資料館等)は多数存在する。

映画祭

一般的に、特定の場所で期間を限定してコンペティション形式ないしは特集形式で複数の映画・映像作品を集め、上映するイベントを示す。

コミュニティシネマセンターでは、芸術文化振興基金の「国内映画祭等の活動」に対する助成条件等に鑑みて、映画祭を以下の条件を満たすものとしてきた。

- 1…定期的に開催される(毎年/隔年など)。
- 2…映画祭として3日以上継続して行われる。
- 3…広く内外の映画作品が参加できる途が開かれている。
- 4…商業的、宗教的または政治的な宣伝意図を有さない。

上記の条件にあてはまる映画祭は、日本国内において約200存在する(2024年)。近年では、1日ないしは2日間で実施される上映イベントも増加し、映画祭として認知されるようになっている。

映画祭には商業的なサイクルには入らない作品も含め、興行とは異なる形式で多くの作品を紹介し、映画に対する新たな観客を生むという点で、文化的・芸術的な側面がある。また、まちおこし等の地域活性化事業として、あるいは様々なコミュニティの結節点として、その社会的な側面を指摘することもできる。大規模な国際映画祭においては、作品の買い付け、企画開発・資金調達といったビジネス機会をマーケットにおいて創出する経済的な側面も存在する。

国際映画祭と地域映画祭

本年鑑では、映画祭を「国際映画祭」と「地域映画祭」に分類し、「国際映画祭」を以下の通りに規定している。

- 1…映画祭のために独自に未公開作品のフィルムを輸入している。
- 2…日本語字幕(及び英語字幕)を作成している。
- 3…海外ゲストを招聘している。
- 4…公式プログラムを作成している(二ヶ国語)。

上記に該当しない映画祭を「地域映画祭」としている。

日本国内において、「国際映画祭」の規定にのっとった映画祭は約50ほどである(2024年)。なお、この中には、日本未公開作品を2-3本しか上映しない映画祭、ゲストの招聘がなく、公式プログラムを作っていない小さな国際映画祭も一部含まれている。

映画館以外で行われる上映活動/自主上映

映画館での興行とは異なる形態で実施される上映活動。公共ホール、大学、アールスペースなどでの上映の他、映画館を借りて行われる上映もある。多くは映画の鑑賞そのものを目的としているが、歴史的には教育や政治などにおける啓発を目的とした自主上映事業も盛んに行われてきた。近年では、デジタル化の進行により、DVDやブルーレイ、配信等での上映も可能となり、小規模なコミュニティのための自主上映が増加している。

運営の方法は多様だが、概ね二つの形態に区分できる。

- 1…各地域の自主的な団体が、映画会社や製作・配給団体から作品を借りてプログラムを編成し、これを各地域の会場で上映するもの。自主上映と呼ばれる。自主的な団体には、シネクラブ、映画サークルのような民間の団体も、自治体の教育委員会や文化振興課、公共ホールやコミュニティセンター等の公共的な団体も含まれる。
- 2…移動上映事業者が、自ら製作した作品や当該地域における配給権を取得した作品を、地域の会場を借りて実施する移動上映・移動興行。主に、映画館のない地域で、映写機などの機材一式を持ち込んで行われる。

特集上映

監督や俳優、製作者、脚本家やカメラマン等の回顧上映や、ある国や地域の映画、あるいは一定の「テーマ」に基づいて作品を集め、上映することをいう。特集上映を「○○映画祭」と称する場合もあるが、上記で定義している「映画祭」とは異なる。

日本映画(邦画)と外国映画(洋画)

一般的に、「日本映画」とは、日本国内の映画館などで公開されることを前提として、日本国籍を持つ者や日本の国内法に基づく法人が製作出資をしている映画を示す。「邦画」ともいう。一方で、日本国籍を持たない個人ないしは日本国内に登記のない法人によって出資がなされて製作された映画を「外国映画」という。「洋画」は、アジア地域をも含む、日本映画以外の外国映画すべてを総称する言葉として用いられることもある。

映画の国籍は、製作に対する出資者／出資社の国籍に依拠する。日本人キャストを用い、日本国内ですべての撮影が行われている場合でも、アメリカ資本のみで製作されていれば「アメリカ映画」、日本資本とフランス資本の両者が出資をしていれば「日仏合作」となる。フランスのように、自国の映画文化や産業の振興に熱心な国では、スタッフやキャストの国籍、会社の登記などの細かな要素を考慮して、欧州あるいはフランスの関与の度合いがどの程度高いかを点数化し、それに応じて助成対象の認定を行っている。

旧作と新作

一般的に、映画興行において初めて公開(封切り)を迎える作品を「新作」と呼ぶ。その作品は、公開を終了した後に「旧作」となる。地域や映画館によって公開の時期が異なることもあり、「新作」と称する期間を厳密に規定することは難しい。

自主映画

日本における自主映画または自主制作映画は、映画製作において、個人資本もしくは個人で製作費を調達して制作された映画を示す。また、制作者による分類として、(映画制作により定期的な収入を得る)プロフェッショナルと区別した「アマチュア映画」や、高校生や大学生が制作した「学生映画」も自主映画のなかに含まれる。

明治・大正期から個人でカメラを所有し、日常生活や風景を撮影する映画愛好家が存在した。大正末期になり9.5ミリフィルムが登場し、昭和に入ってから8ミリフィルムが登場すると、個人による映画撮影が手軽なものとなり、16ミリや35ミリフィルムで制作された劇映画やニュース映画のような商業映画と区別して、「小型映画」「家庭映画」とも呼ばれる自主映画の概念が明確化していった。

1960年代後半から70年代にかけて、シングル8、スーパー8といったフィルムの規格が開発・提供されるようになると、ホームムービーだけでなく自主映画を制作する個人やグループが全国的に現れ、作品が次々に発表されるようになった。雑誌『ぴあ』や、1977年から開催された「ぴあフィルムフェスティバル」が、こうした自主映画の制作や公開の増加に果たした役割は大きい。自主映画を制作し、映画祭等で評価を得た人々が映画・映像業界へ進み、日本映画の担い手として活躍している。

今日では、自主映画が制作者自身の自主配給によって映画館で公開されるケースも増えており、商業映画との境界は曖昧となっている。また、大手映画製作会社やその配給網に頼らない映画作品や制作者に対して「インディーズ」という呼称が用いられている。

映画上映活動年鑑 | 2025

独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業
「令和7年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」

調査及び報告書原稿作成・編集
一般社団法人コミュニティシネマセンター

発行日
2026年3月10日

発行
一般社団法人コミュニティシネマセンター
〒150-0044 東京都渋谷区円山町1-5-5F
TEL : 03-3461-6983

デザイン・印刷
朝日メディアインターナショナル株式会社

